



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2008-2009年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

2008-2009年度ガバナー

鈴木泰彦

“ロータリーで心を耕そう”



vol. **1**
2008.7.1

CONTENTS

RI会長のメッセージ	1	地区主要行事予定表	19
2008-2009年度 会長賞	4	地区組織図	21
ガバナー就任の挨拶	6	地区関係予算	23
RI テーマと地区運営方針	7	報告のしおり	25
直前ガバナーへの謝辞	10	送金のしおり	26
ガバナー補佐の挨拶	11		
文庫通信	16		
ガバナー公式訪問・クラブ協議会日程表 ..	17		



2008-09年度RIテーマ

Make Dreams Real

“夢をかたちに”

李 東建

(国際ロータリー会長)



ロータリーの奉仕の最たる特質は、一貫して、やるべきことは成し遂げるというロータリアンの固い志に表れています。私たちは日々、何千、何万という地域社会の中で、周囲を見回し、どこで、どのような形で人々を助けるのがベストかに思いを巡らせています。

私たちが行う支援活動はさまざまな状況に対応するものであり、その方法もまた多種多様です。クラブのレベルでは、学校に本を寄贈したり、身体障害者の世話をしたり、職業プログラムでボランティアをするなどの活動があります。クラブ同士が協力し合えば、単一クラブでは実現できないようなプロジェクトも可能になります。さらには、ロータリー財団の支援の下に、世界中の全クラブが一体となったとき、最も遠大かつ重要な目標である「世界からのポリオの撲滅」に渾身の力で取り組むことさえ可能になりました。

奉仕プロジェクトを選ぶにあたって、私たちは最大の成果が期待でき、後々まで恩恵が残されるものを実施するよう最善を尽くします。しかし、素晴らしい世界を後世に残すためには、まず、最も若い世代に焦点を当てなければなりません。ですから、2008-09年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいのです。

健康を享受する機会は、すべての子供に与えられて当然のものです。しかしながら、毎日、避けられるはずの原因で命を落とす5歳未満の子供の数が3万人を超えているのが現状です。この数字を初めて知ったとき、私は、そんな馬鹿な、何かの間違いに違いないと思ったものです。しかし、その数字に誤りはありませんでした。悲しいかな、世界では毎日のように、肺炎やはしか、マラリアといった治療可能な病気で死んでいく子供たちが



後を絶たないのです。最も基本的な資源であるきれいな水が手に入らないために死んでいく人々も一日に何千人といます。栄養失調や貧困も、ほかの要因と絡み合って、多くの人々の命を奪う主な原因となっています。

今後1年間の私の希望は、子供の死亡率の低下をクラブと地区の奉仕プロジェクトの主要目標にさせていただくことです。

この思いから、私は2008-09年度のRIテーマを「夢をかたちに」としました。食糧と水、保健と就学、充実した人生を送り、寿命をまっとうすること……、これは（今現在）多くの子供たちにとって見果てぬ夢に過ぎません。2008-09年度、このような子供たちとその家族のために、どうか「夢をかたちに」して下さるようお願いいたします。そして、幸せと健康に恵まれた平和な世界を築くというロータリーの夢に向かって、私とともに歩み、活動してください。

子供の死亡のほとんどは開発途上国で起きているため、ここに私たちは力を注がなければなりません。一方、それぞれのロータリークラブも地元地域の子供たちの安全と健康に寄与することで、責任を果たすことができます。最も豊かな国においてさえ、医療サービスを受けることのできない子供たちがいます。火災警報器、自転車用ヘルメット、子供用安全シートといった、ごく単純な器具がないために、毎日、子供が死んでいるのです。そして、世界のあらゆる場所で、子供たちはいま

だポリオの脅威にさらされており、私たちが約束どおりポリオのない世界を築くまで、その脅威から免れることはありません。

私も人の親であればこそ、わが子や孫たちの存在がいかに大切なものであるかが理解できます。私たちは子供をかわいがり、育て、全力をもって彼らの身を守ろうとします。ロータリアンである私たちは、さらに、地元地域のみならず、世界中の子供たちをかわいがり、育て、守り抜く責任があると私は信じております。

ここ数年の間、RI会長は、同じ奉仕の強調事項を引き継いで掲げ、毎年、保健と飢餓追放、水、識字率向上を主眼とするプロジェクトに力を注ぎました。この決定にはしかるべき理由があります。これらの強調事項は、ロータリーのリソースを最大限に生かして、目に見える進歩が期待できる分野だからです。また、莫大なニーズをはらむこれらの分野でロータリアンが発揮できる力も十分にあります。

この3つの強調事項を、私もまた引き継いでいく所存です。その中で、私がロータリー家族全員にお願い申し上げるのは、今ロータリー年度、子供たちの生活をより良くするプロジェクトに焦点を当てるよう特別に努力していただくことです。目標を達成するにあたり、3つの強調事項のそれぞれの分野は、相互に密接につながっています。水系感染の疾病で死亡する子供の数は1日あたり6,000人です。安全な水があれば、この数字を直



ちに、しかも劇的に減らすことができるのです。
栄養が十分であれば、子供は健全な発育を遂げ、
病気への抵抗力も増します。そして、読み書きの
能力を備えた子供は、将来、自らが家庭を築くよ
うになったとき、豊かな環境の中で健全な育児を
営むことができる確率が高まるでしょう。

ロータリーは、まさに地球規模のボランティア
たちのネットワークです。ですから、世界中のク
ラブが協力し合い、私たちがもてる技能と資材の
すべてを結集させるなら、絶妙なタイミングで、
ここぞという場所に、これぞという援助を提供す
ることができるのです。私たちが一丸となったと
き、子供の死亡率を低下させるという果敢な目標
さえ取り組みが可能になります。これが類いまれ
な私たちの組織の資質です。私たちがあらん限り
のリソースを生かし、各クラブとロータリー財団
のリソースをも駆使するなら、真の意味で変化を
もたらし、世界の子供たちのために「夢をかたち
に」することができるでしょう。

李 東建
2008-09年度国際ロータリー会長



【経歴】

李東建、韓国、ソウル

2007-08年度国際ロータリー会長エレクト

2003-07年度ロータリー財団管理委員

2002-03年度国際ロータリー財務長

2001-03年度国際ロータリー理事

2004-05年度会長主催祝賀会議(地域社会問題)委員長

1995-96年度地区ガバナー

李東建氏は、ソウルにある製造会社、ブバン株式会社な
らびにブバン・テクロン株式会社の会長を務めています。
延世大学で政治学と外交学の学位を取得した李氏は、現
在、釜山情報大学の理事を務め、過去には、母校の高校と
大学の学友会会長を務めたこともあります。また、ソウ
ル銀行の理事を務め、韓国のイタリア領事館において名
誉領事を務めた経歴の持ち主です。

2005年には、韓国大統領によって国際親善大使に任命
されました。

李氏は、1971年にソウル漢江ロータリー・クラブに加わ
り、これまでにRI 理事、財務長、管理委員、地区ガバナー、
および国際協議会の研修リーダーを務めてきました。ま
た、ロータリー財団地域コーディネーター、ゾーンなら
びに地域の会員増強コーディネーターも務めたことが
あります。現在は、韓国でポリオ撲滅民間部門推進計画
の委員長を務めています。李氏は、財団の功労表彰状を
受けています。1996年には、地区ガバナーとして32の新
たなクラブを結成し、1800人近くの新会員を入会させ、
李氏の地区は、同年度のロータリー世界のリーダーとな
りました。第87回国際大会では、会員増強活動における
その最高の功績を称えられ「カルガリー・チャレンジ」の
受賞者として表彰されました。

韓国、ソウルに在住する李氏とヨン・ジャ夫人との間には、
4人の成人したお子さんと、4人のお孫さんがいます。



2008-2009年度

会長賞

国際ロータリー会長 李 東 建

地区ガバナーの表彰

地区ガバナーが2008-09年度会長賞の受賞資格を得るためには、地区内の50パーセント以上のクラブが会長賞を受賞することに加え、ガバナーと地区内クラブ会長の50パーセント以上が、2008年7月1日から2009年3月31日までの間に新会員を1名入会させなければなりません。

2008-09年度ローターアクトおよびインターアクト会長賞

ローターアクト・クラブとインターアクト・クラブは、「夢をかたちに」のテーマを実践する価値ある奉仕活動を遂行したことにより、表彰を受けることができます。本賞の受賞資格を得るには、ローターアクト・クラブとインターアクト・クラブは、本要項に挙げられた活動の中から(分野は問わず)少なくとも4つの活動を実行しなければなりません。提唱クラブは、ローターアクトおよびインターアクト会長賞申込書に署名した上、2009年3月31日までに地区ガバナーに提出しなければなりません。その後、ガバナーは、有資格のクラブのリストを2009年4月15日必着でRI世界本部に送付しなければなりません。

奉仕プロジェクト(必須)

子供の死亡率を低下させる奉仕プロジェクトを地元レベルまたは国際レベルで実施する。

会員目標(必須)

2009年3月31日までに1名の会員純増を達成する(推奨目標:10パーセントの会員純増)。

会員増強

- クラブ会員が地区会員増強セミナーに出席するよう、確認する。
- 2009年3月31日までに、会員(クラブ会長を除く)の10パーセント以上が、新会員をクラブに入会させる。
- クラブ会員1名が会長主催地域会議に出席するようにする。
- 2009年3月31日までに、少なくとも1名の財団プログラム(国際親善奨学生、研究グループ交換チームメンバー、ロータリー世界平和フェロー)、あるいはRIプ

ログラム(元青少年交換学生、元ローターアクト会員、元インターアクト会員)の学友を勧誘する。

- 2009年3月31日までに、複数の会員を勧誘したクラブ会員を正式な形で表彰する。
- 会員の多様性を奨励し、均整の取れた会員基盤を推進する。クラブに現在会員のいない属性のグループから新会員を入会させる。
- 会員見込者を探し出し入会を誘うために、資格を備えた地元社会の企業や専門職務のリーダーに関する分析を行う。
- 移転するロータリアンが移転先の新しい地域社会のクラブに入会できるよう手助けをすることによって、会員をロータリーにとどめる。
- www.rotary.orgの「会員アクセスページ」を利用して、毎月、RIに新会員の報告を行う。

クラブ奉仕

- 会員の5パーセントがRI国際大会に出席するようにする。
- 地元の公共図書館か高校の図書室に、「ザ・ロータリアン」誌または「ロータリーの友」誌の購読権を寄贈する。
- 適切とみなされる場合、次期クラブ役員ならびに会員が、会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区協議会、地区ロータリー財団セミナー、地区大会に出席するよう、確認する。
- ポリオ撲滅に対し卓越した奉仕を行った会員を表彰する。
- 今年、クラブのすべてのロータリアンがクラブの活動に参加するよう、一人ひとりに呼びかけるようにする。プロジェクト委員会の委員を務める、あるいはクラブ奉仕のある面を担当するなど、参加の形は問わない。
- クラブのロータリアンで広範囲にわたるさまざまなクラブ・プロジェクトやプログラムに積極的に参加した人を、四大奉仕部門功労者として表彰する。
- 少なくとも5つの機会に奉仕活動や親睦活動に参加してもらうことで、会員の家族でロータリアンではない人々(配偶者、成人した子供、親、物故会員の配偶者など)をロータリー家族に迎え入れる。
- ロータリアンとその家族のためにプロジェクトや活動を援助する、ロータリー家族委員会を任命する。
- 地元の非政府団体から講演者を招いたり、国連ミレニアム開発目標(www.un.org/millenniumgoals、英語)



に関するクラブ・プログラムを実施する。

- ロータリー世界平和フェロー(現在のフェローと元の参加者)をクラブの会合に招き、スピーチをしてもらう。

職業奉仕

- 職場や職業生活での倫理と四つのテストの適用に関する集会を開く。
- すべての新クラブ会員に「四つのテスト」または「ロータリアンの職業宣言」(200-JA)を配布する。
- ロータリアンが若い人々を職場に連れて行き、職業の機会について教育するための日を設ける。
- 少なくとも1名の会員に、職場で高校生や大学生のためにインターンの場を提供してもらう。
- 職業奉仕月間(10月)中に職業奉仕活動を組織する。
- ロータリー・ボランティアとして1名のクラブ会員を登録し、ボランティア奉仕活動補助金を申請するよう奨励する。
- 1名のクラブ会員に、研究グループ交換チームメンバーを職場に受け入れてもらう。
- 地元の青少年のための就職相談や開発プロジェクトに参加し、キャリア目標を達成するために正式な学校教育がいかに重要かを強調する。

社会奉仕

- 地域社会のニーズ査定を行い、少なくともクラブ会員の半分とその配偶者が参加する新規の地元奉仕プロジェクトを立ち上げるために、その査定結果を活用する。プロジェクトの支援団体としてGoodwill Industries International(国際友好産業振興団体)*を考慮する。
- 新しいロータリー地域社会共同隊を提唱する。
- 地元地域で水プロジェクトを実施する。
- 地域社会の飢餓問題に取り組むことによって子供の死亡率を低下させるプロジェクトを実施する。
- 地域社会の児童虐待やストリートチルドレンの問題に対処するプロジェクトを提唱、もしくは参加する。
- 保健への認識向上キャンペーンもしくは保健問題に取り組むプロジェクトを提唱、もしくは参加する。
- 地域社会で識字率の向上に取り組むプロジェクトを提唱、もしくは参加する。国際読書協会*と協同でプロジェクトを開発することを検討する。
- 道や公園の安全性など、子供の安全確保に取り組むプロジェクトを提唱、もしくは参加する。
- 印刷媒体、ラジオやテレビ番組、看板などを利用し、公共奉仕広告(可能であれば、ロータリー公共イメージ・キャンペーンで提供されている公共奉仕広告)を掲載(放送)することによって、一般の人々にロータリーについて広める。
- 平和あるいは紛争解決を推進するために立案されたプロジェクトを提唱、もしくは参加する。
- クラブ会員とロータリー財団学友とが協力して遂行

できる社会奉仕プロジェクトを実施する。

- 新しいインターアクト・クラブまたはローターアクト・クラブを提唱する。
- ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)の行事参加者を後援する。
- 学校を後援する。

国際奉仕

- 世界社会奉仕プロジェクト交換一覧表に登録されているプロジェクトを支援する、もしくはプロジェクトを登録する。
- 国連ミレニアム開発目標(www.un.org/millenniumgoals)を出発点として、少なくともクラブ会員の半分が参加できる新規の国際奉仕プロジェクトを立案し、着手する。
- 子供の死亡率低下を目標に、きれいな水、保健、飢餓救済、識字率向上を目的とするプロジェクトを実施するために、ロータリー財団マッチング・グラントまたは保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金を申請する。
- 「毎年あなたも100ドルを」の目標である、クラブ会員一人当たり米貨100ドル以上のロータリー財団への年次プログラム基金寄付を達成する。
- 水管理や衛生管理に取り組む国際奉仕プロジェクトを実施する。
- 国際的な識字率向上プロジェクトを実施する。
- 少なくとも1つのロータリー財団教育プログラム補助金(奨学金)を得るために、地区レベルで競う資格のある候補者(国際親善奨学生、ロータリー世界平和フェロー、研究グループ交換チームメンバーもしくはリーダー、大学教員のための補助金参加者)を探し出す。
- 研究グループ交換チームを派遣する、チームメンバーを受け入れる、またはロータリー友情交換プログラムに参加する。
- 世界ネットワーク活動グループについてのクラブ・プログラムを実施する、またはクラブ会員の少なくとも5パーセントをグループの一つに入会させる。
- ポリオ・プラス、またはポリオ・プラス・パートナーにクラブから寄付を行う。
- ポリオ・プラス、および世界ポリオ撲滅推進活動におけるロータリーの役割に関するクラブ・プログラムを実施する。
- クラブ会員1名に、ロータリー財団国際親善奨学生のための受入側カウンセラーの役割を引き受けてもらう。
- 子供の飢餓問題に取り組む国際奉仕プロジェクトを実施する。
- 青少年交換学生、国際親善奨学生、ロータリー世界平和フェローを派遣する、または受け入れる。

*RIは、これらの団体と正式な協力関係を結んでいます。



ガバナー就任にあたって

RIテーマ「Make Dreams Real」—夢をかたちに—

国際ロータリー第2740地区
2008年－2009年ガバナー

鈴木 泰彦

「徳潤身」

十数年も前に臨済宗妙心寺の管長に書いて頂いたと言って、私の菩提寺である瀬高の二尊寺の住職から表題の書をもらいました。さっそく表そうをして、会社の部屋に取り付けました。

「徳」とは心が正しくて行いが人の道にあることとあります。そうすればきっと自分自身の「身」に「うるおい」がもたされるのだと信じて今日まで過ごしてまいりました。

ロータリーの四つのテストにも共通するものがあるのではないかと常々考えさせられるようになりました。

孟子も「説苑」(ぜいえん)の中で

「人間は田畑に肥料をやることを知っていても自分の精神に肥料をやることは知らない。

田畑に肥料をやれば穀物を収穫することができるが、ただそれだけのことだ。

精神に肥料をやれば徳を高めることができる、そのためには学ぶ事だ」

と言っています。

年を重ねてやっとそういう事がわかってきたように思います。

本来、私は戦後生まれの団塊の世代の一期生で粗製濫造の時代に生をうけ、小学校ではソフトボールに、中学校ではバレーボールに、高校では山登り、海水浴に、そして大学ではサッカー部の一員として勉強よりも体を動かす事が好きな青春時代を

謳歌したものです。

自然の流れは変えようにも変えることができません。

親父が53歳で亡くなり、私も26歳で社長業を受け継ぎ父の在籍していた佐世保南ロータリークラブへ35歳の時に入会させて頂きました。

ロータリーは適当にと思っていただけに、ガバナーなんて本当に務まるのだろうかとも今も正直思っています。しかしながら、田口パストガバナーのもと、又、野口直前ガバナーのもとで勉強させて頂き、諮問委員会での歴代のパストガバナーの皆様の話聞いていくうちに「人皆是我師」という心境にもなり、ロータリーのすばらしさを感じています。

野口直前ガバナーの様にロータリーを楽しむことができるかわかりませんが、2740地区の皆様との出会いを楽しみにロータリーを語り合いたいでしょう。

そして、ロータリーで心を耕してまいりましょう。宜しくお願い致します。





RIテーマと地区運営方針

国際ロータリー第2740地区
2008～2009年度ガバナー

鈴木 泰彦

「日本人の心が病んでいる」

昨年の年次大会のおり、五木寛之氏の講演でお話がありました。私の今年度のテーマとして「ロータリーで心を耕そう」という事をまさにお伝えする矢先でのお話でしたので強く感銘を受けました。

私だけでなく、今日の日本のおかれている社会情勢をみる時、なんと痛ましい事件・事故の多い事か、憂えずにはられません。

山紫水明、春夏秋冬の美しい日本の姿、勤勉で実直な日本人の姿はどこへ消えてしまったのでしょうか。第2次大戦後、荒廃した日本を見事に立ち直らせた今日、戦争を知らない我々が平和ぼけのあまり、自由を翻弄し、わがままな日本人になってしまったのではないかと危惧の念を抱かざるをえません。

自己主張 権利を主張する裏には、義務と責任が必ずあると思います。

教育、政治、行政、経済、農業、環境問題その他すべてが今、ルール無視、自己保身に走り、まわりを見廻す目をなくしてしまっているように思います。

今年度 RI会長 D. K. LEEさんは、RIテーマを

「Make Dreams Real」

— 夢をかたちに — とされました。

世界中で1日3万人もの子供達が亡くなっている事に心を痛めていらっしやいます。開発途上国、

紛争国の中では、衛生上、飢餓、そして紛争に巻き込まれて命をおとす子供達があります。先進国といわれる日本には馴染まないかもしれません。

がしかし、いじめでの自殺、親が子供を殺したり、親の自殺の道連れにされたり、果ては交通事故、特に悪質な飲酒・スピード違反による死者はあとをたたく起こっている事をみれば、ロータリアンとして何かできないかと思わざるをえません。

又、職業奉仕が基本にありながら自らの仕事の質を高め、倫理ある行動をとるべきにもかかわらず、最近の偽造・偽装の横行なり、行政の怠慢による不祥事で、年金・薬害・不正流用等、本当に何を信じていいのか全くわからない世の中になり、行き先を不安視するあまり、心が病んできたのではないかと疑わざるをえません。

これらの根本には「教育」という大きなテーマがあるのではないかと思います。

1947年に制定された教育基本法の改正があった今、再度日本における「教育」をどうあるべきか考え直す時ではないかと思います。知恵、知識だけではありません。道徳、倫理すべてが教育の原点だと思います。

少なくとも我々ロータリアンは、どんな逆境におかれようとも、心豊かな人でありたいものです。そして、まわりの人達にも清く、正しく、美しい気持ちを伝えていきたいものです。



ロータリーは各クラブが主体性をもつ組織である事を理解して頂き、RIテーマ、地区の方針を少しでも汲み取って、必ず何か一つは取り入れて頂きたいと願ってやみません。

世界168ヶ国120万人を超えるロータリアンが存在する組織となり、各々の国の文化、慣習の違いで日本のロータリーも行き先がわからなくなっているようにも思います。

日本は日本人らしいロータリーというものを考えていってもいいのではないかと考えるようになりました。会員の皆様と共に考え、今一度ロータリーを見直す良い機会ととらえて行きましょう。

環境問題、人口問題、エネルギー問題、食糧問題、そして世界平和の夢、まだまだ考えるべき事が多いと思います。これらの解決の為にはロータリーも次のリーダーを発掘していかなければなりません。この2740地区にもすばらしい方が数多くいらっしゃいます。是非、我こそはという意気込みを見せて頂きたいものです。

この一年が各クラブで実りの多い一年であることを願ってやみません。そして、皆様と会える一期一会を楽しみに活動させて頂きたいと思っています。

会員の皆様と「心を耕せる」一年にして行ければと思います。宜しく願致します。



RI会長強調事項

- 水
- 保健と飢餓追放
- 識字率向上
- ゲイツ財団による補助金とロータリーによる同額寄付
2008年7月1日～2010年12月31日 完了（3年間）
- 新ポリオ・プラス募金活動 1億ドル

今年度地区方針

- 会員増強
 - ・2009年7月1日付 純増1名（推奨10%）
- 財団年次寄付目標
 - ・1人当 100ドル
- 米山記念奨学会年間寄付目標
 - ・2,500万円（1人当 1万円）
- ロータリーで心を耕そう！
 - ・子供のいじめ
 - ・親子の殺傷（教育）
 - ・自殺者 3万人
- 四大奉仕を考えよう
 - ・職業奉仕の重要性（倫理性）
 - ・クラブ奉仕の重要性（出席）
- 世界のロータリアン 120万
日本のロータリアン 10万人弱
 - ・RI方針と日本のロータリー
- ロータリーの1世紀 次へのリーダーを育てよう
 - ・世界の平和
 - ・環境問題
 - ・食糧問題



2008-2009年度国際ロータリー
第2740地区ガバナー

鈴木 泰彦 略歴

生年月日 昭和22年7月15日
年 齢 60歳
現 住 所 〒857-1166 佐世保市木風町1473-12
本 籍 〒857-0805 佐世保市光月町44
現 職 鈴木木材工業株式会社 代表取締役会長
最終学歴 福岡大学工学部建築学科卒業
職 歴 1970年 鈴木木材工業株式会社入社
大阪 成瀬商工株式会社 出向
1972年 鈴木木材工業株式会社 常務取締役
1974年 鈴木木材工業株式会社 代表取締役社長
株式会社諫早木材市場 //

伊万里外材株式会社 //

2007年 鈴木木材工業株式会社 代表取締役会長
株式会社諫早木材市場 //

伊万里外材株式会社 //

主なロータリー歴

1982年 佐世保南ロータリークラブ入会
1999年～2000年
幹事
2002年～2003年
会長
ポールハリスフェロー（4回）
ポリオプラス（1回）
ベネファクター（1回）
第10回 米山功労者 メジャードナー



野口直前ガバナーに対する謝辞

国際ロータリー第2740地区

2008年－2009年度ガバナー 鈴木 泰彦

明治維新、激動の時代多くの佐賀藩の人物が登用され、近代日本の礎を築いた。その維新の志士に野口 清直前ガバナーの姿が重なります。

「ロータリーは分かちあいの心」のR I テーマのもと「ロータリーを楽しみましょう」を説かれ、地区内ロータリアンの共鳴を呼び、そのコミュニケーション能力をもって新しいガバナー像を創られました。

維新の志士達は愛する日本国を憂い、その為に多くの変革と課題を投げかけてくれました。

野口 清直前ガバナーはロータリーを愛すればこそ、R I に対し地区内に対し財団・新世代・米山など多くの事へ提言、提案をなされました。

私は野口 清直前ガバナーほどロータリーの仕

組み、あり方を精通されていらっしゃる方を知りません。

だからこそ変革を説かれ各クラブの尊厳と独自性を大切にされ「主役はあなたです」「仲間を増やそう」多くの目標を掲げられました。

地球環境保全の為、公式訪問に公共交通機関を利用された姿、心から楽しそうに盃を交わされる姿を私達は忘れません。

今後もパストガバナーとして末長く地区内ロータリアンと不肖私にもご指導賜ります事を心よりお願い申し上げますお労いと御礼といたします。

最後に故空閑清高幹事にあらためて哀悼の誠を捧げ副幹事の皆様方、西岡さんにお労いと感謝を申し上げます。





ガバナー補佐挨拶



第1グループ ガバナー補佐

七田 秀徳

(佐賀RC)

古希を迎える年、年齢的には古株になったクラブ内の事情も有り勉強不足を顧みず引き受けてしまいました。

かねてロータリーに限らず参加することに意義有りて友情作りを主眼として入会以来20年間例会出席は皆勤を続けております。

ところが2月2日のガバナー補佐会議以来数回にわたるレクチャーをへて役目の重要さ、大変さを痛感しております。

幸い鈴木泰彦ガバナー、馬郡幹事他地区スタッフの人柄に惹かれこの1年精一杯頑張るつもりです。第一グループを始め地区の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

鈴木ガバナーよりロータリーの心と原点(広畑富雄2700地区バストガバナー)を頂きました。折角の機会ですからこの1年その心とは何か、何をすべきか勉強したいと思っております。

補佐としての役目の主たるものはガバナーの方針、意向をクラブに伝達することに加えてクラブの意見を地区に伝えることと理解しております。ロータリーの主役はRIではなくクラブであると聞いております。

どうぞ何なりとご指示、ご指摘下さい。

ロータリーの原点は例会に有るといわれていますがクラブ差はあるもののどうしても出席したくなる魅力はありましようか、マンネリ化してはおりませんか、100%とは申しませんが例会出席こそがクラブの活力であり退会防止、会員拡大に繋がると思います。

また原点は職業奉仕でありますが全国的に見れば毎回唱和する4のテストは何なんだ、パフォーマンスでしかないのかと思われる著名な会員企業の企業倫理にもとづく不祥事が多発しております。職業奉仕月間だけでなくこの1年間継続して取り組んでは如何でしょうか。

立派な事業計画を立てられていると思いますが自分を省みて申すことですが年度初めの決意を持ち続けてください。継続は力成りそして会長、幹事さんだけでなく組織の力を発揮してください。

色んな機会にバストガバナー、バスト補佐にお会いするとその任務、友情は素晴らしかったと楽しんでおられます。

是非私も来年の今頃はそんな気持ちになれるよう努力したいと思っております。



第2グループ ガバナー補佐

末次 義視

(佐賀北RC)

例会の席上、立石特別委員会委員長から「少し話があるので、例会後、時間を作ってくれないか」と声をかけられたことが発端でした。

なにごとかとロビーで待つこと暫し、武富会長も同伴にて「実は次期、第2グループのガバナー補佐に就任して欲しい」旨の意向打診がありました。

ガバナー補佐とは重責が伴う大役であります。

夢にも考えたことがないことであり、もともと私自身、浅学非才の身であることは日頃痛感している上に、当クラブには知識、経験深き諸先輩がたくさん加入されていることからして、身の丈に余ることと考へ、お断りをいたしました。

ところが、おふたりから「当クラブあげて一丸となってサポートするので、是非とも受諾して欲しい」と熱意ある懇願を受け、そこまで力強く考えてもらえるなら、未知の領域ながらもなんとかお役に立てるのでは、とお引き受けすることにした次第です。

それから日がたつにつれ、正直なところ戸惑いと不安が錯綜する毎日ではあります。

しかしながら、お引き受けした以上は一所懸命、その職務を全うし皆様の期待に添うよう努力したいと思う所存であります。

ところで、RI会長のテーマは「夢をかたちに」です。

これを踏まえ鈴木ガバナーの今年度方針は「ロータリーで心を耕そう」というテーマを打ち出されました。

先日のガバナー補佐会議の席上、そのことを熱く、力強く話しをされ私は言うに及ばず、出席者全員が共感した次第でした。

すべてのロータリアンが、思いを一つにして、この方針に沿った活動を行うことにより、ロータリー精神をおおいに発揮すべく頑張っていきたいと思ひます。

私は現在、ガバナー補佐の役割について勉強中ではありますが、今までの経験からまずは会員みんなが例会に出席し、共有する1時間を十分に楽しんだ後、それぞれの会社、職場に戻って行かれる事を望んでいます。

末筆ながら第2グループの皆様方のご繁栄を心より祈念申し上げますと共に、この一年間温かいご指導、バックアップをいただきますようお願いいたします。

略 歴

1988年12月 佐賀ロータリークラブ入会
2005～2006年度 会長

略 歴

1992年7月 佐賀北ロータリークラブ入会
2003～2004年度 会長



ガバナー補佐挨拶



大役を引き受けて思うこと

第3グループ ガバナー補佐

中島陽一郎
(嬉野RC)

平成3年11月高校の同級生からの誘いで嬉野ロータリークラブに入会、初めて例会に出席した時のこと、ロータリーに熟知しておられるチャーターメンバーの面々、また社会的に地位のある方ばかりの席で緊張のあまり、食事がのどを通らなかったことをよく思い出します。

あれから17年になろうとしていますがいまだロータリーの知識も乏しく何気なくロータリーに席を置いている次第です。そんな私にまさかガバナー補佐の役が降りかかってこようとは思っていませんでした。

私には以前から何か頼まれたときすぐ「安請け合い」をしてしまうという悪い癖がありまして引き受けたあとよく後悔ばかりしていました。このたびのこともまったくそうです。

第3グループの歴代の分区代理、ガバナー補佐の方々はロータリーに精通した方ばかりが歴任しておられ、いまになって冷や汗をかいているところです。

ただ、一つだけ負けていないことは第3グループの歴代ガバナー補佐の就任時年齢がこれまでで一番若いということです。

知識には乏しくてもそのぶんフットワークで補って行きたいと考えています。また、今後他クラブからガバナー補佐選出時のパイオニア的存在になればと思っています。

さて、長引く景気の低迷で本来の職業奉仕に力を入れなければならないという会員が多い中、第3グループは会員の減少に歯止めがかからずクラブにおいては会長・幹事の役を何回も努めなければならない、また委員会構成も重複してならないなければならないというのが現状です。

地区方針には2009年7月1日付 純増1名(推奨)10%とあります。

毎年、このことについては各クラブ努力しておられることと思いますがロータリークラブ全体の将来のことを考えれば真剣に取り組まなければならないことのひとつだと思います。

『ロータリーって何?』とたずねられた時会員一人ひとりがすぐに答えられるよう意思を統一し会員増強に本気になって取り組もうじゃありませんか。

単クラブではできない奉仕プログラムもグループ全体の奉仕プログラムあるいは2~3クラブ合同の奉仕プログラムと捉えて活動し効果を上げることができないだろうかと思っています。是非なか実行に移せればと思います。

鈴木ガバナーは地区協議会の折に「新年度地区方針」発表とともに、日本の国の倫理観の欠如(心が病んでいる)その根本にある教育というテーマには意欲的に取り組む姿勢を語られました。

鈴木ガバナーのその姿勢に第3グループとして応えることはできないか模索してみたいと思っています。いずれにしても鈴木ガバナーの思いをいかに第3グループのロータリアンに伝えることができるか細いパイプ役で終わってしまうのか太いパイプ役に成れるのか自己啓発の年になるかと思っています。

第3グループのロータリアンのみなさん浅学非才な私にどうかご支援・ご協力をお願い致します。

そして各クラブひいては第3グループが充実した一年になりますことを祈念いたします。



心施・身施・財施のすすめ

第4グループ ガバナー補佐

藤谷 成微
(伊万里西RC)

今回、第4グループのガバナー補佐の大役をお引き受けしたものの、繁忙煩多な業務や各役職に従事している立場を甘く見、また、ロータリー歴に似合わず不勉強な己を恥じることなく……何たることかと後悔しきりの昨今です。

この一年間、ご迷惑をかけたり、恥をかいたりすることが多いと思います。

あるパストガバナーが卓話で「人生大いに恥をかけ!そのことが反省と向上につながる」といわれたことを思い出し、噛みしめながら進んで行くしかありません。

さて、今年度のRI会長李東建氏が、テーマ「夢をかたちに」と提唱されました。

今までどれだけの多くの人が夢を形にできなくて、人のせいにしたり、腹をたてたり、やけくそになったり、挫折したり、あきらめたりしてきたことでしょう。

その最たるものが天下人太閤秀吉でありましょう。

「露と落ち 露と消えにし わが身かな なにわのことも 夢のまた夢」の辞世歌が示す通り、真の因果の道理も弁えず、野望の実現を求めて突っ走った成れの果てでありましょう。

ナポレオン然り、ヒトラー然り、ボルボト然り、そして60数年前の日本の権力者達も、そうでありました。

このような大それたことではなくても、利益を夢みて起こされた偽造や偽装もそうでした。

なかには、善意でなされたこと、いのちがけでなされようとしたことでも、夢で終わったこともありましょう。

しかし今回のテーマは、今までもそうでしたが、私心を超えた、ロータリー精神に基づく、すばらしい提唱であります。

それは現に恵まれない世界の子どもたちを救う諸提案であり、それを夢に終わらせないための財団寄付の実践であります。

仏教語である布施は、サンスクリット語でダーナといい、日本語の檀那の語源であり、いろいろのものを、あまねく施すことであります。

その布施の中の財施は、財団への寄付に当たり、そのための行動は身施であります。

財施の大切なことは勿論ですが、心施という布施行為も示されております。

ガバナーの地区方針に示された「ロータリーで心を耕そう」ということは、まさに心施であり、先ずはロータリーの奉仕精神の高揚からであろうと思います。

これらの方針を、この一年間、各クラブの皆さまに鋭意お伝えし、ご協力をいただきたいと思います。

短期間に無理に押し進めるのではなく、皆さまの御理解を得るよう努力しながら、数年度に亘ってでもよいから、地道に推進し、「夢をかたちに」していかなければならないと思っています。

略 歴

1991年 嬉野ロータリークラブ入会
2002~2003年度 会長

略 歴

1985年1月18日 伊万里西ロータリークラブ入会
1993~1994年度 会長



ガバナー補佐挨拶



「今年度の抱負」

第5グループ ガバナー補佐

竹田 健介

(平戸RC)

第5グループのガバナー補佐の選出は平戸クラブからということになりました。クラブ内での協議の上、適任の諸先輩方が多くおられる中で、図らずも私が指名を受けた次第です。

私は平戸クラブに入会して、今年度でちょうど20年を迎えます。その間、先輩たちよりロータリーのことのみにならず、実にいろいろなことを学んだ感じが致します。また、前年度は地区の職業奉仕委員長まで仰せつかり、こちらでも勉強をさせられました。

浅学菲才の身にとってはまさに受難？の連続ですが、考え方を変えればありがたいことだと思っています。ある人いわく「声がかかるとは花」。本当は感謝すべきことなのかもしれません。2月の第1回ガバナー補佐会議の時でも、素晴らしい人たちとの出会いが始まりました。

さて、今年度の李東建会長のRIテーマは「夢をかたちに」であります。世界中には恵まれない子供たちが大勢います。この子供たちに将来の夢を持たせ、子供たちの「夢をかたち」にする手助けに取り組もうということです。

また、鈴木ガバナーは「ロータリーで心を耕そう」ということを提唱されています。

現代の風潮として、法に触れなければ…。手段を選ばず金を儲けて、なぜ？悪いというモラルの低い考え方が横行しています。日本人の本来持つ高潔な倫理観を取り戻さなければならないと思っているのはロータリアン諸氏の共通の思いでしょう。

本場アメリカでもロータリーの草創期には職業倫理訓として、その考えが確立され、浸透していった経緯があります。

日本のみならず、世界中のロータリアンの会員減少が気に掛かる場所ですが、一人一人のロータリアンの活動が人々から評価され、その人格が敬愛されるようであれば、会員増強にも追い風が吹くと思います。

お互いにこの道場で人間性を高め合いましょう。

第5グループの皆様方には何かとお世話をおかけしますが、1年間よろしくお願い申し上げます。

略 歴

1989年5月 平戸ロータリークラブ入会
2002～2003年度 会長



ロータリークラブの 奉仕の精神を学ぶ

第6グループ ガバナー補佐

内海 和憲

(HTB佐世保RC)

ハウステンボス佐世保ロータリーの設立と同時に入会して12年が過ぎました。

今振り返ると、各委員会の委員長、幹事そして会長を受けた時に、ロータリークラブとは……を少しだけ勉強してきましたが、改めてロータリーの歴史、ロータリー活動の目的、財団の目的等々を語りなさいと言われたら、はたしてどのくらい語れるのだろうか？ そんな私が第六グループのガバナー補佐を受けることになりました。受けたときには戸惑いもありましたが、ロータリーの原点や地区の活動を学ぶ場を与えていただいたと思っています。鈴木ガバナーの地区方針を身体にしみこませ、担当のクラブにフィードバック(この場合、各クラブ運営から学ばせていただく姿勢で望んでいきます)する事を第一の目的として行動していく所存です。

ロータリーに入会して職業奉仕という言葉と出会い、昭和32年当時罪を犯した少年達に三輪車の免許を取得させたり、37年には障害者の方々に免許取得のための教習を(民間で全国初)ボランティアで行っていた父の姿を思い出しました。企業の創業精神を受け、今の自分にどんな奉仕活動ができるか？ 企業をとおして何ができるか、資金援助で何ができるか？ 一企業・一個人としての活動では大きな事はもちろんできません。

でも、ロータリークラブという組織をとおしてであれば、バランスよい奉仕活動ができることに気づかされ、また他クラブの活動事例を、地区の会合やロータリーの友で情報を得る事などたくさん学ばせていただきました。

今回の役職をとおして、更に多くの情報と体験を学び、所属するクラブにフィードバックしていきたいと思っています。

第六グループの会員の皆様一年間ご指導よろしく御願います。

略 歴

1996年 ハウステンボス佐世保ロータリークラブ入会
2001～2002年度 幹事
2003～2004年度 会長



ガバナー補佐挨拶



「宜しく申し上げます。」

第7グループ ガバナー補佐

福谷 健吉
(大村北RC)

この度、第7グループのガバナー補佐として任命を受け、この大役に責任の重大さを痛感しております。日頃の不勉強を今さらながらに後悔しております。しかし、お引き受けしました以上、素直に・真面目に・真剣に取り組んで職責を全うしようと決意いたしました。年度当初に当たり第7グループのロータリアンはじめ皆様方のご指導ご支援を衷心よりお願い申し上げます。

2008～2009年度のRIテーマは「夢をかたちに」(Make Dreams Real)です。強調事項は ①保健と飢餓追放 ②水 ③識字率向上とここ数年のものが本年度も引き継がれています。そして李東建RI会長は毎日(!!)3万人を超す5歳未満児の死亡の問題に特に関心を寄せられています。この数字には私も驚くと共に胸が痛みました。

さて、鈴木泰彦ガバナーはRIの方針に沿った地区方針に加えて、「ロータリーで心を耕そう」と日本人の現在の心の問題に眼を向けられています。そして、いじめ、親子の殺傷、自殺者3万人の問題を具体的にあげられています。また、日本人としてのロータリーのあるべき姿にも関心を寄せられており、職業奉仕の重要性(倫理性)とクラブ奉仕(出席)の重要性、並びに次世代のリーダー養成も併せて強調されています。

鈴木ガバナーのこのような考えを良く理解し、第7グループ内の6クラブ並びにロータリアン各位との橋渡し役を努めたいと思っております。皆様のご意見にも謙虚に耳を傾けていこうと思っております。

なお、第2740地区の本年度のライラのホストクラブを私の所属クラブである大村北RC(西田猛会長)に、また第7・第8グループのIMのホストクラブを島原南RC(日向啓会長)に快く引き受けていただきました。紙面をかりてお礼申し上げますと共に、皆様のご協力ご参加をお願い申し上げます。

ロータリー大好き人間でロータリーを心から楽しんでおりますものの、はなはだ未熟で頼りないガバナー補佐でございます。各クラブの会長・幹事様はじめロータリアンの皆様的一年間のご協力を重ねてお願い申し上げます。良き出会いを楽しみにしております。

略 歴

1992年2月19日 大村北ロータリークラブ入会
2004～2005年度 会長



「これからの年間の抱負」

第8グループ ガバナー補佐

岡崎 威
(諫早多良見RC)

第8グループガバナー補佐の岡崎威(おかざきたけし)です。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

第8グループは長崎県諫早市にあり、所属するクラブが5クラブあります。諫早クラブ、諫早北クラブ、諫早西クラブ、諫早南クラブと私が所属しております諫早多良見ロータリークラブです。会員数は232名です。

今年度の国際ロータリー会長の李東建さんのテーマは「Make Dreams Real……夢をかたちに」。2740地区ガバナー鈴木泰彦さんは「ロータリーで心を耕そう」です。今回、私は年をとるにつれて夢をなくしている自分に気が付きました。今年度のテーマはそういう私に良い啓発剤となりました。小さな目標でもいい、この一年間何か夢を持って、頑張っていきたいと思えます。

ロータリーの創始者ポール・ハリスがなぜロータリーを創立したのか。その理由は、田舎から出てきて友人がおらず淋しかったため、彼は友情を求めてロータリークラブを始めたのです。

私はこのロータリークラブの原点に立ち返るべきだと思います。今年度はガバナー補佐として第8グループの5クラブへの訪問回数を多くして、各クラブの会員の方々と友達になり、会員の皆さんの意見を吸い上げ、2740地区ガバナー鈴木さんへのパイプ役に徹しようと思います。

又、5クラブの会員の皆さんが全員一堂に会して友情の輪が広がるような場を設けられればいいなと思っております。どうやら、これが私の小さな夢となりそうです。微力ながらも頑張りますのでご協力よろしくお願いいたします。

略 歴

1990年11月 諫早多良見ロータリークラブ入会
1999～2000年度 会長



ガバナー補佐挨拶



第9グループ ガバナー補佐

森 義則

(長崎RC)

地区内10グループで最年長の補佐ですが、この1年間健康管理と車の安全運転を心掛け乍ら、務めを果たしたいと思っていますので、どうぞ宜敷くお力添えの程お願い申し上げます。

補佐の任務は申す迄もなくRI会長やガバナーの意図の浸透を計ると共に、グループクラブの意向をガバナーに伝達する事が主たる役目ではありますが、私は担当6クラブの皆様と例会等を通じて楽しいロータリーライフを過せる事は、素晴らしい喜びだと思います。

鈴木ガバナーはRI会長の「夢をかたちに」を敷衍して、昨今の日本人の行為の乱れは心が病んでいる故であるとして「心を耕そう」と提唱されました。田口PGは地球温暖化に関し率先して環境問題への取組みを訴えられ、野口PGはロータリーを楽しむ中から超我的奉仕から生れるであろう分かち合いの実践を主張されました。鈴木Gは心を耕す運動の中心に諸々の教育問題をとりあげられました。

ロータリー運動の表現は夫々異なっても、その真髄は不変だと実感している次第です。

今期のスタートに当り、5～6月にかけて各クラブの会長エレクト各位とお会いして、クラブの活動計画策定段階でのご意見を拝聴致しました。今年度は前年と異り、公式訪問の前にクラブ協議会を実施致しますのでその折にご発表いただく特徴的な事項をガバナーにお伝えしたうえでガバナーが公式訪問に臨んでいただきたいと思いますと思っています。

今期の第9・10グループのIM(09年3月1日)はホストクラブである長崎RCの松本慶蔵実行委員長・松本勝大会々長のご提案で、メインテーマとして「教育再生」が掲げられておりますので、ガバナーの方針がより進化された会合になる事でしょう。

補佐としては会員増強や財団・米山等の困難な目標のお手伝いも業務なのかなと思いますが、英知に富まれた各クラブの会長・幹事の皆様のご努力により、6クラブすべて会長賞を獲得されるものと確信しています。補佐は各クラブへ年間4回の訪問が義務づけられてますが、事前に訪問致しました夫々のクラブは個性にあふれ、夫々特色をお持ちでありますので、合計24回のクラブ訪問は私のロータリー人生にとり大きな糧(今からではもう遅いかな?)となっていく事でしょう。

皆さんと共にロータリーを楽しみましょう。その中から新しい奉仕活動を育てていきましょう。どうぞ宜敷く！



第10グループ ガバナー補佐

中野 廣

(長崎中央RC)

この度、第10グループのガバナー補佐を仰せつかり、責任の重さを痛感しております。

夢にも見なかった大役であり、浅学非才の私に務まるか、心許ない限りですが、この上は会員皆様の“好意と友情”を唯一の支えとして、私なりに精一杯努めたいと思います。皆様のご協力、ご指導を切にお願い致します。

今年度のRI テーマは、「Make Dreams Real」一夢をかたちに一ですが、李東建会長はこれを具体化して、■水■保健と飢餓追放■識字率向上■ゲイツ財団の補助金と同額の寄付(3年間)■新ボリオ・プラス募金活動1億ドルへの取り組みを強調しています。

これを受けて、鈴木泰彦ガバナーは、地区方針として下記の7項目を掲げています。

- ① 会員増強(純増1名)
- ② 財団年次寄付目標 1人あたり100ドル
- ③ 米山記念奨学金年間寄付目標 1人あたり1万円
- ④ ロータリーで心を耕そう・子どものいじめ・親子の殺傷(教育)・自殺者 年間3万人
- ⑤ 四大奉仕を考えよう
 - ・職業奉仕の重要性(倫理性)
 - ・クラブ奉仕の重要性(出席)
- ⑥ 世界のロータリアン 120万人
日本のロータリアン 10万人
・RI 方針と日本のロータリー
- ⑦ ロータリーの1世紀 次へのリーダーを育てよう
 - ・世界の平和・環境問題・食糧問題

いずれも時宜にかなった、タイムリーな地区方針の提示ですが、私としては特に「ロータリーで心を耕そう！」つまりは“教育再生”の呼びかけに強い共感を覚えます。

痛ましい事件、事故の多発する今日の社会情勢に「心が痛んでいる」と心を痛める鈴木ガバナーの危機意識が、方針の根底にあると思います。この機会に学校教育だけでなく、家庭も、そして地域社会も、互いに連携を強め、スクラムを組んでの教育再生こそが、喫緊のテーマだろうと思います。

地区方針のなかで「教育再生」を例にとりましたが、こうした鈴木ガバナーの真摯な思いを汲み取り、各クラブに伝え、そして多くの会員と交流・親睦を深める。その為のパイプ役が私の役割と心得て、努力して参りたいと思います。

第10グループ会員皆様のご協力、ご指導を重ねてお願い致します。

略 歴

1985年 長崎ロータリークラブ入会
2004～2005年度 会長

略 歴

1990年6月21日 長崎中央ロータリークラブ入会
2001～2002年度 会長



文庫通信

249号

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、[ロータリー文庫]は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、38年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお待ちいたしております。

☆利用方法☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電信や書信によるお問い合わせも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

(文庫資料をご希望の場合は)

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介します。
- ・絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービスを致します、一部PDFで閲覧できます。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ビデオテープは有料でダビングを致します。

(貸 出 し)

- ・視聴覚資料(スライド・フィルム)は予約制(申し込み用紙有)で貸出し致します。

(登録資料の紹介)

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

(ご 寄 贈)

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせていただきます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



ガバナー公式訪問・クラブ協議会日程表



	クラブ名	クラブ協議会	公 式 訪 問		
			訪 問 日	例会開始時間	例 会 場
第1グループ	佐 賀	7 月 3 日(木)	7 月 17 日(木)	12:30	ホテルニューオータニ佐賀
	小 城	7 月 23 日(水)	7 月 30 日(水)	12:30	小城商工会議所 2 階ホール
	牛 津	8 月 8 日(金)	8 月 22 日(金)	12:30	「セリオ」内
	多 久	8 月 28 日(木)	9 月 11 日(木)	12:30	多久市商工会 2 階
	佐賀大和	9 月 9 日(火)	9 月 30 日(火)	18:30	ホテル龍登園
第2グループ	佐 賀 西	7 月 28 日(月)	8 月 4 日(月)	12:30	マリトピア
	佐 賀 北	8 月 6 日(水)	8 月 20 日(水)	12:30	千代田館
	佐 賀 南	9 月 9 日(火)	9 月 16 日(火)	18:30	佐賀商工会館地下 1 階
	神 埼	9 月 9 日(火)	9 月 16 日(火)	12:30	吉野ヶ里町商工会館
	佐賀空港	10 月 1 日(水)	10 月 8 日(水)	12:30	佐賀空港ターミナルビル 3 階会議室
第3グループ	有 田	7 月 22 日(火)	7 月 29 日(火)	18:30	日本料理 保名
	武 雄	7 月 14 日(月)	7 月 28 日(月)	17:00	武雄センチュリーホテル
	鹿 島	7 月 1 日(火)	7 月 8 日(火)	12:30	鹿島商工会館 3 階
	嬉 野	10 月 3 日(金)	10 月 10 日(金)	12:30	観光ホテル大正屋
	大 町	8 月 21 日(木)	9 月 10 日(水)	12:30	大町町総合福祉保健センター(美里) 2 階大広間
	白 石	9 月 3 日(水)	9 月 10 日(水)	12:30	大町町総合福祉保健センター(美里) 2 階大広間
	太 良	9 月 25 日(木)	10 月 2 日(木)	19:00	太良ロータリークラブ会館
第4グループ	唐 津	7 月 8 日(火)	7 月 15 日(火)	12:30	唐津信用金庫本店 4 階
	伊 万 里	8 月 27 日(水)	7 月 16 日(水)	12:30	伊万里玉屋 5 階
	唐 津 東	7 月 24 日(木)	7 月 31 日(木)	12:30	唐津シーサイドホテル
	唐 津 西	7 月 30 日(水)	8 月 6 日(水)	12:30	唐津商工会館 4 階 会議室
	伊 万 里 西	8 月 28 日(木)	9 月 4 日(木)	12:30	伊万里迎賓館 2 階
	唐津中央	8 月 22 日(金)	8 月 29 日(金)	12:30	唐津ロイヤルホテル
第5グループ	佐 世 保	7 月 2 日(水)	7 月 9 日(水)	12:30	佐世保玉屋 8 階文化ホール
	平 戸	7 月 17 日(木)	7 月 24 日(木)	12:30	ニュー平戸海上ホテル観月館
	佐世保西	8 月 5 日(火)	8 月 26 日(火)	12:30	ホテル万松楼「真珠の間」
	北 松 浦	7 月 29 日(火)	8 月 19 日(火)	12:30	サンパーク吉井(ソレイユ)
	松 浦	8 月 1 日(金)	8 月 8 日(金)	12:30	松浦シティホテル



	クラブ名	クラブ協議会	公 式 訪 問		
			訪 問 日	例会開始時間	例 会 場
第6グループ	佐世保南	7月25日(金)	7月11日(金)	12:30	JAながさき西海させぼホール
	佐世保東	7月31日(木)	8月7日(木)	12:30	ハウステンボスJR全日空ホテル
	佐世保北	8月11日(月)	8月18日(月)	12:30	(株)西沢本店8階カトリアホール
	佐世保中央	9月4日(木)	9月18日(木)	12:30	セントラルホテル佐世保
	佐世保東南	9月24日(水)	10月1日(水)	12:30	ハウステンボスJR全日空ホテル
	HTB佐世保	9月16日(火)	9月30日(火)	12:30	ホテルデンハーグ
第7グループ	大村	7月15日(火)	7月22日(火)	18:30	いけす寿楽
	島原	7月29日(火)	8月5日(火)	12:30	島原南風楼
	雲仙	7月5日(土)	7月12日(土)	12:30	有明ホテル
	大村北	8月27日(水)	9月3日(水)	12:30	長崎空港観光ホテル
	島原南	9月17日(水)	9月24日(水)	12:30	原城温泉「真砂」
	大村東	8月18日(月)	9月1日(月)	12:30	長崎インターナショナルホテル
第8グループ	諫早	7月11日(金)	7月18日(金)	12:30	水月楼
	諫早北	8月7日(木)	8月21日(木)	12:30	L&Lホテルセンリュウ
	諫早西	9月10日(水)	9月17日(水)	12:30	平安閣諫早サンプリエール
	諫早多良見	9月30日(火)	10月7日(火)	12:30	ホテルグランドパレス諫早
	諫早南	9月1日(月)	9月8日(月)	12:30	諫早観光ホテル道具屋
第9グループ	長崎	7月3日(木)	7月10日(木)	12:30	ホテルニュー長崎
	福江	7月18日(金)	7月25日(金)	12:30	カンパーナホテル
	長崎北東	8月20日(水)	8月27日(水)	12:30	ウェルシティ長崎(長崎厚生年金会館)
	福江中央	7月15日(火)	7月25日(金)	18:30	観光ビルはたなか
	長崎西	8月26日(火)	9月9日(火)	12:30	ホテルニュー長崎
	長崎琴海	9月11日(木)	9月25日(木)	12:30	パサージュ琴海
第10グループ	長崎北	7月7日(月)	7月14日(月)	12:30	ホテルニュー長崎
	長崎南	7月2日(水)	7月23日(水)	12:30	長崎全日空ホテルグラバーヒル
	長崎東	7月18日(金)	8月1日(金)	12:30	(株)平安閣サンプリエール
	東長崎	8月19日(火)	9月2日(火)	12:30	協同組合長崎卸センター会館2階
	長崎中央	8月11日(月)	8月25日(月)	12:30	ベストウェスタンプレミアホテル長崎
	長崎出島	8月22日(金)	9月5日(金)	18:00	ホテルニュー長崎



RI第2740地区 2008～2009年度

地区主要行事予定表

年月	強化月間	日付	ガバナー事務所	日付	地区委員会	日付	グループ・クラブ
7月		1 1 4 6 7 11～12	全国ガバナー会 ガバナー・「友」委員会合同会議 第1回 諮問委員会 R I JYEC会議 R I 会長主催会議 R 財団地域セミナー	5 13 20 20	第1回米山記念奨学地区委員会 クラブ奉仕部門研修セミナー 第1回財団奨学・学友委員会 第1回財団奨学生候補者研修会	10	第1・2G 合同例会
8月	会員増強月間	28	米山記念奨学評議員会	9～10 17	インターアクト年次大会 新世代部門セミナー		
9月	新世代月間			7 27 28	国際奉仕部門セミナー 国際青少年交換学生選考会 米山の集い	5	長崎出島RC10周年記念式典
10月	米山職業奉仕月間		第2回諮問委員会 第2回ガバナー補佐会議				
11月	R財団月間	8 14～16 20	地区ゴルフ大会 RI会長代理晩餐会・地区大会 ロータリーゾーン研究会				
12月	家族月間		第3回諮問委員会	7 7	第2回財団奨学・学友委員会 第2回財団奨学生候補者研修会		



年月	強化 月間	日付	ガバナー事務所	日付	地 区 委 員 会	日付	グループ・クラブ
1 月	R 理 解 推 進 月 間		第3回ガバナー補佐会議				
2 月	世 界 理 解 月 間			21～22	米山記念奨学生選考会 ローターアクト全国大会	15 21 28 28	第4・5・6G I M 第7・8G I M 第1・2G I M 北松浦RC 40周年記念式典
3 月	識 字 率 向 上 月 間		R I 会長賞申請 会員増強表彰申請		米山記念奨学生終了式・歓迎会	1 14	第9・10G I M 第3G I M
4 月	R 雑 誌 月 間			5 5 5	第3回財団奨学・学友委員会 第3回財団奨学生候補者研修会 財団奨学生壮行会		
5 月			第4回諮問委員会		米山記念奨学生 オリエンテーション ローターアクト年次大会		
6 月	親 睦 月 間			7	R財団国際親善奨学生選考会		



国際ロータリー第2740地区 2008～2009年度 地区組織図

ガバナー諮問委員会		
PG	逸見 嘉彦	佐世保南
PG	宮島傳兵衛	唐 津 東
PG	市瀬久米嘉	佐世保東
PG	佐古 亮尊	大 村 北
PG	牟田 勝輔	武 雄
PG	辻 洋三	佐世保南
PG	野崎 元治	長 崎
PG	草場立太郎	佐 賀 西
PG	武井 洋一	佐 世 保
PG	福井 順	長 崎 南
PG	隅田 達男	伊 万 里
PG	安部 直樹	佐 世 保
PG	栗林 英雄	諫 早 北
PG	本城 好春	唐 津
PG	田口 厚	長 崎
PG	野口 清	佐 賀

ガバナー指名委員会		
PG	逸見 嘉彦	佐世保南
PG	宮島傳兵衛	唐 津 東
PG	市瀬久米嘉	佐世保東
PG	佐古 亮尊	大 村 北
PG	牟田 勝輔	武 雄
PG	辻 洋三	佐世保南
PG	野崎 元治	長 崎
PG	草場立太郎	佐 賀 西
PG	武井 洋一	佐 世 保
PG	福井 順	長 崎 南
PG	隅田 達男	伊 万 里
PG	安部 直樹	佐 世 保
PG	栗林 英雄	諫 早 北
PG	本城 好春	唐 津
PG	田口 厚	長 崎
PG	野口 清	佐 賀
G	鈴木 泰彦	佐世保南

ガバナー・エレクト		
	高城 昭紀	島 原

地区研修リーダー		
	田口 厚	長 崎
地区拡大委員会		
	本城 好春	唐 津
	田口 厚	長 崎
	野口 清	佐 賀
ロータリーの友		
	近藤 正人	佐世保南
財務委員会		
委員長	北島 俊郎	唐 津
委 員	吉田 正和	長 崎
委 員	嬉野 勝利	佐 賀

ガバナー（R I 役員）		
	鈴木 泰彦	佐世保南
ガバナー補佐		
担当	氏 名	所 属
1	七田 秀徳	佐 賀
2	末次 義視	佐 賀 北
3	中島陽一郎	嬉 野
4	藤谷 成微	伊万里西
5	竹田 健介	平 戸
6	内海 和憲	HTB佐世保
7	福谷 健吉	大 村 北
8	岡崎 威	諫早多良見
9	森 義則	長 崎
10	中野 廣	長崎中央

地 区 委 員 会

①クラブ奉仕統括委員会		
◎	円田 昭	佐 世 保
	飯盛 康登	多 久
	織田 徳彌	佐 賀
	金武 良弘	佐 賀 南
	岩崎 泰裕	唐 津 東
	時津芽久美	唐津中央
	助村 房子	諫 早 南

会員増強委員会		
◎	飯盛 康登	多 久
	大坪 豊	佐 賀 西
	永渕 憲輔	諫 早 南
	岩永 正人	長 崎

②職業奉仕委員会		
◎	古賀 良一	佐世保南
	百武 靖之	佐 賀
	百武 裕二	松 浦
	佐古 亮景	大 村 北

③社会奉仕委員会		
◎	森 栄一郎	諫 早 北
	池田 和雄	佐 賀 北
	平岡 清宏	武 雄
	笠井 和幸	大 村
	久木元孝行	長 崎



ガバナー事務所スタッフ			
役 職	担 当	氏 名	所 属
地区幹事	総 括	馬郡 謙一	佐世保南
副 幹 事	新 世 代	富永 雅弘	佐 世 保
副 幹 事	国際奉仕	前田 和隆	佐世保東
副 幹 事	職業・社会奉仕	山本 茂雄	佐世保西
副 幹 事	月信・米山記念奨学	中島 閏二	佐世保北
副 幹 事	財団奨学・学友	田代 博之	佐世保中央
副 幹 事	クラブ奉仕	藤野 雅實	佐世保東南
副 幹 事	国際青少年交換	川崎 伸一	HTB佐世保
事務局長	事務局長	角 康隆	佐世保南
会 計 長	会 計 長	中島 洋三	佐世保南
事 務 局	事務局補佐	岩永 史城	佐世保南
事 務 局	事務局補佐	植木 義孝	佐世保南
事 務 局	事務局補佐	松尾 圭祐	佐世保南
事 務 局	事務局補佐	北村 孝輔	佐世保南
事 務 局	事務局補佐	福田 康孝	佐世保南

PETS実行委員会		
委員長	金子 卓也	佐世保南
副委員長	峯 順通	佐世保南

地区協議会実行委員会		
委員長	前田 一彦	佐世保南
副委員長	筒井 慶弘	佐世保南

地区大会実行委員会		
委員長	圓田 治	佐世保南
幹事	岡崎 公一	佐世保南
事務局長	大浦 和夫	佐世保南

(◎印は委員長)

④新世代統括委員会		
◎	岡部 景光	有 田
	田中丸治樹	伊 万 里
	大島 隆	佐 賀
	鶴田 明敏	佐世保中央
	益田 莊一	長 崎

新世代危機管理委員会		
顧 問	本城 好春	唐 津
委 員	高城 昭紀	島 原
委 員	岡部 景光	有 田
委 員	常多 勝己	長 崎 北
委 員	益田 莊一	長 崎
委 員	田中丸治樹	伊 万 里
委 員	大島 隆	佐 賀
委 員	森永 太	佐 賀 西
委 員	笠 慶宣	佐 賀 南
委 員	北郷 雅子	長崎出島
委 員	鶴田 明敏	佐世保中央
委 員	円田 昭	佐 世 保
委 員	山田 晃	長 崎 南
委 員	馬郡 謙一	佐世保南
外部委員	中島 英博	弁 護 士
外部委員	相内 啓子	外部有識者

⑤国際奉仕統括委員会		
◎	常多 勝己	長 崎 北
	森永 太	佐 賀 西
	笠 慶宣	佐 賀 南
	山田 晃	長 崎 南

ロータリー財団委員会		
◎	森永 太	佐 賀 西
	川副 幸一	佐 賀
	本村 一	佐 賀 西
	木寺 幸生	武 雄
	玉野 哲雄	佐 世 保
	石坂 和彦	大 村
	三浦 達美	長 崎 東

⑥米山記念奨学委員会		
◎	北郷 雅子	長崎出島
	堤 光昌	佐 賀
	隅 康二	佐 賀 西
	酒井田正宏	有 田
	曾我 文雄	伊万里西
	立石 徳雄	佐 世 保
	棧 護	佐世保北
	為永 伸夫	大 村 東
	中島 恒幸	諫早多良見
	大原 玉瑞	長崎北東
	高田昌一郎	長崎中央

インターアクト委員会		
◎	田中丸治樹	伊 万 里
	福田 真也	佐 賀
	福田 雅信	有 田
	平野 敦	唐 津
	坂本周一郎	島 原
	松園 隆	長崎出島

ライラ委員会		
◎	鶴田 明敏	佐世保中央
	大家 和義	小 城
	山本 規仁	松 浦
	小川 信	佐世保南
	松尾 龍彦	東 長 崎

財団奨学・学友委員会		
◎	笠 慶宣	佐 賀 南
	永田 武義	佐世保北
	有田 信一	長崎中央
	澤山 俊雄	長崎出島

G S E 委員会		
◎	山田 晃	長 崎 南
	副島真一郎	佐 賀
	船越 哲	長 崎 北

ロータリーアクト委員会		
◎	大島 隆	佐 賀
	折敷瀬三徳	鹿 島
	瀬戸 恵司	唐 津 東
	金澤 一	佐世保東
	西山 浩一	諫 早
	藤岡 良規	長 崎
	堀 啓二	長 崎 北

国際青少年交換委員会		
◎	益田 莊一	長 崎
	山本 武	大 町
	田中丸善弥	佐 世 保
	川淵 孝順	佐世保南
	戸村 正司	HTB佐世保
	浦田 直彦	大 村 北
	若杉 能将	諫早多良見
	劉 済昌	長 崎 西
	飯田 義則	東 長 崎



2008～2009年度地区関係予算書

I. 地区関係資金人頭分担金

(単位：円)

		06～07年度	07～08年度	08～09年度
(1) 地区資金会計	地区資金	6,200	6,200	5,200
	地区大会分担金	6,000	6,000	6,000
	日本事務局分担金	R 文庫協力金	300	300
		全国 G 会運営費	200	200
	特別会計分担金	G S E 分担金	500	500
		世界社会奉仕資金	360	360
	小 計	13,560	13,560	12,560
(2) G 事務所会計	G 事務所分担金	3,200	3,200	4,200
	月信費	1,900	1,900	1,900
	小 計	5,100	5,100	6,100
(3) 国際青少年交換資金会計		2,000	2,000	2,000
	合 計	20,660	20,660	20,660
	予算算定基礎会員数	2,550名	2,400名	2,400名

II. 地区資金一般会計

(単位：千円)

	06～07年度 決算	07～08年度 予算	08～09年度 予算	前年予算 対比
収入の部				
(1) 地区資金	15,125	14,880	12,480	△2,400
(2) 地区大会分担金	14,814	14,400	14,400	0
(3) 日本事務局分担金	1,220	1,200	1,200	0
(4) 特別会計分担金	2,098	2,064	2,064	0
(5) その他収入	91	0	0	0
収入合計 (A)	33,347	32,544	30,144	△2,400
支出の部				
(1) ガバナー関係費	6,349	6,420	6,420	0
	G E 国際協議会	1,200	1,200	0
	全国 G・P G 会議費	2,476	2,500	0
	地区 G・P G 会議費	1,012	1,300	0
	各種会議費	1,001	900	0
	G 記念品代	100	100	0
	渉外・広報費	560	420	0
(2) 地区活動費・補助金	17,853	17,000	17,000	0
	地区大会	14,814	14,400	0
	地区協議会	1,189	300	0
	P E T S	142	300	0
	地区チーム研修セミナー	400	300	0
	インターアクト助成金	307	600	0
	ローターアクト助成金	701	700	0
	R Y L A 助成金	301	300	0
	R 財団学友会	0	100	0
(3) G 補佐費	1,525	1,500	1,500	0
(4) 地区委員会費	2,344	3,760	3,410	△350
	クラブ奉仕	391	80	0
	出席 ※	0	70	—
	会員増強	0	60	0
	R 情報・広報 ※	0	80	—
	R 女性 ※	8	50	—
	職業奉仕	11	150	0
	社会奉仕	83	120	0
	新世代	32	80	0
	新世代危機管理委員会	—	—	50
	I A	165	450	1,250
	R A	318	350	350
	R Y L A	0	50	50
	国際青少年交換	0	1,000	0
	国際奉仕	479	80	80
	R 財団	25	400	400
	財団奨学・学友	584	360	360
	G S E	89	80	80
	米山記念奨学	160	300	300
(5) 日本事務局分担金	1,220	1,200	1,200	0
(6) 特別会計繰入金	2,298	2,264	2,264	0
(7) 予備費・その他支出	348	400	400	0
支出合計 (B)	31,937	32,544	32,194	△350
収支差額 (A) - (B)	1,410	0	△2,050	△2,050

※2008～2009年度は設置せず



Ⅲ. ガバナー事務所・月信費会計

(単位：千円)

	06～07年度 決算	07～08年度 予算	08～09年度 予算	前年予算 対比
収入の部				
G事務所分担金	7,806	7,680	10,080	2,400
月信費	4,418	4,560	4,560	0
R I 補助金	1,941	1,500	1,500	0
雑収入・その他	1,548	0	0	0
収入合計 (A)	15,715	13,740	16,140	2,400
支出の部				
公式訪問旅費	709	400	400	0
人件費	3,653	2,500	2,500	0
月信費	4,735	4,560	4,560	0
通信費	570	700	700	0
消耗品費	1,338	1,200	1,200	0
室料及び会議費	987	720	720	0
旅費交通費	721	400	400	0
G E 事務所費	3,001	3,000	5,400	2,400
直前G事務所費	0	100	100	0
予備費	0	160	160	0
支出合計 (B)	15,715	13,740	16,140	2,400
収支差額 (A) — (B)	0	0	0	0

Ⅳ. 国際青少年交換資金会計

(単位：千円)

	06～07年度 決算	07～08年度 予算	08～09年度 予算	前年予算 対比
収入の部				
国際青少年交換資金	4,879	4,800	4,800	0
地区資金助成金	0	1,000	0	△1,000
クラブ負担金	240	0	0	0
来日学生負担金	253	0	0	0
その他	1	0	0	0
収入合計 (A)	5,373	5,800	4,800	△1,000
支出の部				
学生滞在費補助	1,054	2,500	0	△2,500
学生合同旅行	926	1,100	0	△1,100
オリエンテーション費用	546	1,100	1,100	0
学生歓送迎費他	38	50	180	130
委員会費・全国委員会費	412	550	600	50
印刷費他	59	200	200	0
通信費	23	200	100	△100
事務委託費	713	—	—	—
予備費	0	100	2,620	2,520
支出合計 (B)	3,770	5,800	4,800	△1,000
収支差額 (A) — (B)	1,603	0	0	0

Ⅴ. 特別会計

(単位：千円)

	年度	期首残高	収入	支出	期末残高	備考
世界社会奉仕	06～07年決算	8,912	878	0	9,790	
	07～08年予算	9,790	864	*****	A	
	08～09年予算	A	864	*****	B	
G S E	06～07年決算	5,007	1,220	300	5,927	
	07～08年予算	5,927	1,200	*****	A	
	08～09年予算	A	1,200	*****	B	
規定 審議会	06～07年決算	400	200	600	0	規定審議会開催年度
	07～08年予算	0	200	0	200	
	08～09年予算	200	200	0	400	



報告のしおり

報告の種類	報告期日	期 限	摘 要
半期報告	前期 08年7月1日 後期 09年1月1日	RI事務所から送付された用紙を使用	RI日本事務局奉仕室
次年度会長・幹事 決定報告 (公式名簿掲載資料)	08年12月31日	RI事務所から送付された用紙を使用	RI日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ガバナーエレクト事務所
クラブ事務所通知 (変更の場合)	都度速やかに	書式自由	RI日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ロータリーの友事務所
会員の入金・退会・変更	都度速やかに	日本事務局所定の用紙を使用	RI日本事務局奉仕室 ガバナー事務所
会長・幹事変更、 例会日時・場所等	都度速やかに	書式自由	RI日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ロータリーの友事務所
クラブ月報Ⅰ	毎月8日	所定の用紙	ガバナー事務所
クラブ月報Ⅱ	毎月16日	所定の用紙	ガバナー事務所
国際大会信任状	09年4月末日	RI事務所から送付された用紙を使用 会長・幹事の署名が必要	2008～2009年度 ガバナー事務所

《報告先》

◇国際ロータリー日本事務局

〒115-0045

東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階
(奉仕室) Tel. 03-3903-3161

Fax. 03-3903-3781

(財団室) Tel. 03-3903-3192

Fax. 03-3903-3781

(経理室) Tel. 03-3903-3183

Fax. 03-3903-3781

(資料室) Tel. 03-3903-3194

Fax. 03-3903-3781

◇ガバナー会事務局

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Tel. 03-3433-6497

Fax. 03-3433-7395

govkai@orange.ocn.ne.jp

◇ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

Tel. 03-3434-6456

Fax. 03-3459-7506

◇ロータリーの友事務所

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階

Tel. 03-3436-6651

Fax. 03-3436-5956

web@rotary-no-tomo.jp(問合せ)

hensyu@rotary-no-tomo.jp(投稿)

◇財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

Tel. 03-3434-8681

Fax. 03-3578-8281

mail@rotary-yoneyama.or.jp

◇ガバナー事務所

〒857-0052

佐世保市松浦町5-13 グリーンビル205

Tel. 0956-56-3122

Fax. 0956-56-3086

ri2740@coda.ocn.ne.jp



送金のしおり

	送金資金の種類	金 額	期 限	振 込 先
人 頭 分 担 金	RI人頭分担金 前期 08年7月1日現在会員 前期 09年1月1日現在会員	(年頭US\$ 48.00) US\$ 24.00 US\$ 24.00 ※注1	08年7月1日及び 09年1月1日の会 員数を基準に7 日以内に送金手 続きを完了する	【三井住友銀行】 新宿通支店 (普)6733244 国際ロータリー 日本事務局 事務局長 大島 四郎
	中途入会会員RI人頭分担金 前期 (7/2～9/30入会者) 後期 (1/2～3/31入会者)	US\$ 11.75 US\$ 11.75	08年10月1日 09年4月1日	
	規定審議会の為の 追加人頭分担金	US\$ 1.00	08年7月1日 ※注2	
	地 区 資 金 等	地区資金	年間 6,200円(半期3,100円)	【親和銀行】 本店営業部 (普)2967041 国際ロータリー 第2740地区 2008～2009年 会計長 中島 洋三
		ロータリー文庫協力金	年間 300円(半期 150円)	
		全国ガバナー会運営費	年間 200円(半期 100円)	
		GSE分担金	年間 500円(半期 500円)	
		世界社会奉仕資金	年間 360円(半期 180円)	
		ガバナー事務所費	年間 3,200円(半期1,600円)	
		ガバナー月信購読料	年間 1,900円(半期 950円)	
		国際青少年交換資金	年間 2,000円(半期1,000円)	
寄 付 金	ロータリー財団寄付金 ※負税 個人は、200万円まで 寄付金より1万円引いた分	一括20万円以上の 年次寄付と 恒久基金寄付	随 時	【三井住友銀行】本店営業部 (普)8719834 国際ロータリー日本事務局 日本ロータリー奨学会委員会 所長 大島 四郎
		10万円以上20万円未満の 年次寄付のみ	随 時	【三菱東京UFJ銀行】赤羽駅前支店 (普)1568210 特定非営利活動法人 ロータリー日本財団 理事長 岩井 敏
		上記以外の寄付	随 時	【三菱東京UFJ銀行】本店 (普)1528228 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四郎 【三井住友銀行】本店営業部 (普)0968049 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四郎
	米山記念奨学会寄付金	〈普通寄付〉 金額×会員数(7月1日、1月1日現在)	08年7月1日 09年1月1日	【三井住友銀行】京橋支店 (普)0920373 (財)ロータリー 米山記念奨学会
		〈普通寄付〉 米山功労賞 10万円以上 準米山功労法人 5万円以上 35万円未満 米山功労法人 35万円以上	随 時	
	ザ・ロータリアン誌購読料	1部・半期分 US\$ 12.00	08年7月1日 09年1月1日	RI人頭分担金と同じ
	「ロータリーの友」購読料	1部・半期分 1,260円(消費税込)	08年7月1日 09年1月1日	【三井住友銀行】浜松町支店 (普)6326314 ロータリーの友事務所
そ の 他	文献資料代	表示価格	随 時	

※注1 規定審議の結果により変更の可能性があります。

※注2 08年7月1日の会員数を基準にRI人頭分担金と同時処理



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



国際ロータリー第2740地区 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2008-2009年度ガバナー 鈴木泰彦

●ガバナー事務所

〒857-0052 佐世保市松浦町5-13 グリーンビル205号室

TEL.0956-56-3122 FAX.0956-56-3086

E-mail : ri2740@coda.ocn.ne.jp

<http://www.d2740.org>



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2008-09年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

2008-09年度ガバナー

鈴木泰彦

“ロータリーで心を耕そう”

vol.2
2008.8.1



「佐賀城公園葉っぱウォークラリー」をしました。地域の人たちと「木のみきと葉っぱの組み合わせクイズ」や「木のつく漢字さがし」などを楽しく学習しました。(佐賀県で最初のコミュニティスクール、佐賀市立赤松小学校第4学年)
実施日：平成20年7月3日

CONTENTS

心の七訓……………	1	新世代月間にあたって……………	12
「ロータリーの友」地区委員会に出席して…	2	ハイライトよねやま101……………	13
ガバナー補佐・リレー随想……………	3	米山奨学生挨拶……………	15
委員長挨拶……………	4	高城ガバナーエレクト事務所新設のお知らせ…	21
会員増強月間にむけて……………	11	文庫通信……………	22



「心の七訓」

2008-09年度

ガバナー 鈴木 泰彦



これは、日本木材青壮年連合会で行動を共にし、OBとなって木材同友会として永年お付き合い頂いた、松山市の井上昌俊様から送って頂いたメッセージです。

彼は残念ながら木材業を廃業され、その苦い経験を礎に今、教育問題・福祉問題をテーマに講演、執筆活動をなさっています。

「ロータリーで心を耕そう」という本年度のテーマを作らせて頂いたのも「心を動かす」「心を躍らせる」ものが何かあるはずだとの思いを描いていた矢先に、何通かの中にこの「七訓」を見つけたものです。

「心」それは、掴みきれないものです。しかし、その「心」を養うものは(涙)(笑)(忍)(汗)(智)(和)(苦)であると教えて頂いたように感じます。

人の生き様は人それぞれです。各々の人生は自分で切り開いていくものだと思います。一人になってじっくりと自分の行き方を見つめ直して行く事も必要なのではないかと思います。

人は人によって教えられ、人によって育てられる。そして死ぬ時は一人です。

今を大切にロータリーの素晴らしさを見つめ直していきましょう。



「ロータリーの友」地区委員会に出席して

2740地区「ロータリーの友」地区委員

近 藤 正 人

7月1日。東京品川のホテルで開催された「ロータリーの友」地区委員会に出席しました。全国34地区の委員がそれぞれの地区ガバナーの意向を体し、熱心な討議が展開されました。私にとって青天霹靂の世界。とんでもない会議に参加したものだと思ひながらの2時間でありました。この春、鈴木ガバナーから委員就任の打診があり、「要請があれば断らないのがロータリアンの務め」だということが、先輩方の言葉として記憶に残っていました。持ち前のアバウト精神で「何とかなるだろう」と思ひお引き受けをし、半ば諦めながら会議に参加しましたが「友」の様々な内容に触れ、「友」を購読する意義を改めて知り、ロータリーの素晴らしさ、そして今まで不勉強だった自身を恥じながらこの1年間地区委員として可能性を探っていきたいと考えを新たにしました。

さて、『ロータリーの友』と言う雑誌は決して「ロータリーとは何か」ということを体系的に説明する雑誌ではありません。創刊当時は国内のロータリアンの情報交換を目的として始まり、1980年7月に『ロータリーの友』は国際ロータリーの公式地域雑誌に指定を受けました。このことによって、国内会員の情報交換、コミュニケーションという目的に、RIの情報を普及するという目的が加わりました。

これからのロータリー運動が、発展していくかいか、これはやはり『ロータリーの友』を読む人が少しでも増えることが必要であります。

後半の会議は、新任の各「地区ガバナー」と、私達「友」新任地区委員との合同会でした。新進気鋭のガバナーの皆さん方の、ロータリーに寄せる熱い思いがひしひしと私達にも伝わり、圧倒されそうな雰囲気でした。この日デビューされた我等が鈴木ガバナーも、これからの期待と責任を感じられたのか、かなり高揚された顔が印象的でした。新ガバナーの皆さん方はもとより、新しい地区委員もロータリーをこよなく愛し、更なるロータリー精神の具現化を目指そうとするその心意気に感動さえ覚えました。

これから1年間、様々な形で、会員の皆様方のご理解とご支援が必要であります。

どうぞ宜しくお願いいたします。

尚、これまで、「ロータリーの友」としてのホームページがありました。この度、ガバナー会から移管されたrotary.or.jpのドメインを使用し「ロータリー・ジャパン」としてリニューアルされました。是非アクセスして頂きたいと思ひます。





ガバナー補佐・リレー随想

第1グループガバナー補佐 七田 秀徳

いよいよ鈴木丸のスタート私自身補佐の勤めが出来るか不安はありますが、この一年精一杯努めてまいりたいと思っております。

私共のグループは公式訪問が早くしかも7月10日には鈴木泰彦ガバナーご出席のもと第一、第二グループの合同例会を行いました。

270名出席のもと盛会に開催でき、合同で開催した意義は大きかったと自負しております。友情の輪を広げようをテーマにこの会は式典をシンプルに行い懇親の時間をたっぷり取りました。

両グループの友情の輪がさらに広がったものと受け止めております。

ガバナー事務所から馬郡謙一地区幹事、角康隆事務局長が花を添えていただきました。

例会に先立ち広報活動の一環として佐賀新聞社本社と西日本新聞佐賀支局をガバナーに訪問していただき今年度の方針等を説明されました。

5月より担当クラブを訪問しましたがそれぞれにクラブの個性と特徴があり友情を深め又活動の内容について勉強させられました。

どちらのクラブも例会を楽しくとの工夫をされており特に多久RCでは委員会名と氏名が指定してありました。

一般に運営や活動が会長・幹事に負担が多

く、委員会構成はあるものの組織としての活動にかけてる哉に思われます。ややもすると自分の所属すら知らない状態にはなってはおりませんか。参考になりました。

また、環境対策の一環としてマイ箸を実践しさらに地域の割り箸を資源にと収集、活用されています。このような地道な活動こそロータリーの社会サービスではないでしょうか。

四大奉仕を中心として我々の活動は立派なことをやっておりますが市民に認知されてはおりません。今年度は『夢をかたちに』、『心を耕そう』をテーマに市民から共感を得られるような年度になればと念じております。





委員長挨拶



クラブ奉仕統括委員会委員長

円田 昭
(佐世保RC)

鈴木ガバナーの方針であります「ロータリーで心を耕そう」はまさにクラブ奉仕部門の充実を仰っておられます。クラブ奉仕はロータリー活動の中で唯一クラブ内に向かって奉仕をする部門です。クラブの充実が無ければ他の三奉仕部門は達成できないという重要な部門であり、クラブの根幹を成すものであります。例会は当然として、ロータリーの諸行事に積極的に出席する事が心を耕すことに繋がります。

また、充実した奉仕活動を的確で効果的な手法を用いた情報発信も必要でありますので、好事例等の情報を収集し地区内クラブに配信したいと考えます。

同輩であります馬郡地区幹事の頭脳的なお誘いで地区委員長を拝命いたしました。微力でなく、浅学でもなく無力無学ではございますが皆様のお力添えを賜り、夢を持って、出来ることから形に変えていきたいと考えます。

一年間努めて参りますので宜しくお願い申し上げます。

7月13日に地区クラブ奉仕部門セミナーを開催致しましたところ、地区内より多くの皆様の出席を賜り有意義な研修会とすることが出来ました。厚く御礼申し上げます。

略 歴

生年月日 1952年4月5日生
ロータリー歴 1993年1月6日佐世保ロータリークラブ入会
1999年度 幹事
2000年度 幹事
1995年 ポールハリスフェロー



会員増強委員会委員長

飯盛 康登
(多久RC)

私は、2008-09年度国際ロータリー第2740地区の会員増強委員長を拝命し、去る3月16日(日)に、愛知県名古屋市長鉄グランドホテルで開催された、全国会員増強のセミナーに、鈴木ガバナーと出席して参りました。

会員増強こそロータリーの活動強化の出発点であるのだということを、改めて深く認識いたしました次第です。

最近、ロータリーの原点が崩壊しつつあると思うのであります。

例えば、1業種1人という原則から複数に、又、パソコン上のロータリークラブを創るとか・・・。

RIは、金集め、人集めにと走りすぎて、ロータリーのロータリーたる原則が薄れてきているように思えてならないのです。

ロータリーの1番の魅力は、それぞれの業種の、最も素晴らしい人達と顔と顔を向き合わせて、いろいろな話を聞いたり、接したりできることだと思います。

ポール・ハリスによって始められたロータリーの原則を、もう1度理解をし、ロータリーの基本に返ろうよと、声を大にして言いたい。

今日の厳しい経済状況の中で、会員増強が、いかに緊急で切実な問題であるか、特に30代、40代と、女性会員の増強等について情報交換をしながら、純増1名にむけて努力をしていきたいと思ひます。

ロータリークラブのロータリアンは、お互いに親睦を深めながら、自らの職業を通して「奉仕の心」を理想として、自分達の住んでいる町、地域社会の発展や国際理解、世界平和を目指す、熱き思いの夢追い人達です。

会員増強と会員維持は、私達にとって最大の課題といっても過言ではないと確信します。

ロータリアンの皆様、頑張りましょう。

略 歴

生年月日 1941年1月30日生
ロータリー歴 1993年5月1日多久ロータリークラブ入会
1997-98年度 幹事
1999-00年度 会長
1997-98年度 ポールハリスフェロー
1999-00年度 ベネファクター



委員長挨拶



職業奉仕委員会委員長

古賀 良一
(佐世保南RC)



社会奉仕委員会委員長

森 栄一郎
(諫早北RC)

この度、職業奉仕委員会地区委員長を仰せつかりました佐世保南RC古賀でございます。

『我がクラブより鈴木ガバナーを輩出する訳だから応援せんばね』という軽い乗りで引き受けたものの、普段よりロータリー不勉強の小生が、その役目を受け、その活動にかかわる内にえらい役目を引き受けてしまった、大変な事になったと反省仕切りの毎日でした。でも、もう後の祭り、自己修練の為、研鑽の為にチャレンジしていく覚悟であります。

さて、本年2月開催のIMにて田中毅バスターガバナーが職業奉仕とは利他の心を持って他人の成功を願う事が自らが成功する秘訣である。又、事業の発展は未長く利益をもたらす顧客を確保すること。対価に把われず自己が保持する最高の技術を地域社会の人々に提供することを定義されました。『ロータリーでの職業奉仕活動って一体どういう事だろう』と悩める私にとって極めて明快で貴重なるご示唆を頂きました。私はロータリー入会前、PTAという社会教育を通じて、各地域の企業が果たさねばならない責任の重さを感じ、その地域のリーダー的存在の各事業者の方々が日本の地域社会の事を考えて頂けたら大きなパワーになれる、改革も挑めると飛びこんだロータリーの世界でもありました。

今日、日本の社会は、都市化、核家族化の進行、女性の社会参画等、価値観、社会観の激変の中、加えて少子化、環境・食料問題等々限りがありません。

毎日の様に続く様々な事件や事故等、それも家族・肉親による殺人傷害事件、誰でもよかった。殺してみたかったと胸のいたむ、背筋の寒くなる思いで一杯です。加えて建築会社の手抜き工事から有名料理店の使い廻し、食品偽装問題等々、大人社会の、しかも企業人による不祥事、不始末ばかり、日本人が古来持ち得た道徳心、倫理観はどこに置き忘れてきたのでしょうか。

一利に放りて行えば怨み多しという論語があります。

洪澤栄一が使ったスローガンに『論語と算盤』『義利合一』があります。これは公益と私益をいかに両立させるのか、社会のため、人類のためと言った公益を満足させることが「義」の意味であり、その為の教えが『論語』になると問いています。加えて栄一は「さて如何にするがこの場合に善処する方法なりやというに、利は人の性情なれば、利を謀るは当然のことなれども、自己のみに偏せず、公利を害せぬよう心掛け、道理に照らし義に従うて事を行えば他より怨まるはずなし」

「天下の本は国にあり、国の本は家にあり、家の本は身にあり」という諺がありますがロータリーにおける職業奉仕は己自身にあるという事だと確信しております。全てのものの根源は教育にあると言われますが地区方針「夢をかたちに」を実現する為、地区に発信していければと考えております。皆様方のご指導、ご協力を切にお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1944年10月23日
ロータリー歴 1993年7月佐世保南ロータリークラブ入会
ポールハリスフェロー \$4,000-

前年度はピンチヒッターで地区社会奉仕委員になり、更に今年は社会奉仕委員長を仰せつかり身の引き締まる思いです。今年は次の2点の事を取り上げます、まず教育の問題です。公立の小中学校における学級崩壊、学校崩壊が多くなっております。給食費を払えるのに払わない、または教材費を払わない、子供のいじめが多くなり、親による学校や教育委員会への抗議が増加し、いわゆるモンスターペアレント、それが原因で先生が自信をなくし精神的な病気になり、休職者から退職者まで出ています。ロータリアンの皆さんも核家族化が大変多くなり子供や嫁と話しをしたり孫と遊んだり、いわゆるふれ合いが少なくなりました。ですから学校のこと、先生のこと、友達のこと、いろんなことが解りません。しかしながら学校を正常に戻したいと願ってる人ばかりだと思います。教育現場に近い人に各ロータリークラブの例会で卓話をしてもらったらどうでしょう。そのうえで一歩踏み出す足がかりができ、ヒントが生まれればと思います。次に主要国首脳会議(洞爺湖サミット)でも地球温暖化問題が重要な焦点になっています。地区でも3年継続して提唱しております「地球温暖化防止」、今年も引き続き取り組みます。ロータリアンの皆様の暖かいご支援とご協力をお願いします。

略 歴

生年月日 1947年2月3日
ロータリー歴 1978年2月1日諫早北ロータリークラブ入会
1992-93年度 幹事
2004-05年度 会長
ポールハリスフェロー 3回
米山功労者 3回



委員長挨拶



新世代統括委員会委員長

岡部 景光
(有田RC)

2008～09年度の新世代統括委員会の委員長を賜りました。新世代統括委員会にはインターアクト、ローターアクト、ライラ、国際青少年交換の四委員会が属しておりまして、若い世代の育成を担う委員会です。

前期よりインターアクトとローターアクト両委員会の交流を進めておりまして、それをライラへの参加と、ライラ運営の一部の担当に結び付けたいと考えております。

田口ガバナーの時に「新世代危機管理委員会」が発足しまして、野口ガバナーの時から効力が始まりました。

発端は国際青少年交換留学生を犯罪から守ろうということからでしたが、同時に新世代育成プログラムに参加する、全ての新世代の安全と健康を守るなどの目的が含まれています。

新世代を取巻く環境が、我々の若かった時に比べて大きく変わって来ていますので、ロータリーで守ってやろうという趣旨です。

ローターアクトクラブが会員減少で、活力を無くして来ています。1つのロータリークラブで1つのローターアクトを提唱するのは、会員増強や助成金の負担で難しくなってきました。

複数のロータリークラブで1つのローターアクトを提唱するのを、提案しています。

ライラは「ロータリー青少年指導者セミナー」として毎年開催されていまして、今期は30回目になります。こちらにも新世代の参加者が少なくなってきました。

各クラブからの義務出席は新世代が3人ですが、長い間ゼロ出席のクラブがあります。

提唱クラブによってはローターアクト、インターアクトの会員が多くて、ライラに参加出来ない若者が多数います。そういう若者をロータリーが登録料を負担して、自クラブからの参加者としてライラに送って下さい。

ライラとは若い人達の指導力を養い、目標を決めること、意志決定をすること、お互い助け合うこと、良き市民であることなどを実業界やロータリアン、地域社会の人達から学べるセミナーなのです。

参加すれば新しい出会いがありますし、今期もどのようなライラになるのか楽しみです。

みなさんのご協力をお願いします。

インターアクトクラブは活動のほとんどを顧問の先生に委ねていますが、提唱クラブの担当委員の人は、例会に出向いて行ってロータリーの方針を伝えて下さい。

卓話をして、皆さんの豊富な経験と知識と実践を話して下さい。

国際青少年交換留学委員会は、留学希望者が少なくなりました。受入学生ホストファミリーはお世話するのが大変ですが、将来大きな成果として地域や日本に還って来ます。

皆さんと一緒に新世代の未来を育てて行きましょう。



インターアクト委員会委員長

田中丸治樹
(伊万里RC)

インターアクト委員長の任を昨年度に引き続き仰せつかりました伊万里ロータリークラブの田中丸です。

今年度のR I テーマ「夢をかたちに」また、鈴木ガバナーの地区テーマ「ロータリーで心を耕そう」を受け、新世代部門への期待が大きくなっていることを感じております。

地区インターアクト・クラブのテーマを「インターアクトを楽しもう」としました。目標を定め、目標達成に向けて一丸となって活動に取り組み、個々の活動においても目標設定して、達成度を確認してインターアクト・クラブの活性化をはかり、楽しみながら活動を盛り上げていけるようにと考えております。

夢という目標をかたちにする時、楽しみながら、みんなで少しずつ夢を大きくできれば関わった人々の心は、きっと素晴らしいものとなるでしょう。

インターアクト・クラブの三本柱である「クラブ運営」、「社会奉仕」、「国際理解」ですが、「社会奉仕」活動については、各インターアクト・クラブとも実施されておりますが、「クラブ運営」と「国際理解」については、十分とは言えない状況です。

本年度も例会訪問を実施し、「クラブ運営」について一定レベルのクラブ運営と提唱ロータリークラブとの関係構築を図りたいと考えております。各インターアクト・クラブの事情もそれぞれ違いますが、ロータリアンのかかわりが大きな役割を果たすと思います。ロータリーファミリーであるインターアクターともっと接して頂きます様お願い申し上げます。

また、「国際理解」活動が行なわれていないクラブが多く見受けられます。地区としても国際理解の支援活動を検討しており、国際交流会の実施を計画しております。内容については、今後詰めてまいります。充実したプログラムになるようにインターアクターの意見を多く取り入れてまいります。複雑化する世界情勢と多くの問題を抱えている今、世界全体が考えなければ解決には向かわないでしょう。国際人として良識ある人を一人でも多く育てる必要があるのです。

本年度も微力ではありますが務めてまいりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1944年5月9日
ロータリー歴 1990年12月11日有田ロータリークラブ入会
1995-96年度 会長
1999-00年度 幹事
1995-96年度 ポールハリスフェロー
2006-07年度 米山功労者

略 歴

生年月日 1962年10月18日
ロータリー歴 2000年11月1日伊万里ロータリークラブ入会
2004-05年度 I A地区委員
2005-06年度 I A地区委員
2006-07年度 I A地区委員長
2007-08年度 I A地区委員長



委員長挨拶



ローターアクト委員会委員長

大島 隆
(佐賀 R C)

「鈴木ガバナー年度を迎えて」

昨年度に引き続き地区ローターアクト委員長を仰せつかりました。宜しく願いいたします。今年度は2740地区ローターアクトクラブのホストのもと全国ローターアクト研修会が長崎に於いて2月に開催されます。全国からアクトメンバー、ロータリアンを含め約1,000名が参加する大会になります。昨年より地区ローターアクト代表事務局で実行委員会が組織された大会成功に向け地区内ローターアクト・クラブ一丸となって準備を進めている所です。

新世代プログラムの中核でもあるローターアクトクラブの活動は専門知識開発、指導力開発、奉仕プロジェクトの3つを基本として活動を行っています。ローターアクト一人一人にとっても重要な経験と人間的成長の場になっている事は提唱ロータリークラブそしてそれぞれの地域社会にとっても喜ばしい事ではないでしょうか。地区委員会として今年度もさらにこれらの活動が充実できるように支援をして行きたいと思います。特に全国ローターアクト研修会については2740地区ロータリークラブの皆様方の絶大なる御指導御支援をお願いいたします。

終りにローターアクト序論よりの一節を紹介して一年間頑張っていきたいと思います。

「ロータリー家族の一員としてのローターアクトとは地元のロータリークラブが提唱します。若者、つまり『新世代』は社会生活に積極的な関心を持ち、専門知識開発の機会に恵まれるべきであるというロータリーの信念の結果がローターアクトの提唱なのです。ローターアクトクラブを結成することは、ロータリークラブが地域社会で実施できる最も報い豊かな活動の一つです。ローターアクト・プログラムにより、ロータリアンは地域社会と世界社会への奉仕に関心を抱く活動的な青年男女を指導する機会に恵まれます。その代わり、ローターアクトクラブはロータリークラブに新しい活力をもたらし、奉仕の斬新なアイデアを提起し、プロジェクトの支援を増し、ロータリークラブの将来の会員を育成します。」

略 歴

生年月日 1952年12月18日
ローター歴 1996年2月 佐賀ロータリークラブ入会
2007-08年度 RA地区委員長



ライラ委員会委員長

鶴田 明敏
(佐世保中央 R C)

2008～2009年度ライラ地区委員長を仰せつかりました佐世保中央 R C の鶴田でございます。

地区組織の新世代統括委員会岡部委員長のもと、インターアクト・ローターアクト・国際青少年交換各委員会と密接な連携をとりながら、存在感のある委員会をめざしてこの一年間活動させていただきたいと思います。

本年度は丁度、ライラは30回を迎え、節目の年にあたります。

ホストをされます大村北 R C 西田会長様・会員の皆様方には何卒よろしくお願い申し上げます。

ライラについては、ライラの是非・会期・内容・出席する人集め(ローターアクト・インターアクト・青少年交換学生・米山記念学生・財団学友・一般社会人)等諸問題を含んでいます。

私見を述べさせていただければ、近年関心が希薄化してきている様な気がします。会員の慢性的な減少から、各クラブの体質・体力の変化等起因しているのでは？と思います。しかしながら、ホストをされるクラブは筆舌に尽くせない御努力・エネルギーを傾注されています。

2740地区57クラブで、特に新世代部門の委員会はロータリアンには、引き続きさらなる御指導・御援助のほどをお願い申し上げます。

尚、前年度ホストをされました小城 R C 鮎川会長様・会員の皆様、素晴らしいライラを開催されました。誌上をお借りして、おねがい申し上げます。

略 歴

生年月日 1942年7月26日
職 業 会社役員(食糧品卸売配布)
ローター歴 1990年9月 チャーターメンバー
2000-01年度 会長
2001年 米山功労者



委員長挨拶



国際青少年交換委員会委員長

益田 荘一
(長崎RC)

此の度前期の瀬戸口委員長の後任として国際青少年委員長に委嘱され、1年間この事業をお世話することになりました。

このプログラムは長崎RCの故岩永光治パストガバナーの働きにより今日の基礎が築かれました。

私自身も26年前青少年交換留学生としてアメリカ合衆国ミネソタ州セントポール市(長崎市と姉妹都市)に派遣された学生の1人です。

残念ながらここ近年、地区委員としてお手伝いを微力ながら、させて頂きましたが色んな難問が生じ委員会としても大変でした。

また、危機管理委員会が設立され新しいプログラムの基このプログラムが進行しています。ご理解のほど宜しくお願いいたします。

私見ではありますが本来国際青少年交換委員長とはアウトバウンドの学生をいかにケアすることが大切かと思っております。26年前と比べ世界情勢、学生の考え方全色々な面で変わっていて理解出来ない部分もあると思います。

皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

主な事業予定

派遣学生選考会

9月27日(土)佐世保市内

略 歴

生年月日 1962年9月25日
職 業 石田コピーセンター株式会社 代表取締役社長
ロータリー歴 2003年10月2日長崎ロータリークラブ入会



国際奉仕統括委員会委員長

常多 勝己
(長崎北RC)

この委員会は一昨年度の組織編成に伴い新たに作られた委員会ですが、特に新しい内容を持ったものではありません。国際奉仕に関するロータリー財団委員会、財団奨学・学友委員会、GSE委員会の3つの委員会の活動を円滑に行えるよう統括をすることを目的としております。

我々ロータリアンひとりひとりの中にあるであろう「何か他のひとの役に立ちたい、ニュースで見る状況はこのまま放ってはおけない」という純粋な奉仕の気持ちを大きく集約してこれを国際間の協力、親善、平和に寄与しようということがRIの国際奉仕に対する基本方針の要旨でしょう。この方針に従って各委員会と活動してゆきたいと考えております。

所属各委員会には経験豊かな委員長・委員が配置されており、彼らを中心として9月7日(日曜日)には武雄センチュリーホテルにてロータリー財団研修セミナーの開催を予定しております。そのときには各委員会の活動実績や今後の詳しい活動内容、活動方針が示されますので各クラブ関係各位の多数のご出席をお願いするしだいであります。



略 歴

生年月日 1943年6月22日
ロータリー歴 1989年6月26日 長崎北ロータリークラブ入会
1996-97年度 幹事
2001-02年度 会長
2006-07年度 ポールハリスフェロー マルチ1(2000ドル)
1997年以前 米山功労者 第3回(30万円)



委員長挨拶



ロータリー財団委員会委員長

森永 太
(佐賀西 R C)

昨年度に引き続き今年度も財団委員長を担当することになりました。よろしくお願いします。

財団に関して全く経験のなかった私にとりまして昨年度はただもう財団の勉強をさせていただいた1年であり、とてもロータリーのお役に立てたと言えるものではありませんでした。皆様の寛容な心にただ感謝申し上げるだけです。

しかしロータリー財団についての知識が深まるにつれ、私達ロータリアンの活動がそれぞれの地域でそれなりの評価を受け、ロータリーが国際的に大きく発展してきた理由は、財団プログラムの活動を通しての社会的貢献が非常に大きいということが分かってきました。言うまでもなく、それを支えているのはロータリアンの皆様からの寄付であります。ただ中には、自分達の寄付金がかかるように使われているのかよく分からないという声も聞かれますし、皆様からの浄財の使途についてできるだけ多くの情報を提供して行くのも我々財団委員の努めだと考えています。また財団にはシェア・システムがあり、私達の年次寄付の半分为3年後に地区活動資金として還元されますし、その20%を地区補助金としてさまざまな奉仕活動に使うことができます。

ぜひそれぞれのクラブでプロジェクトに活用していただきたいと思います。

ロータリー財団の提唱するのは「毎年あなたも100ドルを」です。しかしこれを実現するのはそうたやすいことではありません。

ロータリー財団のプログラムをよく理解していただくことがまずは肝要なことと考えます。どうぞ1年間、皆様のご指導とご支援をお願いいたします。

略 歴

生年月日 1947年9月10日
ロータリー歴 1987-88年度(1987年12月14日入会)
1998-99年度 幹事
1999年3月 ポールハリスフェロー
2006年6月 米山功労者
2007年6月 " (マルチプル2回)
2007-08年度 ロータリー財団地区委員長



財団奨学・学友委員会委員長

笠 慶宣
(佐賀南 R C)

当委員会は、ロータリー財団のプログラムの中で、主に教育的プログラムの国際親善奨学金についての活動を行います。

国際親善奨学金は、ロータリー財団で最も古く(1947年創設)民間レベルとしては世界最大規模の奨学金制度といわれています。

この奨学金の目的は、他国の教育機関で勉強させることによって、異なる国や地域の人々との間に理解と友好関係を推進するということにあります。従って奨学生は、留学中の勉強はもちろん国際親善使節としての役割も果たし、留学先のロータリークラブや他の団体で、英語またはその国の言葉でスピーチ等の発表をしなければなりません。また、帰国後はその体験談をロータリアン等にスピーチしなければなりません。

国際親善奨学金には、1学年度の国際親善奨学金とマルチ・イヤー国際親善奨学金といわれる学位取得を目的とする2年の奨学金とがあります。

09~10年度の奨学金の額は、1学年度が一律24,000ドル、マルチ・イヤー国際親善奨学金は、一年につき一律12,000ドルとなっています。

奨学生の選考は、当地区では書類選考のうえ6月に面接を実施し、合格者は奨学生候補者として、7月・12月・4月の年三回の研修会に、顧問ロータリアンと共に参加する義務が生じます。なお、当委員会も研修会に合わせて開催するようにしています。

また、かなり高度な語学力が求められるようになってきており、TOEFLのIBTで100点/120点が要求されています。この影響はわかりませんが、今年度奨学生の問い合わせはあったものの、奨学生候補者の申請者はいませんでした。

そこで今年度の活動ですが、1)各ロータリークラブに積極的な奨学生推薦のお願いと、本制度の理解と周知および本制度に対する問い合わせへの適切な対応のお願い、2)候補者研修会では、奨学金プログラムの理解と顧問ロータリアンや当委員会との報告・連絡・相談の重要性などについて理解を深めること、3)学友について、候補者にとって最も有益な研修となっているのが学友のアドバイスであることから、学友が研修会に参加しやすいような状況になるよう工夫し、学友との連絡がとりやすい様な手段等を整備すること、という大きく三つの項目を方針として掲げました。

10~11年度の募集が11月から始まりますが、よくよくご協力とご支援をお願いいたします。

略 歴

生年月日 1953年1月17日
ロータリー歴 1998年4月7日佐賀南ロータリークラブ入会
2008-09年度 幹事



委員長挨拶



GSE委員会委員長

山田 晃
(長崎南RC)

今年度GSE委員長を拝命いたしました、長崎南RCの山田です。まだ駆け出しの私になぜ委員長の要職に付けとの仰せがあったのかはわかりませんが、きっとこれまでのぐうたらなロータリアンに愛の鞭をいただいたものと考え、今年一年皆様にお助けいただきながらも委員長職を全ういたす所存ですのでよろしくお願いいたします。

さて、2004年10月に6290地区からのGSEチームを受け入れ翌2005年に当地区からのGSEチームを派遣してから早くも3年が過ぎました。私も受け入れ準備から派遣まで3年間GSEプログラムにかかわらせていただきましたが、専門職業人のみならず、芸術分野、医療、などさまざまな切り口の社会人を、1ヶ月に渡り財団の費用負担の下、海外に派遣することは派遣チーム員のみならず、私たちにとってもすばらしい経験ですし、受け入れ事業においてはホームステイを原則としているため、私たちだけではなく家族も異文化との交流する機会を享受することができます。このすばらしいプログラムにかかわる機会をいただいたことをとても感謝しております。

しかし残念なことに、その後は受け入れ派遣とも行われておらず、地区としての方向性を検討しつつ今年度にいたっております。当委員会におきましては、2004-2005のGSEプログラムの記憶が鮮明なうちに今後の地区としてのGSEのあり方を研究し、ガバナーに答申するとともに、GSEプログラムのすばらしさをより多くの地区内ロータリアンにお伝えしていくことが今年度の事業内容と考えております。

当地区におきましては、定期的にGSEプログラムを行う体制が確立されておらずその結果、諸先輩方は大変ご苦労されたと伺っております。しかし、6290地区におきましては世界各国とGSEチームの派遣、受け入れを毎年の手順に従いとても簡単に？行っているそうです。これはGSEプログラムを行うシステムが確立されているためにほかならず、当地区においてもシステムさえ確立できれば今迄のような苦労は半減し、定期的なGSEプログラムの実施も可能になるかもしれません。

また他方で、なぜ財団のプログラムに苦労して協力する必要があるのか、もっとほかにすべきことは山積しているのご意見も耳にします。

地区内の皆様のご意見をお聞かせいただき、2740地区のGSEプログラムのあり方を研究し、すこしでも皆様の今後のロータリー活動の一助となるべく委員会一丸となって活動を行ってまいりますので、一年間よろしくをお願いいたします。

略 歴

生年月日 1959年8月19日

ロータリー歴 2000年長崎南ロータリークラブ入会



米山記念奨学委員会委員長

北郷 雅子
(長崎出島RC)

昨年度に引き続き08~09年度も地区米山奨学委員長を委嘱されました。又10人の地区委員も継続してくださいましたので、昨年よりは、一歩前に進める年にしたいと存じます。

米山奨学委員会の運営に当たりましては、PG隅田奨学会理事、鈴木G、中島地区副幹事、とご相談しながら、地区委員会議を年間数回行ない、女性としての視点も加えながら、この事業を進めたいと思いますので、宜しくお願い致します。米山奨学事業も、昨年40年目を迎え、資料のDVDも新しくなります。

今年は学生16名(内継続4名)の奨学生の「世話クラブ」とカウンセラーの方々には「米山奨学会事業」への更なる暖かいご協力などを御願い致します。カウンセラーと意見交換の場も設け、より充実した1年にしたいと思います。

地区といたしましては、アクティブな活動として、クラブへの「奨学生出前卓話」を例年通り企画致します。9月から(10月の米山月間以外のときでも)卓話派遣を実施いたします。奨学生が勉学を続けることが出来るのも一重にロータリアンの寄付とお世話クラブでのご指導のお陰です。いろいろな機会にロータリアンと奨学生の交流の場を広げたいと思います。また、本年度も「日本文化を学ぶ会」を実施いたします。

学友(奨学生OB)もそれぞれの就職先や国で、「米山奨学生だった」というプライドを持って働いております。

今年度の米山寄付金の目標は、会員一人当たり10,000円をお願い致します。特別寄付として「クラブ創立」「大会記念」「個人ロータリアンの記念日」などのいろいろな記念日をお願いいたします。

「日本ロータリーの誇り」とも言うべき、米山奨学事業の継続と発展の為に、皆様方の暖かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1949年3月24日

職 業 (有)華工房苑土蘭 代表取締役社長

ロータリー歴 1999年1月4日長崎出島ロータリークラブ入会

2005-07年度 米山奨学地区委員

2007-08年度 米山奨学地区委員長



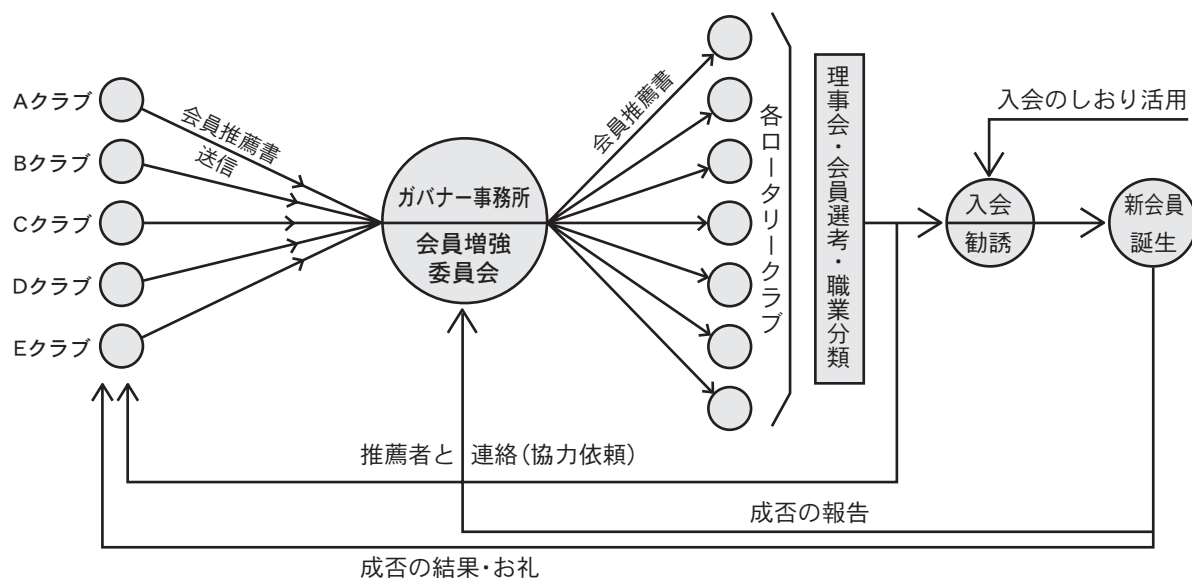
会員増強月間にむけて

会員増強委員長 飯盛 康登
(多久RC)

今期は会員増強の為のネットワーク造りを展開してまいりたいと思います。

ガバナー事務所内に会員増強委員会が中心となるネットワークキーステーションを立ち上げて全会員に他クラブの区域内に事業所・個人推薦の専用推薦書を配布し、また各会員は知人・友人等に推薦書に記入後、その都度所属クラブからガバナー事務所へFAXまたはメールで送信しガバナー事務所では該当するクラブへ推薦書を転送、紹介を受けたクラブは、職業分類等の手続完了後、推薦ロータリアンと連絡し入会への勧誘など具体的な活動を起こしながら結果をガバナー事務所、紹介クラブ、紹介者へと報告しながら新会員の誕生を図る。

ネットワークイメージ図



提案の課題

- ◎ネットワークのもたらす成果について周知徹底がどこまでできるか。
- ◎各ロータリアンへの会員増強の重要性を自覚してもらえるか。
「一人一名推薦運動」
- ◎集約された会員推薦書のフォローアップ。



新世代月間にあたって

新世代統括委員長 岡部 景光
(有田RC)

9月は「新世代の為の月間」になっております。

1996～'97年度、時のRIジアイ会長はテーマを、「築け未来を行動力と先見の眼で」とされ、未来を築くための6つのプログラムを提唱し、その中の1つに「次の世代を準備する」とうたわれております。

次の世代を担う青少年への働きかけを活発にし、未来を築く為の話し合いの場を持って、若い人達の中から出た内容をロータリーの活動に生かせないか、そして将来のロータリーの会員になるように育成出来ないかと、言われています。

この時の牟田勝輔ガバナーは、「新世代会議」を各クラブで開いて行こうとされ、この年度の地区大会でモデルとなる「新世代会議」を開き、地区内クラブにPRしました。

以後2～3年は活発に単独クラブや合同クラブで開かれ、会議報告書も発行されました。

RIジアイ会長以前までは「青少年奉仕」と言われておりまして、社会奉仕委員会の中の小委員会でしたが、この後「新世代」と呼び名が変わって来まして、社会奉仕委員会とは別になりました。

新世代委員会には、インターアクト、ローターアクト、ライラ、国際青少年交換の各委員会が属しています。今まで多くの歴代ガバナー、担当地区委員会、各クラブの会員に支えられ、延々と受け継がれて、多くの若者達が社会へ巣立って行きました。

そういう彼等の一部の人はロータリーの会員になって、「新世代」の育成に情熱を傾けています。これこそRIジアイ会長の目指したことですし、ロータリーの未来と若者達の未来を築く事業です。しかし今、ローターアクト、ライラ、国際青少年交換の各委員会は会員や参加者減少でピンチになって来ています。

4月27日の地区協議会・新世代部門で話しましたが、8月17日の新世代部門地区セミナーで各地区委員長が、再び説明します。

ご理解をいただいて、新世代の育成をお願いします。



ロータリー米山記念奨学会の最新ニュース「ハイライトよねやま」は、当会ホームページにも掲載しています。月信等にご活用ください。
ご希望があればEメールで配信します。担当者までご相談ください。HPはこちら→<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

ハイライトよねやま 101

(財)ロータリー米山記念奨学会
2008年7月14日発行

1 2007-08 年度寄付金結果 ー予算達成！ありがとうございましたー

2007-08 年度の寄付金は約 14 億 5 千万円。前年度と比べ 0.02% 増、約 30 万円の増加でした。普通寄付金が 0.91% 減、特別寄付金が 0.42% 増で、無事に予算を達成することができました。心より厚く御礼申し上げます。新年度も引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

	地区	個人平均
1	2590	29,169 円
2	2770	25,287 円
3	2650	22,445 円
4	2550	20,957 円
5	2820	20,837 円
6	2780	20,662 円

「全体では前年度とほぼ同額ではありますが、会員数が減少しているにもかかわらず、個人平均寄付額は前年度から 284 円アップし、14,904 円となりました。なお、トップは第 2590 地区【神奈川県横浜市・川崎市】が 29,169 円と、13 年間連続首位を達成されました。また、上位 6 地区は全て 2 万円以上と大変健闘していただきました。心より感謝申し上げます」(理事長 板橋 敏雄)

2 学友からの恩返しが 1000 万円を超えました

今年 6 月末時点での学友からの個人寄付が累計 1,000 万円を超えました。これまでに、32 人の学友から合計 10,769,230 円の寄付がありました。そのうちの 12 人は、国内外でロータリアンになっています。また、毎月 1 万円の寄付を続けている 田 錦鎮さんや、2 年続けて中国から 50 万円ずつ寄付してくれた 姫 軍さんなど、継続的に寄付してくれる学友もいます。昨年の 7 月で財団設立 40 周年を迎えた奨学会。巣立った学友が続々と社会で活躍し、社会貢献の心を育て、日本のロータリーへの感謝の気持ちを示してくれていることが伺えます。

3 台湾学友 16 人が米山梅吉翁の墓参に来日

台湾の米山学友会が、6 年ぶりに米山梅吉翁の墓参ツアーを企画。阮 允恭 理事長や許 国文 パストガバナーをはじめ、学友 16 人とその家族、合わせて 22 人が来日して、7 月 10 日(木)、静岡県三島市の米山梅吉記念館を訪問しました。



梅吉翁の墓前に立った一行は、声を合わせて「ありがとうございました」とお礼を述べ、深々と合掌。「6 年前にお参りしたときは雨が降っていて、米山先生がうれし涙を流しておられるのかと話していた。今日は曇り空だが、きっと私たちの訪問を喜んでくださっていると思います」と、前々理事長の許 邦福さんが墓前で思いを語りました。



その後、一行は記念館の展示室を見学し、セミナールームで和気あいあいの懇談へ。学友会を代表して、阮理事長は「今日はとても暑い日でしたが、墓前でみんなが流していたのは汗だけではなくと思います。私たちは今も感謝の気持ちでいっぱいです」とあいさつ。また、その席上、岩手・宮城内陸地震へのお見舞いとして、義援金 25 万円が当会の板橋 敏雄理事長に託されました。台湾学友会からの義援金は、新潟中越地震、新潟中越沖地震に続いてこれで 3 回目。今回の

義援金は第 2520 地区に寄付され、被災地の支援に充てられます。

笑顔で記念館を後にした一行は、中部地方を周遊し、13 日の午後、台湾への帰途に就きます。



4 外務省の招聘で米山学友が来日



外務省が主催する「平成 20 年度元日本留学者の集い」が 6 月 1 日～7 日にかけて都内で開催され、東南アジアと中国を含めた 11 カ国から元留学生 41 人が招待されました。その中の 1 人、ミャンマーに住む米山学友、ティン・エイ・エイ・コさん（1995-96／神戸大学大学院／加古川中央 R C）は、サイクロンによる被災からわずか 1 カ月にもかかわらず、元気な姿を見せてくれました。

エイ・コさんは 2001 年、同大博士課程在学中に「ティンミャンマーランゲージセンター（TMLC）」をヤンゴンに設立。現在は校長として日本語の普及に尽力しているほか、ミャンマー元日本留学生協会（MAJ A）の一員として、日本文化の紹介やスピーチコンテスト開催など、両国の懸け橋として活躍しています。

世話クラブをはじめ、姫路や尼崎など 10 クラブ以上の卓話を通して「日本語学校を設立します」という目標を伝えたところ、コピー機の提供などたくさんの支援をいただきました。普通の奨学金はお金だけですが、ロータリー米山奨学金には必ず交流があり、私自身のことや夢を理解していただけたことが本当に嬉しかったです。TMLCを「大学」にすること、それが私の今の目標です。

5 仮設住宅の住民へエール — 第 2560 地区米山学友会 —

2007 年 7 月に発生した新潟県・中越沖地震からちょうど 1 年。大きな被害を受けた柏崎市内では、今もなお約 1,000 戸の仮設住宅に 2,033 人が暮らしています。長い間不便な生活を余儀なくされて



いる住民を元気づけたいと、新潟米山学友会が 6 月 21 日、仮設住宅の一角にある集会所を訪れました。

同学友会による被災者へのボランティア活動は 2 回目【前回の活動はハイライトよねやま 74 号参照】です。今回は、12 カ国 23 人の現役奨学生と学友が手作りの母国料理を持ち寄り、母国の文化をクイズ形式などで紹介。住民たちは、珍しい料理に舌鼓を打ちながら、華やかな民族衣装を身に纏った留学生たちとリラックスした様子で談笑しました。



母国で医師をしていた現役奨学生の孫曉梅さん（中国／2008-10／新潟大学大学院／新潟西 R C）は、「どの国でも人間の苦しみは同じ。天災を前に人間は弱い存在だけれど、皆が力を合わせれば大きな力になる。頑張ろうというメッセージを贈りたくて参加した。被災者の方から“福が来るように”と、手作りのマスコットをいただき、自身が大変な時に他人の幸福を願える心に胸がいっぱいになった」と、感動を込めて話しました。

また、参加した米山委員の中村紘一氏（柏崎中央 R C）は、「奨学生も学友も生き生きとしていた。今後は地元の若者たちとの交流にも期待したい」と、語りました。

活動を企画した同学友会会長の新潟産業大学教授・詹秀娟さん（台湾／1981-83／駒澤大学大学院／横浜緑 R C）は次のように抱負を述べました。「被災者の癒しになれば…と思い計画した。79 歳の女性から“たくさんの国の留学生と話ができてとても楽しかった、温かい応援に元気が出ましたよ”と言っていて、本当に嬉しかった。今、世界各地で災害が起きており、心の支援に国境はない。日頃の感謝を込めて、今後もふれあいの気持ちを伝えていきたい」

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津・峯・大庭



米山奨学生挨拶



モウ ヒ
孟 飛
国 籍：中国
大 学：長崎大学
お世話クラブ：諫早多良見
カウンセラー：中島 恒幸

私は孟飛と申します。中国吉林省の吉林市という場所が私の出身地です。日本に来る前、私は大連水産学院の修士研究生でした。大連水産学院が2003年に長崎大学と学術及び合作の協議を結び、友好大学関係を締結しました。私はこれを機会に、水産養殖関連知識をより深く研究するため、2005年交換留学生として選ばれ、長崎大学に参りました。現在、生産科学研究科海洋生産科学専攻博士後期3年生です。

米山奨学生としての抱負は「国際人」になることです。私はグローバル化の上、親善、交流を通じた国際理解を推進する米山事業をもっと広げたいと思います。将来、水産漁業事業の発展及び人類の健康のため、貢献できると思います。また、研究の面はもちろんですが、日中友好の掛け橋になるのも、私にとってはこの上ない喜びでございます。研究者或いは教育者として、このことも自分の使命として頑張っていきたいと思います。



カン トウバイ
韓 冬梅
国 籍：中国
大 学：佐賀大学
お世話クラブ：佐賀西R C
カウンセラー：横田 楊成

私は中国からの留学生で、現在佐賀大学・大学院経済学研究科で金融・経済政策について勉強しております。私は3年前から、佐賀県中国人留学生学友会の副会長を務めながら、留学生たちに学校の勉強だけではなく、日本の文化や慣習などについても理解してもらおうと思い、様々なイベントを開催し、日本人との交流の場を提供して参りました。このような国際交流活動を通して、私もたくさんの人に経験を積む事ができました。

来日して7年間、日本人の暖かい支援と助けの下で、私は充実で悔いがない留学生活を送る事ができました。これからは自分が体験した日本文化の素晴らしさや日本人の礼儀正しさ、そしてやさしさを一人でも多くの中国人に伝えたいと思っています。大学院卒業後は、今まで勉強した事を活かして日中経済の繋ぎ役、日中友好の掛け橋役として微力ながら、精一杯自分の力を役立てたいと思っています。



米山奨学生挨拶



ゴ 呉 鳳 華

国 籍：中国
大 学：長崎純心大学
お世話クラブ：長崎東 R C
カウンセラー：迫 龍二

中国福建省泉州市から参りました呉鳳華と申します。中国の大学で専攻として2年間日本語を勉強し、2004年4月に長崎外語大学の日本語・日本文化コースの3年生に編入しました。この2年間の大学生活では、いろいろな人と出会い、積極的に日本人の先生と学生や地域の方と交流し、彼らからたくさんの日本のことを学ぶことができました。そして、日中友好交流の掛け橋になりたいと思い、通訳としてのインターンシップに参加し、若者の日中友好交流事業に力を尽くしているニイハオ倶楽部の一員となり、倶楽部の中国語勉強会の講師に招かれ、ボランティアとして部員に日常会話や中国の文化や習慣などを教えていました。

そして、大学を卒業する直前に進路を考えている際、祖父が急に倒れ、その介護が問題となっていることをきっかけとして、日本の高齢者福祉に興味を持ち、福祉分野がある大学院への進学を決意しました。それから、一年間の研究生生活を終え、現在長崎純心大学大学院人間文化研究科人間文化福祉文化研究分野修士課程2年に在籍し、長崎における華僑高齢者について研究しております。

また、この度米山奨学生に選んで頂き、私の勉強や研究を支えて頂けることに心から感謝しております。ロータリー米山記念奨学会を通して、さまざまな方と出会えてお互いに交流を深めるチャンスだと信じております。これから、人との出会いを大切に、将来日中の掛け橋になれるように頑張っていこうと決意しました。それから、研究のほうに良い結果が出せるよう努力し、積極的にボランティアに参加し、社会奉仕精神のある奨学生になりたいです。

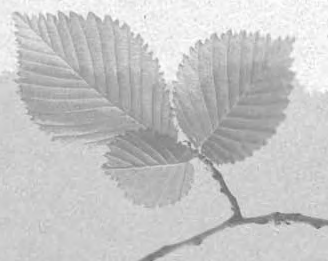


リュウ メイメイ 劉 鳴 鳴

国 籍：中国
大 学：佐賀大学
お世話クラブ：佐賀 R C
カウンセラー：岸川 正人

私たちは一つの地球社会に生活している。地球社会を美しく建設するのは、私たちの協力が必要である。国家がそれぞれ違うが、お互いに依存しなければならない。生活環境、自由貿易、食料などの問題は共同に考えるはずであろう。そして、各個人を具体的にみると、まず愛国心を持つのが大切である。愛国心とはただ自分の国がやったことは正しいと認めることではない。必ず、批判的な観点で自分の国を正視しなければならない。国の短所を引き出し、ほかの国に習い、お互いに交流するのが重要である。

私は中国の一員として、日本に留学しに来ることは文化交流をしに来ることともいえる。しかも、ロータリー米山記念奨学会からこの貴重なチャンスをもらって、必ずそれ以上の考えを行動に実現する。日本で学んだ大切な知識を中国に持ち帰り、教師として役に立つこと、地球社会の建設に力をつくすことが私の理想である。これから、この目標に向かって、もっとがんばる！





米山奨学生挨拶



ヨウ
姚

ライ
磊

国 籍：中国
大 学：長崎大学
お世話クラブ：諫早 R C
カウンセラー：堀 洋

私は中国河南省開封市の出身です。1975年に生まれて、33歳です。2001年4月に長崎に留学しに来ました。現在、長崎大学経済学研究科(2年)に在籍しております。研究のテーマは、「中国企業のグローバル化」です。私の趣味は、本を読むことです。大切だと思うことは、「人への感謝の気持ちを忘れないこと」と「一日を精一杯生きること」です。

7年間の時間は飛ぶように過ぎましたが、思い出いっぱいな充実した留学生活を送ることができたと思います。将来は私が今まで培ってきたもの全てを活かせる仕事につきたいと思っています。ですから、私は今、中国の大学講師を目指して頑張っています。卒業後中国に帰り、研究者として教育、科学の発展に貢献するだけでなく世界、特に日本と中国を結びつけるような活動に貢献していきたいと考えています。教育の力を通じて、中国青年に日本の文化を理解させたいと思っています。



ワン
王

シンシン
馨欣

国 籍：台湾
大 学：長崎総合科学大学
お世話クラブ：長崎南 R C
カウンセラー：山田 晃

私は王馨欣と申します。長崎総合科学大学建築学部3年生です。私の趣味は映画鑑賞と旅行です。私の性格は誰とでも友達になれることです。

米山奨学生になって一番嬉しい事はこの二年間でいろいろな人と交流ができさまざまな日本文化も深く理解できることです。またの機会に台湾の関係がよくなるよう少しでも貢献できればと思っています。



米山奨学生挨拶



チン レイガク
陳 禮岳
国 籍：台湾
大 学：長崎総合科学大学
お世話クラブ：長崎北東 R C
カウンセラー：森 義彦

今年度米山奨学生に採用されてまずはロータリー米山記念奨学会を感謝します。また私たち奨学生のためにあちこち走って頂いた長崎北東ロータリークラブの皆様に感謝の気持ちを申し上げます。

この頃、米山学友の群像を拝見しまして世界各地に活躍している米山学友がたくさんいました。学友たちは日本での留学経験や学んだ技術や日本の風土習慣など自分の国で自分の人生の中で活用して素晴らしい成果を作りました。それとともに国際交流の促進、日本文化なども世界中に広がっていきます。これを見て奨学生になった私も将来この雑誌に載せられる学友としてほこれのような抱負が湧いてきました。これを目指してがんばっていききたいと思っています。

現段階では精一杯自分の研究をもっと勉強してもっと深めてよい結果といいデータをだせるようにやっていききたいと思っています。



ダブリュー・エム・サナット・
ウィマラスーリヤ
W.M.SANATH WIMALASOORIYA
国 籍：スリランカ
大 学：長崎大学
お世話クラブ：長崎出島 R C
カウンセラー：松谷 和彦

私はスリランカから来たサナットです。

2003年の春、日本に来ました。最初の一年間は東京で日本語を勉強しました。その後、久留米高専機械工学科の三年生へ編入しました。高専卒業後、長崎大学機械システム工学科三年生へ編入して、現在四年生の勉強を続けています。今年、エネルギーシステム学研究室でエンジンの開発に関する研究を行うつもりです。大学卒業後は日本の企業に入社し、経験を積み重ねたいと思います。

米山奨学金を頂いて心から感謝の気持ちでいっぱいです。大学の勉強を熱心に頑張っていきたいと思っています。またロータリークラブを通して文化交流に参加して国際知識を広めたいと思っています。また母国の人達との交流に参加して、日本で学んだ技術だけでなく、日本の面白い点やスリランカと似ている点なども伝えたいと思います。そして、日本とスリランカの技術と文化交流の掛け橋になりたいと思っています。





米山奨学生挨拶



カルドゥラ デ シルバー
シャナハン ケネディ

国 籍：スリランカ
大 学：長崎国際大学
お世話クラブ：佐世保南 R C
カウンセラー：前田 一彦

私の名前はカルドゥラ デ シルバー シャナハン ケネディです。出身地はスリランカのコロomboです。26 才です。スリランカの大学に行き、日本に 2004 年の 4 月に来ました。1 年間日本語学校に通いました。それから 2005 年に長崎国際大学に入学しました。現在は国際観光学科の 4 年生である。

私は日本の生活の中でいろいろな活動をやってきました。その中で印象に残っているのはボランティア活動や国際交流活動です。

また、日本の文化も好きなので茶道を 3 年間勉強しました。それだけではなく日本語教員免許も挑戦しています。このようなことだけでなく今まで知らなかったことがたくさんあると思うのでロータリークラブの皆様にご教授いただきたいと思います。私もスリランカの文化や異文化のことや国際交流をロータリーの皆様と話をしたいと思っています。帰国後も日本とスリランカについて交流を伝えるようにいい思い出を作りたいと思います。



スポンパディ
ブンティパッサート

SOUNPHONPHAKDY BOUNTHIPPHASERT

国 籍：ラオス
大 学：長崎大学
お世話クラブ：大村東ロータリークラブ
カウンセラー：櫻井 伸一

私は、ラオス出身のスポンパディ ブンティパッサートと申します。現在、長崎大学工学部社会開発工学科の 4 年生です。

現在、土木構造学研究室に所属しており、この 1 年は橋梁構造の分野についてより技術を習得すべく深く研究していく予定で、これから先は大学院進学も目指しながら、更に勉学に励んでいきたいと考えております。

日本の大学を卒業した後は、母国ラオスに帰国し、日本で学んだことや経験したことを生かして、ラオスの人々がより良い生活ができるようなインフラ整備に尽くすことが最大の目標です。

私の米山奨学生としての抱負は、これから更に国際的に視野を広げ、ラオスと日本だけでなく色々な国の掛け橋となって、異文化の国際交流分野においても貢献したいと考えております。

今回、(財)ロータリー米山奨学会様よりバックアップをいただけることで、今後の研究生活への大きな一歩であると確信しており、心より感謝申し上げます。



米山奨学生挨拶



ガイレ ユバラス

国 籍：ネパール
大 学：佐賀大学
お世話クラブ：佐賀南 R C
カウンセラー：秀島 宣雄

現在、世界人口は急増しており、食料が必要である。しかし、作物を栽培する土地は少なく、生産性の向上が重要となる。

生産性の低下をまねく原因の一つとして作物の病気があり、多くの場合農薬が使われる。そのため、食の安全性に問題が生じている。農薬を使わずに生産性を向上させるために病気に強い品種を作ることがのぞまれる。

私は多くの人々が食べている稲の病気(紋枯病)について研究している。私は紋枯病に強い稲を作りたいので、現在さまざまな品種を交配しています。そして交配後の稲をもちいて紋枯病の抵抗性についてしらべる予定である。

このことを修士卒業後も博士課程でもつづけたい。



チャン ティ フェ

TRAN THI HUE

国 籍：ベトナム
大 学：長崎国際大学
お世話クラブ：ハウステンボス佐世保 R C
カウンセラー：太田武次郎

私は各国の文化や歴史について、強く興味を持ち、身につけたいと思っています。米山奨学生として、一生懸命日本文化や日本社会などを学び、ベトナム文化や歴史をまだベトナムの事を知らない人に紹介したいです。そのためにロータリーのクラブ活動にたくさん参加したいし、人々と交流したいです。日本とベトナムがもっと仲好しになるように掛け橋になりたいと思っています。それが現実になるために、まず日本語を一生懸命勉強し、学校の科目を収得したいと思います。卒業後はもっと日本社会を理解できるよう、日本で就職し、社会知識を高めていきたいです。



高城ガバナーエレクト事務所 新設のお知らせ

謹啓 時下 益々御清祥の御事と心よりお慶び申し上げます。

この度、下記の通りガバナーエレクト事務所を開設いたしましたのでお知らせいたします。

何卒皆様の格別の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成20年7月吉日

国際ロータリー第2740地区
ガバナーエレクト 高城 昭紀（島原RC）

記

開設日	平成20年7月1日
所在地	〒855-8550 長崎県島原市高島2丁目 島原商工会議所2階
電話番号	(0957) 61-0121
FAX番号	(0957) 61-0122
E-mail	ri2740gv-takagi@drive.ocn.ne.jp
執務時間	月曜日～金曜日 9:30～16:00 (土・日・祭日は休みます)

訂正とおわび

ガバナーズマンスリーNo.1の25ページ報告のしおりロータリー文庫の電話番号は03-3433-6456です。同じく、ロータリーの友事務所の住所は、東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル4Fです。26ページ送金のしおり米山記念奨学会寄付金下段の普通寄付は、特別寄付のまちがいでした。訂正しておわびいたします。



文庫通信

250号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より(1)

- ◎「韓国のロータリー現況」 李 東均 2008 8p
(第9回ROTARY日韓親善会議報告書)
- ◎「韓日新世代交流プログラムの昨日、今日、そして明日」 禹 鳳濟 2008 4p
(第9回ROTARY日韓親善会議報告書)
- ◎「ロータリーを支えよう—真心込めて」 四津谷仁朔 2008 6p
(絆(IV))
- ◎「世界はあなたを待っている」 関場慶博 2007 5p
(第12回ロータリー青少年交換研究会長崎会議報告書)
- ◎「価値ある増強」 井上瑛夫 2008 5p(D.2680月信)
- ◎「ロータリーの神髄」 深川純一 2008 12p(D.2680月信)
- ◎「職業宣言」 鈴木政昭 2008 2p(D.2800月信)
- ◎「2680地区2007～2008年度ロータリー財団セミナー」 松下 衛 2007 10p
(D.2680月信)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



祐徳稲荷神社



鈴木ガバナー「鹿島立ち」



右より中島陽一郎ガバナー補佐、鈴木泰彦ガバナー、迎雅瑞嗣鹿島RC会長、峰松幸弘鹿島RC幹事



国際ロータリー第2740地区 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2008-09年度ガバナー 鈴木泰彦

●ガバナー事務所

〒857-0052 佐世保市松浦町5-13 グリーンビル205号室

TEL.0956-56-3122 FAX.0956-56-3086

E-mail: ri2740@coda.ocn.ne.jp

<http://www.d2740.org>



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2008-09年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

2008-09年度ガバナー

鈴木泰彦

“ロータリーで心を耕そう”

vol. **3**
2008.9.1



佐賀平野の秋の風物詩、佐賀インターナショナルバルーンフェスタ、今年で29回目を迎えます。国内外から集まった100機を超える熱気球が天空を舞台に技を競います。それを無心に追いかける子供たち。その子供たちに明るい未来を託したい。

CONTENTS

「万事素直」鈴木泰彦ガバナー……………	1	「職業奉仕月間にあたって」……………	17
ガバナー補佐・リレー随想……………	2	米山カウンセラー研修会……………	18
クラブ奉仕研修セミナー実施報告……………	3	ハイライトよねやま102……………	19
第1回財団奨学・学友委員会及び奨学生候補者研修会報告……………	5	新入会員紹介……………	21
ガバナー公式訪問……………	6	文庫通信……………	22
「米山記念奨学月間にあたって」……………	16	地区大会のご案内……………	裏表紙



「万事素直」

2008-09年度

ガバナー 鈴木 泰彦



「2008年8月8日 中国北京でオリンピックが賑やかに開会式を迎えました。

威信をかけた中国4000年の歴史をひもどくかのごとき、セレモニーから各国選手団の入場、各国の選手団の素直な笑顔を見ていると本当に気持ちの良いものです。

すがすがしい清涼感さえ感じます。

四川の大地震、中国国内の暴動など、微塵も感じさせないセレモニーであったように思います。

テロを警戒し、軍隊までも出動したと聞いていますが、テレビから写される映像は微塵も感じさせません。

他方、明け方テレビのチャンネルを合わせると、グルジア共和国でロシアによる空爆があったよし、なんと皮肉なめぐり合わせでしょう。

人は生まれてきた時には、一生懸命母親のお乳を求め、素直に生きようとします。このまま素直な気持ちを持てたら、どんなに素晴らしい世界になるのでしょうか。

知恵がつき、知識がつき、欲がつくばかりに人々はおかしくなっていくのでしょうか。

自己主張する事も大切な事かもしれません。「自分」可愛さのあまり私利私欲に走る事もあるかもしれません。

しかしながら、「私」のまわりには家族があります。兄弟もいます。友人、知人それに商売人であれば得意先の皆様、仕入先の皆様、近隣人々すべてにお世話になる方がいます。子供がいれば、いつどんな形で親戚づきあいが始まらんとするかもしれません。

日本人として世界の人々とのかかわりも出てくる事もあるでしょう。

そういう「私」の環境は自分で確かなものとし、清く、正しく、美しくありたいものです。

「環境が人を作る」とよく言いますが、まず自分自身の環境を整える事から始める必要があるのではないのでしょうか。

そして「万事素直」な気持ちで人と接し、「万時素直」な行動をすればまわりの人々も子供達もきっと素直さを見に付けてくれるのではないのでしょうか。

素直な心で「ありがとう」と言える日本人でありたいと思います。



ガバナー補佐・リレー随想

第2グループガバナー補佐 末次 義視
(佐賀北RC)



それは去年のことでした。

「地味県」佐賀発進の、ふたつの出来事が全国に感動の嵐を巻き起こしたのです。

ひとつは佐賀北高の甲子園優勝であり、もうひとつは漫才師、島田 洋七氏の原作をテレビ映像化した「佐賀のがばいばあちゃん」の高視聴率獲得でした。

昨年の夏は、ことのほか暑かったのですが、より暑くしてくれたのが高校生。

7月28日、「この夏 佐賀に君色の風が吹く」をメインテーマに掲げ、皇太子殿下をお迎えして始まった全国高校総合体育大会(高校総体)はかつてない盛りあがりを見せて成功裡に終了。その余韻が治まらない8月22日、あの奇跡と感動の瞬間が訪れたのです。

ちょうどその頃、私は岡山東港から小豆島へ向かうフェリー船中でテレビ観戦をしていたのですが決勝戦、佐賀北高のまさか、まさかの逆転優勝が展開されたのですから、もう、舞い上がってしまいました。

県立の普通高、それも県内屈指の進学校で練習環境も、部員の資質にも恵まれているとは言えないなかで、猛練習と鍛錬に耐えてついに全国4,081校の頂点に立った泥だらけのユニフォーム姿で校歌を歌う部員達の姿には鳥肌が立つほどの感動を覚えたものです。

港で、街中で、多くの方に「佐賀はすごいね」とおほめの言葉を数多くいただきました。

小さな県ながら平成6年の佐賀商業に続

く甲子園優勝、共に県立高校だったことも誇りです。

特待生問題などで揺れた高校野球界の不祥事に、さわやかな印象を与えて優勝を勝ち取ったことが全国の高校球児にどれだけの勇気を与えたことか。

ひとりひとりが自分の持分を精一杯果たすことで全国の頂点に立てることを実証して見せたのですから。

そして「佐賀のがばいばあちゃん」。昨年の正月4日、フジテレビ系列のゴールデンタイムで2時間ワイドの放送は関東地区で19.20%、関西地区で21.0%の高視聴率を叩き出し、他局を圧倒したのです。

あのみんなが貧しかった時代、貧しさに負けず明るく、機知に富んだ生活ぶりが佐賀市や武雄市内でのロケを交えて笑い涙のドラマに仕上がっていました。有り余る物質社会の中で忘れかけている人と人とのつながりや、ひたむきな姿には教えられることが多かったとして視聴者に受け入れられたのではないのでしょうか。

このふたつの出来事から、我が身の日頃の行動に思いを至らせる時、ともすれば楽に傾きがちな日常を反省し、見直す絶好の機会を与えてもらったのではないかと思う次第です。

今年も色んな角度から佐賀を大いに売り出していこうではありませんか。

我々自身の、そして地域活性化のためにも。



クラブ奉仕研修セミナー実施報告

クラブ奉仕統括委員長 円田 昭



開会の挨拶をされる鈴木泰彦ガバナー

新年度がスタートしたばかりの7月13日午後1時より佐世保玉屋7階文化ホールにて地区内56クラブの会長・クラブ奉仕担当者及び地区関係者130余名が出席し開催いたしました。

冒頭 鈴木ガバナーより、本年度の地区テーマ「ロータリーで心を耕そう」はク

ラブ奉仕の充実に他ならない、うまく耕すことができればクラブが抱えている問題は解決できる。とのご挨拶を戴きセミナーに入っていました。

最初のセミナーは福田金治(佐世保RC) 2003-04年度地区幹事より忘れがちなロータリーの基礎知識」という題目で、品



格を備えた格調高いロータリークラブである為にクラブ会長・役員として最低限知っておかなければならない基礎的知識の資料が配布され説明が行われました。

第二部は安部パストガバナーによる含蓄ある20分間の講師紹介を戴き、木村勝彦長崎国際大学教授による「宗教からみる奉仕の心」の講話を賜り、宗教による奉仕の価値観、施しと奉仕の違いなどを学ばせていただきました。

また飯盛康登(多久RC)地区会員増強委員長からは本年度目標である純増一名を達成していただくよう出席者をお願いがあり、最後に圓田 治(佐世保南RC)地区大会実行委員長から地区大会の概要説明があり、登録・出席の要請がなされました。

今回のセミナーでは4月に開催された地区協議会のクラブ奉仕部門会議にてグ

ループ討議や意見発表を行っていたので聴講形式で行いました。

準備不足による手違い等ありましたが皆様のご協力により無事に終了することが出来ました。

多数の皆様にご出席いただき誠にありがとうございました。

クラブ奉仕部門の充実、すなわちクラブの充実の源は「出席」にあると考えセミナー会場の壇上には佐世保RC1965-66年度犬塚皆春15代会長の筆による額を飾らせていただきました。



出席という美しき友愛を

我クラブの長老のひとり、犬塚皆春先生がものされた句で、書かれた文字も先生の筆である。
縦60cm、横40cmの額縁に納めて、毎週の例会日には会場の壁に掲げている。
出席のたびごとにこの額がと文字だけは眼にとまらずにはいない。あたたかく、尊く深い、人間愛が、善意にみちて、おどかに、やわらかく、素直に、うきでている感じ。
筆で大きく書かれた文字の形もなかなか趣が深い。 38.5

(佐世保RC30周年記念誌より抜粋)



第1回 財団奨学・学友委員会及び 奨学生候補者研修会報告

財団奨学・学友委員会委員長 笠 慶宣（佐賀南R C）

さる7月20日（日）、第一回委員会を開催いたしました。真夏のなか、鈴木ガバナーはじめ、田代副幹事、常多国際奉仕統括委員長、森永ロータリー財団委員長、03-04学友戸上真由子さん、06-07学友谷川晋一君、07-08奨学生古井陽子さん、堀田彰子さん、福永洋介君、そして委員会のメンバーに出席していただきました。特に学友は遠路のところを、また奨学生は出発直前にも拘らず出席していただき、当地区の財団学友・奨学生の優秀さに改めて感じ入ったしだいです。

今年度は、奨学生候補者がいないという異例の年となり、委員会活動のみとなりましたが、学友や奨学生そして鈴木ガバナーはじめ当委員会のメンバーの間で、活発かつ有意義な意見交換が行われ、3時間という委員会の時間が短く感じられるほどでした。以下に当日の委員会の概略を報告いたします。

1. 広報と選考について

1) インターネットの活用

インターネットで検索する学生は多いが、「ロータリー」では検索しづらい。

2) 学友の活用

学友のクチコミ効果は大きいものがある。
学友を活用すること。

3) 大学等へ

大学（院）、特に外国語担当教授等をはじめ、大学院で認知されること。留学担当課に複数のパンフを置くこと。

4) TOEFLについて

i B T100/120は、かなり厳しいレベルであること。

2. 候補者研修会について

1) 顧問ロータリアンとの繋がりを築くことができ、学友の体験談等具体的な話を聞くことができ、心強さと安心感を持つこと。

2) ロータリーや奨学金の使命について、理解するのに役立つこと。

3. 学友会の組織化について

1) ロータリーがもっと学友をバックアップしなければ、組織化は難しいこと。

2) 当委員会が事務局として、学友のお世話をすること。

2010-11年度の募集が12月から始まりませんが、よろしくご協力とご支援をお願いいたします。



ガバナー公式訪問

鹿島ロータリークラブ

会長：迎 雅嗣
幹事：峰松 幸弘

今年度も、鈴木ガバナー公式訪問を祐徳稲荷神社(鍋島宮司は当クラブの副会長)の参拝で鹿島立ちしていただき、ありがたく思っております。

一番目の訪問となると報告書づくりも急ぐことになりましたが、会員の協力によりスムーズに準備することが出来、ありがたく思っております。

当クラブでは、今年度の方針の1番に会員純増2名を目標としたところ、鈴木ガバナー訪問時に2名の新会員が誕生し、ガバナーにバッチを着けていただきました。幸先よい会員増強となり目標が達成されました。方針の2番にロータリアンとしてロータリー知識を学ぼうとしております。これはガバナーのテーマである「ロータリーで心を耕そう」につながるもので、青少年教育へもかかわっていきたいと思っております。早速8月には、鹿島実業高等学校就職模擬面接を予定しており、2月には鹿島市少年剣道大会への協賛も計画しています。

会員相互の親睦を深めることも大事だと思っています。観月会での川柳大会や家族旅行、家族新年宴会等、家族参加による親睦を呼びかけ会員家族のロータリーに対する理解も高めていきたいと思います。

今年は、「あの人がいる、あんな人がいる、私も会員になろう」と思われるように、「夢をかたちに」するために頑張りたいと思っております。

鈴木ガバナー、中島ガバナー補佐のご指導のもと、目標達成に努力いたします。

鈴木ガバナーにも、この1年間健康に留意され重責を終えられることをお祈り申し上げます。

1番目のガバナー公式訪問、誠にありがとうございました。



佐世保ロータリークラブ

会長：遠田 公夫
幹事：木村 公康

7月9日、鈴木泰彦ガバナー、竹田健介ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開きました。就任されたばかりの鈴木ガバナーが、公式訪問のスタートを切られ県内では初回という光栄を、わがクラブが賜ったことになります。

例会出席者の盛大な拍手の中で到着された鈴木ガバナーらは、だれもがご存じの、あの独特の穏やかな表情でクラブメンバーから握手などで激励を受けられました。例会議事もスムーズに終わり、最後に鈴木ガバナーが登壇、「RIテーマと地区運営方針」のテーマで、公式訪問の第一声を上げられました。

この中で鈴木ガバナーは「夢をかたちに」とのRIテーマを踏まえ、地区テーマとして掲げられた「ロータリーで心を耕そう」の趣旨を丁寧に説明。自殺者の増加や義務と責任の混同、規範意識の欠如など、現代社会が抱える問題点を挙げられながら、「自分自身のためにも興味をもって喜んで参加してほしい」と呼びかけられました。

また夜は佐世保市内8クラブ合同の激励会もあり、当クラブとしても意義深い一日となりました。





ガバナー公式訪問

長崎ロータリークラブ

会長：松本 勝
幹事：安達 健蔵

7月10日(木)鈴木泰彦ガバナー、森義則ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事をお迎えして公式訪問が開催されました。それに先立って役員懇談会が行われましたが、今年度はクラブ協議会実施後の公式訪問となっていたので、ガバナーへは当クラブの現況、計画を説明報告するには前週に行ったクラブアッセンブリーにも言及して行いました。ガバナーからは、国際ロータリーのこと、ロータリー財団のこと等、ご教示いただき、日本は日本人らしいロータリーというものも考えてもいいのではないかと率直なご意見もお聞きし、有益でありました。

例会での卓話は、まず自己紹介で始まり、スポーツ少年であられたことからなごやかにお話いただき、ロータリーとのかかわり、そしてガバナーの国際協議会への出席や、RI 会長 D.K. Lee の会員増強キャンペーン出席のこと等をお話いただきました。RI 会長方針である「夢をかたちに」にまさに、相呼応する様なガバナーのテーマ「ロータリーで心を耕そう」は、今、日本で頻発する事件、事故を思えば、まさに至言だと言えます。「ロータリーで心を耕そう」は職業奉仕、教育再生に通じ、これをテーマに選ばれた熱い思いが強く共感を覚えました。我々は、これに沿って何らかの成果を挙げるように活動をしなくてはと思います、来年3月1日のIMのテーマにもこれらのことをとりあげて行う予定であります。ガバナーは公式訪問が始まったばかりでこれからの長い道程が大変と思いますが、くれぐれも健康に留意されて、ご活躍して頂きたいと思います。

最後に1956年RI 会長ロバートテーラーの直筆の「四つのテスト」(複写額装)を来訪記念としてお贈りさせて頂きました。



佐世保南ロータリークラブ

会長：國崎 忠臣
幹事：峯 順通

私共、佐世保南ロータリークラブは1958年創立で51周年目をスタートしたばかりです。昨年、50周年記念誌を発刊し改めて歴史を再認識したところであります。

現在、会員数78名、名誉会員4名の陣容です。

親睦と友情を深め、充実したクラブ運営に努めております。

7月11日(金)鈴木ガバナー・馬郡地区幹事、内海ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を行いました。

鈴木ガバナーのホームクラブではありますが、新年度が始まり二回目で公式訪問例会を受けました。運営等で不手際があったのではないかと考えております。

本年度RI 会長・李東建氏は「夢をかたちに」のテーマを示されました。鈴木ガバナーは、地区の方針に加えて「ロータリーで心を耕そう」、特に日本人の心の問題に目を向けておられます。職業奉仕(倫理性)クラブ奉仕(出席)の重要性、並びに次世代のリーダー養成を強調されました。

現在の当クラブとしましては、11月15・16日の地区大会に向けて圓田治大会委員長のもと日々準備を重ねているところです。

地区大会では、地区内会長の皆様には大変お世話様になることと思いますが、多数の御参加をよろしくお願い致します。





ガバナー公式訪問

雲仙ロータリークラブ

会長：一ノ瀬幸敏
幹事：林田 政晋

去る7月12日(土)、鈴木泰彦ガバナーはじめ、第7グループ補佐福谷健吉君、地区幹事馬郡謙一君、ガバナー事務所事務局長角 康隆君、事務局補佐松尾圭祐君、以上5名の方にお出で頂き、公式訪問例会を行いました。

当日は、既に梅雨も明け、大変いい天気に恵まれました。5名の方には、暑い中、遠路佐世保からお出でくださいまして、大変お疲れ様でした。また、鈴木ガバナーには

30分の卓話をいただきました。その中で今、日本人の大人も子供も心が病んでいる。これをどうにかせんといかんという気持ちが伝わりました。「ロータリーで心を耕そう」鈴木ガバナーのスローガンを雲仙クラブも基本方針として「四つのテスト」、「ロータリーソング」、「ロータリーの友」これ等を再認識して「真のロータリーの友達をつくろう」と本年度のテーマに掲げました。会員減少の中、26名の会員が一丸となって、一年間精進していこうと決意しているところでございます。

よろしくご指導の程をお願いいたします。



長崎北ロータリークラブ

会長：崎永 剛
幹事：内田 一

7月14日(月)例会場ホテルニュー長崎にて今期第2回例会に鈴木ガバナーをお迎えしてガバナー公式訪問例会が行われました。

例会に先立ち午前11時より、鈴木ガバナー、中野ガバナー補佐、馬郡地区幹事と、当クラブ会長、幹事、副幹事との懇談会が開催され、当クラブの概況、活動内容の現状報告などの意見交換をさせて頂きました。今期のガバナー方針のひとつ、教育を考え直すというテーマのもと、5クラブ共催の少年剣道選手権大会や当クラブ独自の剣道寒稽古に関心を示され、また、女性会員入会の事例など、RIの情報やRIについてのお考えやご意見も色々聞かせて頂き、最後に前期の会員増強7名に対して称賛のお言葉を頂き、懇談会は終了致しました。

例会では、ガバナーご自身の自己紹介からRIテーマ「夢をかたちに」、地区のテーマ「ロータリーで心を耕そう」、「かわりゆくロータリー」とお話を頂き実のある例会でした。

今期は「楽しい例会作り」で会員増強5名を目標に掲げロータリー活動を行って、鈴木ガバナーと共に、意味は違いますが「夢をかたちに」して行きたいと思います。





ガバナー公式訪問

唐津ロータリークラブ

会長：宮崎 邦夫
幹事：小林 哲

7月15日(火)鈴木泰彦ガバナーの訪問を受け、当クラブ会長幹事、クラブ奉仕委員長との面談があり、クラブの現状をご説明致しました。

1. 当クラブの問題点

- (イ) 会員増強が困難である。
- (ロ) クラブの財政が固定的費用に当てられて活動費が不足していること。
- (ハ) 出席率については91.6%平均以上をキープしていること。
- (ニ) ロータリー財団寄付額は一人あたり78ドル

米山奨学会寄付額は一人あたり8,269円

2008-09年度の活動費についてはR I 会長のテーマ「夢をかたちに」と地区ガバナーのテーマ「ロータリーで心を耕そう」を指針に職業奉仕を通じ実践することを会員それぞれ確めました。

問題点(イ)(ロ)については、炉辺会合にて協議し結論を得ることが出来ました。

ガバナーより女性会員の勧誘について問われましたが、当分の間現状を維持し、しかるべき段階で検討するように回答しました。

ガバナーには、今日における世界の会員減少傾向のお話でしたが、我が国自体この問題を危惧すべきで、ここで女性会員の参加が問われるものと考えます。



伊万里ロータリークラブ

会長：田中丸紘一郎
幹事：重田 勲

7月16日(水)、今年度ガバナー鈴木泰彦君が、馬郡謙一地区幹事を伴って当クラブを訪問されました。ガバナー補佐は、第4グループ藤谷成徹君(伊万里西RC)で、三人揃っての訪問に最初緊張感もありましたが、鈴木ガバナーのお人柄か、すぐに和気藹々の中で懇談を始めました。会員増強などのご指摘があり、今年度一年間クラブ内をまとめていく上で、大変参考になりました。

懇談会の後、出席会員との恒例の記念写真撮影に共に写って頂きました。

いよいよ例会点鐘、滞りなく報告等が終わり、鈴木ガバナーの卓話の時間となりました。まず、ご自分の紹介では、「人は一人では生きていけない。人に育てられて、助けられてきたことを実感している。一期一会の繋がりを大切にしたい。」と述べられ、次に今年度のR I テーマ、地区の指針について述べられました。「世界中で一日3万人の子供たちが死んでいる現状で、今ロータリーが求められているものは、子供たちを何とかして守っていくこと。これから先、子供たちに夢を持たせるためにも、忍耐、我慢が必要不可欠である。新世代を担うインターアクト、ローターアクト活動を広めていくことで、時代のリーダーを育てることが今後ますます大事になってくる。」と述べられました。

当クラブでも、「市内青少年剣道大会」「伊万里観光いろはかるた大会」を開催し、新世代を担う子供たちを支援する活動を行っています。





ガバナー公式訪問

佐賀ロータリークラブ

会長：上村 春甫
幹事：山下 雄司

セミのにぎやかな声とまぶしい夏の日差しの中 7月17日(木)、鈴木泰彦ガバナー、七田秀徳ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事、角 康隆事務局長をお迎えして公式訪問例会が開催されました。

1週間前の7月10日(木)には、当クラブがホストで第1・第2グループ10RC合同例会を開催し、鈴木ガバナーには2週続けておいで頂き、会員一同歓迎と感謝の気持ちでいっぱいでした。

例会に先立ち、役員懇談会を行いました。野口直前ガバナーにも参加して頂き、クラブの概況を中心にグループ・地区・国際ロータリーの話までひろがり、特に、国際青少年交換プログラムや新世代(インターアクト、ローターアクト)の話題で盛り上がりしました。

例会では、幸いにも鈴木ガバナーより新入会員横山秀行君にバッチを付けて頂き、更に、追加推薦しました地区ロータリー財団委員高尾正明君に委嘱状を渡して頂きました。

その後、鈴木ガバナーは、ユーモアを交えて青春時代の話から始められRI会長方針そして「ロータリーで心を耕そう」の地区テーマのもと、ロータリーのすばらしさや存在意義そして我々が今何をすべきか、判り易く熱く語って頂きました。

まさに本年度クラブテーマである「ロータリーを学ぼう」に合致したガバナーのお話しでした。

鈴木ガバナー、ありがとうございました。



諫早ロータリークラブ

会長：藤本 俊春
幹事：小林 靖明

7月18日(金)に鈴木泰彦ガバナー、岡崎 威ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事をお迎えし、公式訪問例会が開催されました。

当日は、鈴木ガバナーのお人柄を表わすように、開会2時間前には例会場に到着され、入念な事前の打ち合わせ、そしてその後、諫早クラブの会長、会長エレクト、幹事を交えての懇談会が行われました。

例会時の卓話には、ご自信の若かり

し頃のユーモアあふれるエピソードのお話に続き、現在の日本の教育問題や、青少年問題を通して考える、家族きずなの絆や人間、ロータリアンとしてのあり方など、心に残る貴重なご講演をいただき、会員一同、ロータリーへの思いを強く抱いた例会となりました。

ガバナーにおかれましては、今後ともお体に十分ご留意なされてご活躍されますことをお祈りいたしております。





ガバナー公式訪問

大村ロータリークラブ

会長：江口 照年
幹事：益田 智行

7月22日にガバナー公式訪問例会を開催。鈴木ガバナー・福谷ガバナー補佐・馬郡地区幹事をお迎えし、事前の懇談会に臨みました。鈴木ガバナーの穏やかな顔と優しい語り口に、私共の緊張もほぐれ和やかな懇談が出来ました。

現在の会員数は51名ですが、当日は44名の出席。夜の例会としては珍しく95.65%の実質出席率となりました。

鈴木ガバナーの静かな口調でお話しされる一つひとつの言葉を聞き逃さないように、全員が物音も立てず聞き入る様子を見てすぐ感動を致しました。

訪問例会終了後は鈴木ガバナーを囲んでの懇親会を開催し、楽しいひとときを過ごさせていただきました。四つのテスト“好意と友情を深める”実践ができたようです。

残暑厳しい中での公式訪問。鈴木ガバナー・馬郡幹事のご健康と今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。お忙しい中でのご訪問、誠に有難うございました。一年間ご指導のほど宜しくお願い致します。



長崎南ロータリークラブ

会長：瀬戸口智彦
幹事：高江洲一雄

7月23日、鈴木ガバナー、中野ガバナー補佐、馬郡地区幹事、角事務局長をお迎えしての公式訪問例会を開催しました。例会に先立って行われた懇談会では、活動計画書に基づき、クラブの概要と課題(例会出席率向上など)、並びに活動方針(会員の委員会兼務・複数委員会の協同活動・他クラブとの協同事業などによるシナジー効果の発揮など)を説明しました。その後、和やかな雰囲気の中、地区補助金申請の問題点、単年度事業と継続事業の長短、青少年交換留学の課題、ポリオプラス取組等々、実に1時間半の長時間に亘って御指導頂いた。

例会でのガバナー卓話では、昨今の日本の世相に言及され、少なくとも我々ロータリアンが、より良い明日を担う若いリーダーたちを育てなければいけない。それが「ロータリーで心を耕す」ということだとのお話は、懇談会での「長崎県中学ラグビー大会」開催の奉仕事業に対するコメント『これはガバナー方針(青少年の育成、地域振興)に沿った取り組みだ。是非、地区方針の具現化の実践例としてやり上げて欲しい』という激励の言葉を改めて思い起こさせ、決めた事を確実にやっていく決意を新たにした次第であります。今後のご指導をよろしくお願い致します。





ガバナー公式訪問

平戸ロータリークラブ

会長：磯田 幸男
幹事：小田 計吾

7月24日、第2740地区 鈴木ガバナー一行4名の公式訪問をいただきました。
例会に先立ち懇談会の中において当方から質問を聞いていただきました。

- 1、職業分類について
－それぞれのRCの地域性に合わせて良い。
- 2、鈴木ガバナーのロータリー魅力感について
－人との出会い。
- 3、女性会員の入会について
－二人同時に入会させるのもいいのではないか。

ガバナーから以下の伝達がありました。

- 1、ロータリーゾーンの変化
- 2、購読料の決算について
- 3、危機管理と保険
- 4、地区大会の内容と参加の要望
- 5、青少年交換について
- 6、米山奨学生卓話派遣について



点鐘に引き続き例会となり、一連の報告がなされ最後に鈴木ガバナーに卓話を頂きました。

高校生時代は平戸に同級生がいたことで当地に縁が深かったようです。大学生時代、スポーツに没頭したというガバナーに人間味を感じました。

お父様が53歳で他界、当時26歳だった。そのとき社長就任、以後自分をさらけ出し、一期一会を旨とし出会いの大切さを人生の糧とされてきました。

更に、RIの役員として、RI会長の念いを発表され、会長の念いを実現するには、会員増強が子供たちを救うことになる。

「ロータリーで心を耕そう」にふれ、教育の大事さ、愛国心、郷土愛、規範意識、倫理観を持つことの大切さを述べ、次代に向けてどうして行くかがロータリーのテーマで、そのプログラムを実践していく次代のリーダーを育てる使命がある。また、米山奨学生の中国人に日本との関係を期待すると述べられました。

最後に日本のロータリーは自己研鑽し倫理観をもって職業奉仕してどうかと申され卓話を閉じました。

この卓話にロータリアンの心は卓話者と一体となり拍手喝采を持って点鐘となった。

福江ロータリークラブ

会長：吉田 泰之
幹事：中村 栄治

7月1日より福江ロータリークラブの45周年目が始まりました。

その節目の年に会長という大役をおおせつかり大変光栄に思う反面本当に一年間やっていけるかという不安と心配でのスタートでした。

7月の第3週には、森義則ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会をどうにか無事に終了したのもつかの間、翌週には、鈴木泰彦ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問例会、会長として一年間で一番緊張した一日でした。

朝の空港へのお迎え、会場へついでにの事前打ち合わせ、そして公式訪問と何を聞き、何を話したのか覚えてないのが正直な所です。

何か失礼がありましたらお許し頂きたいと思います。

記念写真を一緒に撮っていただき、夜の懇親会の時間までが少しほっとした時間でした。

次の日には一緒にゴルフをして頂き最初のティーショットでは、独特の円月殺法みたいなスイングでナイスショットでした。また機会がありましたら、一緒にラウンドしたいと思います。大変楽しい2日間でした。

どうか健康に留意され一年間を無事終わられます事をお祈りいたします。





ガバナー公式訪問

福江中央ロータリークラブ

会長：浦 繁郎
幹事：山下 恒善

7月25日、当クラブを訪問していただきましたが、私は事前の打ち合わせから例会終了まで軽度の緊張感のためか、あまり食事の味がしなかったようです。鈴木ガバナーの卓話は、御自分の体験を交えながら地区方針についてわかりやすく説明していただいたので、会員の皆さんの感想は「ガバナーの話はすっと入り込めてわかりやすかった」というものが多かったようです。(ヨイショではありません)

終了後は福江クラブと合同でガバナーを囲んでの懇親会が開かれ、当クラブからは副会長、会長エレクト、幹事が参加し、大いに飲みかつ話しましたが、

鈴木ガバナー以下、森ガバナー補佐、馬郡幹事、角事務局長、北村事務局員の皆さんが楽しいお酒を飲まれる方々ばかりで、私が少し残念だったのは、当クラブが誇る(?)「日本酒一気飲み隊」が同席していなかったことです。

翌26日は歓迎ゴルフで、私はガバナーと一緒にラウンドでしたが、一進一退の攻防で楽しいゴルフでした。

今回の公式訪問を終えて、勝手な感想ではありますが、ガバナー以下5名の方々と心から交流できたような気がしています。クラブ会員皆で「心を耕す一年」になるよう努めたいと思います。公式訪問本当にご苦労様でした。



武雄ロータリークラブ

会長：久保 康俊
幹事：井上 俊正

去る7月28日、鈴木泰彦ガバナー、中島陽一郎第3グループガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事、角 康隆事務局長をお迎えしての例会を武雄センチュリーホテルで開催しました。

例会前の会長、幹事、会長エレクトとの懇談会、夕方5時から6時まで例会、6時半からガバナー御一行との懇親会と大変長時間にわたりお疲れ様でございました。

例会では鈴木ガバナーより卓話を頂きましたが、日本人の心が病んでいるのではない

か、私たちに出来る事はないのだろうかと呼びかけられました。まさに現在、私たちを取り巻く大きな問題があります。宮崎の知事さんではないですが、どげんかせんといかんという思いを皆が持たれたと思います。

懇親会では当クラブ芸能同好会 武雄ロータリー雑技団のコーラスや夢芝居の踊りで心ばかりの歓迎をいたしました、鈴木ガバナーにもカラオケをお願いしたところ、快く歌って頂き大変なごやかな雰囲気のおかげで親睦を深めることができました。会員の皆様のご協力有り難うございました。

最後に、2740地区の発展と鈴木ガバナーのご活躍をお祈りいたします。





ガバナー公式訪問

有田ロータリークラブ

会長：池田 人昭
幹事：横岳 保雄

ご一行のご到着を今か、今かと、会員が店主をしております料亭保名で、7月29日(火)、お待ちしておりますところ、仲居さんが「お見えになりました。」の声で、反射的に鏡台の前でネクタイを直し、顔が幾分火照るのを感じながら駐車場の方へお出迎えに参りました。鈴木ガバナー、中島ガバナー補佐、馬郡地区幹事の皆様が、穏やかな表情で車から降りて歩いて来られるのを拝し、ほっと致しました。一連の行事が終了し、鈴木ガバナーの卓話の時間でございましたが、私共は過日の地区協議会でのお話を拝聴致しておりましたので、大変興味を持ってお聞きしました。昨今の教育行政に触れられ、余りの為体(ていたらく)を危惧され、そのことに因って必然的に起こるであろう混乱を思うと、暗澹たる思いをしておりますとのお話で有りましたが、会員一同、異口同音にうんうんと頷くばかりでございました。又ご自身の経歴の中で、お若い時から今日までの一代記を、自然体でご紹介戴きましたが、我が身の肩の力を抜けないもどかしさを思いますと爽やかな気分で聞かせて頂きました。

願わくば、今回の公式訪問を、有田RCの更なる飛躍の原点と位置付け、奉仕の精神を忘れず力を尽くしますので、諸事ご指導下さいます様お願い申し上げます。

今夏は、天変地異の最たるが如く、異常気象が続いておりますが、どうか健康に留意され変わらぬご活躍を祈念申し上げますと共に、秋口には又お会い出来る日を楽しみにしております。



小城ロータリークラブ

会長：服巻 芳史
幹事：大家 和義

7月30日に、鈴木泰彦ガバナー、七田秀徳ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事をお迎えし、公式訪問が実施されました。会長、幹事、会長エレクトとの懇談会から引き続きクラブ協議会に至る迄、適切な御指導を頂き緊張感も少なく和やかな雰囲気ですることができました。

中でも、クラブ幹事、SAA役務について詳しく説明していただき感謝致します。

当クラブは、1965年設立し、現在27名の会員、内名誉会員1名・女性会員2名であり、近年、会員増強・退会防止には苦慮しているところであります。また、会員増強が会員一人ひとりの責任であることを忘れずに10%の会員増を目標に頑張っていきたいと思っております。

今年度の地区方針をベースに親睦活動と社会奉仕活動の計画と実践に向かって会員全体が取り組むよう努力いたします。

(主要目標)

- ※ 各部門における行事計画への積極的計画
- ※ 会員増強・退会防止への積極的取り組み
- ※ 同じ理想、目標を共存する他団体との交流
- ※ ロータリー財団への貢献

私どもロータリアンは、43年の歴史あるクラブに「品位と秩序」を保ちつつ、RI会長の、目標である、子どもたちの『夢をかたちに！』するのと一緒に、会員一人ひとりが自分の『夢をかたちに！』を目標に、「明るく楽しく愉快な」例会運営に務めて参ります。





ガバナー公式訪問

唐津東ロータリークラブ

会長：吉田 正鋼
幹事：佐伯 岳歩

例年にない厳しい炎暑の中、去る7月31日、鈴木泰彦ガバナーほか藤谷成微ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事、角 康隆事務局長のご訪問を受けました。

まず7名での事前懇談ではご挨拶を受けた後、当クラブの概要を述べました。創立44周年を迎え、会員数は男性に限って現在51名、例会への出席率は90%をキープしています。なお、我がクラブのモットーは「親睦と融和」でありまして例会を楽しんで開いています。

本日の例会には、訪問者が出席下さいまして、20分に亘ってガバナーの卓話を拝聴しました。その要旨は、RI会長は「夢をかたちに」とされました。開発途上国、紛争国では、多くの子供は飢餓に命を落としていること。また、わが職業奉仕を果たすべく、自らの仕事の質を高め倫理ある行動をとるべきところ、不祥事が続発し不安をもたらしています。これらの根本には、教育という大きなテーマがあることです。教育は知識・知恵だけでなく道徳・倫理のすべてが教育の原点だと思っておられることでした。教育は学びと生活を通して自立する力を養っていくことが、家庭や地域の力を取り戻していくことを思い、大きく啓発されましたことに感謝いたします。



長崎東ロータリークラブ

会長：松尾 豊明
幹事：大田 義弘

2008年8月1日(金)サンプリエール4階例会場

猛暑が続くなか鈴木ガバナー・中野ガバナー補佐・馬郡地区幹事をお迎えしての公式訪問例会が開催されました。先立ちまして会長・会長エレクトとの懇談会が開かれ今期のRIの流れ2740地区の会員増強の状況等のお話がありました。

地区協議会ははじめ、数回の地区セミナー・勉強会にて把握は出来ていますが改めてガバナーより直に説明を頂くとより使命感が高まりました。ポリオプラスが再び必要になっていることもその1つです。

ガバナー卓話ではプライベート部分ではガバナーの人間味を感じ、RIを踏まえた地区の代表者としての部分では使命感を感じました。ロータリーの組織は地区においてはガバナーを中心にクラブ会長をはじめ各委員に至るまで役割を持っていますが何と言ってもガバナー役が一番重いものだと思います。

鈴木ガバナーの大変さを少しでも感じ取った今私も当クラブも頑張らなくてはと思いました。

又、すでに何度も訪問下さっている中野ガバナー補佐そして馬郡地区幹事ありがとうございました。

長崎東ロータリークラブ会員一同公式訪問に感謝申しあげ良きクラブライフを送りたいと思います。





「米山記念奨学月間にあたって」

…未来の親善大使を育て、世界の平和に貢献するために。

米山記念奨学委員会委員長 北郷 雅子（長崎出島 R C）

米山奨学事業は昨年（2007年）7月に財団設立40周年をむかえましたが、2004年11月の R I 理事会で、日本のロータリアンによる多地区合同活動の奉仕であると正式に認められました。

全国のロータリアンから支援していただいている事業だけに公明正大であることを常に念頭におき、理事会（第2740地区は隅田理事）・評議委員会（ガバナー、ガバナーエレクト）・地区米山奨学委員会などの意見を聞き、オープンな事業です。

また、学生が地域の中に住んでいて、米山奨学事業として目に見えやすいし、しかも精神的なものも多く含んでいるという、国際理解を深めるための交流が日常の中で得られるすばらしい制度です。

米山奨学会は、外国人留学生に対する民間の奨学金制度支援団体としては日本で一番大きな団体で、日本のロータリアンが誇りにしてしかるべき事業です。その成果は数字で表すことは出来ませんが、優秀な留学生が日本で学び、民と民との交流をはぐくむことで、いずれ必ず国際平和に貢献するはずです。来日して初めて日本を見直す学生も多いですし、ロータリアン自身も意義のある奉仕であると同時に国際理解を深める点で日本全体としても大きな役割を果たしている活動といえます。

第2740地区では、今年16名（内継続4名）の奨学生をお世話していただいています。

月に一回、奨学金を受け取るだけの縁ではなく、世話クラブの会員全体が奨学生を心から迎えて、激励したり、クラブの行事に呼んだり、お世話クラブ以外のクラブへも卓話などを通して触れ合う機会を作ることが一番の広報になると思います。

米山奨学事業は、ロータリアンからの寄付で活動しているわけですので、皆様の普通寄付、特別寄付を本年度も目標額一人1万円、近づくようお願いいたします。

2007年度（2007年7月～2008年6月）

普通寄付金	特別寄付金	合 計	一人当たり平均寄付額
¥7,836,400	¥14,486,829	¥22,323,229	¥9,336

いろいろな記念日[クラブ創立記念日][地区大会記念寄付]や[個人のロータリアンの記念日]などに特別寄付をお願いいたします。

ガバナーからのメールマガジン、ホームページで、「ハイライトよねやま」がご覧頂けます。「ロータリーの友」の「よねやまだより」もご覧下さい。

また、地区大会では奨学生ともっと身近に感じていただけるような企画をされているようですので、お楽しみに。最後に、皆様の更なる暖かいご支援をお願い申し上げます。



「職業奉仕月間にあたって」

職業奉仕委員会地区委員長 古賀 良一（佐世保南R C）

ロータリーの綱領に

第一、奉仕の機会として知り合いを広めること

第二、事業および専門職務の道德的水準を高める事。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。

第三、ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。

第四、奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

ロータリー退会予備軍であった私が職業奉仕委員会のとんでもない地区委員に選出され、マンスリー執筆の依頼があつて始めて目に触れた綱領でした。会員の皆様には充分周知の事で申し訳ありませんでしたが、あえてここにあげさせていただきました。そして今まで私自身の何とまあ勉強不足に愕然とするばかりでもありました。

人生しかり事業もしかり壁に当たれば『基本に返れ』というシナリオもある様ですが……。

「天下の本は国にあり、国の本は家にあり、家の本は身にあり」と委員長就任挨拶で述べましたが、問題は正に己自身にあったという事でした。

今、日本社会は食品の偽装問題、使い回し問題等々限りがありませんし、又、その明るい兆しも一向に見えません。

反面、品格や品性を問う多数の本が店頭に溢れベストセラーになっているのも事実、まだまだ日本社会の正常化への道が残されているものと確信するものです。

四つの綱領が実現出来、四つのテストが実践出来るのであれば、今、課題の会員増強・退会防止もそう難しい事ではない様な気がしてなりません。

地区方針 2008-09 年度 R I テーマ「夢をかたち」を実現させる為に 2740 地区鈴木ガバナーが目指される「道德教育、倫理教育全てのものの根源は教育にあり」を指針に

一、地域社会にあって自らの事業を見つめ直す事。

一、地域社会にあってトップとしての自己研鑽に努める事。

一、地域で責任や役割を果たす事の出来る社員を育てる事。

以上の様な取り組みが少しでも前進出来ればと願うものです。



米山カウンセラー研修会

米山記念奨学委員会委員長 北郷 雅子

米山カウンセラーとは

※米山カウンセラー・ハンドブックと奨学生ハンドブックを参照願います。

カウンセラーの役割 Q1

カウンセラー・ハンドブック P. 9

- 1) ロータリーの奉仕の精神を伝え、平和の貢献の担い手であることを伝える。
- 2) 奨学生の相談に応ずるなど個人的ケアに当たる。
- 3) 奨学生が出来るだけ多くの会員と交流を深める機会を作る橋渡し役。
- 4) 大学生活では体験できない人物・文化交流・地域活動参加への機会を作る。

カウンセラーの心得 Q2

カウンセラー・ハンドブック P. 10

- 1) 話しやすく、相談しやすい関係を築く。
- 2) 相手への関心を深め正しい日本語で話す。
- 3) プライバシーの保護に留意する。
- 4) 生活習慣の違いなどを認識する。
- 5) 相談されたことで、期待を抱かせる曖昧な答えはしない。
- 6) 相談されたことで出来ないことは“NO”と言う。

カウンセリングの基本とは Q20

カウンセラー・ハンドブック P. 12

- ・全て援助するのではなく、自立を促す。
- ・守備範囲を超える問題は専門家に任せる。
- ・相手の立場になり、自分の尺度で判断しない。

奨学生は国籍・言葉・宗教・習慣などがカウンセラーとは異なる文化を持っていることを踏まえてください。大切なことは、聞き上手になることです。

★奨学生には「して良い事と悪いこと、けじめなど」をはっきり伝えてください。
カウンセラーやある一部のメンバーは許せることも、ほかのメンバーからはマイナスイメージで取られていることもありますので、特に、言葉使いなどを、教えてください。

世話クラブとカウンセラーに お願いしたいこと

●世話クラブとカウンセラーの協力が不可欠です

奨学生の義務を守らせるように指導してください。
指導教員との連絡・コミュニケーションも出来るだけお願いいたします。

★例会出席

◎奨学生を最低月一回例会の時に招いて、メンバーとの交流を図ってください。

◎例会出席の際は、学生らしいきちんとした服装で参加するようにアドバイスをお願いします。
カウンセラーハンドブックの後半[奨学生ハンドブックP. 22]に事例が載っています。

※ジーンズ以外の服装ということ伝えてください。(事務局員から伝えるのも良いです。)

◎奨学生には例会開始30分前には会場に出向かせて、受付の手伝いや、ロータリアンとの交流を図らせてください。メンバーには少なくとも、本年度の奨学生はどここの国・どこの大学だけでも、覚えてほしいです。

◎卓話

奨学生に3～5分程度のミニ卓話をさせて、発表させることで、日本語でのコミュニケーション力をアップさせてください。
※他クラブへの卓話の内容なども、相談にのってください。

◎奨学生に奨学金を渡す時は、「選ばれた奨学生」という意識を持たせるために、皆の前で渡してください。

◎クラブ内のロータリアンと話せるように、席を工夫してください。

★奨学生レポート

◎奨学生の義務として、9月と3月の報告書(奨学生レポート)を期限内に提出させるように催促してください。

◎カウンセラーが所見を書く必要があるために、早めの提出をさせてください。

★ロータリーの地区の行事に参加させてください。

◎いろいろな米山奨学会のイベントや、地区の行事などに奨学生の参加を必要とされる場合は、奨学生は奨学金をもらっている以上いかなる理由があっても、出席する義務があります。

◎ロータリアンの立場と、奨学生の立場は違うことを理解させ、もし、参加すべき会合にロータリアンが欠席で、代理の人も立てれない場合は、奨学生一人でも、参加させてください。
その時の参加する交通費などは、市内であれば、奨学生に払う必要はありません。

遠方の場合は……誰か車などで一緒に行けるかどうか、他クラブに聞か、地区委員、あるいは北郷の方に問い合わせてください。

地区委員のほうで、どうにか交通のことは解決できるようにしたいと思います。

★出前卓話の奨学生の交通手段についても、上記と同じです。

離島の場合は、旅費は(宿泊が必要であれば)、クラブ手配で、請求を、地区委員会までお願いします。



ロータリー米山記念奨学会の最新ニュース「ハイライトよねやま」は、当会ホームページにも掲載しています。月信等にご活用ください。
ご希望があればEメールで配信します。担当者までご相談ください。HPはこちら→<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

ハイライトよねやま 102

(財)ロータリー米山記念奨学会
2008年8月13日発行

1 寄付金速報 — 今年度も好調なスタート! —

2008-09年度が始まって1カ月が経過しました。7月の寄付金は約2億2千万円で、前年度に比べて1.4%増、約3百万円の増加です。普通寄付金が2.0%増、特別寄付金が0.2%減と、普通寄付金の納入が良好な滑り出しとなりました。

今年度の予算目標額は、前年度と同じ**14億5千万円**です。今後も、日本のロータリアンが誇りとする米山記念奨学事業発展のため、ご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

2 もうすぐ募集開始! — 2009学年度の指定校が決定 —

2009年4月採用の奨学生を推薦してもらう指定校が、各地区米山記念奨学委員会からの報告により決定しました。指定校は全国で432校(前年度408校)です。

大学・大学院以外を対象とする「地区奨励奨学金」を導入したのは7地区11校で、6校が初めて指定校に選ばれました。

また、学校が推薦者を選考する際の「選考の目安」を提示した地区は25地区で、「1カ国の割合は〇%以下に」といった「国籍割合への配慮」を望む声が21地区、「日本語運用能力」を求める地区が16地区と多く挙げられました。このほか、できるだけ多くの奨学生を支援するため、奨学期間が1年間となる「最終学年在籍者」を望む地区が、昨年度の8地区から10地区に増加しました。

地区奨励奨学金の指定校一覧(2009学年度)	
2500	帯広大谷短期大学 釧路短期大学
2550	アジア学院
2650	敦賀学園短期大学
2660	JASSO 大阪日本語教育センター 滋慶学園
2680	神戸 YMCA 日本語学校 PHD 協会
2710	広島 YMCA 国際ビジネス専門学校 福山 YMCA 国際ビジネス専門学校
2720	有明工業高等専門学校 ※地区を越えた指定校



今後のスケジュール

8月15日…… 当会HPに指定校・募集要項公開 <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

10月15日…… 申し込み締め切り

(米山記念奨学会事務局で書類チェック後、申込書類を各地区へ発送)

12月～1月末・各地区選考試験実施、決定順に合格発表

3 お待たせしました! 今年も『豆辞典』を発行します

昨年リニューアルし、好評をいただいている『ロータリー米山記念奨学事業豆辞典』を今年も発行します。

持ち運びに便利なポケットサイズの『豆辞典』は、奨学会の歴史や財政、いただいた寄付金の使途、表彰制度や米山学友の情報など、“よねやま”を理解するための基本情報がすべて掲載されています。10月の米山月間資料として、全クラブに会員数分送付しますので、ぜひご覧ください。



※『豆辞典』を含めた米山月間資料は、9月中～下旬に
全ロータリークラブへ送付します



4 ホームカミング制度の申請状況

成長した米山学友が社会で羽ばたく姿を見ることは、ロータリアンの醍醐味といえましょう。今年度からスタートした「米山学友ホームカミング制度」は、この醍醐味をロータリアンの皆さまへ確実に届けることのできるプログラムです。※制度の概要や申請書は当会HPをご参照ください

本制度は、海外で活躍する米山学友を各地区年間1名日本に招待し、彼らの業績や日本留学を振り返っての思いを地区大会などで披露し旧交を温めていただくものです。8月現在、7地区から申請を受けています。まだ検討していない地区も、ぜひ本制度をご活用ください。

●8月現在、招待が決定している米山学友（申請順）

地区	学友氏名(敬称略)	国籍	現在の活躍
2710	劉曉梅	中国	「日中両国の福祉分野」で活躍
2620	キャンサーン・スパンニー	タイ	ウボンラチャタニ・ラジャバット大学で工学部教授として活躍
2730	宋仁徳	中国	青海省で「草地生産と生態保護の両立」を研究
2500	肖寧	中国	四川省疾病対策センター副所長。四川大地震の際に中国政府の要請を受け、被災地に駆けつけた
2590	張蕾	中国	大連海事大学の日本語学副教授として活躍。日本語能力検定1級合格率9割の実績をもつ
2770	林錫杰	台湾	(財)食品工業研究所生物資源センター研究員として活躍
2750	李賢起	韓国	日本語研究者としてNHKハングル講座やKBSテレビ日本語講師などで長年日韓学術交流を進め、平成18年、日本政府から旭日章を受章

5 あなた方のように生きていきたい！ — 奨学生からのメッセージ —

ロータリー米山記念奨学会では、奨学生・学友の誕生日にお祝いのEメールを送っています。毎日、受け取った奨学生・学友たちからのお礼と近況報告のメールがたくさん届きます。今回は、その中の一人、第2700地区の米山記念奨学生、金善さん（中国／九州国際大学大学院／小倉西RC）からのメッセージを紹介します。金さんは、市立図書館の国際交流イベントに参加して感じたことなどを報告してくれました。



子どもたちとの交流を楽しむ金善さん(中央)

ができればいいと思います。米山奨学生として、毎月1、2回、小倉西ロータリークラブの例会に参加します。参加しているうちに、このように思うようになりました。私もあなた方のように生きていきたい！と。私はロータリークラブの皆様を心から尊敬しています」

「図書館のイベントを通じて感じたことは、“国籍・民族は違って、みんなの思いは同じ”ということです。外国の遊びを日本人の子供たちに紹介したら、みんな素直に受け止めてくれて、とても楽しそうに参加してくれました。子供たちの天真爛漫な様子をみて、思わず私も笑みがこぼれました。その一方で、戦争で家や家族を失い、学校に行けなくなった子供たちはどんな思いで生活しているのかと胸が痛みました。私たちの今の生活がどれほどありがたいか、考えさせられたひと時でした。私もロータリークラブの皆様のように、他人の役に立つこと

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津・峯・大庭



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀RC
横山 秀行 君



佐賀RC
山田 修 君



佐賀RC
谷口 隆雄 君



鹿島RC
中島 弘道 君



鹿島RC
田中 五男 君



鹿島RC
平川 英彦 君



嬉野RC
田中 和磨 君



伊万里RC
中原 英嗣 君



唐津中央RC
増田 俊也 君



佐世保南RC
川崎 満博 君



佐世保南RC
木村 通夫 君



HTB佐世保RC
小川 郁子 君



大村北RC
和田 恵晶 君



長崎北東RC
西岡 克之 君



長崎南RC
藤内 哲夫 君



長崎南RC
宮本 勝彦 君



長崎南RC
平 敏孝 君



東長崎RC
藤本 勝己 君



長崎出島RC
関 浩成 君





文庫通信

251号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より(2)

- ◎「ロータリーの理想」 ビチャイ・ラタクル 2008 6p
(D.2580地区大会記録)
- ◎「ロータリーの向うべき道(シンポジウム)」 小沢一彦(モデレーター)
2008 23p (D.2780地区大会報告書)
- ◎「職業奉仕の重要性について(2008年国際協議会リポート)」 渡辺好政
2008 2p (D.2690月信)
- ◎「ロータリーの綱領」 鈴木政昭 2008 2p (D.2800月信)
- ◎「決議23-34の徹底的解析」 田中 毅 2008 8p
(D.2510地区大会記録)
- ◎「決議34号」 鈴木政昭 2008 3p (D.2800月信)
- ◎「増強はクラブとロータリアンの強化が唯一の方法 それは新会員の意識を
高めることから出発する」 服部芳樹 2008 5p (D.2510地区大会記録)
- ◎「今だからこそ問う ロータリーとは何か」 深川純一 2008 8p
(D.2830地区大会記録誌)
- ◎「ロータリーを生きる」 佐古亮尊 2008 13p (D.2830地区大会記録誌)
- ◎「CLPとロータリー」 神崎正陳 2007 6p (D.2500地区大会報告書)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



2008-09年度 国際ロータリー第2740地区

地区大会のご案内

『ロータリーで心を耕そう』～道徳で心を育てよう～



夢との出会い

2008-09年度
ガバナー 鈴木泰彦

未来の世界 未来の日本 未来の郷土。
人間一人一人のなせるものは ほんのわずかな事だけで
しかありません。

人は皆一人で生まれ 一人で死んで行きます。

人の寿命は誰にもわかりません。

美しい郷土に生まれ 社会に育てられ 人に育てられた
私達は 今、この世に生かされています。

私達は この恵を未来に向かって引き継いで行く使命がある
のではないかと思います。

ロータリーでの多くの仲間との出会いで倫理感を養い、
友情を育み、情熱をかためてきた私達が次へ残せるものは、
ニューリーダーを育て、子供達の夢を叶えてあげられるよう
な世界を作ってあげる事ではないかと思います。

食糧問題、環境問題、資源問題 どれをとっても世界中の
問題です。世界は一つ、すべての国が分かち合える地球でな
ければならないと思います。

ロータリーの目指す世界平和への願いは、一つ一つの小さな
心にあります。

心豊かなロータリアンが一人でも多くいれば夢は必ず実現
していくものだと思います。

地区大会では新世代の子供達と地区内外のロータリアン
と笑顔で相集い、感動を分かち合い、夢との出会いを楽しみ
ましょう。

子供達の夢を形あるものにしてあげる為に!!

大会開催記念森山良子コンサート 11月16日(日) 13:00開演

一 森山良子コンサート



〈プロフィール〉

1967年「この広い野原いっぱい」でデビュー。
ミリオンセラー「禁じられた恋」をはじめ「涙
そうそう」、「さとうきび畑」、「あなたが好
きで」など、数々のヒット曲を生み出す。
透明感のある歌声と歌唱力で、名実ともに
日本のトップシンガーに。
国内にとどまらず海外でもコンサート活
動を続ける。

11月8日(土) 記念懇親ゴルフ大会

会場: 佐世保カントリー倶楽部

10:00～ スタート

【登録料: 5,000円 プレー費: 別途】

11月14日(金) RI会長代理歓迎晩餐会

会場: HTBホテルヨーロッパ内レムブラントホール

17:30～ 受付開始

18:00～ RI会長代理歓迎晩餐会

アトラクション

ーナターシャ・グジー(バンドゥーラ奏者)ー

本会議プログラム

11月15日(土) 大会第1日目

会場: アルカス SASEBO

10:30～ 会長幹事会・4委員会

12:30～ 本会議

15:00～ 分科会

16:45～ 本会議

18:40～ 記念懇親会

【大会登録料: 10,000円】

【記念懇親会登録料: 6,000円】

11月16日(日) 大会第2日目

会場: アルカス SASEBO

12:00開場 大会開催記念森山良子コンサート

13:00開演 ー森山良子コンサートー

14:30開場 パネル・ディスカッション

15:00開演 ー海老原靖芳(佐世保出身放送作家)ー

ールー大柴(Togetherしようぜ!)ー

ー鈴木泰彦(2008-09年度ガバナー)ー



アルカス SASEBO 本会議場

地区大会事務局

〒857-0052 長崎県佐世保市松浦町5-13 グリーンビル205号室

TEL: 0956-56-3287 FAX: 0956-56-3086 E-mail: ri2740conf@ace.ocn.ne.jp <http://www.d2740.org/>

◇ホストクラブ: 佐世保南RC

◆コ・ホストクラブ: 佐世保RC・佐世保東RC・佐世保西RC・佐世保北RC・佐世保中央RC・佐世保東南RC・HTB佐世保RC



国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2008-09年度ガバナー 鈴木泰彦

●ガバナー事務所

〒857-0052 佐世保市松浦町5-13 グリーンビル205号室

TEL: 0956-56-3122 FAX: 0956-56-3086

E-mail: ri2740@coda.ocn.ne.jp <http://www.d2740.org>



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2008-09年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

2008-09年度ガバナー

鈴木泰彦

“ロータリーで心を耕そう”



vol. **4**
2008.10.1

有明海の初夏の風物詩『鹿島ガタリンピック』は今年で24回目を迎え子供から大人まで、また留学生など国際色豊かに、盛大に開催されました。鹿島ロータリークラブのローターアクトのみなさんもボランティアスタッフとして参加してくれました。

CONTENTS

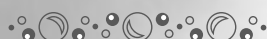
「らしくあれ」鈴木泰彦ガバナー……………	1	ロータリー財団月間にあたって……………	15
ガバナー補佐・リレー随想……………	2	新入会員紹介……………	16
「新世代部門地区セミナー」を開催して…	3	ガバナー・ノミニー推薦 寄付者紹介…………	17
インターアクト年次大会報告……………	5	会員数・出席報告……………	18
ガバナー公式訪問……………	7	文庫通信……………	裏表紙
お知らせ……………	14		



「らしくあれ」

2008-09年度

ガバナー 鈴木 泰彦



— 思いのままに —

子供らしく……子供は大人のおもちゃではない
一個の人格を持っている
無邪気で明るくあって欲しい

大人らしく……行動の上にきちんとした態度であって欲しい
責任をもてる大人であって欲しい

父親らしく……家長らしく威厳をもって欲しい

母親らしく……優しさと明るさをもつ太陽のようにあって欲しい

社会人らしく……規範意識や社会に参画する常識ある社会人であって欲しい

学生らしく……勉学に励みスポーツに親しみ音楽興じる真っすぐな学生であって欲しい

男らしく……男性にしかできない事もある
勇気ある男性であって欲しい

女らしく……女性にしかできない事も多い
気の休まるいつまでも美しい女性であって欲しい

— 人間が人間らしくある為には 心を耕す自由と平和がなければならない —



ガバナー補佐・リレー随想

第3グループガバナー補佐 中島陽一郎
(嬉野RC)



平成3年嬉野ロータリークラブ入会、当時は40数名の会員がいて本当に賑やか、ややもすれば例会で会った人と一言も話すことなく例会が終わってしまう。

今から思うと本当にうらやましいくらい奉仕を共にする会員がたくさんいて、委員会活動も活発に行われていましたし、職業分類も悩まなくてはいけなほどの活気を呈していました。

今、嬉野ロータリークラブは会員数22名、当時の半分に減ってしまいました。それでもロータリーを愛する人ばかりで年間出席率は90%以上を維持しています。

このたびガバナー補佐を務めることになってすでに2ヶ月が過ぎグループのクラブ協議会に出席してみて思うことはどこのクラブも会員数の維持、例会出席率の向上、だけでクラブの三役は苦勞をしておられるのが現状です。

7月1日の鹿島RCを始め、すでに鹿島・武雄・有田RCのクラブ協議会、公式訪問が終わりましたが各クラブの年度初めにおける意気込みが強く感じられました。

また、それと同時に浅学菲才の私に対して各クラブのロータリアンの方々が心温かく迎えていただきこの大役を務めることになって本当に良かったと、もうすでに思っています。

ガバナー補佐就任前の2月、ガバナー補佐会議に出席した際に頂いた「ロータリーの心と原点」という本をあらためて読み直してみてこれまでと違ったロータリーに対する想いができたような気がします。

この本の中に「人間は孤独の生活のできない、群居の動物であります。群居しているから人と人との関係が起きます。人と人との関係が起これば、自分の都合ばかりを考えているわけにはまいりません。

群居の状態を良くするためには各自が人のために役立つことを考えなければなりません、人のために役立つということは英語で言うサービスでありましょう」とありました。

ロータリーは、サービスをもって、人間活動の根本観念にしたいという運動です。ロータリーの目的は、サービス(奉仕)である。

このことはロータリーにばかり言えることではなく自分の職業においても言えることではないでしょうか。

ロータリアンの最低三つの義務に、「例会に出席すること」「ロータリーの友を読むこと」「会費を払うこと」とあります

毎週毎週のロータリークラブの例会に出席をする。これは簡単そうでなかなか出来るものではありません。それでも、自分の仕事に段取りをつけて例会に出席をする。そこでは仲間のロータリアンと会話が生まれ、有意義な時間を持てるのではないのでしょうか。

先に述べた人間は孤独の生活のできない群居の動物である・・・ということが、そのことに繋がっているような気がします。

混迷を深めた現在の経済状況では自らの職業奉仕だけで精一杯というのが本音でしょう。これまでにロータリーを去っていった人たちも本当はロータリーでみんなと一緒にわいわい言いながら親睦を深め、社会のためにとっていた人たちばかりだったと思います。

自分の仕事に段取りをつけて例会に出席をする・・・ここになにか、人をひきつけるロータリーのなにかが存在するような気がしてなりません。

鈴木ガバナーが今年度のテーマとしておられる『ロータリーで心を耕そう』に繋がる何かを求めて今一度奮起したいと思うこの頃です。



「新世代部門地区セミナー」を開催して

新世代統括委員会委員長 岡部 景光(有田RC)



お盆明けの8月17日(日)、新世代部門地区セミナーを武雄市分化会館で開催致しました。カウンセラーに佐古亮尊パストガバナーをお迎えし、鈴木ガバナー、馬郡地区幹事、地区大会実行委員会・圓田委員長と岡崎幹事の出席もいただき、また「全国ローターアクト研修会」を平成21年2月に長崎市で開催する、ローターア

クトからも3人を迎え総員54人でした。

4月27日(日)の地区協議会でも第4分科会・「新世代部門」の時間をもらって、地区内クラブの代表の方々に、新世代部門の現状を説明し協力を要請しましたが、なにせ「新世代部門」には所属委員会が多くて、各委員会の説明時間が足りませんので、今回のセミナーとなりました。



まず最初に佐古パストガバナーには、「ロータリーの原点」についての講演を、およそ30分していただきました。

1業種1人だった会員が5人までになった事や、メーキャップも前後2週間に緩和された事、例会は1週間の充電をして帰る所です・・などの話でした。最後に道端の物乞いとツルゲーネフの話を聞き、真心での対話の大切さを学びました。

次に各委員会毎に新世代への取り組みを話しましたが、どの委員会も新世代の参加が少なくなり折角のロータリーの新世代育成プログラムが、生かされていないのを訴え理解を求めました。インターアクトとローターアクトは未提唱クラブに、複数クラブでの提唱を訴え、ライラは新世代を全クラブが参加させることを願い、国際青少年交換は1～2人と極端に少なくなった派遣と受入学生を、増やして貰うことを念じました。

ローターアクトクラブは、当地区2回目となる「第21回全国ローターアクト研修会」の説明を行い、ロータリアンの参加を呼びかけました。1回目は牟田ガバナーの時に「第10回全国ローターアクト研修会」として、唐津ロイヤルホテルを会場に行いました。

全国の地区からロータリアンとアクター合わせて約800人が集まります。

各クラブの新世代部門への活動を知る為に、アンケートを実施し回答をいただきました。

上記していますロータリーの新世代用プログラム以外にも、地域で独自のプログラムが数多く実施されております。

野球や剣道、バレーボールなど子供達は、毎年の大会を楽しみにして稽古に励んでいますので、クラブ会員減少の中で予算が少なくなったりはありますが、子供達の夢を持たせ続けて下さい。

同時に地区新世代部門委員会の役目と、沈滞打開になんとかしたい気持ちもご理解下さい。





インターアクト年次大会報告

地区インターアクト委員会委員長 田中丸治樹（伊万里R.C.）



平成20年8月9日(土)、10日(日)、日本三大松原「虹の松原」に隣接する唐津シーサイドホテルにて「2008-09年度インターアクト年次大会」が唐津西高等学校インターアクト・クラブをホスト校に開催されました。

唐津市長、ホスト校校長を来賓に迎え、インターアクター204名、顧問教諭34名、ロータリアン132名、ロータアクター7名、来賓3名、計380名の参加でした。今大会のテーマ「Keep the earth and heart clean =地球からの贈り物を守ろう私達の手で=」のもと環境について多くの事を学んだ大会でした。

開会式では、前年度RI会長賞を受賞した佐賀女子高校インターアクト・クラブへ鈴木ガバナーより表彰状を贈りました。

各分科会では、オリエンテーション、自己紹介のあと、環境をテーマに楽しく学ぶ為の工夫を凝らした分科会でした。

クラブ運営部会では、有田工業高校IACがリーダーとなり、3R運動についてクイズや自分

達が行なっている活動をパネルと実物を展示(牛乳パック紙漉き、廃油石鹸、ダンボール箱で堆肥づくり)して議論がなされました。

社会奉仕部会では、敬徳高校IACがリーダーとなり各校の社会奉仕活動に関するアンケートをもとに情報交換と具体的な活動について発表がなされました。

国際理解部会では、武雄高校IACがリーダーとなり、手作りの「環境すごろく」を使い、ゲーム感覚で環境問題、省エネを理解していました。そのあと各班で新しいマスの中身を身近な問題と国際的な問題をそれぞれ考えて発表していました。

夕べの集いでは、参加者全員で夕食を共にとりながらアトラクションやゲームで交流、親睦を深めました。

2日目は早朝より砂浜で記念撮影のあと、全員で散策しながらごみ拾いや、砂浜の状況を視て回りました。

記念講演では、NPO法人唐津環境防災推進機構の岩本真二様を講師に迎え「身近にできる環境への取り組み」と題し講演をいただきました。スライドを使って環境への取り組みを分かりやすく講演いただきました。

講演の中でポイントとして3つを上げられました。「環境と人の暮らしのバランス」、「環境を変えるのは人」、「環境を後世に伝える」で人類への宿題だと感じました。



分科会報告では、各分科会での成果を取りまとめ、各リーダー校より発表され、アドバイザーからの感想も報告されました。

閉会式では、前年度活動に対して表彰式を行い各校の活動に対して表彰しました。各賞は以下のとおりです。

・クラブ運営賞

金賞 佐賀女子高等学校インターアクト・クラブ

銀賞 海星学園インターアクト・クラブ

銅賞 牛津高等学校インターアクト・クラブ

・社会奉仕賞

金賞 長崎女子商業高等学校インターアクト・クラブ

銀賞 長崎女子高等学校インターアクト・クラブ

銅賞 五島高等学校インターアクト・クラブ

・国際理解賞

金賞 鎮西学院高等学校インターアクト・クラブ

銀賞 有田工業高等学校インターアクト・クラブ

銅賞 聖和女子学院高等学校インターアクト・クラブ

年次大会を通して「環境問題」により一層関心が高まりこれを広めていく事が重要だと感じた年次大会でした。

ホスト校

唐津西高校 I A C 提唱唐津 R C

コ・ホスト

武雄高校 I A C 提唱武雄 R C

コ・ホスト

有田工業高校 I A C 提唱有田 R C

コ・ホスト

敬徳高校 I A C 提唱伊万里 R C

大会関係者の皆様、大変お疲れ様でした。

詳しくは R I 2740 地区

インターアクトホームページをご覧ください。

<http://iac.no-blog.jp/>



ガバナー公式訪問

佐賀西ロータリークラブ

会長：平 龍三郎
幹事：平野信一郎

当クラブのガバナー公式訪問は8月4日に行われた。

鈴木泰彦ガバナー・末次ガバナー補佐・馬郡地区幹事・角事務局長の4名で、例会前に懇談に入った。当クラブからは、会長の私と中尾会長エレクト、平野幹事の3名で対応し、和気藹藹の楽しい親密な時間を過ごすことができた。

当クラブは、今年度創立50周年を迎え、記念事業は佐賀市バルーンフェスタ運営委員会に対し大会運営用のロータリーマーク入りの「熱気球一式」を寄贈する。ロータリーの広報・地域社会貢献の地域イベントの助成・子供達のバルーン乗船体験によるユメのあるプレゼントの実施を今年10月に企画し、記念式典は来年5月16日(土)に予定している。

また、例会の充実による出席率の向上を目指し、美味しい食事内容に変え、会員懇談・コミュニケーションのためのゆとりある会食の時間を確保する。

数値目標は会員純増1名及びロータリー財団年次寄付(1人当り100ドル)、米山奨学会寄付(1人当り1万円)を掲げており、すでに、米山寄付は完了し、財団寄付は11月中に達成見込みである。ガバナーからの要請のポリオプラス特別寄付1000ドルに付いても完済をしている。

例会でのガバナー卓話は「ロータリーで心を耕そう」をテーマに話された。最後に佐賀西RCのバナーを贈呈し、出席会員との記念写真撮影で終了した。



島原ロータリークラブ

会長：喜多 清基
幹事：中島 博行

8月5日(火)、盛夏晴天猛暑の中、鈴木泰彦ガバナー、福谷ガバナー補佐、馬郡地区幹事をお迎えしての公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち午前11時から会長を始め高城ガバナーエレクトも同席してお迎えし、当クラブの紹介と鈴木ガバナーからは今後の課題等に関するご指導をいただきました。

その後、通常の例会の様子をご覧いただきましたが、当クラブの特徴でもある「卓花」(クラブ会員が毎回持ち回りで身近に咲く花を持参し紹介しています。)では、亀田会員が公式訪問ということもあって9種類もの花を用意し(通常は1花)、とても気合の入った紹介で会場を沸かせ、まさしく例会に花を添えたプログラムとなりました。

そして鈴木ガバナーは卓話にて、現状の日本の社会情勢から「教育」に関心を寄せられ、「ロータリアンは心豊かな人間でありたい。回りの人達にも清く、正しく、美しい気持ちを伝えていきたい。」と穏やかに、そして丁寧に語られ、例会終了後は忙しい中に高城ガバナーエレクト事務所にも立ち寄って激励いただくなど、鈴木ガバナーの「心を耕す」という言葉が心に染みる公式訪問でした。





ガバナー公式訪問

唐津西ロータリークラブ

会長：山辺 忠厚
幹事：前田 宏

鈴木ガバナーの卓話は、「学生時代に、福岡から歩いて、唐津くんち見物に来たことを思い出します」から始まりました。からっ子は、くんちと聞くと目の色が変わります。みんなの目が、ガバナーに集中しました。学生時代の友人たちとのお付き合いの話や、父上急逝のあと、家業を継ぐに当たり、先輩職員から受けた暖かい助言の話とか、人と人とのふれあいの大切さのお話を交えながら、李会長のテーマ“夢をかたちに”を、ガバナーの“ロータリーで心を耕そう”を、解かりやすく説明して頂きました。ガバナーの心暖まるお話で、あっという間の30分でした。クラブでは、ガバナーのお話を十分かみ締めて、これからのロータリー活動を進めて行きたいと思っております。



例会前の会長・幹事との懇談会で、特に強調された事は、クラブの会員数がピーク時の半数近くに減少している件でした。クラブでは、会員増強のためのフォーラムを行い、会員増強に努めているところです。

最後に、例会場の唐津商工会館ロビーの壁一面に、唐津くんちの色鮮やかな曳山が勢揃いした壁画の前で、ガバナーと会員一同の記念写真を撮り、ガバナー公式訪問例会は終わりました。

佐世保東ロータリークラブ

会長：志久 雄三
幹事：入江 昭彦

わが佐世保東ロータリークラブは現在会員数 24 名と、昭和41年12月の創立以来大変厳しい年度を迎えていますが、ロータリークラブとは異業種の優れた方々との交流、親睦により自己研鑽を積む場であることを認識し、さらなる友情の輪を広げていきたいと考えています。

その様な状況の中、連日猛暑が続く 8 月 7 日、鈴木泰彦ガバナーをお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。当日はたまたま施設の都合により、大村湾が一望の下に望める場所での例会であったため緊張感の中にも大変和やかな公式訪問となりました。

例会に先立ってクラブ役員との懇談会が実施され、当クラブの現況報告及び問題点(会員減少など)を説明しました。

鈴木ガバナーからは実例を挙げ示唆に富むアドバイスをいただきました。

神奈川湘南 R C … 年会費 ¥ 70,000 でクラブを運営

大阪ネクスト R C … 例会日が週によって変わる、会員はすべてサラリーマン 等
また例会でのガバナー卓話では、自己紹介において「スポーツから学んだこと」や「一期一会の大切さ」を熱く語っていただき、R I の地区テーマは勿論のこと、今後のロータリークラブの課題など、大変有意義なお話を聞くことができました。

会員一同感謝申し上げますとともに、お体に留意され益々のご活躍を祈念しております。



志久会長 かなり緊張してますねえ！



和やかな中にも、真剣な打ち合わせができました。



ガバナー公式訪問

松浦ロータリークラブ

会長：小田 浩章
幹事：祖川 浩章

8月8日(金)、鈴木ガバナー、馬郡地区幹事、竹田ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問例会を開催しました。

例会に先立って行われた懇談会では、当クラブの概況報告、そして今年度のクラブ運営方針である会員純増1名とロータリー財団、米山奨学会への寄付について、なかなか厳しい状況の中、できるだけ頑張りたいとお話しました。

鈴木ガバナーからは、会員増強、ポリオプラス、そして青少年交換留学生の受け入れやセクシャルハラスメント等、いろいろな話を伺うことが出来ました。

例会での卓話では、鈴木ガバナーご自身の学生時代の事、お仕事の事などを、そして今年度のRIテーマ「夢をかたちに」、地区方針である「ロータリーで心を耕そう」についてお話がありましたが、時にはユーモアを交えながらのお話にガバナーのお人柄が伺える例会でした。

当クラブが25番目の公式訪問でしたが、これからも健康には十分留意され、無事公式訪問を終えられることを心からお祈り申し上げます。



佐世保北ロータリークラブ

会長：鳥越 敏博
幹事：緒方 信行

8月18日(月)、お盆休みも終わり、暑さも少し和らいだ日に鈴木ガバナー公式訪問例会を施行致しました。内海和憲ガバナー補佐及び、馬郡謙一地区幹事も同行されました。

ガバナーにおかれましては、今年度の地区運営方針の説明をされて、生いたちをおもしろく話され、和気藹藹の中にもロータリーの精神を言葉巧みに話されました。

特に教育問題に関しましては、最近マスコミ等で色々と問題になっている子供に関するイジメや虐待などもロータリーとして何か出来ないかと思わざるを得ないと言われておりました。

最後になりますが、今年一年会長カラーに基づき、いい顔でロータリーに参加して、楽しく親睦を深めながらガバナー方針を年頭においてがんばるつもりでおります。今後ともご指導とご協力の程、よろしくお願い致します。

暑い中ありがとうございました。





ガバナー公式訪問

北松浦ロータリークラブ

会長：赤木 行秀
幹事：福田 敏幸

8月19日(火)、例会場サンパーク吉井にて、2008-09年度鈴木泰彦ガバナー、第5グループ竹田健介ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事をお迎えしての公式訪問例会を開きました。例会開始前11時より1時間役員懇談会を開き、当クラブの現状説明に始まり、クラブの諸問題を質問、的確に回答して頂きました。

鈴木ガバナーより、財団・米山奨学金寄付・新ポリオプラス基金活動のお願い等の説明があり、有意義な役員懇談会となりました。

12時30分より開会点鐘と公式訪問例会も順調に進み、鈴木ガバナーの自己紹介をユーモラスに語られ、ガバナーのお人柄が垣間見られましたことはもとより、RIテーマと地区運営方針、新ポリオプラス募金活動、ロータリークラブの現状報告等の説明を受け有意義な例会を終了することができました。

最後になりましたが、くれぐれも体に気をつけられて公式訪問を終了して頂きたいと願っております。



佐賀北ロータリークラブ

会長：松尾日出輝
幹事：池田 敬介

8月20日(水)、鈴木ガバナー、馬郡地区幹事、末次ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会が開催されました。

当クラブは、今年で39年を迎え現在会員数38名で活動しています。

懇談会では当クラブの概況を報告し、今年度のクラブ運営方針の1つである「教育」についての活動計画をご説明し、指導いただきました。多岐にわたりお話をいただきましたが、中でも会員増強を目指すにあたり、いろいろなテーマ、問題解決をしていく上でロータリーも若いロータリアンを勧誘し次世代リーダーの発掘をしていかなければならない事をいろんな事例を交えてお話いただきました。

例会では、会員全員が鈴木ガバナーとお会いできることを楽しみに出迎え、和やかなムードの中ご自身のプロフィールを交えて卓話をしていただきました。鈴木ガバナーの飾らないお人柄に触れ、身近に感じることができました。当日は親睦と友情を深め会員一同「心を耕せる」一日になりありがとうございました。





ガバナー公式訪問

諫早北ロータリークラブ

会長：黒田 隆雄
幹事：宮崎 民雄

8月21日(木)、鈴木泰彦ガバナー・岡崎威ガバナー補佐・馬郡謙一地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。例会前の11:00より鈴木ガバナー・岡崎ガバナー補佐・馬郡地区幹事に対し諫早北ロータリーの黒田会長・八江会長エレクト・宮崎幹事で当クラブの概況を説明し意見交換を致しました。続いて鈴木ガバナーより地区の運営方針並びに地区大会等について説明をいただきました。

その中で当クラブに世界社会奉仕委員会があるので、マッチング・グラントをすることによって地区補助金の申請が出来るということを知りました。早速検討に入りたいと思います。

12:30より例会が始まり、13:00より鈴木ガバナーに卓話をしていただきました。地区方針で「ロータリーで心を耕そう」を掲げられ、痛ましい事件が頻繁に発生する中で、日本人の心が病んでいる状況のお話がありました。これには現在の日本が抱える「教育」の問題が大きくかかわっていることを大変解りやすくお話しいただきました。「あっ」という間の30分でしたが、鈴木ガバナーの話に会員が引き込まれ大変有意義な時間を過ごすことができました。

鈴木ガバナーにおかれましては、今後ともおからだに十分留意をされご活躍されますよう心よりお祈り申し上げます。



牛津ロータリークラブ

会長：立花 巖
幹事：小柳袈裟治

8月22日(金)、鈴木ガバナー、七田ガバナー補佐、馬郡地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。クラブ例会前の会長、幹事、会長エレクト、副幹事との懇談では、当クラブの現況報告、地区大会等意見交換をいたしまして、ガバナーよりクラブ運営についてご助言、ご指導を賜り大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

例会では、鈴木ガバナーの卓話で、ご自身の学生時代の事や、お仕事の話、また、R Iテーマ「夢をかたちに」、地区のテーマ「ロータリーで心を耕そう」について会員にわかりやすく語られました。

牛津クラブも32名という小クラブながら、会員同士のコミュニケーション、飲コミュニケーションにより、友情の輪を広げ、脱会防止に努め会員の純増1名を達成したいと考えております。

会員一同各テーマを理解し1年間頑張っていく所存であります。これからもご指導の程宜しくお願いいたします。

最後に、鈴木ガバナーにおかれましては、残暑厳しい折の公式訪問有難うございました。第2740地区の発展と益々のご活躍をご祈念申し上げます。





ガバナー公式訪問

長崎中央ロータリークラブ

会長：塚崎 寛
幹事：高永 昌廣

8月25日(月)、鈴木泰彦ガバナー、中野 廣ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事ご来訪のもと、公式訪問例会が開催されました。当クラブが31番目の訪問クラブということで、早い時期から精力的に各クラブを訪問されている熱意に頭が下がる思いでありました。

事前懇談会にて、鈴木ガバナーより、李 R I 会長の方針に基づいた地区の運営方針、「ロータリーで心を耕そう」「次世代を担う子ども達の教育再生」という大きなテーマを再度伺い、当クラブの本年度運営方針の柱として実践していこうと決意を新たに致しました。

「Make Dreams Real夢をかたちに」という今年度の R I テーマであります。かたちにするためには、まずはロータリーに関心をもって頂き、会員増強を図ること、厳しい社会情勢ではありますが、年次寄付目標の達成、ロータリーの活動を広く地域へ発信することが大切であるというお話も伺いました。

今年度は当クラブは既に2名の増強をしていることで、お褒めの言葉も頂きました。

58.5才という若い(?)構成年齢のクラブの特性を生かし、バイタリティー溢れた活動を実践して参りたいと思っております。

今後共、ご指導宜しくお願い致します。



佐世保西ロータリークラブ

会長：大久保重利
幹事：山口 管律

8月26日(火)、鈴木ガバナー、第5グループ竹田ガバナー補佐、馬郡地区幹事をお迎えして公式訪問例会が開催されました。例会に先立ってクラブ役員との懇談会がもたれクラブ概況①. 少数クラブ27名で運営を行っている。②. 例会は、楽しい例会運営に心がけている。③. 会員拡大が急務である。と事業説明①. 少年少女ミニバスケットボール大会②. 韓国成歓ロータリークラブの子供達との交流事業③. 国際交流基金奨学生)の後、意見交換をさせていただきご指導を賜りました。

例会での卓話は、自己紹介から本年度テーマ「ロータリーで心を耕そう」の提唱、「心豊かな人でありたい。まわりの人達にも清く、正しく、美しい気持ちで接していこう。」

当クラブでも重要な会員増強、寄付、四大事業、地区方針のお話を聞き、今日ほど会員相互の結束強化が求められる時ではないかと思いました。

ガバナーにおかれましては健康に留意され一年間を無事終わられます事をお祈り致します。





ガバナー公式訪問

長崎北東ロータリークラブ

会長：浜中 洋
幹事：丸木 覚誠

8月27日(水)、鈴木ガバナー、森ガバナー補佐、馬郡地区幹事をお迎えして公式例会を開催いたしました。当日11時から事前協議として丸木幹事、北郷会長エレクト、本多次期幹事と共に当クラブの現況報告を交えガバナーの指導を受けました。当クラブは6名の女性会員がいるお陰で家庭的な雰囲気である事や、青少年の健全教育の為、時津町少年ソフトボール大会を主催したり、時津町少年剣道大会、時津中学校パーロン大会等にも支援をしている事などを報告いたしました。また、会員増強においては現在51名ですが、「チャレンジ55」を目指している事なども報告いたしまして、ガバナーより評価して頂きました。



ガバナーの卓話では、少年時代からのスポーツ体験など和やかな雰囲気の中、R I 会長の「夢をかたちに」を踏まえ「ロータリーで心を耕そう」を丁寧にお話頂きました。

戦後日本の義務を忘れ、乱れた世相の中、現代社会が抱える最も大切な問題で教育再生が一番大切ではないかと教えられました。時宜にかなう問題なので我がクラブもガバナーの方針にのっとり心を耕し、家族の絆を大切に、会員増強に励んでまいります。今後のご指導宜しくお願い致します。

唐津中央ロータリークラブ

会長：中江 貢
幹事：宮崎 邦喜

去る8月29日、当クラブにも鈴木ガバナーの公式訪問があり、ガバナーと初めて親しくお話をさせていただきました。又、例会における卓話は、ガバナーの優しさ、穏やかなお人柄が見え、私自身、心が静まり、ゆっくりとした時間が流れていくのが判りました。ガバナー公式訪問におけるかつてない程の優しい時間でした。もう少し鈴木ガバナーと時間を共有したいと考えたその時、今年はクラブ協議会にガバナーがご出席でない事を思い出しました。



誠に残念です。こうなった理由は、各方面からさまざまな意見も拝聴しております。ただ、ガバナーと顔を合わす事、卓話を聞く事はあっても、ガバナーと話し合う事、意見を交換する事はこの公式訪問時のクラブ協議会しかありません。又、仮に意見を交換する事が出来なくとも私共のクラブのあり方、本年度の方針、さらに歴史、意気込みまで含めて、ガバナーに見てもらい、理解してもらい、そして直接ご意見を頂き、ご指導を願う唯一の機会であると私は考えています。残念ながら本年はもうそのチャンスはありませんが、来年以降の事もあります。一度、皆様再考されたいかがかと思います。鈴木ガバナーのお帰りの際、とても残念な気持ちでお見送りをしながら、今度お会いする時は、お酒でも飲みながらと思い、ガバナーの背中に一礼したいです。



ガバナー公式訪問

大村東ロータリークラブ

会長：田中 義信
幹事：川里 眞介

新年度がスタートしてちょうど2ヶ月、なんとなく落ち着いてきた頃の鈴木ガバナーの公式訪問でした。私たちは一度受け入れれば終わりですが、ガバナーは、日本はもとより海外までも出かけられ、2740地区すべてのクラブを訪問され、さらにはほとんどの地区の行事、大会などに出席をされます。

そんなことを会長になって、いまさらながらすごいなと思い、そのご苦勞を何とかしてあげたいとの気持ちが、どきどき感につながっておりました。

しかし、公式訪問前の懇談会、和気あいあいのうちにお話し合いができ、落ち着きをこちらのほうにいただきました。

公式訪問例会においては、ご接待の気持ちを会長の時間に込めてと思い、力を込めて原稿を作ったのですが長くなりすぎました。SAAから時間オーバーのベルをならされ、あー今日の主役は、鈴木ガバナーなのだと思うと、急に何を話しているのか分からない始末で、あわてている自分が居りました。気持ちは、どこまで伝わったかわからずじまいで申し訳なく思います。

あたふたとする私と違い、鈴木ガバナーの卓話、素晴らしいものでした。誠実な性格の話し方、経験をふまえての自分としての考え方、なるほどと納得させられることばかりでした。会場もシーンと波を打ったように全会員聞き入っていました。

ロータリーで心を耕し、どんな逆境におかれようとも、心豊かな人でありたいと改めて考えさせられました。

鈴木泰彦ガバナー、福谷健吉ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事、ご来訪大変ありがとうございました。ご健康に、そして今後のご活躍をお祈り申し上げます。



お知らせ

本年12月1日施行の新公益法人制度に併せて、私どもは、公益財団法人の設立を準備してまいりました。つきましては、本年8月22日に既存の特定非営利活動法人ロータリー日本財団を解散する旨決議いたしました。9月10日付をもって解散いたしますので、従来10万円から20万円の年次寄付を振り込んでいただきました口座(三菱東京UFJ銀行赤羽駅前支店、普通預金1568210)は9月10日で閉じることになりました。

9月10日以後の寄付は、三菱東京UFJ銀行本店普通預金1528228 事務局長 大島四郎、三井住友銀行本店営業部普通預金0968049 事務局長 大島四郎のいずれかに振り込んで下さるようお願いいたします。

なお一括20万円以上、教育目的の寄付に関しては、総額1億4,000万円に達するまで税制上の優遇措置を受けることができます。

今後は、まず一般財団法人を設立し、公益認定を受け、全面的に税制上の優遇措置を受けることができるよう努力してまいります。



ロータリー財団月間にあたって

ロータリー財団委員会委員長 森永 太（佐賀西RC）

2007年規定審議会でロータリー財団の標語として「世界でよいことをしよう」が採択されました。これはアーチ、クランフがロータリー財団設立のとき述べた言葉で非常にシンプルですが、ロータリー財団の基本理念を示すものです。ロータリー財団には数多くの奉仕活動プログラムがありますが、その活動の核になるのはやはり各クラブです。財団には、クラブに対する補助の他、1つのクラブでは実現できないような大きなプロジェクトに対しては他のクラブや2ヶ国以上のクラブが協力するシステムも用意されていますし、世界的規模でのプロジェクトに参加することもできます。そうしたロータリアンの活動を財政的に支援するのがロータリー財団であり皆様からの寄付です。ここ数年ロータリー財団は「毎年あなたも100ドルを」を目標として掲げていますが、これを実現するために最も必要なことは皆様にロータリー財団のプロジェクトとその成果をよく理解していただくことだと思います。例えば20年前には年間35万人の子供達がポリオによる麻痺に冒されていたのを現在99%減少させたポリオプラスの活動や、国際親善使節として送り出した奨学生が約4万人に達すること、国を超えての奉仕プロジェクトが年間2000を超えることなどです。ロータリーが国際的に大きく発展し、ロータリアンが地域でそれなりの評価を受けてきたのはこうした活動に依る所が大きいのです。ただ最近のロータリー財団の動向を見ていると、まるで負担金まがいの寄付の要請で、ロータリアンの善意からスタートした財団はどこにいったのかという気がいたします。すでに皆様をご存知のように2008年度から3年間、ゲイツ財団からの1億ドルのチャレンジ補助金を受けて、各クラブが毎年1000ドルをというポリオ撲滅キャンペーンがスタートしました。しかし、会員の減少など様々な問題を抱える各クラブの事情を考えますとこれにどう対処していくか非常に大きな問題であり、ロータリーは今後どうあるべきか会員みんなで考えるべき時期がきているように思います。

ただ、今最も重要なことは「何かよいことをしよう」という理念のもとに、自分達の資力に応じて自分達にできるだけのことをしようという姿勢だと思います。それはとりもなおさずロータリー財団の奉仕プロジェクトに参加することなのです。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀北RC
河野 良二 君



佐賀南RC
岩木 尚文 君



武雄RC
江上 雅孝 君



伊万里西
大宅 節夫 君



伊万里西
江頭 和高 君



佐世保中央RC
瀬戸 浩 君



佐世保中央RC
浅野 訓一 君



島原南RC
森 誠 君



諫早北RC
山口 博 君



長崎RC
片山 仁志 君



長崎西RC
富 幸芳 君



東長崎RC
中井 義興 君



長崎中央RC
安田 伸幸 君



長崎中央RC
田中 岳司 君



長崎出島RC
秋吉 都美 君

訃報

謹んでお別れいたします 合掌



故
荒木 實 君
(長崎RC)



故
計倉 幸二 君
(長崎北東RC)



故
中川 安明 君
(長崎南RC)

訂正とお詫び

先月の「ガバナー月信」Vol.3のガバナー公式訪問6頁、鹿島ロータリークラブの会長名に誤りがありました。迎 雅嗣氏(誤)ではなく、迎 雅璫嗣氏(正)です。訂正をし、謹んで深くお詫び申し上げます。



国際ロータリー第2740地区クラブ会長各位

ガバナー 鈴木 泰彦

2011-2012年度ガバナー・ノミニー推薦の件

国際ロータリー細則第13.020.4項により、2011-2012年度ガバナーに就任するガバナー・ノミニー候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2008年10月31日までに地区ガバナー指名委員会宛（国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所気付）に文書を以ってご推薦下さい。

推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事がその決議を証明する形で推薦書を提出して下さい。

尚、ガバナー指名委員会がその選択をするにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。（国際ロータリー細則第13.020.5項）

ガバナー・ノミニーの資格条件は、国際ロータリー細則第15.070項を参照。

ご推薦のない場合は、指名委員会で決定された方がガバナー・ノミニーになります。

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。ご厚意に深く感謝申し上げます。

種 類	氏 名	ク ラ ブ 名
ロータリー財団	P.H.F.(ポール・ハリス・フェロー)	梅 津 哲 夫 佐賀西R C
	マルチプル・P.H.F	中 江 貢 唐津中央R C
		金 子 卓 也 佐世保南R C
		國 崎 忠 臣 佐世保南R C
		峯 順 通 佐世保南R C
		下 川 孝 之 佐世保南R C
		鈴 木 泰 彦 佐世保南R C
		南 野 健 大村北R C
		高 木 栄 大村東R C
	マルチプル	平 龍 三 郎 佐賀西R C
	ポリオプラス	森 永 太 佐賀西R C
	年次寄付	鈴 木 泰 彦 佐世保南R C
米山記念奨学会	米山功労者	大村北R C
		志 賀 定 義 長崎中央R C
		平 野 信 一 郎 佐賀西R C
		大 塚 浩 司 佐賀西R C
	マルチプル	土 井 了 大町R C
		中 江 貢 唐津中央R C
		國 崎 忠 臣 佐世保南R C
		高 木 栄 大村東R C
		田 中 義 信 大村東R C
		塚 崎 寛 長崎中央R C
	メジャードナー	前 田 一 彦 佐世保南R C
	特別寄付金	小城R C
	普通寄付	内 海 和 憲 H T B 佐世保R C
		牛津R C



2008年7月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数					新 入	退 会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐 賀	5	83.85	65	0	68	0	3	3	0
	小 城	5	91.2	25	2	27	2	2	2	0
	牛 津	4	87.5	32	1	32	1	0	0	0
	多 久	5	88.2	39	3	39	3	0	0	0
	佐賀大和	4	77.08	24	2	24	0	0	0	0
	小 計		85.57	185	8	190	6	5	5	0
第2グループ	佐 賀 西	3	91.66	49	0	49	0	0	0	0
	佐 賀 北	4	87.67	38	3	37	3	-1	0	1
	佐 賀 南	4	80.95	42	2	41	2	-1	0	1
	神 埼	4	83.3	30	0	30	0	0	0	0
	佐賀空港	4	66.67	18	1	18	1	0	0	0
	小 計		82.05	177	6	175	6	-2	0	2
第3グループ	有 田	4	65.71	37	1	37	1	0	0	0
	武 雄	3	90.38	52	2	51	2	-1	0	1
	鹿 島	5	93.77	37	2	40	2	3	3	0
	嬉 野	4	94.4	21	1	22	1	1	1	0
	大 町	5	67	27	0	27	0	0	0	0
	白 石	5	61.43	14	0	14	0	0	0	0
	太 良	5	97.5	9	1	8	0	-1	0	1
	小 計		81.46	197	7	199	6	2	4	2
第4グループ	唐 津	5	93.32	52	0	52	0	0	0	0
	伊 万 里	5	93.65	31	0	32	0	1	1	0
	唐 津 東	5	91.7	51	0	51	0	0	0	0
	唐 津 西	5	94.08	35	0	35	0	0	0	0
	伊万里西	5	87.5	45	0	46	0	1	2	1
	唐津中央	4	87.5	36	4	36	4	0	1	1
	小 計		91.29	250	4	252	4	2	4	2
第5グループ	佐 世 保	5	98.84	78	0	78	0	0	0	0
	平 戸	4	78	38	0	35	0	-3	0	3
	佐世保西	4	95.7	27	0	27	0	0	0	0
	北 松 浦	4	92.19	21	0	21	0	0	1	3
	松 浦	4	88.79	29	1	29	1	0	0	0
	小 計		90.7	193	1	190	1	-3	1	6

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数					新 入	退 会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	4	97.31	76	0	78	0	2	2	0
	佐世保東	5	91.3	24	0	24	0	0	0	0
	佐世保北	3	95.45	48	0	48	0	0	0	0
	佐世保中央	5	100	39	2	41	2	2	2	0
	佐世保東南	5	80.23	22	0	23	1	1	1	0
	HTB佐世保	5	79.52	31	6	31	6	0	1	0
	小 計		90.64	240	8	245	9	5	6	0
第7グループ	大 村	5	91.4	51	3	51	3	0	0	0
	島 原	5	86.47	34	1	34	1	0	0	0
	雲 仙	4	96.4	26	0	26	0	0	0	0
	大 村 北	5	100	34	0	34	0	0	1	1
	島 原 南	4	66	20	1	20	1	0	0	0
	大 村 東	3	80.5	49	1	49	0	0	0	0
	小 計		86.8	214	6	214	5	0	1	1
第8グループ	諫 早	4	90.43	58	0	58	0	0	0	0
	諫 早 北	5	84.05	64	0	63	0	-1	0	1
	諫 早 西	5	91.78	45	0	44	0	-1	0	1
	諫早多良見	5	92.1	38	0	38	0	0	0	0
	諫 早 南	3	79.02	28	5	27	5	-1	0	1
	小 計		87.48	233	5	230	5	-3	0	3
第9グループ	長 崎	5	81.67	92	0	91	0	-1	0	1
	福 江	4	75.63	38	0	38	0	0	0	0
	長崎北東	4	93.14	50	6	51	6	1	1	0
	福江中央	5	92.66	29	0	30	0	1	1	0
	長 崎 西	4	70	63	0	63	0	0	0	0
	長崎琴海	5	71.43	22	2	21	2	-1	0	1
	小 計		83.5	294	8	294	8	0	2	2
第10グループ	長 崎 北	3	79.85	75	0	74	0	-1	0	1
	長 崎 南	5	80.41	82	0	85	0	3	3	0
	長 崎 東	4	98.15	54	0	54	0	0	0	0
	東 長 崎	5	87.27	26	0	27	0	1	1	0
	長崎中央	3	91.19	54	0	54	0	0	0	0
	長崎出島	4	81.7	52	11	52	11	0	0	0
	小 計		85.1	343	11	346	11	3	4	1
合 計			84.7	2378	64	2387	63	9	25	17



文庫通信

252号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演より

- ◎「世界の現状と日本の針路」 奥田 碩 2007 15p (D.2760)
- ◎「今、日本が直面する内外の課題」 櫻井よしこ 2007 10p (D.2570)
- ◎「世界の潮流と日本の進路」 寺島実郎 2007 9p (D.2660)
- ◎「国家の品格」 藤原正彦 2007 4p (D.2650)
- ◎「新政権でも改革と挑戦は続く～求められる幾百人のリーダーたち」
佐々木 毅 2007 8p (D.2540)
- ◎「地域から交流する日本～オホーツクへの期待」
月尾嘉男 2007 3p (D.2500)
- ◎「歴史から見た大阪～浪華の民活」 松平定知 2007 4p (D.2660)
- ◎「自然のすごさに学ぶ」 石田秀輝 2007 20p (D.2800)
- ◎「夢をもたらす氷の世界」 本堂武夫 2007 8p (D.2510)
- ◎「人と地球の命のために一今、私たちにできること」
C.W.ニコル 2007 6p (D.2820)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740
2008-09年度ガバナー 鈴木泰彦

●ガバナー事務所

〒857-0052 佐世保市松浦町5-13 グリーンビル205号室
TEL.0956-56-3122 FAX.0956-56-3086
E-mail: ri2740@coda.ocn.ne.jp <http://www.d2740.org>



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2008-09年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

2008-09年度ガバナー

鈴木泰彦

“ロータリーで心を耕そう”

vol. **5**
2008.11.1



可愛い園児たちが廃物を利用して作った帆掛舟を持って水遊びをしました。(伊万里市・里保育園) 2008年8月19日実施

CONTENTS

「人生は努力と智恵と思いやり」……………	1	寄付者紹介……………	17
ガバナー補佐・リレー随想……………	2	ガバナー・ノミニー決定宣言……………	18
国際奉仕部門研修セミナー報告……………	3	地区大会のご案内……………	19
国際青少年交換学生再募集ご案内……………	5	新入会員紹介……………	21
「米山の集い」報告……………	7	会員数・出席報告……………	22
ガバナー公式訪問……………	9	文庫通信……………	裏表紙



「人生は努力と智恵と思いやり」

2008-09年度

ガバナー 鈴木 泰彦



（時間の大切さ）

時は金なり 人生は2度となしといわれるように80歳なのか100歳まで生きれるのかわかりませんが、時は一刻一刻きざまれています。

有意義に使いたいものです。

（ことばの大切さ）

ことばは人と人をつなぎ、支え合う心の栄養剤だと思います。

きずつき合う事のないようにことばを選びたいものです。

（継続・実践の大切さ）

ノーベル化学賞を頂かれた下村先生にみられるごとく、クラゲとの出会い、その気付きを大切に継続されつづけ、実践されてこられた積極的な姿勢を見習いたいものです。

（お金のお大切さ）

株価の大幅な下落、日本の景気、世界の景気は一体どう落ち着いていくのでしょうか。ロータリーは世界平和が大きな目標だとするならば、生きたお金の使い方を考えていきましょう。

（心の大切さ）

人に生かされている感謝の心、いつまでも持ち続けたいものです。そして、生きている今をお蔭様の心として生きたいものです。

（人を大切に）

多くの人に愛されることは財産です。自分を育ててくれた人に感謝の念を持ちましょう。そして、家族一人一人に思いやりの気持ちをもって楽しく暮らしていきたいものです。

人は智恵を授かり、日々の努力の中から思いやりを育んで行くものだと思います。

一日一日最善をつくして行きたいものです。



ガバナー補佐・リレー随想

第4グループガバナー補佐 藤谷 成微
(伊万里西RC)



去る9月4日を以って、第4グループ6クラブへの就任挨拶、クラブ協議会訪問、ガバナー公式訪問が終わり、ほっとしているところです。

各クラブ共、それぞれ個性があり、委員会の構成にしても、委員会の名称、組み合わせ等にしても、少しずつ違っており、例会にしても、それぞれ特徴ある運営をされ、金子みすずの詩にあるように「みんな違ってみんないい」の感を深くにしたことでした。

不勉強な私自身、不安を抱えながら各クラブの協議会にのぞみましたが、会員の方からの真摯な質疑もあり、恥をかきながらも、大変勉強になりました。

さて、話は移りますが、例会の時に四つのテストを唱和し、これに照らしてから言行するのがロータリアンであるが、これは大変なことだとつくづく感じている昨今であります。

聖徳太子の「世間虚仮」、親鸞聖人(歎異抄)の「煩惱具足の凡夫、火宅無常の世界は、よろずのこと、そらごと、たわごと、まことあることなし」の教示に常に接している小生にとっては、「真実かどうか」と発しながら、内心忸怩たる思いがするのです。

なぜなら、私自身、煩惱具足の凡夫に他ならないからです。

「みんなに公平か」・・・これもまた大変なことなのです。

公平だと思ってしたことでも、一部の不満者があれば、真の公平とはなりません。

仏教語に平等即不平等、不平等即平等という言葉があります。

例えば、同じ会費を出した人たちに同じ料

理を出します。

ここまでは平等です。

しかし、ある人にとっては好きな食物が多く、ある人にとっては嫌いな食物が多かったとします。

平等即不平等となります。

バイキング料理は好きな物を好きな量だけ食べることができ、平等性に近い形式です。

しかし、こういう形式を好まない人にとっては不満になります。

真に公平(平等)にすることは大変むずかしいことです。

ここまで問い詰めると何にもできません。

もともと虚仮不実の多い世間の中のロータリークラブです。

研ぎ澄まされた真実論や公平論より数段ランクを落として、世間の常識に沿って真実公平なる言行を推し進める他ありません。





セミナーサマリー 2008 年

国際奉仕部門研修セミナー報告

(2008.9.7 武雄センチュリー)

国際奉仕統括委員会委員長 **常多 勝己**(長崎北RC)



鈴木泰彦ガバナー、隅田達男パストガバナー、高城昭紀ガバナーエレクトはじめ約150名、更に米山記念奨学委員会の北郷雅子委員長をはじめとする50名もオブザーバーとして参加していただいた。

1) ロータリー財団セミナー

森永 太委員長による財団の仕組み、

運営方針、更に5年先からより簡素化される財団・未来の夢計画について実に明快でわかりやすい説明があった。

その後「大学教員のための補助金」で海外活動をされた香月 武名誉教授の体験談およびこの制度についてのご意見を披露していただいた。



2) 財団奨学・学友セミナー

笠 慶宣委員長により財団プログラム、特に国際親善奨学制度についての解説があり現在の留学生の状況および申請の方法などが説明された。

本年度は申請が1件だけしかなかったことに対する原因の説明では、語学試験の要求基準が高くなったこと、また大学、学生に対するPRの不足などが考えられるという報告もあった。

体験発表は学友の戸上真由子さんの発表、又、まもなくニュージーランドのオークランド大学に行く堀田彰子さんの留学前の決意表明があり印象的であった。

3) GSEセミナー

山田 晃委員長によるGSEの意義・役割についての解説があり、そのあと2005年—2006年度派遣チームリーダー高江洲一雄さんより派遣先のUSAミシガン州およびカナダ・オンタリオ州での研修報告があった。

4) 質疑応答

ビルゲイツ財団からのポリオ・プラス・プログラムに対する対応について、日本と留学先イギリスでの子供の教育に対する差異、また次のGSE相手国の選定についての話題などで意見交換があった。

最後に鈴木泰彦ガバナーの総評がありロータリアン各自の小さな善意が集合するとこのような大きなプログラムが実行できる、みなさんのこの部門に対するご理解とご寄付への協力の要請があり4時間にわたるセミナーを終了した。

参加された皆様、大変お疲れ様でした。またご協力を頂き大変ありがとうございました。





国際青少年交換学生再募集ご案内

2009～2010年度 募集要項

ロータリー青少年交換に参加する学生は、約1年間、母国以外の国でホストファミリーと生活をともにし、学校へ通います。

新しい生活様式、さらには新しい言語、そして自分自身についても多くのことを発見することになります。また自国やその文化、自分の考えを出会った人々に伝える若き親善使節として、親しい友人を作りながら、世界を一つにする役割を担います。

年間8,000人以上の若者が、ロータリー青少年交換を通じて貴重な体験をしています。

1. 派遣先 アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、オランダ、フランス、ドイツ、ノルウェー、フィンランド、トルコ、オーストラリア、インド、台湾、タイなどアジア各地(過去実績)
2. 留学期間 2009年3月～2010年2月 :オーストラリア
2009年7/8月～2010年6/7月 :カナダ、アメリカ、トルコ、オランダ、フランス、メキシコ、ブラジル、ノルウェー、ドイツなど

3. 応募資格 (1)出発時点で15才以上18才6ヶ月迄の学生
(2)積極性、明朗性等の性格を有し国際理解を深めようとする強い意志と意欲の持ち主で親善大使としての務めを果たし得ること。
(3)ロータリアンの子弟である、なしに拘わらず応募資格があります。
(4)インターアクト・クラブの学生は特に歓迎致します。
(5)派遣先については委員会の決定を受入れられること。

4. 費用 (1)往復の旅費(派遣先によって異なりますが平均約25万円)
(2)保険料(傷害、疾病、死亡、救援費用等で約13万円)・VISA取得費用
(3)諸経費約10万円(交換学生制服ブレザー・バッジ・名刺代・ROTEX入会金)
(4)通信費(手紙や電話代は自分で支払わなければなりません)

*食費・小遣い・学校関係費用等の滞在費は、ホストロータリークラブから支給されます。

*課外レッスンは自己負担となります。

*生活全般にわたり支援するカウンセラーがつきます。

*派遣先のオプションツアー参加費用は、自己負担となります。

*ROTEXとは、青少年交換帰国学生により組織されたものであり、帰国後全員入会し、後進の指導にあたるのが、義務づけられています。

5. 応募方法 応募はお住まいの近くのロータリークラブを通じて行います。
最寄のクラブを<http://www.d2740.org/>で検索するか、下記のガバナー事務所にお問合せください。
各ロータリークラブは受付締切日を勘案の上派遣候補生の選考を行います。
尚選考は1回のみとする必要は有りません。どうしてもクラブにての選考が受けられなかった応募者については地区選考会にて選考を行います。



6. 応募書類

(A)志願書様式 1 及び 2 (B)保護者同意書 (C)学校長推薦書
(D)スポンサークラブ会長推薦書 (E)誓約書
(F)成績証明書(現在高校 1 年生の場合は中学 3 年次のものを)

(A)～(E)の書式は第2740地区ホームページよりダウンロード,
もしくは、ガバナー事務所にご請求ください。

7. 書類提出先 2008～'09年度 国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所

〒857-0052 長崎県佐世保市松浦町5-13 グリーンビル205号室
T E L : 0956-56-3122 F A X 0956-56-3086
ri2740@coda.ocn.ne.jp http://www.d2740.org/

8. 受付締切日 2008年11月17日 必着

9. 地区選考会 2008年11月22日(土) 佐世保市にて開催予定

本件に関するお問合せ先

国際ロータリー第2740地区 2008～09年度
国際青少年交換委員長 益田 莊一
TEL: 095-861-4111 FAX: 095-861-4041
E-Mail: district2740@gmail.com

2008～'09年度 国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所 (上記 7 参照)

●国際青少年交換プログラムに参加する意義

地域のコミュニティの高校生に約 1 年間、海外で生活する機会を与えます。

これは新しい言語を学ぶ必要性を持つ環境で、現地の学校に通学し、異文化を学び、新しい友人を作って、国際理解と国際親善を推進するものです。

ホスト・スポンサークラブは派遣・来日の 2 人の学生に生涯残る経験するチャンスを与え、あたらしい世界へ眼をむけるきっかけをつくります。

さらに、ロータリアンは交換学生として来日するInbound(来日学生)から、彼らの国と文化、考え方の違いなど多くのことを学ぶでしょう。

●他のプログラムとの違い

サポートガバナー会は、外務省にガバナー会議長、地区ガバナー、地区委員長連名の身許引受書を提出し、来日学生の VISA 取得の手助けをします。

各クラブから推薦をうけた派遣予定学生は翌年出国するまで、クラブのカウンセラーと緊密に連絡をとり、委員会主催の約 5 回のオリエンテーションに参加し、渡航準備を入念に行います。交換学生は、スポンサー地区と海外のホスト地区両サイドで、

カウンセラー、会員、および地区委員会から生活全般にわたりアドバイスとサポートを受けることになります。

ホストファミリーと共に生活し、地域の学校に通学し、例会への参加、地区大会への参加など、ロータリー行事に積極的に参加し、ロータリーのスピリッツを学びます。学生は毎月 1 回レポート提出を求められます。

●費 用

地区資金 学生滞在費補助
オリエンテーション・旅行

ク ラ ブ 学校関係費用等
ホストファミリーの提供、食費
小遣い(1 万円/月)
国内旅行の 1/3 負担(8 万円)

保 護 者 往復の旅費(派遣先によって異なりますが平均約 25 万円)
保険料(傷害、疾病、死亡、救援費用等で約 13 万円)・
VISA 取得費用
諸経費約 10 万円(交換学生制服ブレザー・バッジ・
名刺代・ROTEX 入会金 1 万円ほか)

期 間 応募・選考・決定・派遣先決定・出国・帰国まで、3
ロータリー年度をまたぐ事になります。



「米山の集い」報告

米山記念奨学委員会委員長 北郷 雅子(長崎出島R C)



9月28日(日)、「ホテルニュー長崎」丹頂の間で参加者(役員・カウンセラー14名、奨学生14名・指導教員8名)合計57名。11時からの第1部では、隅田米山理事から2007年度の寄付金が14億5,000万円だったこと、奨学会の現状などのご報告がありました。鈴木ガバナーのご挨拶と高城ガバナーエレクトのご挨拶。次にDVD「すばらしい贈り物」をご覧頂きました。学友の卓話ではテオ チュインさん(マレーシア・世話クラブ諫早西R C)長崎総合科学大学08.3月卒業「学生時代と就職してから意識の違いや、奨学生としての義務と責任などについて」の卓話がありました。次に、委員長が指導教員と奨学生にわかりやすいように、スライドで地区の米山の事業について説明をいたしました。記念撮影の後、第2部は14時半まで「親睦会」。

竹田ガバナー補佐の開会挨拶と12月の「平戸見学会」のお話。日本文化の紹介として日本舞踊(花柳流)を井上聖羅さん(活水高校2年)に「荒城の月」「長崎ぶらぶら節」の2曲を舞って頂きました。次に、カウンセラーの紹介で奨学生のスピーチ、奨学生の紹介で指導教員のスピーチと続き、ユーモアたっぷりの話など楽しい時間を食事と共に味わいました。奨学生のスピーチを聞いていると、オリエンテーションの時





の自己紹介からずいぶん日本語が上手になり、就職も決まった学生もいて、進歩を感じました。

最後は恒例の「手にてつないで」の後解散。今回の配布資料の準備や受付など、何名かの奨学生が自主的に手伝ってくれたことも、良かったと思います。これからも、地区大会などで、奨学生との交流の機会があると思いますので、よろしくお願いいたします。

「米山記念奨学クラブ委員長研修セミナー報告」

米山記念奨学委員会委員長 北郷 雅子(長崎出島RC)

9月7日(日)、「武雄センチュリーホテル」第一会場で、13:00～14:30までは国際奉仕部門セミナーと合同で、ロータリー財団の事を勉強しました。

その後、17時まで第2会場で「米山記念奨学会部門セミナー」を開催しました。隅田米山理事と高城ガバナーエレクトのご挨拶。また、各クラブに新しいDVD「すばらしい贈り物」が配布されますので、それもお覧頂きました。10月の米山月間にこのDVDを上映される地区内のクラブが多かったようです。

その後、地区委員長からの「米山月間について」の説明。すでに、4月27日の地区協議会「米山記念奨学部門」で、「心を育てる国際奉仕」地区米山事業について説明をしましたし、9月3日には、「カウンセラーの研修会」も開いていましたので、今回は全ロータリアンのお手元に毎年9月に配布される赤い表紙の「豆辞典」について、奨学会からのスライドでご説明しました。ガバナー事務所のHPからそのデーターをダウンロードできます。

長時間のセミナーでお疲れだったと思いますが、会場の中島地区副幹事、高木次期地区幹事、米山地区委員、米山クラブ委員長の皆様が真剣に米山事業に対して取り組んでいらっしゃる事が、質疑応答の時間から感じられました。

繰り返しになるかと思いますが、第2740地区では、今年16名(内継続4名)の奨学生をお世話しています。出前卓話ということを通して、ロータリアンと奨学生の相互理解の機会になり、クラブによっては来年の春に卓話希望など、地区米山奨学会の継続事業として、やっと定着してきたように感じます。

米山奨学事業は、ロータリアンからの寄付で活動しておりますので、皆様の普通寄付、特別寄付を本年度の鈴木ガバナー2,500万目標額(一人1万円)に近づくようにお願いいたします。また、いろいろな記念日[クラブ創立記念日][地区大会記念寄付]や[個人のロータリアンの記念日]などに特別寄付をお願いいたします。

毎月の「ロータリーの友」の「よねやまだより」と豆辞典をぜひお読みになってください。また、ガバナーからのメールマガジン、ホームページで、「ハイライトよねやま」がご覧頂けます。

最後に、皆様の更なる暖かいご支援をお願い申し上げます。



ガバナー公式訪問

東長崎ロータリークラブ

会長：木下 直樹
幹事：上原 高德

残暑きびしい中、去る9月2日(火)、鈴木泰彦ガバナー、中野ガバナー補佐、馬郡地区幹事の3名の方をお迎えし、公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち行われた、鈴木ガバナー、中野ガバナー補佐、馬郡地区幹事と当クラブ会長、幹事、会長エレクトとの懇話会の中で、当クラブの現状(ここ数年の間に会員の退会が増え、クラブの運営が厳しい事、今のクラブ内の充実を図り会員増強を目指している事)を報告しました。

鈴木ガバナーからは、新入会の紹介者へRCバッジを頂き、又、会員増強は大事な事なので頑張ってくださいとの温かいご指導を頂きました。

例会での卓話では、鈴木ガバナーの自己紹介から始まり、ガバナーに影響を与えてくれた方の話をされ、鈴木ガバナーに対して温かい人柄を感じ親近感を覚えました。

鈴木ガバナーは、クラブへの出席、そして会員の皆さんと友情を育み、本音で話す事で地域の発展を考え、ニューリーダーを育てていかなければならないのではないか、財団寄付、インターアクト、ローターアクト、財団奨学生、青少年交換、米山奨学生を支えていく事で世界平和に近づくのではないか、ロータリーの気持ちを持った子供達を育てていくのがロータリアンの使命ではないか、心豊かなロータリアンが一人でも多くいれば夢は叶うのではないかとのお話に、ガバナーの夢を形あるものにしたいという情熱と真のやさしさ、強い指導力に深い感銘を受けました。

鈴木泰彦ガバナー、中野ガバナー補佐、馬郡地区幹事のご指導を無駄にしないように私達も夢を持ち、ひとつひとつ私達ができる事を、積み重ねていこうと思っております。



大村北ロータリークラブ

会長：西田 猛
幹事：岡富 栄

9月3日(水)、大村北ロータリークラブ公式訪問例会に、鈴木ガバナーを始め馬郡地区幹事・角事務局長、そして当クラブの福谷ガバナー補佐が来訪されました。事前の打合わせ会にて、鈴木ガバナーよりRIや交換留学生制度のセクハラ保険のお話等ロータリーの現状をご報告頂きました。

大村北クラブの会長として、新世代や会員増強について意見も述べさせて頂き、地区の在り方について新たに考える良い機会となりました。

例会では、和やかな雰囲気の中、ガバナーより温かなお人柄が滲み出る様な口調で、ご自身の生い立ちに始まりロータリーのお話まで短い時間ではございましたが貴重なお話を頂きました。

会員同士の親睦について、例会だけでは無く、もっと懇談できる機会を作り人間同士の付き合いも必要だと感じました。また、会員増強についても、入会した新入会員への対応も、自然と会に馴染んでいける様しっかりフォローする事が大事だとも感じました。

以上、ガバナー公式訪問において改めて当クラブを見直す機会を頂いたことに深く感謝申し上げ、報告と致します。ありがとうございました。





ガバナー公式訪問

伊万里西ロータリークラブ

会長：時里 重利
幹事：小島 清嗣

9月4日(木)、当クラブ例会会場伊万里迎賓館にて鈴木泰彦ガバナー、藤谷成微ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、訪問者御一行と当クラブ会長、会長エレクト、幹事との懇談会を行いました。冒頭、鈴木ガバナーより伊万里での楽しかった思い出等話をされましたので出迎えた私達の緊張は一気に解きほぐれ和やかなムードの中、有意義な懇談ができました。クラブ運営、環境問題、ロータリーの友決算書、ポリオ募金、セクシャルハラスメント保険、地区大会、会員増強、他、限られた時間の中ではありましたが、ご指導を仰ぎながら多くの意見交換ができました。

例会卓話では、ご自身の紹介からロータリーの話、教育問題等さまざまな問題について語っていただきました。卓話を拝聴し「世界の子供達に夢を」与えるロータリーの活動と役割をしっかりと受け止めて行動しなければならないと思いました。

例会終了後、鈴木ガバナーを囲んで出席会員全員揃って記念写真を撮影いたしました。それから、突然の申し出で戸惑われましたが、メッセージを一言お願いしましたところ「夢」という一文字を色紙に書いて下さいました。RIのテーマ「夢をかたちに」を「ロータリーで心を耕そう」の精神で実践していく強い意志を感じました。我々クラブとしても鈴木ガバナーを支え、できる限りのことをしていきたいと思えます。

鈴木泰彦ガバナー、藤谷成微ガバナー補佐、馬郡謙一幹事、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。



長崎出島ロータリークラブ

会長：鉄川 進
幹事：村木昭一郎

9月5日(金)、鈴木泰彦ガバナー、中野廣ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事をおむかえして、当クラブの10周年記念例会を兼ねた公式訪問例会を開催致しました。例会に先立って行われた懇談会では、会員増強や出席率、あるいはポリオプラスに対する取り組み等について丁寧なご指導を賜りました。

野崎、田口両パストガバナーにもご臨席いただいた記念例会における、ガバナーのご祝辞には会員一同たいへん感激いたしました。また記念祝賀会では、当クラブがお世話しているロータリー財団国際親善奨学生川崎絵里子さんの壮行演奏会を行いました。その場においてもガバナーより心温まる激励の言葉をいただきました。川崎さんはその2日後に日本を離れ、目標としていた学校に合格したとの嬉しい便りも届いております。

公式訪問と周年事業を兼ねて行わせてほしいという私達の願いを、快くお引き受けいただいたガバナーと地区幹事には、改めて心よりお礼を申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。





ガバナー公式訪問

諫早南ロータリークラブ

会長：橋川 龍
幹事：樋口 征司

2008年9月8日(月)、諫早観光ホテル道具屋例会場にて、鈴木泰彦ガバナー・岡崎威ガバナー補佐・馬郡謙一地区幹事をお迎えし、公式訪問例会を開催いたしました。同月1日(月)に岡崎威ガバナー補佐と共にクラブ協議会を無事終えており、あとは鈴木泰彦ガバナーの卓話を拝聴するだけと気楽に考えておりましたところ、ガバナーとの懇談会の時に馬郡地区幹事から事業計画要旨の内容についてズバズバとご指摘を受け、面喰らいました。(笑)

公式訪問の式次もすみやかに進行しましたが、鈴木ガバナーの卓話は30分ではあまりにも短く感じられ、他クラブの様に懇親会などを合わせたかたちの公式訪問にすれば良かったかなと、心残りでした。

今回の公式訪問では鈴木ガバナーのお考えである『不透明なところを明確にして正す』との心意気に、私は特に感銘を受けました。

鈴木ガバナー・馬郡地区幹事におかれましては健康にご留意され、ますますご活躍されますよう祈念致しますと共に地区大会でお会い出来ることを会員一同楽しみにしております。



長崎西ロータリークラブ

会長：安永 勝信
幹事：榎本 延光

長崎西ロータリークラブは来年度に25周年の節目の年を迎えます。創立以来、一貫して来た事は会員相互の親睦を深め、その信頼関係にたって各種奉仕活動を行って来たということです。昨年は大変名誉な事に当クラブ三宅会員が野口パストガバナーのご推挙で、長年クラブと共に行ってきた養護施設の「毛布クリーニング」への奉仕活動に対して「超我の奉仕賞」を受賞致しました。この事はクラブの誇りであり大変な喜びでもありました。

今期、鈴木ガバナーは「ロータリーで心を耕そう」というスローガンを掲げられておられます。公式訪問の際には年間3万人にもなる自殺者の発生を憂慮され、命の尊さを説かれ、私どもに、RI会長の思いと重ねて訴えられました。青少年活動に並々ならぬ意欲を持ち続けている当クラブとしても、更にインターアクトクラブへの支援、施設の児童との触れ合い、大学生を中心にした「わっかもん祭」への協賛等を通じこれらの課題に挑戦していく所存です。又会員増強、財団・米山奨学生への寄付についても言及されましたが、当クラブはより理解を深め、目標達成に努力致します。





ガバナー公式訪問

大町ロータリークラブ

会長：山口輝二郎
幹事：釜崎 博昭

9月になったとはいえ、まだまだ暑さの残る10日(水)、鈴木ガバナー、中島ガバナー補佐、馬郡地区幹事の3名をお迎えして白石・大町クラブ合同の公式訪問を行いました。

新しい例会場で、さらに合同例会と言うこともあり準備は何かと大変でしたが午前の懇談会も無事終え、午後の例会においては我がクラブ恒例である出席者全員との握手、上着を脱いでの軽い準備体操を経験されたガバナーより『実にファミリーなクラブ!』との評価を頂きました。

30分にも及ぶ鈴木ガバナーの卓話は若い頃の思い出に始まり、社会人になってから当地区周辺のお得意先周りをされたこと、やがてロータリーに寄せる思いなどを例の穏やかな口調でお話しされ、後半はガバナー方針である『ロータリーで心を耕そう』の主旨を熱く語っていただき、出席者全員がその内容に引き込まれてゆきました。

白石・大町両クラブとも会員の減少、奉仕活動のあり方など抱える問題はありますが、今日のガバナーの言葉を励みに、これからも『心を耕せるクラブ』でありたいと再確認出来た例会でした。



白石ロータリークラブ

会長：片渕 正人
幹事：梶原 史生

去る9月10日(水)、鈴木泰彦ガバナー、馬郡地区幹事、中島ガバナー補佐を迎えての公式訪問を白石クラブ、大町クラブ合同で大町クラブ例会場にて行われました。

事前の懇談会でクラブの現況等を報告、問題点、改善点など意見交換を行い、今後の取り組みなどアドバイスを頂きました。

白石クラブは1983年(昭和58年)チャーターメンバー23人で創立。白石平野の白石町(旧白石・福富・有明、平成17年1月合併)を限界区域とし、人口27,000人の純農村。現在会員14名と厳しいクラブ運営を強いられております。ここ数年退会が相次ぎ会員増強も厳しい状況です。6年前(2002-03)会長を経験し、本年度2回目を引き受けました。

ガバナー卓話の中で最近の世の中の状況を憂い、これらの根本にある「教育」に大きなテーマがあるのではないかと提言されました。「日本人の心が病んでいる」まさに小生もそう思います。

ロータリアンとして自分の仕事を通じて世の中(地域)に貢献することを基本に地域社会に奉仕など取り組み、会員の協力を得て会員増強に取り組んでいきたいと思ひます。

ご指導よろしくお願い致します。





ガバナー公式訪問

多久ロータリークラブ

会長：金ヶ江亮子
幹事：福地 孝司

9月11日(木)、鈴木泰彦ガバナー、七田秀徳ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開きました。

これは私事ですが、ガバナーが到着されるまではとても緊張しておりましたが、鈴木ガバナーの、あの穏やかなお人柄に接して私の緊張もおさまり、その後は、多久ロータリークラブの年間行事などについて話していく中で、「ロータリーは継続事業をあまり好ま

ないようにお聞きしておりますが、それはどういう理由からですか？」とお尋ねしたところ、ガバナーから、「継続がいけないということではなく、一応その事業が独り立ちできるようになったら、また新しい事業に着手してほしいということでしょう。」というお答えをいただき、このことについては私なりに理解ができました。

どのクラブにおいても女性会員の数が少ないようですが、女性会員の入会が認められたのは、1986年で日も浅いからかとも思われます。会員増強においても、多久の場合は今年度2名の方が入会され、その内の1名は女性となっており、41名中女性が4名という現状です。

9月に入会された会員の方は、ガバナーよりロータリーのバッジをつけて頂き、大変感激された様子でした。本当に有難うございました。

尚、ガバナーの卓話にも、お人柄がよくうかがえ、楽しいひと時でした。ご苦労様でした。



神埼ロータリークラブ

会長：福地 善孝
幹事：井田 茂樹

神埼ロータリークラブは9月16日、例会場の吉野ヶ里町商工会(佐賀県神埼郡)に鈴木泰彦ガバナー、末次義視ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催しました。

卓話では、鈴木ガバナーが「LEE会長が、就任後いの一番に来日していただいた。自分たちに寄せる期待を強く感じ取った」と語り、各ロータリーの協力のもとに重責を全うする決意を述べられました。

また、卓話の前段では自分の幼少期・青年期の思いを淡々と吐露されました。その純真な人間味溢れる語り口に、「心豊かな人」との印象を改めて感じ取ることが出来ました。地区運営方針の「ロータリーで心を耕そう」のテーマは、ガバナー自身の人生観から発せられたものとの思いを全員が持った瞬間でした。

最後に、宮地勝朗君(元ガバナー補佐)が「鈴木ガバナーの人柄を垣間見ることが出来ました。今日の卓話を糧として、ひとつひとつ活動を積み上げていきたい」と謝辞を述べ、福地会長よりバナーを贈呈しました。

この日は、佐賀南RCへの公式訪問も組み込まれたハードスケジュール。有意義なひと時に全員が立ち上がって拍手、一行を送り出しました。





ガバナー公式訪問

佐賀南ロータリークラブ

会長：駒井 英基
幹事：笠 慶宣

2008年9月16日(火)、鈴木康彦ガバナー、馬郡謙一地区幹事、角 康隆ガバナー事務所事務局長、末次義視第2グループガバナー補佐をお迎えして、公式訪問例会を開催致しました。まず訪問例会に先立ち、17時より当クラブ会長、幹事、会長エレクトを交えての懇談会が開催され、当クラブの活動方針、活動内容の現状報告などを行いながら、貴重な地区との意見交換の場を持つことができました。特に財団活動についての今年度以降3年間の協力依頼がありましたので、重要協力案件として努力していくことになりました。また、青少年交換に関する現在の問題点などにも話がおよび、地区全体で今後努力していかなくてはと認識を新たに致しました。



また、続いての訪問例会では、鈴木ガバナーの穏やかな笑顔をもって、かつ情熱を持っての今年度のRI方針や青少年育成をしなければならぬという地区方針を交えた熱心な卓話を拝聴することができました。会員一同、ロータリアンとしての思いを改めて強くした例会となりました。ガバナーには今後も益々ご活躍いただき、地区の皆に活力を与えていただきたいと思います。



諫早西ロータリークラブ

会長：辻 正勝
幹事：日高 正朗

9月17日鈴木泰彦ガバナー、馬郡謙一地区幹事、第8グループ岡崎威ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。

本年度のRIテーマは「夢をかたちに」、鈴木ガバナーは「ロータリーで心を耕そう」というテーマを設けられました。

日本の社会情勢をみるとき事件や事故が多いこと、又、青少年の事件には特に心が痛むと話されました。ロータリー財団の寄付金の重要性、青少年交換事業における青少年の育成など、多岐にわたる話に会員一同聞きいっておりました。身近な教育問題は大変わかりやすくお話し頂き、30分はあっという間に過ぎました。

当クラブは「諫早西RC旗ミニバスケットボール新人大会」を地元団体と協力して主催・開催致します。

又、国際交流会は、長崎・諫早地区の留学生と日本の武道・料理(お寿司作り)などを通じて交流会を開催しております。

諫早市内小学校に植樹事業も継続して行っております。このような事業を中心に会員相互の親睦を計り、楽しいクラブ運営を計りたいと思っております。

鈴木ガバナーにおかれましては、今後ともお身体に十分留意されご活躍を心より祈念申し上げます。





ガバナー公式訪問

佐世保中央ロータリークラブ

会長：指山 康二
幹事：岩政 孝

当クラブ、佐世保中央ロータリークラブは1990年9月29日、スポンサークラブ佐世保北RC コ・スポンサークラブ佐世保南RCのご支援を受け創立いたしました。

創立18年、現会員数41名、名誉会員1名の陣容であります。

9月18日(木)、鈴木泰彦ガバナー・内海和憲ガバナー補佐・馬郡謙一地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

例会前、鈴木泰彦ガバナー他役員の皆様に、当クラブ会長・副会長・会長エレクト・幹事4名がクラブ現況報告をさせて頂きました。その折、例会出席率と財団奨学会寄付についてクラブ全体のまとまりが有るが故の実績こそとお褒めいただき、感激恐縮した次第です。

例会での卓話は、自己紹介そのものが鈴木泰彦ガバナーの人徳を伺い、土臭く飾りの無い考え方でロータリー活動を実践されているお姿に、本年度テーマ「ロータリーで心を耕そう」の思いを会員全員が確認させて頂いたところであります。

例会終了後、佐世保南クラブ主管RI第2740地区大会への率先的なご協力をお約束すると共に、当クラブの社会奉仕委員会活動「楽しいまちづくり」の一環として佐世保公園を桜でいっぱいにする団体の協力を行うべく「鈴木泰彦ガバナー公式訪問記念桜の植樹式」にご参席賜りました。

この1年間、鈴木泰彦ガバナーほか地区役員皆様のご苦勞をお労い申し上げますと共に、地区大会が成功する為にご協力をさせて頂きます。



島原南ロータリークラブ

会長：日向 啓
幹事：中村 一三

今年の公式訪問は9月24日と、例年に無く遅めで、ゆっくりとした気持ちでおまちしておりました。当日、例会場にでかけましたら、鈴木ガバナー、福谷ガバナー補佐、馬郡地区幹事は既に到着されておりました。時間になりましたので、正副会長、幹事との会合をはじめさせて頂きました。

島原南クラブの状況を報告し、会員数が20名と少なく苦勞している。今期になり2名増えましたが、2名減りました。会員の年齢は53.8才と若く、少数ですがやる気のある若者もおります。また、田舎のクラブだけに服装にも苦勞しておりますと報告しましたら、汚れたままでも良いじゃないですか出席が第一です。との助言を頂きました。

終始和やかなうちに、懇談も終了して例会に移りました。

例会卓話で、自分の生い立ちを話された。その中で、人と人のかかわり、特に大学時代の仲間からいろんな事を学んだ、そして卒業後、その諸々が血となり、肉となっているとの事でした。

ロータリーで、良い仲間作りをしましょう。





ガバナー公式訪問

長崎琴海ロータリークラブ

会長：松藤 茂
幹事：浦 信夫

9月25日、当クラブの例会場であるパサージュ琴海に、鈴木泰彦ガバナー、森ガバナー補佐、馬郡地区幹事をお迎えし、公式訪問例会を開催しました。

会長、幹事、会長エレクトとの懇談会では、会員減少、出席率の問題点などを指摘されましたが、新世代会議を12年間継続していること、会員数に対しニコニコの額が多いこと、会員数名が毎年カンボジアを訪問し支援を行っていることなど、少人数でありながら活動的であるとお褒めの言葉を頂きました。

例会での卓話では、学生時代のスポーツの中で先輩が後輩に対し、どう指導するかなどを学ばれたこと、アメリカの話ではアメリカは節度ある自由な国、それに対しわがままな自由の国となってしまった日本など、考えて行かなければならないこれからのロータリアンの課題など、真剣に、ある時はユーモアを交えながらお話し頂きました。これまで多くは壇上の人であった鈴木ガバナーのお人柄を垣間見る時間となりました。

最後に今回の公式訪問に対し、長崎琴海ロータリークラブ会員一同、感謝を申し上げます。



ハウステンボス佐世保ロータリークラブ

会長：有吉 伸二
幹事：中川 英俊

去る9月30日(火)、あいにくの雨模様でしたが、秋を彩るハウステンボス園内の花々と共に鈴木ガバナー、内海ガバナー補佐、馬郡地区幹事、そして角事務局長をお迎えしました。

例会に先だって行われたクラブ役員との懇談会の中で我々がもっとも興味を持ったのが、「公立中学校の校長先生がロータリアンでいらっしゃる」というガバナーのお話でした。そして、そのことによって生じるロータリークラブのメリットについても十分に理解できました。どこのクラブでも会員増強に務めていらっしゃると思いますが、これからは違った角度からの勧誘も必要だと感じました。その他にもご助言、ご指導を賜り、とても有意義なひとときでした。

また、例会では鈴木ガバナーの穏やかでユーモラスなお話ぶりに皆吸い込まれ、あっという間の30分でした。「心豊かな人でありたい。」「周りの人たちにも清く、正しく、美しい気持ちで。」というお話をお聞きし、私たちの心も耕していただいたような気がいたします。

ガバナーのお話を胸に刻んで今後もロータリー活動を続けて参りたいと思います。本当にありがとうございました。





ガバナー公式訪問

佐賀大和ロータリークラブ

会長：緒方うらら
幹事：上野 倫五

9月30日、ハウステンボスロータリークラブに引き続き訪問を受けました。先輩会長達からガバナー公式訪問は一大行事、粗相が無いように、何を質問されるかわからないぞと言われ続けていたので、懇談会の1時間半をどう過ごせば良いのかかなりの緊張でお迎えしました。心配をよそに鈴木ガバナーのソフトな話し振り、七田ガバナー補佐と馬郡地区幹事、角事務局長のサジェッションで



は時間を忘れてしまうようでした。夜の例会まで過ごして感じたことは、スポーツをやって上下関係の厳しさを体験し、ネットワークの大切さをロータリーを通して学んだこと、さらに世界を見据えたロータリークラブであること等々。当クラブではロータリークラブの無い中国人をお世話することが多いが、交換留学生や米山記念奨学生の大半が、中国、インド、韓国等の母国で必ず指導的な立場となって活躍しているので、大いに世界に貢献していることは喜ばしいこととおっしゃっておられました。少々疑問に思っていたことが一つクリアしました。ありがとうございました。

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種 類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	メモリアル・コントリビューター	池 永 英 比 古 松浦 R C
	ポリオプラス	佐賀西 R C
		高 城 昭 紀 島原 R C
	年次寄付	塚 崎 寛 長崎中央 R C
		志 賀 定 義 長崎中央 R C
		本 田 徳 光 長崎中央 R C
米山記念奨学会	米山功労者	榎 本 延 光 長崎西 R C
		安 永 勝 信 長崎西 R C
	特別寄付金	小城 R C



ガバナー・ノミニー決定宣言



高原 武彦 君
(有田R C)

2010-11年度ガバナー候補者について、2007年8月1日付「月信第2号」により地区内全クラブに通知いたしましたが、期限内に推薦の申し出はありませんでした。

従いましては、RI細則第13.020節「ガバナーの指名手続」の定めにより、2008年9月26日のガバナー指名委員会に於いて指名されました、高原武彦君(有田R C)が、2010-11年度ガバナーに就任するガバナー・ノミニーに選出されたことを宣言しました。

その後、現在まで異義申し立てがございませんでしたので、決定宣言いたします。

2008年10月11日

国際ロータリー第2740地区
ガバナー 鈴木 泰彦

高原武彦君のプロフィールは次の通りです。

氏名 高 原 武 彦

生年月日 1935年 7 月29日

現 住 所 佐賀県西松浦郡有田町本町丙784-10

本 籍 大阪府西区江戸堀2丁目25番地

◆ロータリー歴

1983年 有田ロータリークラブ入会

1988年 有田ロータリークラブ幹事

1992年 有田ロータリークラブ会長

1996年～2000年 ロータリー財団学友地区委員

2004年～2005年 第3グループガバナー補佐

ポールハリス・フェロー ベネファクター 米山功労者

◆学歴及び職歴

1962年 3 月 長崎大学医学部卒業

1962年 4 月 大村市立病院にて医学実地修練

1963年 4 月 長崎大学医学部第二解剖学教室
長崎大学医学部第一外科教室

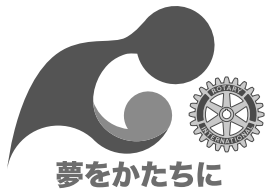
1968年10月 佐世保市立総合病院外科

1975年 8 月 高原外科医院開業 佐賀県有田町原宿

1990年 9 月～現在 医療法人 高原医院理事長

2000年～2006年 伊万里・有田地区医師会会長

同 佐賀県医師会理事



地区大会のご案内

『ロータリーで心を耕そう』～道徳で心を育てよう～

夢 と の 出 会 い

2008－09年度

ガバナー 鈴木 泰彦



未来の世界 未来
の日本 未来の郷土。
人間一人一人のな
せるものは、ほんの
わずかな事だけでし
かありません。

人は皆一人で生ま
れ一人で死んで行き
ます。

人の寿命は誰にもわかりません。

美しい郷土に生まれ、社会に育てられ、人に育
てられた私達は、今、この世に生かされています。

私達はこの恵を未来に向かって引き継いで行
く使命があるのではないかと思います。

ロータリーでの多くの仲間との出会いで倫理
感を養い、友情を育み、情熱をかたむけてきた私
達が次へ残せるものは、ニューリーダーを育て、
子供達の夢を叶えてあげられるような世界を
作ってあげる事ではないかと思います。

食糧問題、環境問題、資源問題、どれをとっても
世界中の問題です。世界は一つ、すべての国が分
かち合える地球でなければならないと思います。

ロータリーの目指す世界平和への願いは、一つ
一つの小さな心にあります。

心豊かなロータリアンが一人でも多くいれば
夢は必ず実現していくものだと思います。

地区大会では新世代の子供達と地区内外の
ロータリアンと笑顔で相集い、感動を分かち合い、
夢との出会いを楽しみましょう。

子供達の夢を形あるものにしてあげる為に!!

11月8日(土) 記念懇親ゴルフ大会

会場：佐世保カントリー倶楽部

10：00 ～ スタート

【登録料：5,000 円 プレー費：別途】

11月14日(金) RI 会長代理晩餐会

会場：HTB ホテルヨーロッパ内レンブラントホール

17：30～ 受付開始

18：00～ RI 会長代理歓迎晩餐会

アトラクション

－ナターシャ・グジー(バンドゥーラ奏者)－

本会議プログラム

11月15日(土) 大会第1日目

会場：アルカス SASEBO

10：30 ～ 会長幹事会・四委員会

12：30 ～ 本会議

15：00 ～ 分科会

第1分科会：ロータリーの奨学金プログラム

－ナターシャ・グジーコンサート－

第2分科会：インター・ローターアクトの集い

第3分科会：国際青少年交換留学のススメ

第4分科会：広報・情報・IT・雑誌委員会

16：45～ 本会議

18：40～ 記念懇親会

【大会登録料：10,000円】

【記念懇親会登録料：6,000円】

ナターシャ・グジー

撮影：広河隆一



11月16日(日) 大会第2日目

会場：アルカス SASEBO

12：15 開場 記念チャリティコンサート

13：00 開演 ー森山良子コンサートー

13：15 開場 パネル・ディスカッション

14：00 開演

ー海老原靖芳(佐世保出身放送作家)ー

ールー大柴(Together しようぜ!)ー

ー鈴木泰彦(2008－09年度ガバナー)ー



11月16日(日)開催

国際ロータリー第2740地区大会開催記念
森山良子コンサート2008



入場無料
(要観望券)

11月16日(日)
会場：アルカスSASEBO 大ホール
開場：12:15・開演13:00

主催：国際ロータリー第2740地区 協力：アルカスSASEBO
※未就学児はご入場できません。

エクスカーションのご案内

◆バスで行く佐世保観光◆

日時：2008年11月16日(日)午前中

会費2,000円 募集人数40名

- 9:30 アルカスSASEBO集合
- 10:00 弓張岳展望台
- 11:00 佐世保米軍基地見学
- 11:30 ハーバービューにて昼食(軽食)
- 12:30 アルカスSASEBO到着

※定員40名になり次第、締め切りとさせていただきます。

※基地入場の為、個人登録が必要となりますので、後日、大会事務局より個人情報をお尋ね致します。

国際ロータリー第2740地区

大会記念パネル・ディスカッション

親子で考える教育問題

～親と子供でTogetherしようぜ!～

第1部 ～親と子供でTogetherしようぜ!～



パネラー ルー大柴

■プロフィール

(生年月日)1954年1月14日(昭和29年)
(血液型)A型
(出身地)東京都新宿区
(趣味)手帳を眺めながらどじょうをルックルッククラシック音楽を聴くことと切手・集郵集めるおいしい立ち食いそばを堪能するアクセサリー作り(ホースネイル)
2007年 GQメンオブザイヤー2007受賞!
(略歴)
新報で印刷会社の御曹子として生まれる。生家は若旦那となるはずが高校卒業後放浪の旅に。ヨーロッパをヒットハイクしながら露天商などをする。帰国後アルバイトをしながら役者を目指し長い下積み生活を送る。34歳でようやくパフォーマーとしてデビュー。その後役者として転身をはかり舞台役者の道へ行くが2007年ブログ、NHKみんなのうたをきっかけに再びテレビ界へカムバック。現在に至る。

11月16日(日)

会場：アルカスSASEBO
中ホール

●開場／13:15

●開演／14:00



第2部



佐世保出身放送作家
海老原靖芳

コーディネーター

■プロフィール

1953年、佐世保生まれ。藤石小、磯石中、南山、青山学院大学経済学部卒。放送作家、長野県長野市在住。大学卒業後、いまや伝説のテレビ番組となっている「巨獣・怪獣のザ・バトル190分」の特典に持ち込んだギャグ原稿が番組スタッフに認められ、放送作家となる。以来、笑いを作る放送作家として、とんねるず、コント赤信号、ザ・ドリフターズやSMAP、モーニング娘。のコント脚本を書き、「風雲たけし城」、「志村けんのだいじょうぶだあ」、「ドリフ大爆笑」、「お江戸でござる」、「吉本新喜劇」など、数多くの番組を手がける。NSC(吉本のお笑い芸人養成学校)東京校では、講師として芸人志望の若者たちに笑いの作り方を教える。「風川庄司」や「ハロー・ペイ」などを世に送り出す。佐世保市が市制100周年を迎えた2002年、オリジナル脚本で吉本新喜劇のメンバーと市民100人が共演する舞台を公演。舞台に、三谷幸喜、関根勤、木梨憲武も出演するエッセイ「戦時中のボーイ」(牧野出版)がある。

パネラー



国際ロータリー第2740地区
ガバナー 鈴木 泰彦

- ・ルー大柴
- ・教育関係者
- ・ロータリー
- 現役保護者代表

主催：国際ロータリー第2740地区 後援：佐世保市・佐世保市教育委員会・佐世保市PTA連合会



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀RC
小松 敏正 君



佐賀北RC
野末 一樹 君



多久RC
古賀 清登 君



多久RC
中川 清美 君



唐津中央RC
日高 幸信 君



佐世保RC
加藤 陽一 君



佐世保RC
小川 芳寛 君



佐世保RC
池田 誠 君



大村東RC
緒方 佳人 君



諫早多良見RC
福元 重喜 君



長崎RC
米田 耕司 君



長崎北RC
寺田 治之 君



長崎東RC
菊池 恵美 君



訃報

謹んでお別れいたします 合掌



故
福井 順
パストガバナー
(長崎南RC)



故
樋口美枝子 君
(長崎出島RC)



2008年8月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数					新 入	退 会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐 賀	3	77.1	65	0	67	0	-1	0	1
	小 城	3	82.4	25	2	26	2	-1	0	1
	牛 津	4	93	32	1	32	1	0	0	0
	多 久	3	90.6	39	3	39	3	0	0	0
	佐賀大和	3	76.4	24	2	24	2	0	0	0
	小 計		83.9	185	8	188	8	-2	0	2
第2グループ	佐 賀 西	4	80.1	49	0	49	0	0	0	0
	佐 賀 北	3	85.5	38	3	36	3	-1	1	2
	佐 賀 南	3	86.5	42	2	42	2	1	1	0
	神 埼	3	84.4	30	0	30	0	0	0	0
	佐賀空港	3	61.1	18	1	18	1	0	0	0
	小 計		79.5	177	6	175	6	0	2	2
第3グループ	有 田	3	64.8	37	1	36	1	-1	0	1
	武 雄	4	84.6	52	2	52	2	1	1	0
	鹿 島	3	91.5	37	2	40	2	0	0	0
	嬉 野	4	94.3	21	1	22	1	1	1	0
	大 町	3	69.3	27	0	27	0	0	0	0
	白 石	3	64.3	14	0	14	0	0	0	0
	太 良	3	95.8	9	1	8	0	0	0	0
	小 計		80.6	197	7	199	6	1	2	1
第4グループ	唐 津	3	93.3	52	0	52	0	0	0	0
	伊 万 里	3	95.8	31	0	32	0	0	0	0
	唐 津 東	3	93.5	51	0	51	0	0	0	0
	唐 津 西	3	87.7	35	0	35	0	0	0	0
	伊万里西	3	81.3	45	0	46	0	0	0	0
	唐津中央	4	92.4	36	4	36	4	0	0	0
	小 計		90.7	250	4	252	4	0	0	0
第5グループ	佐 世 保	3	96.7	78	0	81	0	3	3	0
	平 戸	3	89.2	38	0	35	0	0	0	0
	佐世保西	4	95.8	27	0	27	0	0	0	0
	北 松 浦	4	90.6	21	0	21	0	0	0	0
	松 浦	4	88.8	29	1	29	1	0	0	0
	小 計		92.2	193	1	193	1	3	3	0

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数					新 入	退 会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	4	97.3	76	0	78	0	0	0	0
	佐世保東	3	82.6	24	0	24	0	0	0	0
	佐世保北	4	98.2	48	0	47	0	-1	0	1
	佐世保中央	3	96.8	39	2	41	2	0	0	0
	佐世保東南	2	77.6	22	0	23	1	0	0	0
	HTB佐世保	3	67.5	31	6	31	6	0	0	0
	小 計		86.7	240	8	244	9	-1	0	1
第7グループ	大 村	3	95.4	51	3	51	3	0	0	0
	島 原	4	90.4	34	1	34	1	0	0	0
	雲 仙	4	95.6	26	0	26	0	0	0	0
	大 村 北	3	100	34	0	34	0	0	0	0
	島 原 南	3	70	20	1	19	1	-1	1	2
	大 村 東	4	81.1	49	1	48	1	-1	0	1
	小 計		88.8	214	6	212	6	-2	1	3
第8グループ	諫 早	4	88.8	58	0	57	0	0	0	0
	諫 早 北	3	84.6	64	0	63	0	0	0	0
	諫 早 西	3	94.6	45	0	44	0	0	0	0
	諫早多良見	3	91.2	38	0	37	0	-1	0	1
	諫 早 南	4	79.6	28	5	27	5	0	0	0
	小 計		87.8	233	5	228	5	-1	0	1
第9グループ	長 崎	3	83.5	92	0	91	0	0	1	1
	福 江	4	90.4	38	0	37	0	-1	0	1
	長崎北東	3	83.2	50	6	50	6	-1	0	1
	福江中央	3	92.2	29	0	30	0	0	0	0
	長 崎 西	3	75	63	0	64	0	1	1	0
	長崎琴海	3	71.4	22	2	21	2	0	0	0
	小 計		83.5	294	8	293	8	-1	2	3
第10グループ	長 崎 北	4	76	75	0	74	0	0	2	2
	長 崎 南	3	79.3	82	0	83	0	-2	0	2
	長 崎 東	4	98.2	54	0	54	0	0	0	0
	東 長 崎	3	86.9	26	0	28	0	1	1	0
	長崎中央	4	93.2	54	0	56	0	2	2	0
	長崎出島	4	77.4	52	11	53	12	1	1	0
	小 計		85.1	343	11	348	12	2	6	4
合 計			85.9	2326	64	2332	65	-1	16	17



文庫通信

253号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より(3)

- ◎「ロータリーのサーヴィス・コンセプトについて考えよう」
松宮 剛 2007 9p(D.2500地区大会報告書)
- ◎「ロータリーの心と原点を大切にしよう」
廣畑富雄 2006 10p(D.2700地区大会記録)
- ◎「ロータリーの原点」成川守彦 2006 5p(D.2700地区大会記録)
- ◎「教育という大業」佐藤千壽 2008 12p(D.2670地区大会記録)
- ◎「ロータリー財団活動の成果～世界平和への貢献(シンポジウム)」
内藤幸彦 他 2008 4p(D.2590地区大会の記録特集号)
- ◎「CLP を理解しよう」成川守彦 2007 5p(D.2670IM 報告書)
- ◎「ネパールの医療活動について」伊藤公夫 2008 3p(D.2540地区大会記録)
- ◎「松枯れ防止活動」那波宗久 2008 3p(D.2540地区大会記録)
- ◎「ロータリーの初期の人々——シェルドン・コリンズ・ベア・ラグルス・デイビッドソン」
三木 明訳 2007 13p(D.2680月信)
- ◎「五つの課題への協力(クラブ会長就任演説)」
ガイ・ガンディカー 田中 毅訳——4p(ロータリーの源流から)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740
2008-09年度ガバナー 鈴木泰彦

●ガバナー事務所

〒857-0052 佐世保市松浦町5-13 グリーンビル205号室
TEL.0956-56-3122 FAX.0956-56-3086
E-mail : ri2740@coda.ocn.ne.jp <http://www.d2740.org>



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2008-09年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

2008-09年度ガバナー

鈴木泰彦

“ロータリーで心を耕そう”

vol. **6**
2008.12.1



平戸市の少年たちの野球教室で。指導者は往年の名投手池永正明氏。

CONTENTS

「人皆是我師」鈴木泰彦ガバナー……………	1	投稿トピックス「初めての観月会」……………	10
ガバナー補佐・リレー随想……………	2	ハイライトよねやま104……………	11
職業奉仕委員会セミナー報告……………	3	新入会員紹介……………	13
ガバナー公式訪問……………	5	会員数・出席報告……………	14
寄付者紹介……………	7	文庫通信……………	裏表紙
ロータリー財団国際親善奨学生募集要項…	8		



「人皆是我師」

2008-09年度

ガバナー 鈴木 泰彦



私の61年の人生はまさにこの一言につきると考えています。

スポーツが好きで、本を読む事すら好きになれずに生きて来た私の人生を振り返ると、(本を読んだと思えるのは、松下幸之助氏の本だけです。後に、社員に給料日毎にPHPを10年間配布してきました。)それが逆に良かったのかなとも思っています。

「百聞は一見にしかず」の気持ちで、色々なものを現場第一主義で見聞きしていくうちに、人は様々な考え方を持っているものだと思えるようになりました。社会人になって始めてその事に気付くようにもなり、学生時代を考えると、様々な先生に勉学を教わり、スポーツの厳しい指導も受け、規律・礼儀を身につけさせられてきました。社会に出てからは、人それぞれの生き様を教えられ、政治家、経済人、そしてロータリアンの異業種の皆様に世間の出来事の数々を学ばせてもらえたように思えます。

他人との付き合い方、兄弟との付き合い方、社員との付き合い方、事が起こるたびに学んだことは小さい事、大きい事にかかわらず、ビチャイ ラタクルさんがおっしゃる様に、解決できるたびに大きな自信に繋がってきたようです。

飲み仲間の友人が病に倒れ、半身不随・言語障害になって入院をしています。元気でいる私達も家庭では又、86歳の母親も多少、介護を要する必要性にせまられてくるようになると、家族、兄弟に負担をかける事になります。

しかし、誰もが通過しなければならないものでもあります。今を大切にこれからも又、「人皆是我師」だと思って行く事が幸せに繋がっていくのではないのでしょうか。

ロータリアン一人一人が我師であると思うとロータリーにいる自分自身が成長していけるのではと思います。仲間としてこれからも宜しくお願い致します。



ガバナー補佐・リレー随想

第5グループガバナー補佐 竹田 健介
(平戸RC)



あるグループの研修で静岡遠州地方へ行く機会がありました。

静岡は茶どころ、うなぎの浜名湖。遠州といえば広沢虎造の名調子でおなじみの遠州森の石松の名が思い浮かびます。浜松から掛川に行くと、そこには大河ドラマ「功名が辻」の舞台で山内一豊が城主をつとめた掛川城が聳えています。その近くに「大日本報徳社」がありました。

大日本報徳社とは・・・幕末から明治に至る日本の近代化黎明期、二宮尊徳の唱えた報徳思想の普及をめざし、道徳と経済の調和、実践を説き、困窮にあえぐ農民の救済をめざした報徳運動が全国に広まりました。尊徳門下の岡田良一郎の力強い指導による活動が盛んだった掛川は、やがて全国の報徳運動の中核地となり、この地に大日本報徳社が開設されたのです。

薪を背負って読書する少年像、すなわち一生懸命働きながら、勉学に励む少年、これが私たちが抱いている二宮金次郎のイメージですが、彼の青年時代、壮年時代、晩年と、その全生涯の業績を眺めると、けなげな少年像からは想像もできない、偉大で、巨大な人物像が浮かび上がってきます。

この紙面をお借りして彼の思想を学んでみることにしましょう。

32歳の時に小田原藩家老、服部十郎兵衛家の財政再建を引き受けます。その後、藩主

ただね
大久保忠真公の命により各地の復興を手がけました。70歳の生涯に、620ヵ町村の財政再建を成功させ、多くの農民を救いました。その行動から培った知恵を体系的思想として唱えたものが「報徳の思想」です。その思想を形成する三本の柱は「勤労」、「^{ぶん}度」、「^{すいじょう}推譲」という言葉で表されています。

『^{せきしょうい}勤労』は、積小為大という言葉に代表される考え方です。大きな目標に向かって行動を起こすとしても、小さなことから怠らず、つつましくつとめなければということ。

『^{ぶん}度』とは、適量・適度のこと。分度をしっかり定めないままだから、困窮してしまうし、暮らし向きも楽にならない。家計でも仕事でも、現状の自分にとってどう生き、どう行ふべきかを、知ることが大切だという考え方です。

『^{すいじょう}推譲』とは、肉親、知己、郷土、国のため、あらゆる方面において、譲る心を持つべきであるという考え。分度をわきまえ、少しでも他者に譲れば、周囲も自分も豊かになるものだという考えです。

この優れた実践思想は、やがて農村救済という枠を大きく超えて幅広い分野に浸透しました。日本の代表的な事業家たちにも多大な影響を与えるなど、歴史的、世界的見地からみても卓越して深遠な報徳の思想は、今も脈々と社会に息づいています。



職業奉仕委員会セミナー報告

職業奉仕委員長 古賀 良一(佐世保南RC)



今日、日本社会は、さまざまな要因、原因があったにせよ、その変貌の有様は末期的症状と把えるべきでしょう。肉親や親族同士、誰でもよかった、殺してみたかったという殺人・傷害事件、地域社会、又経済界、政界にあっても考えられない不祥事件や偽装問題、トップとしてリーダーとして言い訳がましい弁解弁明、大人社会までもが信じ難き悲しく恥ずかし

い事例ばかりであります。

職業奉仕委員会では「四つのテスト」の言行に照らしてとは、第一～第四迄のロータリーの綱領とは、どうあるべきか。地域に住む職業人として企業人として問い直してみようという事で、本県教育委員長であり、現私学の理事長も務められている栗林英雄パストガバナーにご講演をお願いする事となりました。



ロータリー活動を通して学ばれた事、感じられた事、又近代経済人三人の歴史観、人生観、江戸時代以降幕府を又藩を支えた達人の生き方、生き様を例に、現代人としてあるべき姿、指針となるべきご示唆をいただき感銘深きセミナーになったと確信するものです。加えてクラブ・国

十月十九日佐世保玉屋文化ホールにてガバナーエレクト高城昭紀氏、高木次期地区幹事、七田(第一)、末次(第二)、竹田(第五)、福谷(第七)、中野(第十)のガバナー補佐様型をそれぞれお忙しい中、ご臨席いただき、九十名の参加を得て、百武裕二地区委員の軽妙な司会のもとにぎやかで、意義深いセミナーを開催する事が出来ました。

ご講演では主題に「職業奉仕とは」、副題に「倫理・道徳」を掲げて頂き、永年の

国際・社会・職業の四大奉仕部門の更に密なる連携、協力体制の如何に構築させるかの重要さもご指導いただきました。

会の終わりには馬郡地区幹事より地区大会の参加お願いとセミナー参加の皆様にお労いをいただき無事終了する事が出来ました。快く講師をお引き受けいただいた栗林パストガバナー始め役員の皆様、参加いただきました皆々様へ心より感謝申し上げセミナー報告といたします。





ガバナー公式訪問

佐世保東南ロータリークラブ

会長：森山 隆明
幹事：田中 國博

2008年-09年度の鈴木泰彦ガバナー・馬郡謙一地区幹事・内海和憲ガバナー補佐を10月1日にお迎え致しまして、公式訪問を無事終えることができました。

当クラブの今年度の活動目標に対して鈴木ガバナー・馬郡地区幹事・内海ガバナー補佐より様々なご意見をいただきましたことは当クラブ会員の意識の向上に繋がり、また活動目標を改めて再認識することにもなりました。当クラブは少数のため非常にまとまりがある独特なクラブである

ことを活かし、今年度のRIのテーマ『夢をかたちに』を実践するために一致団結して、青少年の健全育成及び地域の子どもの安全と健やかな成長のためにこれまで以上に努力していく所存です。そしてその為には地元に貢献できる様々な活動を積極的に計画し、実践していきたいと思ひます。そういった地道な努力が、クラブの発展と他からの理解促進に繋がり、今年度の会員増強3名という目標も実現し得ることを信じて、会員増強委員会を中心に、各委員が常に増強の意識を忘れることなく会員全員が一丸となって邁進していきたいと思ひます。



太良ロータリークラブ

会長：山口 渡
幹事：牟田 則雄

我がクラブは、会員が8名という地区では一番少人数のクラブですが、和気藹々とやっております。少人数のため、2回目の会長が回ってきてしまいました。とにかく、ここ数年新会員が入ってきていないということで、会員増強に力を入れ、一人の会員が一人の新会員を探してくるということをお願いしております。2ケタの会員数になるのを目標に頑張るつもりです。

今年度は、RI会長も鈴木ガバナーも子供たちの未来を非常に心配されております。我がクラブも地域の青少年健全育成のために、スポーツ大会(小林杯野球大会・中学生ソフトテニス大会)を開催しました。また世界に目を向け、ポリオプラスに少しでも協力できたらと思っております。小さいクラブながらも、少しでもお役に立てればと思ひます。今後ともご指導ご協力をお願い申し上げます。





ガバナー公式訪問

諫早多良見ロータリークラブ

会長：田川 孝弘
幹事：山下 正則

10月7日(火)、鈴木ガバナー・馬郡地区幹事・岡崎ガバナー補佐のご臨席のもと諫早多良見RCの「ガバナー公式訪問」が始まりました。

正直に告白致しますと、今日はどんな指摘があるのだろうかと内心ドキドキで、頭の中ではしきりにQ&Aが駆け巡っていましたがよい心配でした。

まず、よもやま話からはじまり、RIやロータリーの友誌、文庫、来年よりゾーンの分け方が違ってくこと等ガバナーならではの話を戴き、また、フエローの中から一名は新ポリオ募金方へお願いしたい、青少年交換をしてほしい等のご要望もお聞きしました。



クラブの中で頭が痛い問題に会員増強がありますが、若い起業家など新しい職業分類を作る事もできるし、公立高校の校長先生や公民館館長・民生委員・保護司さんなども会員の対象になる等ご教授いただきました。その間にガバナーと地区幹事のやり取りが何回かありましたが、まさに阿吽の呼吸で私たちもこうあらねばとの感を受けました。

例会に入りガバナーの卓話では、ご自分の半生を赤裸々に語られ、ガバナーの人格形成の様子を垣間見る思いでした。次に私が感銘を受けた地区のテーマ「ロータリーで心を耕そう」の原点であろう教育の問題をお聞き致しました。心の中で、その通りとの思いで一杯でした。私が聞いたクラブ会員の声も同じ思いだったようです。こうして『公式訪問』も無事に終え、心の中に一陣の爽やかな風が吹き渡った思いがしました。

佐賀空港ロータリークラブ

会長：海原 久雄
幹事：田中 功

10月8日、鈴木泰彦ガバナー、末次義視ガバナー補佐、馬郡謙一地区幹事をお迎えし、佐賀空港展望会議室で公式訪問例会が開催されました。例会に先立ち、当クラブ会長、会長エレクト、幹事との懇談会が開かれ、当クラブの現況、活動内容、今後の課題など意見交換会が行われました。特に米山記念奨学の寄付金については丁寧にご指導を賜り、今後のクラブ活動の参考になりました。



例会の鈴木ガバナーの卓話では、幼少の頃の話から大阪時代の修行の話まで、いろんなエピソードを交えお話をされました。

その後、本年度RI「夢をかたちに」のテーマを示され、地区方針の「ロータリーで心を耕そう」では、戦後の教育問題や青少年問題などを通して、ロータリアンとして何を行うべきか、わかりやすく説明をして頂きました。また、「ロータリーも少しずつ変わってきている」というお話では、「大阪ネクストロータリークラブ」の運営の事例など、貴重なお話を頂き、当クラブの今後の活動の参考となりました。

例会終了後は会員手作りの看板をバックに記念写真を一緒に撮って頂き、大変有意義な時間を過ごせたことを深く感謝致します。

お忙しい中ご訪問頂き有り難うございます。今後1年間のご指導宜しくお願い致します。



ガバナー公式訪問

嬉野ロータリークラブ

会長：森 四朗
幹事：原田 恒俊

10月10日、第2740地区最後のガバナー公式訪問でした。例会場である嬉野観光ホテル大正屋にて午後3時過ぎに鈴木泰彦ガバナー、馬郡謙一地区幹事、角康隆事務局長、それに我がクラブの会員であるガバナー補佐の中島陽一郎君をお迎えしました。4時から、会長の私と、原田恒俊幹事、谷嶋要三郎会長エレクトと共に、現況報告等のあと、鈴木ガバナーからのご指導、ご助言を受けました。

5時半からは例会が始まりましたが、例会のメインとして鈴木ガバナーの卓話を拝聴致しました。

ご自分の来歴、ロータリーの情勢などをお聞きするなかに、鈴木ガバナーの柔和な人となりに一同優しい気持ちに引き込まれ、素晴らしい例会となりました。

それに、ガバナーのホームクラブの佐世保南RCからたくさんの方にお見えいただき、一挙に当クラブの会員が増えたようで嬉しくも和やかな雰囲気に包まれました。是非とも二桁の会員増強を目標に取り組んでいきたいと思ひます。

当日は観月例会でしたが、大勢のお客様をお迎えしての歓迎会ともなり、会場の正面に掲げられた満月と秋の七草のすずき、女郎花を始め団子、栗、芋等を飾りつけての観月会が始まりました。会は自慢の喉の応酬などで、それは賑やかで楽しいひとときとなり、お互い旧知の仲ではなかったかと思うほどでした。

鈴木ガバナーにおかれては、当地区57クラブの最後の訪問であったせいか、終始にこやかで、観月会の雰囲気に溶け込んでいただきほろ酔い気分のなかで素晴らしい歌を披露していただきました。有難うございました。また、ほんとうにお疲れさまでございました。

これからもよろしくご指導くださいますよう、お願いいたしますとともに、くれぐれもご自愛くださる事を祈念いたします。



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種 類	氏 名	クラブ名
財団 ロータリー	年次寄付	伊万里RC
	村岡 一孝	大村RC
奨学会 米山記念	マルチプル	佐世保南RC
	メジャードナー	佐世保南RC
	特別寄付金	小城RC
	普通寄付	東長崎RC



2010-11年度 国際ロータリー第2740地区

ロータリー財団国際親善奨学生募集要項

国際ロータリー第2740地区では、2010-11年度のロータリー財団国際親善奨学生候補者を下記要項のように募集いたします。

このプログラムは、ロータリアンが世界理解・親善・平和を推進するのを可能にするというロータリー財団のビジョンを支えるものです。留学期間中は、研究に専念することと共に、優れた親善使節としての役割を担うことになります。

1. 留学先

- ・ロータリークラブの存在する国

2. 募集人員

- ・1学年国際親善奨学生 若干名
- ・マルチ・イヤー(2年)国際親善奨学生 若干名

3. 留学期間

- ・2010年7月から各々の留学期間(主に北半球教育機関)
- ・2011年2月から各々の留学期間(主に南半球教育機関)

4. 奨学金金額

- ・1学年度国際親善奨学生 一律米貨25,000ドル
- ・2年マルチ・イヤー国際親善奨学生 一律米貨12,500ドル(1年につき)

5. 応募資格

- ・日本国籍を持ち、2010年6月末までに、少なくとも2年間の大学課程を修了する方。
- ・優秀な成績と心身ともに健康で、親善使節としての素質を持つ方。
- ・ロータリアン、又はその配偶者、尊属、直系卑属でない方。
- ・留学希望国の言語に精通している方。

※英語圏では、TOEFL 94点以上(iBT)、その他の言語の場合は、BERLITZの語学試験が全項目レベル7以上を基準とする。

- ・上記の一般的資格条件を持ち、更に下記の条件のいずれかに該当すること。

- ①申し込み地区の高等学校卒業者
- ②申し込み地区の大学に在学中の者
- ③申し込み地区の研究機関に在籍中の者
- ④申し込み地区に就業している者

(但し、勤務先の雇主から上司の推薦状を添付すること)

(注)第2740地区では、本籍のみの応募は受付していませんのでご注意ください。

(裏面へ続く)



6. 書類請求先:

- ・申請する各ロータリークラブを通しガバナー事務所へ請求ください。
- ・ガバナー事務所

〒857-0052 佐世保市松浦町5-13 グリーンビル205号室
RI 第2740地区ガバナー事務所 宛
電 話 0956-56-3122
F a x 0956-56-3086
E-mail ri2740@coda.ocn.ne.jp
<http://www.d2740.org>

- ・送付先住所・氏名を明記し返信用切手200円を貼付した角封筒を同封の上、ご請求ください。

7. 申請(応募)手続

- ・応募者のクラブへの申請提出期限・・・2009年3月末日締め切り
(各ロータリークラブによって、若干早くなる事があります)
※申請者は、所定の「2010-11年度ロータリー財団国際親善奨学金申請書」に必要事項を記入し、規定の同時提出書類を添付の上、ロータリークラブに提出してください。
※申請者は、和文／英文の2通とも提出してください。
※申請書用紙は、ガバナー事務所にありますので、各ロータリークラブは必要部数を請求してください。
- ・各ロータリークラブからのガバナー事務所への申請書提出最終期限は、2009年4月20日となっています。
- ・申請書を受理した各ロータリークラブは、申請書記入項目確認の上、顧問ロータリアン1名を指定し、申請書にクラブ会長は署名のうえ、地区ガバナー事務所へ提出してください。

8. 選考方法

- ①地区財団奨学生候補者を選考するために、書類審査、選考試験を行います。
会場・日時は後日応募者に通知します。
- ②選考結果の通知は、2009年6月下旬、スポンサークラブ及び本人に連絡します。
- ③最終決定は、2009年12月15日頃、ロータリー財団本部より本人宛に受入れ教育機関の指定があったときとなります。

※尚、不明な点がありましたら、ガバナー事務所にお問い合わせください。

※申請書は、国際ロータリーのウェブサイト(www.rotary.org)からもダウンロードすることができます。





投稿トピックス

初めての観月会

松浦ロータリークラブ

昨年度、創立35周年をした松浦ロータリークラブですが、創立以来、初めての観月会が10月3日に行われました。親睦委員会の手製による見事な満月を見上げ、酒を酌み交わしながら、短冊を片手に「歌会」が行われ、時間を忘れて秋の夜長を大いに楽しんだ一日でした。以下はその時の会員の力作です。



第二回 観月会 俳句・短歌発表

最優秀賞

黄昏の 月待つ志佐の 里川に 色あざやかな かわせみの飛ぶ

優秀賞

満月を 星にみたてて 願い事 今から祈る 日本シリーズ
十五夜の 月に供えし 酒だんご 仲間つどいて うまいうましと

特別賞

月の夜を 二人で歩いた 思い出を わが人生に 幸せ感じる
二人して 歩いた道を 振り返り 月日の長さに 思いもひとしお

何のこっちゃや賞

観月会 家の中にも 月が出た

松浦ロータリークラブ 三十五年で初観月会

観月会 笑顔飛び交う 秋の夜は 早くさりし 思い出の夜

中秋の 名月肴に 飲む酒は わが人生の並木道(何のこっちゃや)

月よりも ダンゴよりも 酒が好き 行き着く先は 糖尿病かな(残念)

あの月を 持っていきたい チョロツタ会 優勝決めて おだんごあげる

糖尿病 横目で見て 月だんご

みあげれば 本物の月どつしりと だまつているが あつちがいい(太田晴康会員へ)

夜の闇 照らしてくれる お月様 ありがたや ありがたや

としをとり ストレスたまる メタボかな 気にしながらも 今日また飲む

月を見る 心にゆとり もちたいな

今の時期月もいけどプロ野球 今も気になるペナントレース

月明かり 沖の波間に 影が跳ぶ

ツキほしいツキたい人はツキのある 人に近ツキツキツキまくる 経営の神様船井幸雄風

ロータリーアンサせてもらってよくなった 本人言うけどまだまだです

観月で のぶ昔え まつらの里

月見でも 花より団子 早く飲ませて(字あまり)

このだんご食べてみたけどおいしいな ××生き生きだんごを食べよう

秋の夜の 草刈終えし 蟻の舞い

大森 元紀

池水英比古
原 修造

山本 規仁
和田 優子
(事務局)

古賀 成治

森 宏明

不明

石橋 芳幸

石橋 芳幸

山本 浩平

武部 勝海

百武 裕二

山頭火風 裕二

小松由美子

山本 勝治

池永英比古

西山 千里

裕二

中西 章夫

犬養 義一

不明

不明



ロータリー米山記念奨学会の最新ニュース「ハイライトよねやま」は、当会ホームページにも掲載しています。月信等にご活用ください。
ご希望があればEメールで配信します。担当者までご相談ください。HPはこちら→<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



ハイライトよねやま 104

(財)ロータリー米山記念奨学会
2008年10月10日発行

1 寄付金速報 — 10月は米山月間 —

9月までの寄付金は、前年同期と比べて1.0%増、約350万円の増加となりました。普通寄付金が1.5%減、特別寄付金が4.4%増と、先月に続いて前年同期比がプラスのまま推移しています。

10月は米山月間です。10月から12月までの3カ月間は、1年間の特別寄付金の約半分をご送金いただいている重要な時期です。米山記念奨学事業に関わる皆様には、新ビデオ「すばらしい贈り物」(DVD)などをお使いになり、当会事業に対するロータリアンのご理解を深めていただきますよう、広報活動へのご協力もよろしくお願い申し上げます。

2 米山奨学生が得たもの、活かしたもの — 東京RCでフォーラム開催 —

10月の「米山月間」は、米山記念奨学事業について理解を深めるためのさまざまなプログラムが各クラブで開催されています。当事業の前身である「米山基金」を始めた東京RCでは今年、黒川光博会長による「先頭に立って米山記念奨学事業を支援しよう」という方針のもと、今月1日、3人の米山学友をパネリストとするクラブ・フォーラムを開催。「奨学生が得たもの活かしたもの」をテーマに各学友が語った後、会場との質疑応答などが約90分に行われました。終了後、参加会員からは、「奨学事業を再認識できて大変良かった」との声が寄せられました。



パネリストとなった米山学友
(奥から姫さん、鄭さん、アブディンさん)

姫 軍さん(中国): 北京で弁護士として活躍 (世話クラブ: 東京臨海 RC)

「米山奨学金の特色は、お金だけではない“心のつながり”であり、人を育てるプログラムであること。夢をもって働くことの大切さは、ロータリーから学んだ。だから私も、働くみんなが夢を実現できる事務所をつくりたいと、北京で開業した。これまで成し遂げてきたことは、“姫だからできた”のではなく、東京臨海RCの皆さんがそこまで私を育ててくれた」

鄭 企娟さん(韓国): WFWP 女子留学生日本語弁論大会で準優勝 (世話クラブ: 浦和東 RC)

「奨学生の時に病に倒れ、再生不良性貧血と診断された。一時は余命宣告も受けたが、生きる意味を求めて、日本での勉強を続けることにした。この間、ロータリアンをはじめ、多くの方々に支えていただいた。これからは人のために生きたいと思う。大学の教育者になることを目指して博士課程で勉強中だが、いつかは発展途上国の子どもたちの教育に携わりたい」

アブディン、モハメド・オマルさん(スーダン): 母国の視覚障害者を支援 (世話クラブ: 東京国立白うめ RC)

「世話クラブでは、仕事で忙しいロータリアンが、時間とお金と労力を使って奉仕を実践する姿に感動した。私も負けれないと奮起して、今年3月、スーダンの視覚障害者を支援するNPO法人を立ち上げた。学生である私に直接の恩返しはできないが、教育環境が整っていない母国の視覚障害者のために何かをすることが、皆さんの期待でもあり、私の責務だと思っている」

なお、このフォーラムに先立つ東京RCの例会では、姫さんが『米山奨学会と私の人生』と題し、卓話を行いました。北京大学在学中に民主化運動に関わったことで、進学や就職の一切の道を閉ざされ、失意の底にあった姫さんは、ようやくパスポートの取得が認められると、日本に留学。夢を失っていた自分に、再び夢と希望を見いだせるようにしてくれたのは、米山記念奨学金と世話クラブのロータリアンからのサポートであったといいます。「今、ひとかどの人間となってここにいる自分は、皆さんの“成果”です」と力強く結び、ロータリアンの感動を呼びました。



3 陶芸家の米山学友、張 義明さんが大阪で個展開催

台湾出身の米山学友で、和歌山県龍神村にアトリエを構える陶芸家、張 義明さん（1997-99 年／和歌山城南 RC）が今秋、大阪で個展を開きます。陶芸への情熱で交通事故の後遺症を克服し、創作活動に真摯に取り組む張さんは、母国・台湾の国立大学美術館や県立博物館で個展を開くなど、新進気鋭の陶芸家として活躍をしています。季節はまさに“芸術の秋”。ご興味のある方は、ぜひお出かけください。

作陶 10 周年記念 張 義明 造形陶芸展 森羅万象 一響きあう命
会期：10 月 14 日（火）～10 月 26 日（日）11:00～19:00（最終日～17:00）
場所：「海岸通ギャラリーCASO」（地下鉄中央線「大阪港」駅から徒歩 5 分）

＜張 義明さんからのメッセージ＞

『今回の展覧会は、陶芸を始めて 10 年になるのを機に、今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを込め、陶芸を通じたご恩返しのつもりで、子供から高齢の方、目が不自由な方などにも陶芸に親しんでいただけるよう企画しました。実際に手で触れていただける作品も展示し、作品解説や陶芸体験などのワークショップも開きます。私たちと原点を同じくする大地から生まれた生命である陶を通して、静寂の中にある生命の息づかいを感じてください』



4 米山のポスター、バナーをご活用ください！

米山のポスター、バナーをご覧になったことはありますか？

今年度のポスターは、全国のガバナー事務所へ 10 月 1 日付で送付しています。従来よりもサイズが小さく、掲示しやすくなりました。ご希望があれば、在庫がある限り無料で送付いたします。また、バナーについても、今年度より無料でお貸しいたします。ぜひ、地区大会や米山関係のセミナーなどでお使いください。

【ポスター】A 2 サイズ（594×420mm）×2 枚組
※なくなり次第終了

【バナー】2 セットあり。貸し出し無料、予約優先。

- ① グリーン（幅 1,200×高さ 1,800mm×3 枚セット）
- ② ブルー（幅 1,200×高さ 1,800mm×3 枚 + 幅 600×高さ 1,800mm×1 枚 計 4 枚セット）



ー
バ
ナ
ー
（
グ
リ
ン
）



↑ 今年度のポスター

『ロータリーの友』10 月号の“よねやまだより”は、当会広報委員の小野哲バスト ガバナーと米山学友との対談を含む 5 ページの拡大号！ぜひご覧ください！

お申込・お問い合わせは、TEL：03-3434-8681 広報担当まで

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津・峯・大庭



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀RC
本島 直幸 君



小城RC
大家良太郎 君



小城RC
吉永あけみ 君



伊万里RC
田中丸善信 君



松浦RC
前田 力弘 君



ハウステンボス佐世保RC
高月 野志 君



諫早北RC
佐藤 修一 君



長崎北RC
草野 義広 君



長崎北RC
中嶋 久光 君



長崎南RC
横田 貞三 君



長崎南RC
高鍋 貴行 君



長崎南RC
開 義人 君



東長崎RC
岡村 保彦 君

訃報

謹んでお別れいたします 合掌



故 野口 福司君
(小城RC)



故 栗原 俊充君
(牛津RC)



故 川又 正樹君
(佐世保北RC)



2008年9月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数					新 入	退 会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐 賀	4	78.5	65	0	68	0	0	1	1
	小 城	4	93	25	2	27	2	1	1	0
	牛 津	4	84.4	32	1	32	1	0	0	0
	多 久	3	94.5	39	3	41	4	2	2	0
	佐賀大和	4	79.2	24	2	24	2	0	0	0
	小 計		85.9	185	8	192	9	3	4	1
第2グループ	佐 賀 西	3	79	49	0	49	0	0	1	1
	佐 賀 北	4	83.3	38	3	36	3	0	1	1
	佐 賀 南	4	87.5	42	2	41	2	-1	0	1
	神 埼	4	80.9	30	0	30	0	0	0	0
	佐賀空港	4	59.7	18	1	18	1	0	0	0
	小 計		78.1	177	6	174	6	-1	2	3
第3グループ	有 田	4	71.4	37	1	36	1	0	0	0
	武 雄	4	81.7	52	2	52	2	0	0	0
	鹿 島	4	89.1	37	2	40	2	0	0	0
	嬉 野	4	88.7	21	1	22	1	1	1	0
	大 町	4	65	27	0	26	0	-1	0	1
	白 石	4	62.1	14	0	14	0	0	0	0
	太 良	3	100	9	1	8	0	0	0	0
	小 計		79.7	197	7	198	6	0	1	1
第4グループ	唐 津	4	91.1	52	0	52	0	0	0	0
	伊 万 里	4	96.9	31	0	32	0	0	0	0
	唐 津 東	4	95.7	51	0	50	0	-1	0	1
	唐 津 西	4	92.6	35	0	35	0	0	0	0
	伊万里西	4	87.1	45	0	46	0	0	0	0
	唐津中央	4	96.6	36	4	37	4	1	1	0
	小 計		93.3	250	4	252	4	0	1	1
第5グループ	佐 世 保	4	98.2	78	0	81	0	0	0	0
	平 戸	4	77.9	38	0	35	0	0	0	0
	佐世保西	4	95.4	27	0	27	0	0	0	0
	北 松 浦	4	90.6	21	0	21	0	0	0	0
	松 浦	4	90.5	29	1	29	1	0	0	0
	小 計		90.5	193	1	193	1	0	0	0

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数					新 入	退 会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	4	97.1	76	0	78	0	0	0	0
	佐世保東	4	82.6	24	0	24	0	0	0	0
	佐世保北	3	97.6	48	0	46	0	-1	0	1
	佐世保中央	4	100	39	2	41	2	0	0	0
	佐世保東南	4	81.2	22	0	24	1	1	1	0
	HTB佐世保	4	73.3	31	6	31	6	0	0	0
	小 計		88.6	240	8	244	9	0	1	1
第7グループ	大 村	4	94.3	51	3	51	3	0	0	0
	島 原	4	83.8	34	1	34	1	0	0	0
	雲 仙	4	90.6	26	0	26	0	0	0	0
	大 村 北	4	100	34	0	34	0	0	0	0
	島 原 南	4	78	20	1	19	1	0	0	0
	大 村 東	4	84.4	49	1	49	1	1	1	0
	小 計		88.5	214	6	213	6	1	1	0
第8グループ	諫 早	4	88	58	0	57	0	0	0	0
	諫 早 北	4	85.7	64	0	63	0	0	0	0
	諫 早 西	4	92.4	45	0	44	0	0	0	0
	諫早多良見	4	89.5	38	0	38	0	0	0	0
	諫 早 南	4	87	28	5	27	5	0	0	0
	小 計		88.5	233	5	229	5	0	0	0
第9グループ	長 崎	4	81.6	92	0	89	0	-2	1	3
	福 江	4	82.6	38	0	37	0	0	0	0
	長崎北東	3	84.5	50	6	51	6	1	1	0
	福江中央	4	92.5	29	0	30	0	0	0	0
	長 崎 西	4	72	63	0	64	0	0	0	0
	長崎琴海	4	58.3	22	2	21	2	0	0	0
	小 計		83.5	294	8	292	8	-1	2	3
第10グループ	長 崎 北	4	79.2	75	0	74	0	0	1	1
	長 崎 南	4	79.6	82	0	82	0	-1	0	1
	長 崎 東	4	98.2	54	0	55	0	1	1	0
	東 長 崎	4	81.6	26	0	27	0	-1	0	1
	長崎中央	4	94.1	54	0	56	0	0	0	0
	長崎出島	4	80	52	11	52	11	-1	0	1
	小 計		85.1	343	11	346	11	-2	2	4
合 計			86.2	2326	64	2333	65	0	14	14



文庫通信

254号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から

- ◎「私の考える経営」伊藤謙介 2008 8p(D.2690)
- ◎「構造改革とこれからの日本経済」竹中平蔵 2008 8p(D.2660)
- ◎「日本のこれから、日本人のこれから」藤原正彦 2008 8p(D.2580)
- ◎「津波が変えた私の人生」道下俊一 2008 10p(D.2780)
- ◎「命を地域で支えるあたたかな人と人とのつながりをつくろう」
鎌田 実 2007 15p(D.2550)
- ◎「未知への挑戦～箱根駅伝・アテネオリンピックなどを振り返り」
澤木啓祐 2008 13p(D.2510)
- ◎「メジャーリーグに学ぶ経営戦略～日本人の知らないメジャーの常識と人づくり」
タック 川本 2008 20p(D.2790)
- ◎「薩摩の郷中教育と薩摩焼」西郷隆文 2008 16p(D.2690)

〔上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)〕

- ◎「ロータリーモザイク」ハロルドT. トーマス著 松本兼二郎訳 2006 329p
…50年間のロータリーライフに基づき、一人のロータリアン(元RI会長)が綴った1905～1970年までのロータリーの思想・方針とプログラム、そしてロータリアンのそれぞれの進化の物語です。彼は「ロータリーはロータリアンすべての参加によって初めて出来たものである」と述べています。本書を一読することにより、全てのロータリアンに与えられているロータリー運動への参加の機会と可能性と期待とがはっきり認識できるでしょう。

〔申込先:ロータリー文庫 領価1500円〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2008-09年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

2008-09年度ガバナー

鈴木泰彦

“ロータリーで心を耕そう”

vol. **7**
2009.1.1



2740地区、地区大会に向けにこやかに握手を交わす、延原R1会長代理と鈴木泰彦ガバナー

CONTENTS

「世界平和は我々で」鈴木泰彦ガバナー…	1	ハイライトよねやま105 ……	13
「年頭のご挨拶」ガバナーエレクト…	2	全国ローターアクト研修会のお知らせ…	15
ガバナー補佐「年頭のご挨拶」…	3	新入会員紹介…	16
地区米山記念奨学会「平戸見学会」報告…	8	寄付者紹介…	17
地区大会報告…	9	会員数・出席報告…	18
佐賀西RC創立50周年記念事業「熱気球寄贈式」…	11	文庫通信…	裏表紙



「世界平和は我々で」

2008-09年度

ガバナー 鈴木 泰彦

新年あけましておめでとうございます。

御家族お揃いで健やかに初春をお迎えの事と存じ、お慶び申し上げます。

2008年-09年度ガバナーとして半期が過ぎ、少しずつ落ち着きを取り戻しています。公式訪問、地区大会と会員皆様には昨年度は大変お世話になり、感謝にたえません。改めて御礼を申し上げます。

さて、一世紀を過ぎたロータリーも、日本では高齢少子化の波が押し寄せ、平均年齢の高齢化は益々深刻になってきました。ロータリーの綱領、4つのテスト、4大奉仕の精神は永遠のものであっても、変えるべきは変化させるときでもあるのかもしれない。

世界平和を目指すロータリーであるならば人道的、教育的プログラムを徹底する事も必要でしょう。解釈の仕方は色々あるのかもしれませんが、ロータリー財団がおっしゃるスポーツ大会は、人道的ではないとは必ずしも言えないのではないかと思います。

「智」「徳」「体」三つが揃ってはじめて人としての自覚がつくられる事を思えば(日本人の心が病んでいる)今の現状から考えると、子供達の健全な育成という点では私は人道的と言えるのではないかと思います。そして、この子供達が世界を見つめ、交流を促進していく事こそ世界平和への第一歩ではないでしょうか。

会員の皆様、会員増強はクラブにとっても大事な事です。又、ロータリー財団、米山奨学会、どれをとってもすばらしい世界平和への貢献である事をお考え頂きたく存じます。ロータリーを若返らせる努力をしていきたいものです。

今年度が、皆様にとりましてすばらしい年になるよう祈念申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

2009-10年度

ガバナーエレクト 高城 昭 紀

鈴木ガバナーの後を受けて、7月からガバナーという大変な役に就任する事になりました島原RCの高城です。

ロータリークラブに入って26年になります。私は、仕事柄病院にいれば大体用が済みましたので、他の職種の人と接する事は少ない方でした。すなわち自閉的でした。

それが、ロータリークラブに入りましてから、いろんな職種の人と毎週お会いする事になり、私の生き方が変わりました。



火曜日の11時半頃から出かけるのが生活のリズムになりました。4年後には幹事を命じられました。(島原医師会会員では、幹事になったのは私が最初でした。)その時の会長は鹿田さんという人でしたが、困った事が生じました。すなわち、私が診療中に会長から「今から来て下さい。」との連絡には困りました。しかし、歯を食いしばって頑張りました。

2000年ガバナー補佐の時、諫早地区の(鶴川さんを中心に)会長さん、幹事さんとソウル旅行をいたしました。その時、シーラホテルでのロータリークラブの例会に、皆で出ました。前の晩に片山会長(諫早南)が英語で原稿を書き、当日例会で私がスピーチをしました。

すると、同クラブのメンバーから「今まで沢山の日本人が訪ねてきたが、英語で挨拶したのは貴方が初めてだ。」と褒められました。

このようにロータリークラブは、まさに人との出会いだと思います。一昨年、島原市で火山都市国際会議が開催されましたが、ハワイからこの会議に参加していたロックウッド博士はロータリアンでもありましたので、私達の例会へも出席され、私達と交流を深められました。

また、昨年の11月に開催されました、ロータリー研究会では、小泉元総理大臣の講演を聴くことができました。

写真はその時のスナップです。右の人はパストガバナーの寿崎さん(寿屋の創業者)です。

このようにロータリークラブでの活動は、楽しい事が多いと思います。そのお礼として、ロータリー財団や米山記念奨学会へ寄付を致します。そんな事を年頭に思う次第です。



ガバナー補佐「年頭のご挨拶」



第1グループガバナー補佐

七田 秀徳 (佐賀RC)



新年明けましておめでとうございます。ご家族揃って輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。とは申せ昨年後半は経験したことがないような大変厳しいビジネス及び社会環境でした。ご苦労も多かったかと思えます。

今年こそは明るい活気のある年にしたいものですね。

役目の年度も残すところ半年です。前半のまとめとしての地区大会は鈴木ガバナーのお人柄がにじみ出るフレンドリーな温かみのある内容でした。

加えて延原正 R I 会長代理は温厚でとても魅力的な方でした。私共の会員である池田實氏と大学時代のクラスメートとのこと、より親しみを感じました。

素晴らしい代理をお迎えでき大会に大きな花を添えていただきました。圓田治実行委員長の元、手づくりの大会は式典から最後の親子で考える教育問題まで内容のあるものでした。本当にご苦労様でした。

いよいよ後半戦です。R I テーマ「夢をかたちに」、地区テーマ「ロータリーで心を耕そう」の実現を目指し努力せねばと気を引き締めております。

特に会員増強についてはグループ内各クラブ目標達成に向け努めてまいります。

一層のご支援をお願いいたします。最後になります皆様にとりましてこの年が素晴らしい年になりますよう祈念いたします。



第2グループガバナー補佐

末次 義視 (佐賀北RC)



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は会員の皆様方には大変お世話になりました。

ガバナー補佐を拝命して早いもので、あっという間の半年でした。

もとよりロータリーについての勉強不足、まして浅学非才の私がこの重責をまっとうできるか、不安の中でのスタートでしたが皆さんの暖かいご支援とご指導の下、微力ながらその職責を果たしてまいりました。

昨年は米国の金融危機を背景に、国際的に景気は後退悪化し、国内では食品偽装や汚染米問題に加え政局の動向不安定など諸問題が噴き出た年でもありました。

しかし、現実をしっかりと見つめ、うろたえず今年の干支、牛のようにどっしりと構えていればおのずから道は開けると思います。

さて、この半年間で私が特に感じたこと、それはまず我が鈴木ガバナーは親しく接してみても本当に明るく、人に優しい方だということです。そして、女房役の馬郡地区幹事は実に機敏なる行動を第一とされ、楽しいロータリー活動を実践されている方だということです。

一方、クラブ協議会や公式訪問における各クラブの対応の良さには本当に感服し感心をしました。強い印象として残っています。

いよいよあと半年となりました。後半の重要事業のひとつとしての I M が 2 月末開催されます。

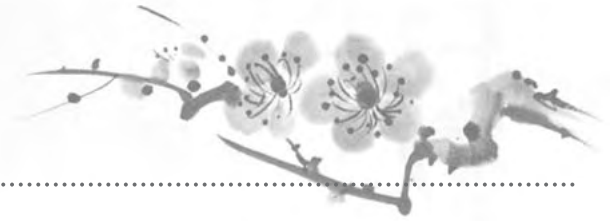
今、着々と準備中であり、各クラブの皆様には多大なご迷惑をおかけしますが、ご協力の程をお願いしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



ガバナー補佐「年頭のご挨拶」



第3グループガバナー補佐
中島陽一郎 (嬉野RC)



会員の皆様、ご家族の皆様お健やかに2009年の新春を迎えられ心よりお慶びを申し上げます。

今年度は「夢をかたちに」・「ロータリーで心を耕そう」というテーマのもと第3グループのガバナー補佐を務めさせていただいていますが、これまで各クラブのロータリアンの温かい気持ちに支えられなんとか無事新年を迎えることができました。

年度初めに2010-11年度のガバナー候補者を第3グループより選出するようにとの事で各クラブの会長幹事さんに集まってもらい協議をいたしました。幸いにも有田RCより高原武彦君に決定し無事選出できる運びとなりました。

第3グループは200名足らずの会員で組織されています。どうか7クラブの会員が一丸となって高原ガバナーを支えていただきたい、またそうしなければならないと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

昨年は社会においても、経済においても未曾有の出来事が発生し、いまだに混迷を極めています。

こういうときにこそ「ロータリーで心を耕そう」を**実践**し奉仕の心をもって自らの職業奉仕を高めひいては国際貢献につなげられたらと考えています。

私の役目も残すところ半分となりましたが3月開催のIMで研鑽、親睦を高め「夢をかたちに」を実現できればと思います。

今年度の会員増強について国際ロータリー理事小沢一彦氏より李 東健 RI会長の書簡が届いています。

各クラブにおかれましては今一度退会防止、会員増強に取り組んでいただきますようお願いを申し上げます。

本年もあたたかいご指導・ご鞭撻をお願いして新年のご挨拶と致します。



第4グループガバナー補佐
藤谷 成微 (伊万里西RC)



謹みて新年をお祝い申し上げます。

昨年7月に就任してから6ヶ月、エレクト期間を併せると約1年、ガバナー補佐として大変お世話になりました。深謝申し上げます。

さて、一年の終わりに、清水寺の管長さんが一年間の状況を漢字一文字で揮毫されますが、私個人のことを言いますと、「忙」の一字に尽きます。

本業や他の役職もそうでしたが、ガバナー補佐につきましても、想像以上に忙しかったと思います。

「忙」とは心が亡ぶ意味もあり、あまりほめられたものではありません。

大切なことを忘れたり、間に合わなかったり、種々の行事を欠席したりして迷惑をかけたようです。

地区最大の地区大会は鈴木ガバナー始め、地区役員、委員の皆様方の御精励により、有意義に実施され、慶賀に存じます。

なお昨年12月、平戸RCホストによる地区米山奨学生の見学会があり、参加しました。

松浦党代々の古い墓地や、資料館見学では日本の古い文化財に興味を持ち、いろいろ質問したり、茶室では、進んで御手前を体験したりして、外国人奨学生のほほえましい光景でした。

いよいよ、2月1日は第4、5、6グループ合同でIMを開催します。ホストクラブは唐津西RCです。

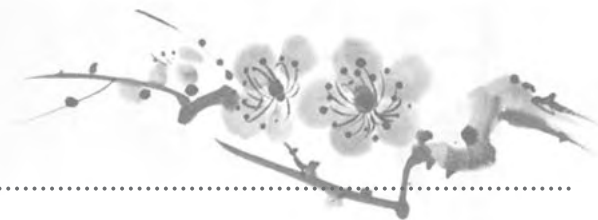
沢山の御参加を期待しております。



ガバナー補佐「年頭のご挨拶」



第5グループガバナー補佐
竹田 健介（平戸RC）



新年あけましておめでとうございます。

昨年来からの金融不安、景気減速が非常に気にかかるところです。

しかし、新年を迎えてそれぞれが、決意も新たに一年の志を立てられたことと思います。昨年は皆様に大変お世話様になりました。

2月2日からの第一回ガバナー補佐会議に始まり、各研修セミナーに出席させていただきました。7月のスタート時からクラブ協議会、鈴木ガバナーとの公式訪問、11月の地区大会そして12月4日には米山奨学生の皆さんを平戸にお招きしました。忙しい中にも充実感を噛みしめた一年でございました。

さて今年度は早速2月にIMが開催されます。そして次期のガバナー補佐へバトンタッチするという大事な時期にもなりました。この半期を振り返り、鈴木ガバナーが提唱された「ロータリーで心を耕そう」ということが自分にとっていくばくかでもできたのか心許ない限りですが、残りの期間を精一杯つとめていきたいと思っています。

何となく今年はよいことある如し

元日の朝 晴れて 風なく 石川啄木

この一年が皆様にとりまして、健康に恵まれ、仕事も家庭もそしてロータリー活動も円満に進む、よいことの多い一年でありますようご祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。



第6グループガバナー補佐
内海 和憲（ハウステンボス佐世保RC）



“喜びの種をまき、小さな感動の花を咲かせよう”

新年あけましておめでとうございます。

皆さん、感動と感激の違いがわかりますか？

昨年、私が敬愛する鍵山秀三郎様（イエローハット創業者）とお会いした時、感動と感激の違いについてお話を聞く機会がありました。

感激というのは、外から与えられた刺激に心が反応したという事、例えばコンサートに行き感動したというのは、あれは感動ではありません。熱狂的な舞台を見て感激をただけです。これはのちのち薄れます。感動というのは何十年経っても薄れるものではない。自分の心の中に湧き上がってくる出来事…。

私は、23歳の時にヒッチハイクで世界を旅しました。病気になって困った時、災難にあって辛かった時に、世界各地で多くの人々から暖かい言葉や救いを受けた事は、今でもその時のシーンが映像ではっきり心に残っています。

愛ある言葉や態度、そして行動が、いかに人を喜ばせ、和ませ、心に響く感動を与えることが出来るかをこの時体感しました。

大きな事はできなくても、地域で困っている人々に愛ある行動で小さな感動を与えることができれば…嬉しい限りですね！

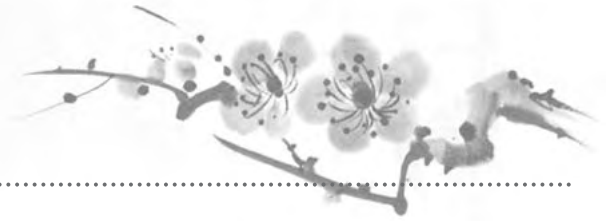
ロータリー奉仕活動をとおして、小さな“喜びの種をまき…感動の花を咲かせよう”運動を展開していきましょう！



ガバナー補佐「年頭のご挨拶」



第7グループガバナー補佐
福谷 健吉 (大村北RC)



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

第7グループの会員様はじめ各ロータリークラブ会員の皆様におかれましては、健やかに新春の門出を迎えられておられることと慶賀に堪えません。

鈴木ガバナー、馬郡地区幹事の細やかなご指導の下、第7グループの各クラブの皆様の支援・ご協力のおかげで何とか折り返し点を迎えることが出来ました。クラブ協議会・ガバナー公式訪問に際しましては、どのクラブにおいても心温まる歓迎をしていただきました。心より御礼を申し上げます。

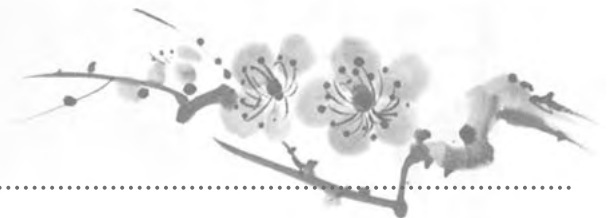
後半の行事としましては、第7・第8グループのIMを2月21日(土)に島原南RCをホストとして島原の地で開催することとなっております。次いで4月11日(土)・12日(日)には大村の地で大村北RCをホストとして地区のライラを開催する運びとなっております。奮ってのご参加をお願い申し上げます。

新年にあたり、鈴木ガバナーの「ロータリーで心を耕そう!」の方針を再度肝に銘じてガバナー補佐職に邁進しようと心新たに決意しております。皆様の一層のご指導、ご鞭撻を伏してお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様、ご家族様にとって本年が最良の年となられることを祈念しております。



第8グループガバナー補佐
岡崎 威 (諫早多良見RC)



明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

2009年度はどんな年になるのでしょうか?昨年来、聞こえてくるのは世界金融恐慌、凶悪犯罪と本当に暗い話ばかりです。今年は少しでも明るく幸せな、そして、何か夢のある年になる事を心から期待し、努力したいと思います。

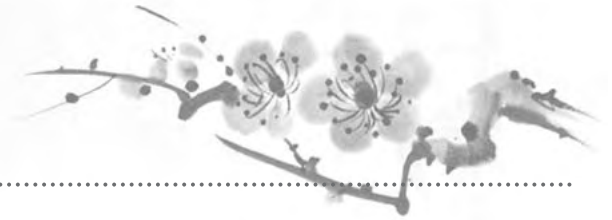
ガバナー補佐の任務も6か月が経過して、クラブ協議会、ガバナー公式訪問、諫早南クラブ創立10周年、大成功の地区大会と大きな仕事が無事終わり、あと半年となりました。ガバナー月信のガバナー補佐就任の年間の抱負で、本年度のRI会長のテーマ「夢をかたちに」で私は諫早5クラブ会員の皆さまが一堂に会える場を設けられればという小さな夢を述べました。去る20年10月29日(水)に今年度の幹事クラブである諫早西クラブのお世話で、鈴木ガバナー・馬郡地区幹事御出席のもと、5年振りに諫早5ロータリークラブ合同例会が出席率80%で盛会に終わる事が出来ました。残りの仕事としては、7・8グループ合同でのIMです。あと6か月、第8グループの会員の皆さまの友達の輪が益々広がるように努力していきたいと思います。皆様のご協力どうぞよろしくお願いいたします。



ガバナー補佐「年頭のご挨拶」



第9グループガバナー補佐
森 義則（長崎RC）



新年明けましてお目出度うございます。

昨年は2月の第1回補佐研修からスタートし、地区チームリーダー研修セミナー・P E T S・地区協議会等の研修を受け、5月よりグループ内6クラブへの事前訪問や新旧交代挨拶等あわただしい中に緊張感ある数ヶ月でした。

就任の7月以降クラブ協議会及びガバナー公式訪問に際しクラブ会長・幹事の皆様より多大のご協力を得て無事終了いたしました事に厚く感謝申し上げます。

11月15日の地区大会には多数の登録者並びにご参加を戴き有難うございました。

12月の会長幹事会も終え、これで私の業務も80%終わった思いであります、任期はあと6ヶ月も残っております。

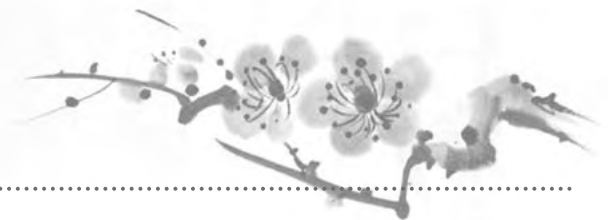
RI会長より会員増強のムチが飛んできておりますし、3月1日のIMでは安部PGの講話と各クラブからの教育に関する実践事例の発表が控えております。

会員増強に感じては、地区内では目標106名に対し、10月末現在11名増との事。

第9・10グループは目標20名に対し11月末では△2名。あと6ヶ月！各クラブ会長の更なるご努力をお願い申し上げ、併せてIMが成功裡に終わります事を念じつつ年頭のご挨拶とさせて戴きます。



第10グループガバナー補佐
中野 廣（長崎中央RC）



皆様、明けましておめでとうございます。

新しい年への期待をこめて、希望に満ちた新春をお迎えのことと思います。旧年中は、クラブ訪問をはじめ各種行事など、各面に亘ってご協力いただき、誠にありがとうございました。

夢にも思わなかったガバナー補佐を拝命した時「果して私に務まるだろうか」と戸惑い、不安の思いにかられましたが、早くもロータリー年度の半分が過ぎました。これも偏に皆様の暖かいご協力と励ましによるものと心から感謝申し上げます。

クラブ訪問や協議会、地区大会も恙なく終了し、主要行事は概ね終了しましたが、残るは3月1日に予定されている第9・第10グループによるIMの開催です。「教育再生」をテーマに各クラブの活動実践報告も予定されており、当日の発表が楽しみです。

新年がロータリー年度の折り返し点となりますが、残りの任期も気を引き締め、各クラブで計画した目標を達成、幾分かでも『夢をかたちに』と願っています。会員皆様のご多幸を祈念し、年頭のご挨拶と致します。



地区米山記念奨学会「平戸見学会」報告

米山地区委員 高田昌一郎記(長崎中央RC)

12月4日(木)、平戸市にて地区米山見学会を開催しました。奨学生に日本文化理解の機会をより多く持ってもらいたいとの目的で2007年度(実施は今年2月「有田見学会」)から開催しているもので、役員・カウンセラー20名、奨学生12名が参加。第5グループの竹田ガバナー補佐、および平戸RCの福田クラブ米山委員長長の周到な計画の下、籠手田(コテダ)会員の奥様はじめ平戸RCの皆様にもご協力いただき、大変有意義な会となりました。この場を借りて心からお礼申し上げます。



午前11時に集合、かつての平戸藩主松浦家の菩提所(雄香寺)を見学した後、平戸海上ホテルで、平戸RCの例会に参加させていただきました。例会では鈴木ガバナー、平戸RC磯田会長、地区委員長の挨拶の後、奨学生が一人ずつスピーチし、最後に平戸RCからお土産まで頂き、大変感激しておりました。

午後は松浦資料博物館へ。松浦氏の私邸であった歴史的建造物の中で、国の重要文化財を始めとする数々の貴重な展示品を見学。隣接する閑雲亭では、平戸発祥の鎮信流のお茶をいただきました。お茶を習っている奨学生も飛び入りで参加し、お手前を披露してくれました。その後、雨の中展望スポットの川内峠を経て、17世紀に台湾からオランダ人を追放した鄭成功生誕の地を訪問。「母国で英雄とされる鄭成功が平戸で生まれたことを知って、とても感慨深い」との台湾からの奨学生の言葉が印象的でした。

奨学生だけでなく、ロータリアンにとっても、日本で唯一、出島の前に開かれた港としての平戸を訪れて、改めて長崎の歴史を再確認でき、帰りの道は昼以上に土砂降りでしたが、充実した一日でした。



追記：平戸の記事がANA機内紙12月号に載っていて、「カスドース」と閑雲亭でのお茶会のことはまさにオンタイムの体験だったと、12月8日の東京での米山奨学会の会議の際に事務局に報告しました。

米山地区委員長
北郷雅子(長崎出島RC)



2008-2009年度RI第2740地区

地区大会報告

地区大会幹事 岡崎 公一(佐世保南RC)



2008-2009年度RI第2740地区の地区大会が「ロータリーで心を耕そう」のテーマのもと延原正RI会長代理(第2690地区岡山南RC)をお迎えし11月15日(土)・16日(日)の両日にわたり開催されました。

大会の一週間前11月8日(土)大会記念ゴルフ大会が佐世保CCにて参加者138名で開催され10:00に第一組がスタートを切り、天候状況が心配されましたが、霧もなく、晴とは言わないまでも曇り空の中、無事プレーをすることができました。

大会前日14日(金)18:00よりハウステン

ボス・レンブラントホールに於いてRI会長代理延原正様、敬子様ご夫妻をお迎えし、圓田大会実行委員長の挨拶によりRI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会が開催されました。晩餐会ではナターシャ・グジーのミニライブがあり、厳粛な中にも会場は大いに盛り上がりました。

大会1日目15日(土)会長・幹事会及び本会議がアルカスSASEBOにて開催された。会長・幹事会では、鈴木ガバナーの挨拶の後、延原RI会長代理よりご講話をいただきました。



本会議は國崎忠臣ホストクラブ会長による歓迎の挨拶で始まり物故会員への黙祷などを含む一連のセレモニーが行われた後、RI会長代理メッセージ並びに現況報告が延原RI会長代理から行われました。その後、各室に分かれて四分科会が行われました。

第一分科会：「国際親善とは…」ロータリーの奨学金プログラム

第二分科会：インター、ローターアクトのつどい

第三分科会：国際青少年交換のススメ

第四分科会：ロータリーの友編集長 二神典子氏と語る会 広報・情報・IT・雑誌委員会ロータリーを知り、ロータリーを知らせる

各分科会とも盛況に終える事が出来ました。

又、交流スクエアではナターシャ・グジーのコンサートも催し多くの会員に素敵な歌を聞いていただきました。

登録委員会・信任状委員会・選挙管理委員会・決議委員会より報告の後、大会記念事業として佐世保市児童管弦楽団に管弦楽器が贈呈されました。その後各種表彰が行われ本会議は終了致しました。

その後同会場イベントホールで懇親会がロータリアン・ローターアクト・米山記念奨



学生など600名の参加で大変盛況な親睦の場となりました。懇親会では弦楽四重奏でお迎えいたし、ホストクラブ佐世保南RCの奥様によるフラダンスが披露されました。

2日目16日(日)森山良子コンサート及びルー大柴・海老原靖芳(放送作家)・ガバナー・教育関係者によるディスカッションが市民公開され、それぞれアルカスSASEBOで行われました。森山良子コンサートはロータリアン及びご家族・一般市民2,000名の入場をいただきました。

又、パネルディスカッションは「親子で考える教育問題」「親と子供でTogetherしようぜ」のテーマのもと海老原靖芳氏の演出により親子漫才などがあり、感動のため涙ぐむ会員も見受けられました。

同日15:30 第2740地区 地区大会が無事閉会されました。

地区内会員の皆様方には多くのご支援ご協力をいただき心より感謝申し上げます。





佐賀西ロータリークラブ 創立50周年記念事業

☺ 熱気球寄贈式 ☺

私ども佐賀西ロータリークラブ(50名)は平成21年5月15日で創立以来50年を迎えるにあたり、その記念事業として、佐賀市に対して熱気球と機材一式を寄贈いたしました。

地域イベントへの貢献と未来を担う青少年の情操教育に役立ててもらおうと贈ったこのバルーンは真っ白な純白生地の中真ん中にロータリーエンブレムを配し下段に地区Noとクラブロゴをブルー一色で記しており一見してそれと判別できるシンプルなデザインといたしました。



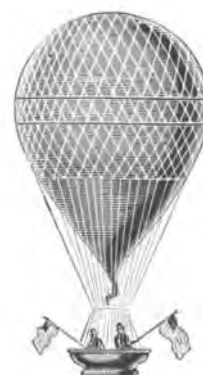


去る10月19日(日)の寄贈式は受贈側の秀島市長、金子佐賀市労働部長の他、当クラブ会員や家族など約60名が出席し、見事な秋晴れの下で終始和やかな雰囲気につつまれながら行われました。

式ではまず、バーナー点火を終えた平龍三郎会長が挨拶に立ち、この度の寄贈に至った経緯を述べた後で秀島佐賀市長へ目録を手渡しました。

目録を受け取った秀島市長は「子どもたちがバルーンのまち佐賀の楽しい思い出をつくれるよう、十分に活用させて頂きたい」と謝辞を述べられて式典を終了しました。

式の終了後には参加した子どもたちを中心に全員で体験搭乗を行い、真っ青な大空に浮かぶ気球の美しさにすっかり魅了されて溢れる笑顔と賑やかな歓声が絶えない楽しい寄贈式となりました。





ロータリー米山記念奨学会の最新ニュース「ハイライトよねやま」は、当会ホームページにも掲載しています。月信等にご活用ください。
ご希望があればEメールで配信します。担当者までご相談ください。HPはこちら→<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

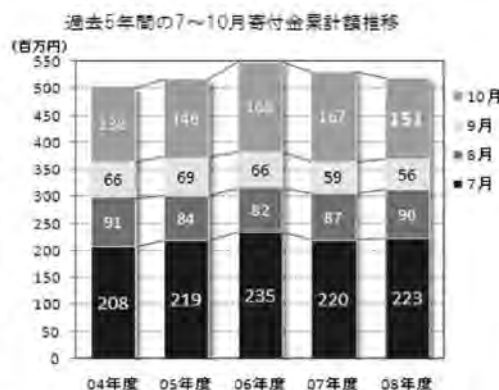
ハイライトよねやま 105

(財)ロータリー米山記念奨学会
2008年11月12日発行

1 寄付金速報 — 米山月間の結果 —

10月までの寄付金は、前年同期と比べて2.2%減、約1,180万円の減少となりました。普通寄付金が0.1%減、特別寄付金が3.7%減と7カ月ぶりに前年同期比減となりました。

今月の寄付累計額5億2千万円は2006年度以降3カ年の中で一番少ない金額ではありましたが、この経済状況の中、学友や多くのロータリアンの方々からご寄付をいただき、ありがとうございました。上期も残り2カ月を切りました。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



2 2009 学年度奨学金申し込み状況

10月15日に締め切られた2009学年度の米山記念奨学金(学部・修士・博士課程奨学金、地区奨励奨学金)には、指定校から1,427名の応募がありました。

申込者を国・地域別にみると、中国が59.1%(前年度比+0.8%)、韓国11.4%(▲0.3%)、台湾6.0%(±0.0%)、その他が23.5%(▲0.4%)となり、課程別では、博士課程が26.2%(▲4.7%)、修士課程61.7%(+4.6%)、学部課程10.5%(▲0.5%)でした。

なお、「クラブ支援奨学金」には8地区17クラブから応募がありました。また、「地区奨励奨学金」は7地区11校の指定校に対し、すべての指定校から計23名の応募がありました。

11月13日に当会事務局から各地区へ応募書類を発送します。その後、11月下旬～1月下旬にかけて地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用者609名(2008年11月現在)が決定します。

3 米国在住の学友から2年続けて1,000ドルの寄付

昨年10月、アメリカから1,000ドル(当時の為替レートで約11万2千円)の寄付を送ってくれた米山学友の張 虞安さん(中国/1998-2000/近畿大学大学院)が、今年も世話クラブの交野RC(第2660地区)を通じて、1,000ドルを寄付してくれました。これで累計が20万円を超え、第2回米山功労者マルチプルとなります。昨年、「恩返しのために米山奨学会の寄付金を増やすのは、私が一生をかけて目標とすることの一つです」と語った張さん。今回の気持ちは次のように語ってくれました。

張さんからのコメント

アメリカに来て8年、大学の研究室から民間の製薬会社に移り、知らず知らずのうちに人間のありきたりな欲求に従って働いていることがありました。例えば、金銭や昇格、永住ビザや車、美味しい食事や大きな家を得るためなどです。それらは、つかの間の幸せをもたらしてくれましたが、手に入れてしまえば次の幸せを得るまで、再び緊張や悲しみがやって来ました。しかし今、私は途切れることのない充実感と幸せを感じています。

それは、周囲のすべての人に対して奉仕の気持ちを意識することで得られています。他者への奉仕と、自分の目標に対する努力によって、気持ちを高め、スムーズに前に進むことができるのです。Service above Self! これは私にとって単なる言葉ではなく、精神そのものであり、幸せの源泉なのです。





4 ホームカミング制度で学友が続々と来日

ホームカミング制度は、今年度、新たに設立された学友の里帰り制度です。海外で活躍する学友を地区が招き、地区大会やクラブでその活躍を報告してもらうことにより、奨学事業の成果を多くのロータリアンに実感してもらうことを目的としています。

先月、第 2500 地区（北海道東部）の招きで最初に来日した肖寧さん（中国／2005-06／旭川 R C）は、四川省疾病対策センターの副所長として、四川省大地震発生後、被災地で感染症予防のための活動に尽力し、先頃、中国政府から表彰されたことを報告しました。



世話クラブで卓話をした肖寧さん(中央)

このほか、10 月には、第 2750 地区（東京都西南部）の招きで、韓国の日本語教育に功績を残し、旭日中授章を受章した李賢起さん（韓国／1970-72／東京世田谷 R C）が来日。また、第 2710 地区（広島県・山口県）では中国大連市の東北財経大学で教鞭を取り、大連市政府の政策顧問も務める劉曉梅さん（中国／1999-2001／広島西南 R C）を招へい。それぞれ、クラブ合同例会や地区大会などで活躍を披露するとともに、ロータリアンとの旧交を温めました。

11 月以降も 6 人の学友が来日して、地区大会などに参加します。帰国した米山学友の活躍に、ぜひ耳を傾けてください。

5 中国の学生へ日本の長所を教えています —2640 地区米山学友—

中国で日本語教師として頑張っている米山学友の安勇花さん（中国／2005-07／富田林 R C）から嬉しい便りが届きました。



私は今、吉林省延辺大学外国語学院日本語学科で、日本語教師をしています。今、何よりも気持ちよく感じられるのは、日本で学んだことをそのまま学生に伝えられることです。

日本に留学する前、私は吉林省の専門学校で日本語を教えていました。学生に日本語を教えながら一番自信がなかったのは、日本の文化・風習を教える時でした。まだ日本に行ったことのない私が教える知識は、あくまでも大学で学んだ知識であり、実体験で得たものではなかったのです。適切に教えられているかどうかさえわかりませんでした。

2000 年に日本の地を踏んだときから、大好きな日本語・日本文化を肌で感じる事ができ、幸せでした。留学中は日本文化、風習を夢中で勉強しました。学業を終えたら国へ帰って教師の仕事を続けるつもりで、いろんな方面の知識も一生懸命に勉強しました。たくさんの日本人の友達を作り、日本人の特徴もわかるようになりました。これらはやはり、実際に留学してみないとわからないことです。中国の学生は愛国教育を受けつづけてきたため、日本人に対する偏見も多少は持っています。そんなとき私は、留学中にお世話になった皆さまや、ロータリーという団体があることなどを学生たちに紹介しながら、日本の良いところを教えています。それは、実体験したものなので、学生にも素直に伝わるようです。

日本に留学して良かったとつくづく思います。ことに、ロータリー米山奨学生になれたことを何よりも誇りに思っています。機会があれば、ロータリーでいただいたご恩恵を、自分のできる範囲で、助けの必要な人々に施したいと思っています。

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津・峯・大庭



全国ローターアクト研修会のお知らせ

第21回全国ローターアクト研修会実行委員長 折敷瀬 亜紗美
(鹿島RAC所属)

前年度より、皆様には度々ご案内させて頂いております「第21回全国ローターアクト研修会」がいよいよ来月と迫ってまいりました。皆様には大会記念植樹の為のご協賛や、本大会のご登録等、多大なるご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、本大会は日程を平成21年2月21日(土)22日(日)の2日間にて開催致します。メイン会場を長崎市公会堂とし、1日目は、義務出席者会議、一般参加者プログラム【ロータリアンの皆様には是非、ロータリー部門会議(パネルディスカッション)にご参加頂きたいと思っております。】2日目はローターアクト義務出席者は会議、ロータリアン及び他参加者は環境問題に関する講演を基調して頂く内容としております。

また、ロータリーの子供達である私達ローターアクト会員一同、大会成功へ向けて更に心をつにし、準備を進めておりますので、両日ご参加頂けない方は1日だけでも構いません、是非、この2740地区で開催されます全国研修会を、一目でも見て頂けたなら幸いに存じます。皆様のご登録を会員一同心よりお待ちしております。





新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



小城RC
佐保 幹夫 君



小城RC
中村 欣也 君



小城RC
野口 泰孝 君



鹿島RC
大間 賢一 君



伊万里西RC
仁部 義久 君



伊万里西RC
松本 直大 君



長崎北RC
中西 太 君



訃報



謹んでお別れいたします

合掌

故 赤水 保雄 君

(大村東RC)



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種 類	氏 名	クラブ名
財団 ロータリー	P.H.F.(ポール・ハリス・フェロー)	唐津R C
	マルチプル・P.H.F	諫早多良見R C
	メモリアル・コントリビューター	大村北R C
米山記念奨学会	米山功労者	遠田 公夫
		佐世保R C
		福谷 健吉
		大村北R C
		藤田 智久
		長崎R C
		安達 健蔵
		長崎R C
	マルチプル	川富 正弘
		佐世保R C
		井上 雅弘
		佐世保北R C
		豊島 揆一
		佐世保北R C
		宮原 明夫
		佐世保北R C
		藤井 良介
		佐世保北R C
		鈴木 正昭
		佐世保北R C
		越智 和博
		佐世保北R C
	メジャードナー	西沢 茂
		佐世保北R C
	特別寄付金	福田 俊郎
		佐世保北R C
		小城R C
	安達 一郎	長崎北R C
		長崎出島R C

地区大会事務局より訂正とお詫び

地区大会当日お配りした地区大会プログラムにおいて、21ページのガバナーエレクト紹介の欄に誤りがありました。

《修正箇所》

(誤) 現職 医療法人ウィング 高木病院理事長・院長

(誤) 1981年 長崎大学医学博士授与

(正) 現職 医療法人ウィング 高城病院理事長・院長

(正) 1981年 長崎大学医学博士取得

関係各位には、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに、ここに訂正させていただきます。



2008年10月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数					新 入	退 会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐 賀	4	75.0	65	0	69	0	1	1	0
	小 城	5	85.4	25	2	28	2	1	1	0
	牛 津	5	86.7	32	1	31	1	-1	0	1
	多 久	5	92.2	39	3	41	4	0	0	0
	佐賀大和	4	72.9	24	2	24	2	0	0	0
	小 計		82.4	185	8	193	9	1	2	1
第2グループ	佐 賀 西	3	72.0	49	0	49	0	0	0	0
	佐 賀 北	4	74.4	38	3	36	3	0	0	0
	佐 賀 南	4	81.7	42	2	41	2	0	0	0
	神 埼	4	71.4	30	0	30	0	0	0	0
	佐賀空港	4	65.3	18	1	18	1	0	0	0
	小 計		73.0	177	6	174	6	0	0	0
第3グループ	有 田	4	75.1	37	1	36	1	0	0	0
	武 雄	3	79.5	52	2	51	2	-1	0	1
	鹿 島	4	90.8	37	2	40	2	0	0	0
	嬉 野	4	95.5	21	1	22	1	1	1	0
	大 町	5	64.0	27	0	25	0	-1	0	1
	白 石	5	64.3	14	0	14	0	0	0	0
	太 良	5	100	9	1	8	0	0	0	0
	小 計		81.3	197	7	196	6	-1	1	2
第4グループ	唐 津	4	91.7	52	0	52	0	0	0	0
	伊 万 里	5	91.3	31	0	33	0	0	1	1
	唐 津 東	4	93.8	51	0	50	0	0	0	0
	唐 津 西	4	92.6	35	0	35	0	0	0	0
	伊万里西	4	83.2	45	0	47	0	1	1	0
	唐津中央	4	93.9	36	4	37	4	0	0	0
	小 計		91.1	250	4	254	4	1	2	1
第5グループ	佐 世 保	4	97.8	78	0	81	0	0	0	0
	平 戸	4	72.8	38	0	33	0	-2	0	2
	佐世保西	3	94.5	27	0	27	0	0	0	0
	北 松 浦	4	92.2	21	0	21	0	0	0	0
	松 浦	5	89.2	29	1	30	1	1	1	0
	小 計		89.3	193	1	192	1	-1	1	2

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数					新 入	退 会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	4	96.3	76	0	78	0	0	0	0
	佐世保東	4	87.0	24	0	24	0	0	0	0
	佐世保北	3	99.2	48	0	45	0	-1	0	1
	佐世保中央	5	100.0	39	2	41	2	0	0	0
	佐世保東南	5	79.2	22	1	24	1	0	0	0
	HTB佐世保	4	64.5	31	6	32	6	1	1	0
	小 計		87.7	240	9	244	9	0	1	1
第7グループ	大 村	4	87.6	51	3	51	3	0	0	0
	島 原	4	88.2	34	1	34	1	0	0	0
	雲 仙	3	91.9	26	0	26	0	0	0	0
	大 村 北	5	100.0	34	0	34	0	0	0	0
	島 原 南	5	73.0	20	1	19	1	0	0	0
	大 村 東	3	77.3	49	1	48	1	-1	0	1
	小 計		86.3	214	6	212	6	-1	0	1
第8グループ	諫 早	5	83.6	58	0	57	0	0	0	0
	諫 早 北	5	83.4	64	0	64	0	1	1	0
	諫 早 西	4	90.0	45	0	44	0	0	0	0
	諫早多良見	4	83.5	38	0	38	0	0	0	0
	諫 早 南	3	80.3	28	5	27	5	0	0	0
	小 計		84.2	233	5	230	5	1	1	0
第9グループ	長 崎	4	81.8	92	0	89	0	0	0	0
	福 江	5	86.7	38	0	37	0	0	0	0
	長崎北東	4	90.6	50	6	51	6	0	0	0
	福江中央	3	96.7	29	0	30	0	0	0	0
	長 崎 西	3	70.0	63	0	63	0	-1	0	1
	長崎琴海	4	64.3	22	2	21	2	0	0	0
	小 計		83.5	294	8	291	8	-1	0	1
第10グループ	長 崎 北	3	84.9	75	0	76	0	2	2	0
	長 崎 南	4	70.6	82	0	85	0	3	3	0
	長 崎 東	4	98.2	54	0	55	0	0	0	0
	東 長 崎	4	80.4	26	0	28	0	1	1	0
	長崎中央	3	93.9	54	0	55	0	-1	0	1
	長崎出島	5	78.5	52	11	52	11	0	0	0
	小 計		85.1	343	11	351	11	5	6	1
合 計			84.4	2326	65	2337	65	4	14	10



文庫通信

255号

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 2007-2008年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	68,512	雇用保険料預り金	8,833
普 通 預 金	5,177,135	社会保険料預り金	149,445
定 期 預 金	7,000,000	負 債 合 計	158,278
現預金合計	12,245,647	正 味 財 産	
仮 払 金	876,300	次期繰越剰余金	12,963,669
合 計	13,121,947	合 計	13,121,947

(収支計算書)

収 入		支 出	
会 費 収 入	29,088,150	委 員 会 費	1,849,500
雑 収 入	272,478	業 務 費	8,600,353
		賃 貸 管 理 費	9,464,069
		人 件 費	7,623,322
		予 備 費	0
当 期 合 計	29,360,628	当 期 合 計	27,537,244
前期繰越収支差額	11,140,285	当 期 収 支 差 額	1,823,384
収 入 合 計	40,500,913	次期繰越収支差額	12,963,669

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03) 3433-6456 FAX(03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740
2008-09年度ガバナー 鈴木泰彦

●ガバナー事務所

〒857-0052 佐世保市松浦町5-13 グリーンビル205号室
TEL.0956-56-3122 FAX.0956-56-3086
E-mail: ri2740@coda.ocn.ne.jp <http://www.d2740.org>



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2008-09年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

2008-09年度ガバナー

鈴木泰彦

“ロータリーで心を耕そう”

vol. **8**
2009.2.1



佐世保を元気にしようと佐世保中央商店街の有志が企画したYOSAKOIささば祭りは、今年で11回目。10月24日の前夜祭を皮切りに、25日～26日本祭りが開催され、全国各地から参加された踊り子さんたちが九州西端の地、佐世保で熱い演舞をくりひろげてくださいました。老若男女問わず、団体全員で楽しく熱く踊る姿はとても感動します。(写真はBeflat a GOGO!!の皆さん)

CONTENTS

「前へ」鈴木泰彦ガバナー.....	1	識字率向上月間.....	11
ガバナー補佐・リレー随想.....	2	新入会員紹介.....	12
第2回財団奨学・学友委員会及び奨学生候補者研修会報告...	3	寄付者紹介.....	13
2009年RI国際大会ご案内.....	5	会員数・出席報告.....	14
インターアクト国際交流会報告.....	7	文庫通信.....	裏表紙
ハイライトよねやま106.....	9		



「前へ」

2008-09年度

ガバナー 鈴木 泰彦



厄入、還暦、古希、傘寿、米寿、卒寿…人には節目節目がある。

その節目を迎える度に「自分自身の寿命は？」と問う事もあるのではないかな。

果たして、その年相応の自分であるのかという問いかけをして、ふと過去を振り返ることもおありになるかと思います。

苦しかった事、悩んだ事、楽しく暮らした日々等、走馬灯のように蘇ることでしょう。人それぞれの人生だと思います。

さて、ロータリーの目的は「善意」の推進、相手の立場を考えて行動する心、或いは「思いやる心」を社会に広めたいと願い、それらを実現する事だと思います。相手の価値を認め、大切に思う「人間であるべき姿」こそ、住みよい社会、争いのない世界を作り、人間の繁栄をもたらす基盤であると考えられています。つまり、ロータリーの必要性は、ロータリーを必要としない社会を作る事だと言われています。

人間は「人間であるべき姿」から「人間である姿」つまり、自我を主張し、力づくでそれを勝ちとろうとする心、相手を否定する「憎しみ」を表現する行動をとり易いものです。

世界中の諸処で見られる人類間の殺し合いは、それを物語っています。それ故に、今なおロータリーの必要性があるのだと思います。

私達は地域のリーダーとして、70歳・80歳の方々には智恵者として、50歳・60歳の皆様には牽引力となって、30歳・40歳の皆様には行動隊として行動して頂ければと願ってやみません。

世の中が不景気であろうとなかろうと、常に前へ、前へと私達の気持をもって行きたいものです。

ポールハリスの言葉に

私たちの目的は何でしょうか

学ぶことです

何を学ぶのですか

人生を学ぶのです

人生から何を学ぶのですか

人生から学ぶのはただ一つのことです

人生を送る中で、いかにエゴと決別するかを学びます



といわれています。

まだまだ学ぶ事の多い人生です。ロータリアンは前を向いて進んで行きましょう。



ガバナー補佐・リレー随想

第6グループガバナー補佐 **内海 和憲**
(HTB佐世保RC)



—— 地域の子供たち ——

“ぼくには何がつまっているかな”

小学4年生の詩 “兄”

算数の宿題がわからなかった
母は兄に“教えてやりなさい”といった
兄はめんどくさそうに教えてくれた
でも私が“わからない”といったら
図をかいたりして細かく教えてくれた
私は問題の中身はおぼえずに
兄のやさしさをおぼえた

20年前に福島郡山の“青い窓”で出会った詩です。

青い窓の青は、澄み渡った青い空であり、窓は思いを伝える心の窓のこと。

子供たちの夢や希望が天空に広がっていくようにと願い、社会の片隅にひらいた窓(子供の詩をパネルに飾った場所)の意味です。

青い窓を主幹されておられた故佐藤先生は、昭和33年青い窓というテーマで子供たちに詩を教える教室を開講されたのですが、子供の詩をとおして逆に多くの学びを得ることがたくさんあることに気づかれたそうです。例えば始めた当時(昭和33年)から33年経った時、詩の作品をとおしてまったく変わっていない子供達の心情の部分と、変わってしまった環境の部分とがあることに気づかれたそうです。

変わっていないもの・・・お母さん大好き、子犬がかわいい・・・と言った心情、しかし子供達を取り巻く自然、社会、家庭などの環境が著しく変わってきたものそれは・・・

子供達から遠ざかったもの・・・自然、働く父の姿、母の笑顔

子供達に近づきすぎたもの・・・公害、マスコミ
子供達にのしかかってきたもの・・・学歴社会、テスト、宿題、習い事

子供達から消えつつあるもの・・・ガキ大将と遊びの集団、三世代の家族、家事労働

日本の高度成長の影で、子供たちは敏感に、時代の問題点に気づいて警告を発していることを、詩をとおして知ることができるのに驚きました・・・。

“おい地球人”

人間は地球に何をしたのかな？
大気汚染かな？オゾン破壊かな？自然破壊かな？
戦争かな？核実験かな？

地球は人間に何をしたのかな？
みんなにたくさんの幸せをくれた、“フーやれやれ” おいおいなにやってんだ
地球人！

我々の時代背景と今の時代背景は大きく変化してきましたが、子供たちの純粋な心の中に、可能性や希望にみちた“きゅうこん”がきっとまだまだたくさんつまっていると信じます。

戦後父母の一生懸命に働く姿を見て育った我々も(私は昭和25年生まれ)一生懸命に働いています。

どのタイミングで水をやるか
どのタイミングで栄養を補給するか
どのタイミングで土壌を入れ替えるか
どのタイミングで太陽にあてるか・・・

企業奉仕活動、ロータリー奉仕活動をとおして、地域の子供達に夢と希望を与える地域社会づくり・・・目指していきたいですね！

私には二人の娘がいます。小学四年の時に、佐藤先生と出会い、次女が“赤ちゃん”という詩を書きました。

“赤ちゃん”

犬の赤ちゃん、ねずみ みたいに小さかった
おかあさんのおっぱいを飲んでいた
あまえていた、とても幸せそうだ
なんだか犬の回りが、とてもあたたかい
きっと天使が、羽根をひろげて
守っているんだろう



第2回 財団奨学・学友委員会及び 奨学生候補者研修会報告

財団奨学・学友委員会委員長 笠 慶宣(佐賀南R C)



さる12月7日(日)、第二回委員会を開催いたしました。ご多忙なか、鈴木ガバナーはじめ、田代地区副幹事、角地区事務局長、森永ロータリー財団委員長、高木次期地区幹事、91-92学友諸江善文君、03-04学友戸上真由子君、06-07学友谷川晋一君、07-08奨学生堀田彰子君(09年2月～ニュージーランド留学)、そして有田副委員長、澤山委員、永田委員の委員会メンバーに出席していただきました。今回は、学友の諸江善文君に初めて参加していただき、教師という立場から貴重なご意見をいただくことができました。また、学友の皆さんは地区の諸活動に協力したい、学友を活用してもらいたいという気持ちを強く持っていることも再確認することができました。このように、優秀な学友が当地区で活躍していることを思うと、心強い限りであり、もっと学友との関係を長期的に維持していく必要があると思った幸いです。

今回の委員会も、学友や奨学生そして鈴木ガバナーはじめ当委員会のメンバーの間で、活発かつ有意義な意見交換が行われ、3時間という委員会の時間が短く感じられるほどでした。以下に当日



の委員会の概略を報告いたします。

1. 申請書及び国際親善奨学金の詳細等の検索方法について掲載したほうがよい。

1) 申請書(下記よりダウンロードしプリントアウトしてご利用ください)

www.d2740.org(国際ロータリー第2740地区)→G月信・資料→各種資料のダウンロード→ロータリー財団関連資料

2) 国際親善奨学金のパンフレット他詳細(申請書もダウンロードできます)

Rotary.org;国際親善奨学金

2. 募集要項について

1) 申請者用・ロータリークラブ用に分離し、申請者にわかりやすい募集要項としたほうがよい。

2) 申請する各ロータリークラブの所在地・電話番号等の検索方法について掲載したほうがよい。

www.d2740.org(国際ロータリー第2740地区)→クラブ情報→クラブ名で選択→クラブ選択

3) 選考内容等簡単な説明があったほうがよい。

3. 広報について

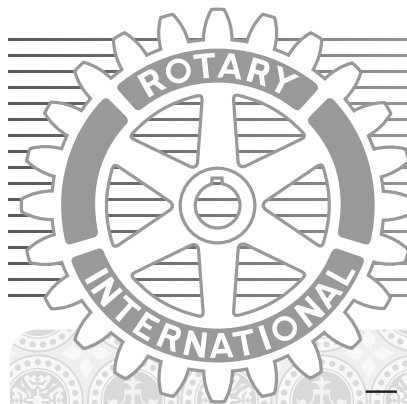
1) ポスターの作成や新聞・TVの活用

2) 県・市庁の国際交流課、記者クラブへの情報提供

3) 保護者等の安心感に訴える広報をすべき

10～11年度の募集が既に始まっていますが、各クラブのご協力とご支援をよろしくお願いいたします。





2009年RI国際大会 ご案内

— 国際大会参加へのお願い —

第100回バーミンガム国際大会に関しましては、すでに参加へのお願いを申しあげておりますが、再度国際大会推進委員会より要請がありましたので、多くの参加をご依頼申し上げる次第です。第2740地区では独自の旅程で、地区内会員の皆様とのツアーを企画しています。楽しい旅になる様数多くの参加を重ねてお願い申し上げます。

2009年6月21日から24日まで英国バーミンガムで開かれるRI国際大会で、皆さまとお目にかかり、共に歴史の1ページを創り上げることを楽しみにしております。ロータリーの真髄とも言える奉仕と親睦をロータリアンが祝う国際大会も今年で100回目を迎え、実に特別な集いとなります。

大会では、感動的な基調講演に耳を傾け、多文化のエンターテインメントを満喫し、情報豊かな分科会に参加できるほか、ロータリー財団の最新情報を取り入れることもできます。ビクトリア朝様式がテーマの友愛の家も楽しんでいただけることでしょう。クラブや地区によるプロジェクトの成功例について学んだり、世界ネットワーク活動グループのブースでは、仲間のロータリアンと、職業や趣味に関連した関心を分かち合うことができます。また、英国式パブでリラックスし、地元の料理を味わい、ジュエリー・クォーターのお店で地元の名産を購入したり、ここでしか見られないエンターテインメントに興じるのもよいでしょう。さらに、ホスト組織委員会は、バーミンガムのショッピングやナイトライフのほか、コベントリ、ストラットフォード・アポン・エイボンなどウェストミッドランド州各地の魅力を満載した各種イベントを企画しています。著名なバーミンガム市交響楽団の演奏とともに歌うメゾソプラノ歌手キャサリン・ジェンキンスのコンサート、10キロ・ミニマラソン、中世探索の夕べ：ウォーリック城見学、ホスト・ホスピタリティ、食事とショッピング、3つの文化行事を取り入れたバーミンガムでの夜など、盛りだくさんの行事が皆さまをお待ちしています。

バーミンガムは飛行機、電車、自動車で気軽に訪れることができ、大会会場とダウンタウンのホテルはどれも鉄道の駅や空港の近くに位置しています。また、英国の中心にあるバーミンガムは、大会の前後にロンドン、英国諸島、ヨーロッパの各都市を訪れるのに絶好の出発点ともなります。今回の国際大会では、保健、栄養、きれいな水、識字率向上を推進するプロジェクトを通じて、最も弱い立場にある子供たちの「夢をかたちに」することをめざした一年を祝います。皆さまの力があれば、世界平和と理解という素晴らしいロータリーの夢を実現できる日がくると信じています。



D. K. Lee

李東建
国際ロータリー会長



ご日程表 2740地区専用コース

国土交通大臣登録旅行業第54号
株式会社 ジェイティービー



JTB九州佐世保支店
佐世保市栄町6-18

～鈴木ガバナーと行く～

2009年RI国際大会・第100回記念大会「英国・バーミンガム」参加 バーミンガムとイングランド周遊7日間

月日(曜日)	発着	現地時間	交通機関	スケジュール	食 事
1 6/20 (土)	福岡空港発 成田又は関空 ロンドン着 バーミンガム着	朝 昼 夕刻 夜	航空機 " 専用バス	2740地区各地より集合 空路ロンドンへ(所要約12時間、時差-8時間) 陸路バーミンガムへ(約200km) ＜バーミンガム泊＞	昼:機内食 夕:機内食 及びホテル軽食
2 6/21 (日)	バーミンガム 滞在			大会ならびに関連行事でお楽しみ下さい。 大会開会式(第1回本会議)は次の2回に分けて行われる予定です。 1回目…09:45～12:15 2回目…14:30～17:00 *1回目、2回目の選択はできず、RIの指定によります。 *ホテルへのお帰りは、ロータリーシャトルバスをご利用下さい。 ＜バーミンガム泊＞	朝:ホテル 昼: — 夕: —
3 6/22 (月)	"			大会出席又は自由行動 ＜バーミンガム泊＞	朝:ホテル 昼: — 夕: —
4 6/23 (火)	バーミンガム ストラットフォード ロンドン	朝 午前 夕刻	専用バス	ストラットフォード・アボン・エイボンの街観光 (シェイクスピア生誕の美しい街) 旅はロンドンへ ＜ロンドン泊＞	朝:ホテル 昼:レストラン 夕:レストラン
5 6/24 (水)	ロンドン滞在		専用バス	ロンドン市内観光 [ロンドン塔・バッキンガム宮殿] [ウェストミンスター寺院など] ＜ロンドン泊＞	朝:ホテル 昼:レストラン 夕: —
6 6/25 (木)	ロンドン発	午後	航空機	出発までフリータイム(お買い物など) 空路、帰国の途へ ＜機内泊＞	朝:ホテル 昼: — 夕:機内食
7 6/26 (金)	成田又は関空着 福岡空港着	昼 夕	航空機		朝:機内食

概算旅行費用 (福岡空港発着) 15名様以上 ￥448,000 (2名1室・エコノミークラス)

※別途必要となります。 ① 燃油サーチャージ目安¥52,000(2008年12月現在。今後値下り予定)及び各国空港税
② 大会登録料 2009/3/31までUS\$330 それ以降US\$380 及び登録代行手数料¥6,300
・お1人部屋追加代金 ¥80,000 ・ビジネスクラス追加代金…お問合せ下さい。

・ご利用予定ホテル/バーミンガム3ツ星クラス、ロンドン4ツ星クラス ・英国航空利用予定



インターアクト国際交流会報告

地区インターアクト委員会委員長 田中丸治樹（伊万里R C）

2008年12月13日(土)武雄市文化会館にてRI 2740地区インターアクト国際交流会が実施されました。参加者は、インターアクター89名、顧問教諭11名、ロータリアン24名、ローターアクター2名、米山奨学生1名、ゲスト2名、合計129名で、E.Jキングスクールのインターアクトクラブと地区内インターアクトクラブとの楽しい交流会ができました。

本交流会は、第2740地区内インターアクト・クラブ国際理解の支援活動として、「国際理解と親善の推進」を目的とし、また、インターアクト・クラブ相互、提唱ロータリークラブ、地区内新世代部門、国際奉仕部門の交流により地区内活動の活性化をはかることも目的として開催いたしました。



プログラム

10:00 開 会(2 F 小ホール)
点 鐘
インターアクトの歌斉唱
出席者紹介
益田 莊一 国際青少年交換委員長
挨拶
馬郡 謙一 地区幹事
学校紹介(英語スピーチ)
小川 汀 佐賀清和高校IAC
趣旨説明、注意事項
田中丸治樹 地区インターアクト委員長

10:30 休憩・移動
10:40 オリエンテーション(屋外)
ラジオ体操
グループ分け、名前を覚えるゲーム
11:00 餅つき(屋外)
グループ分け、名前を覚えるゲーム
12:00 昼食(ミーティングルーム)
交流ゲーム(ミーティングルーム)
折り紙・ゲーム・フリータイム
14:00 休憩・移動
14:15 国際理解(2 F 小ホール)
益田 莊一 国際青少年交換委員長
英語クイズ・交流アトラクション
15:30 閉 会 総評
岡部 景光 新世代統括委員長
点 鐘

受付で名札を配布し、各自ニックネームを記入して交流会が始まりました。身近な日本の文化を



交えての外国人のサポート役として、インターアクターが活躍しました。

ラジオ体操では、CDのトラブルで掛け声のみで体操を行いましたが、さすが日本人、掛け声だけでもみんな体操できるところがすごいです。自己紹介ではボールを廻しながら英語とジェスチャーで自己アピールして名前を覚えていました。

メインイベントの餅つきでは、ロータリアンが率先して指導していただき、初めて餅つきをするインターアクターが多く、ハプニング続出で終始笑いの絶えない餅つきとなり、みんなで食事の時に頂きました。

昼食はテーブルの準備から配膳までみんなで行い、食事の前に箸の練習として小豆の箸リレーを行いました。外国人より箸の使い方が下手な人もいました。

グループでの食事、折り紙とゲームで親睦を深め、言葉が喋れなくても楽しい時間を過ごしました。

国際理解クイズでは益田国際青少年交換委員長の司会で問題を出し、正解者へゲームで使った商品を贈りました。あまりにトリビアな問題もあり、なかなか正解の出ない問題もありました。生活習慣、比喩表現さまざまな面で違いが有ることに気づかされました。

アトラクションでは、E. J キングスクールのバンド演奏の後、E. J キングスクール+有田工業高校+ロータリアンのドリームバンドがバンド演奏して大いに盛り上がりました。最後にE. J キングスクールの皆さんと一緒に「上を向いて歩こう」「翼をください」を合唱して交流会を終わりました。



インターアクト地区委員会として初めての企画で、手探りの状態での交流会でしたが、みんな笑顔で楽しんでいただけたのでホッとしております。また、ローターアクト、米山奨学生の参加もいただき、ロータリーファミリーとしての交流が図れたことは、大変良かったと思います。

詳しくはRI 2740 地区インターアクトホームページをご覧ください。
<http://iac.no-blog.jp/>



ロータリー米山記念奨学会の最新ニュース「ハイライトよねやま」は、当会ホームページにも掲載しています。月信等にご活用ください。
ご希望があればEメールで配信します。担当者までご相談ください。HPはこちら→<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

ハイライトよねやま 106

(財)ロータリー米山記念奨学会
2008年12月12日発行

1 寄付金速報 — 今月も前年同期比減 —

11月までの寄付金は、前年同期と比べて3.6%減、約2,480万円の減少となりました。普通寄付金が0.3%減、特別寄付金が5.2%減と、前月と同様に前年同期比減となりました。昨今の経済状況が反映されたのか、前年同月は100万円のご寄付をいただいた特別功労法人が4法人あったのに対し、今月は米山功労法人が1法人のみでした。12月は例年であれば特別寄付金が一番多く納入される月です。このご時世ではありますが、皆様の更なるご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 実りを挙げつつある「往復切符」—ロータリー研究会で板橋理事長が報告

11月21～22日に東京で開催されたロータリー研究会で、板橋敏雄理事長が米山記念奨学事業の現況について、10分間の報告を行いました。国際ロータリー(RI)主催のロータリー研究会(旧称:ロータリーゾーン研究会)において、日本独自の多地区合同奉仕活動である米山記念奨学事業について初めてテーマとして取り上げられたのは、板橋理事長がRI理事であった2002年のこと。以来、歴代RI理事のご理解とご協力を得て、毎年継続されています。

(財)ロータリー米山記念奨学会 報告(要約)

奨学金への寄付は、素晴らしい奨学事業の片道切符でしかなく、世話クラブになったり、クラブに奨学生を迎えて卓話を聞くなどして、奨学生との接点を設けることが重要な帰りの切符であると考えます。「世話クラブ・カウンセラー制度」は奨学生からも高く評価され、日本への感謝として彼らの中に長く生き続けています。最近の学友の活躍では、東京ロータリークラブでの卓話で大きな感動を呼んだ学友、四川大地震の被災者への支援や岩手・宮城地震への義援金を送った学友会のほか、奉仕への思いをつづる感動的な言葉とともに、アメリカから寄付を送ってくれた学友もいます。



「往復切符」が大きな実りを挙げつつあるのではないのでしょうか。これからも留学生を支援することで、ロータリーの目指す国際平和と国際理解を推進してまいりたいと思います。

3 生前の目標額 1,000 万円を達成

昨年8月にご逝去された元ロータリー米山記念奨学会理事の衣笠秀夫氏(享年86歳、第2820地区・水戸RC)のご遺族から寄付金をいただき、氏は累計1千万円を達成されました。

衣笠氏は、寄付目標額を定めて寄付を積み立てていく高額寄付制度を発案され、1千万円を目標に、生前662万円もの寄付を積み立てていただきました。2007年8月14日、志半ばにして亡くなりましたが、今年10月にご遺族から338万円の寄付をいただき、目標額の1千万円を達成されました。故衣笠氏には、来年4月に開催される第2820地区大会にて、板橋敏雄理事長から感謝の盾が贈呈されます。

故衣笠秀夫氏 経歴

- 1982～83年度第255地区ガバナー
- 1996～2000年度: 理事(5年間)
- 1981～1982年度: 評議員(2年間)
- 1999～2001年度: 学務委員(3年間)



写真は『衣笠秀夫先生を偲んで』から転載させていただきました



4 国内 28 番目の学友会が設立 — 第 2830 地区 —

元奨学生と現役奨学生によって組織される学友会が、また一つ新たに誕生しました。

今年 1 月から学友会設立に向けて準備を重ねていた第 2830 地区（青森県）では、7 月 13 日、「地区ロータリー米山記念奨学会フォーラム」に合わせて学友会の「発会式」が行われ、正会員（学友）、準会員（奨学生）、賛助会員など 30 人が出席。会則の承認や役員選任がなされ、同日、学友会が発足しました。

11 月 17 日の学務・学友委員会での正式な承認を受け、米山記念奨学会の学友会は、国内に 28（32 ロータリー地区）、海外を含めると合計 30 となりました。



5 クリスマスの思い出 — 第 2580 地区米山学友からのメール —

米山学友の房賢嬉さん（韓国／2003-04／東京麹町 RC）から、この時期になると思い出するという、心温まるエピソードを寄せていただきました。

いつもクリスマスが近づいてくるこの時期になると、世話クラブの皆さんが毛布を贈ってくださったことが思い浮かび、暖かい気持ちになります。毛布のもつイメージどおり、皆様の暖かい気持ちが伝わり、いただいた時には感動の涙を流しました。家族と離れ、日本で一人で頑張っていた時期のそのような暖かい贈り物は、もっと頑張る勇氣になったのです。今もその毛布は使わずに大事に保管してあります。その毛布を見るたびに、そしてクリスマスが近づいてくるこの時期には、ロータリークラブを思い出します。私もいつか、それと似たような形で恩返しができたらいいなと思っています。

現在はお茶の水女子大学の博士課程に進学し、勉学に励んでいます。博士号をとって国に帰っても、皆さまの愛は忘れません。皆さまからいただいた愛と奉仕の心を他の人に伝える人になりたいと思います。 房賢嬉



6 訃報 前理事 佐藤二郎氏（第 2820 地区）逝去

国際ロータリー第 2820 地区のロータリー米山記念奨学会前理事、佐藤二郎氏が 12 月 7 日にご逝去されました。享年 81 歳でした。佐藤氏は 2001 年から 2007 年 8 月までの 6 年間にわたって当会理事としてご尽力いただきました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

重 要 な お 知 ら せ

ロータリー米山記念奨学会は「特定公益増進法人」に認定されているため、今年 1 年間（1～12 月）に 5 千円以上の特別寄付をされた方は、**税法上の優遇措置（寄付金控除）**が受けられます。

申告用領収書は来年 1 月末までにクラブ経由でお送りします

来年の確定申告は、12 月 30 日（火）までに入金されたご寄付が対象です。

（財）ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津・峯・大庭

識字率向上月間

日本では、読み書きができるということは当たり前のことのように思われています。しかし、地球上には読み書きができない人たちがたくさんいるのです。読み書きができなければ、良い仕事を見つけることができず、貧しい暮らしを余儀なくされますが、そればかりではありません。例えば、薬の飲み方が書いてあっても読むことができないので、どのように飲んだらいいのかかわからないのです。

ロータリーでは、全世界のすべての人たちが、読み書きができるよう、識字率が向上するように、さまざまな活動をしています。発展途上国のへき地の村に学校を建てたり、教科書や鉛筆、ノートなどを送ったりしています。

文字が読めないのは子どもたちばかりではありません。成人、特に女性に、文字を理解できない人がたくさんいます。おかあさんが読み書きできるようになると、その子どもたちに教えることもできるし、家計を支えるための仕事に就くこともできるようになります。このような理由から、ロータリーでは、成人女性に対する教育も支援しています。

幼児用読み書きセットを贈る

オーストラリアの原住民であるアボリジニの人たちに英語を教えるため、同国のリチャード・ウォーカー博士がC L E (Concerned Language Encounter) という言語教育法を開発しました。ウォーカー博士はロータリアン（ロータリークラブの会員）です。C L Eというのは、例えば、子どもたちなら画用紙からお面をつくったり、人形をつくったりという簡単な作業をしながら文字を教えていきます。成人の女性なら、料理や裁縫、手工芸といった実用的な、そして収入にも結びつくようなものを取り上げて、そういった作業をしながら文字を学んでいきます。

楽しいこと、実益に結びつくようなこととともに文字を学ぶことができるので、途中で挫折する人が非常に少ないといわれています。また、費用も少なく、短い期間で学ぶことができます。

したがって、多くの国のロータリアンたちは、この教育法を使って、多くの子どもたちや成人女性に文字を教えたり、先生の育成をしたりしています。

文字が読めないと良い仕事に就くことができず、生活は貧しくなります。貧しいが故に、その子どもたちは学校に通うことができず、文字を覚えることもできません。そして、良い仕事を見つけることができず、貧しい暮らしを強いられます。こうした貧困の連鎖を断ち切るためにも、ロータリアンたちは、世界中のいろいろな地域で、すべての人たちが読み書きができるよう、活動を続けています。

ロータリーの友より



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀南RC
石井 誠 君



有田RC
岡部 修 君



武雄RC
廣田 剛二 君



HTB佐世保RC
八坂 映子 君



長崎RC
齊藤 彰 君



長崎北RC
下口 和矩 君



長崎北RC
畑 裕一 君



長崎北RC
松崎 文哉 君



2008-09年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

訃報



謹んでお別れいたします

合掌

故 岡部 弘 君

(長崎北RC)



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種	類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	年次寄付(P.H.F.)	前田 眞澄	佐世保中央R C
		大久保 厚司	佐世保中央R C
	年次寄付 (マルチプル・P.H.F)	大川内 克俊	佐世保南R C
		鶴田 明敏	佐世保中央R C
	年次寄付(準フェロー)	高瀬 正之	大村R C
	ベネファクター	鳥越 敏博	佐世保北R C
	マルチプル・P.H.F.	緒方 信行	佐世保北R C
		井上 雅弘	佐世保北R C
		宮原 明夫	佐世保北R C
		永田 武義	佐世保北R C
		藤井 良介	佐世保北R C
		島田 靖彦	長崎西R C
	恒久基金	鉄川 進	長崎出島R C
	ポリオ・プラス	崎元 英伸	佐世保中央R C
米山記念奨学会	年次寄付	梅村 良輔	佐世保R C
	米山功労者	一ノ瀬 哲夫	鹿島R C
		指山 康二	佐世保中央R C
		田端 茂	佐世保中央R C
		宮本 峻光	諫早西R C
		高津 喬雄	長崎中央R C
	第7回米山功労者	田中 克憲	長崎西R C
	マルチプル	池田 敏章	佐世保南R C
		中村 文昭	佐世保南R C
		村田 純一	佐世保南R C
	メジャードナー	白川 十郎	伊万里R C
	特別寄付	小城R C	
		長崎南R C	
	大口寄付	高木 聰一郎	長崎R C
	法人寄付	雄博会・千住病院	



2008年11月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数					新 入	退 会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐 賀	4	79.2	65	0	69	0	0	0	0
	小 城	4	79.0	25	2	29	2	2	2	0
	牛 津	4	83.1	32	1	31	1	0	0	0
	多 久	4	89.0	39	3	41	4	0	0	0
	佐賀大和	3	73.6	24	2	24	2	0	0	0
	小 計		80.8	185	8	194	9	2	2	0
第2グループ	佐 賀 西	3	88.3	49	0	49	0	0	0	0
	佐 賀 北	4	77.7	38	3	36	3	0	0	0
	佐 賀 南	4	78.7	42	2	41	2	0	0	0
	神 埼	4	78.5	30	0	30	0	0	0	0
	佐賀空港	4	62.5	18	1	18	1	0	0	0
	小 計		77.1	177	6	174	6	0	0	0
第3グループ	有 田	4	65.0	37	1	36	1	0	0	0
	武 雄	2	88.2	52	2	51	2	0	0	0
	鹿 島	4	96.8	37	2	41	2	0	0	0
	嬉 野	4	93.2	21	1	22	1	1	1	0
	大 町	4	66.0	27	0	25	0	0	0	0
	白 石	4	64.3	14	0	14	0	0	0	0
	太 良	4	96.9	9	1	8	0	0	0	0
	小 計		81.5	197	7	197	6	1	1	0
第4グループ	唐 津	1	87.1	52	0	52	0	0	0	0
	伊 万 里	4	90.6	31	0	32	0	0	0	0
	唐 津 東	4	90.6	51	0	50	0	0	0	0
	唐 津 西	4	88.0	35	0	35	0	0	0	0
	伊万里西	4	82.3	45	0	48	0	1	1	0
	唐津中央	3	89.1	36	4	36	4	-1	0	1
	小 計		88.0	250	4	253	4	0	1	1
第5グループ	佐 世 保	4	100.0	78	0	81	0	0	0	0
	平 戸	4	64.3	38	0	35	0	2	2	0
	佐世保西	4	95.9	27	0	27	0	0	0	0
	北 松 浦	4	93.8	21	0	21	0	0	0	0
	松 浦	4	94.1	29	1	30	1	0	0	0
	小 計		89.6	193	1	194	1	2	2	0

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会 員 数					新 入	退 会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	4	96.9	76	0	78	0	0	0	0
	佐世保東	4	87.0	24	0	24	0	0	0	0
	佐世保北	2	97.6	48	0	45	0	0	0	0
	佐世保中央	4	100.0	39	2	41	2	0	0	0
	佐世保東南	4	87.7	22	1	24	1	0	0	0
	HTB佐世保	4	66.4	31	6	32	6	0	1	1
	小 計		89.3	240	9	244	9	0	1	1
第7グループ	大 村	4	83.3	51	3	51	3	0	0	0
	島 原	4	82.7	34	1	33	1	-1	0	1
	雲 仙	5	94.9	26	0	26	0	0	0	0
	大 村 北	4	100.0	34	0	34	0	0	0	0
	島 原 南	4	70.0	20	1	19	1	0	0	0
	大 村 東	2	80.0	49	1	47	1	-1	0	1
	小 計		85.1	214	6	210	6	-2	0	2
第8グループ	諫 早	3	92.5	58	0	57	0	0	0	0
	諫 早 北	4	87.5	64	0	64	0	0	0	0
	諫 早 西	4	86.2	45	0	44	0	0	0	0
	諫早多良見	4	89.5	38	0	38	0	0	0	0
	諫 早 南	2	85.2	28	5	26	5	-1	0	1
	小 計		88.2	233	5	229	5	-1	0	1
第9グループ	長 崎	4	90.3	92	0	88	0	-1	0	1
	福 江	4	88.3	38	0	36	0	-1	0	1
	長崎北東	4	87.5	50	6	51	6	0	0	0
	福江中央	4	94.2	29	0	30	0	0	0	0
	長 崎 西	4	89.0	63	0	61	0	-2	0	2
	長崎琴海	4	67.9	22	2	21	2	0	0	0
	小 計		83.5	294	8	287	8	-4	0	4
第10グループ	長 崎 北	2	84.3	75	0	76	0	0	1	1
	長 崎 南	4	77.6	82	0	85	0	0	0	0
	長 崎 東	3	98.2	54	0	55	0	0	0	0
	東 長 崎	4	86.5	26	0	28	0	0	0	0
	長崎中央	2	98.2	54	0	55	0	0	0	0
	長崎出島	4	75.9	52	11	51	10	-1	0	1
	小 計		85.1	343	11	350	10	-1	1	2
合 計			84.8	2326	65	2332	64	-3	8	11



文庫通信

256号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報源

- ◎「ロータリー入門書 2008～2009年度版」 前原勝樹・重田政信 2008 195p
[申込先:北斗企画 TEL(03)3811-4350]
- ◎「ロータリー情報集」 熊本グリーンR.C. 2008 388p
[申込先:熊本グリーンR.C. TEL(096)354-4521]
- ◎「ROTARY世界と日本」 ロータリーの友 2008 15p
[申込先:ロータリーの友 TEL(03)3436-6651]
- ◎「素晴らしい出逢い よき師、よき友は人生の宝①」 戸田 孝 2006 207p
[申込先:八尾R.C. TEL(072)991-2129]
- ◎「純ちゃんのコーナー(ロータリー3分間情報)Part VII」 深川純一 2008 32p
[申込先:伊丹R.C. TEL(072)773-1375]
- ◎「ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)」 成川守彦 2008 4p (D.2640月信)
- ◎「職業奉仕はロータリーの原点!!」 道下俊一 2008 5p (D.2500月信)
- ◎「職業奉仕と出前授業」 畑田耕一 2008 3p (D.2660月信)
- ◎「職業奉仕について(ガバナーメッセージ)」 勝野露観 2008 3p (D.2640月信)
- ◎「ロータリーの職業倫理訓逐条解説(1)～(6)」 青木伸翁 2008 6p
(D.2770月信 7-12月)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2008-09年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

2008-09年度ガバナー

鈴木泰彦

“ロータリーで心を耕そう”

vol. **9**
2009.3.1



おおむら秋まつりで下鈴田浮立に参加した子供たちです。

CONTENTS

「旅する」鈴木泰彦ガバナー……………	1	新入会員紹介……………	8
ガバナー補佐・リレー随想……………	2	次期米山記念奨学委員長 合同セミナー…	8
2009年 国際協議会に出席して……………	3	寄付者紹介……………	9
インターアクト後期指導者研修会報告…	5	会員数・出席報告……………	10
4月はロータリーの雑誌月間……………	7	文庫通信……………	裏表紙



「旅する」

2008-09年度

ガバナー 鈴木 泰彦

「旅は 道連れ 世は情け」とはよく言ったものだと思います。

旅には同行者があるとどんなに心強いものでしょう。又、世間を渡するには人情ほどありがたいものはないと思います。

私は、商売上で多くの旅を経験する機会に恵まれました。ヒューストンで行われた全米の住宅資材展に全国各地から参加された方々とアメリカの雄大さに感銘をしたものです。

その後、度々米国産の丸太の検品にも出向く機会があり、カナダでは水上飛行機に乗り、川を下ってくる丸太のイカダの横づけをして検品、又、シアトルを基地にしてオリンピック半島の数ヶ所を車で1,000kmの行程を1日で巡り、ある時はセスナをチャーターして商社の方々と4～5ヶ所の地へ、これまた1日行程で回る。日本では考えられないスケールの大きい旅、先進国、経済大国と言われさすがに世界をリードしていく国だと感じたものです。

一方、フィリピン・マレーシア・タイ・インドネシア・パプアニューギニアに旅した時、タイではゾウを使って搬出作業をしたり、パプアニューギニアでは小さなホテルに泊められ壁にはヤモリが這い、水はチョロチョロ、伐採現場までジープで何km走ったか想像もつかない道を走り、昼に現地人が作ったカレーを頂き、数人には行き届かず量の調整をしきれないままであったりするような所へ。

日本ではエリートの商社マンの小屋での生活。しかし、現地の彼らにとっては唯一の生活基盤であり、生きている証しでもあります。

又、30年程前中国が解放されてない時に林業団体と懇談するため、北京・成都・昆明・広州を訪れ、植林地を見学に行ってみると、枯枝・枯草がないのでびっくりして見ていると、生活の為たきぎ拾いをしているとの事。これでは植林木も育たないなと感じたものです。

世界中、まだまだ色んな所があるのかもしれませんが、旅をしているとふと日本を考え家族の事を思う、そんな一時があります。

旅には、心を癒す貴重な空間がある事を思うと、時には親しい友と旅をする時間を持ちたいものです。

バーミンガムへの旅も心あらわれる時かもしれません。旅をしよう!!



ガバナー補佐・リレー随想

第7グループガバナー補佐 **福谷 健吉**
(大村北RC)



本年度のライラは4月11日・12日の2日間大村の地で開催されます。皆様のお越しをお待ちしております。

さて、この拙文がお目に触れている頃、私はミャンマーの地を旅しています。亡父の遺骨を遺言に従ってミャンマー(以後Mと表記)のイラワジ河へ散骨に行って以来10回目のM訪問となります。

64年前、Mはビルマと呼ばれ日本兵18万5千人が亡くなった激戦地でした。私の最初のM訪問は戦友会の慰霊団への同行でした。当時終戦後50年近くたっているのにもかかわらず80歳前後の老兵達のはるばるMへ慰霊行を続けていることを疑問に思うとともに大変驚きました。

しかし真剣な慰霊行に感動を覚えると共に、多くの人がそうなるように、私もMにたった一度の出会いで恋してしまいました。

そして最後の一兵迄慰霊行を続けるんだという大先輩達がMに行かれる間は少しでもお手伝いさせて頂こうと思い同行させて頂いている次第です。

日本人ジャーナリストの殺害事件、サイクロン災害と昨今余りイメージの良くないMですが、Mは素晴らしい私の恋人です。紹介させて頂き下さい。

Mはタイとインドの中間で東南アジアの最西端に位置し、日本の1.8倍の面積を有し、4,900万人余の人口を抱える多民族国家で、連邦を構成しています。主産業は農業です。そして、戦前長い間英国の植民地でした。

Mの特徴を一言でいえば「パゴダの国」ということになるでしょう。国中いたる所にパゴダ(仏塔)が建てられ、仏教徒である男子は一生に一度は得度をする慣習があります。ミャンマー人は一般に温厚で礼儀正しく謙譲の美德をもっており、日本人に相通じる人情をもっていると思います。Mの一番の魅力はミャンマー人の仏教をベースにしたこのような国民性にあると思います。

また、Mは観光地としての魅力にも富んだ国です。

世界3大仏蹟の一つであるバガンのパゴダ群始め、ヤンゴンのシェッダゴンパゴダ・世界七不思議の1つのチャイトーのゴールデンロック・マンダレー王宮・インレー湖の浮畑等一見に値する見所の沢山ある国です。

それからMに行くと風の音の中に「戦争だけは二度とやってはくれるな!」というご英霊の悲しい声が聞こえてきます。

故小笠原平吾氏(鹿島RC)は亡くなられる前年まで献身的なM慰霊行を続けられました。氏のご遺骨の一部は今、Mの地に戦友とともに眠っておられます。小笠原氏と同年の清水忠孝氏(元大村北RC)の鬼気迫る遺骨収集の姿は忘れられません。亡父の戦友の山本威篤氏(島原RC)が現役ロータリアンとしてお元気なもの嬉しい限りです。又、太良・鹿島両RCのご援助で立派になったカンナ小学校ではMの子供達が元気に勉強しています。

皆様、是非一緒にミャンマーの地を訪れてみませんか。



2009年 国際協議会に出席して

「ロータリーの未来はあなたの手の中に」

ガバナーエレクト 高城 昭紀

1月18日から25日まで、アメリカカリフォルニア州のサンディエゴで、2009年国際協議会が開催され、私はガバナーエレクトとして、日本の他のガバナーエレクト30名と共に出席してきましたので、この会合について報告致します。

「国際協議会は、ガバナーエレクトが就任年度に備えることを目的とした、教育的であるのと同時に、意欲を喚起する会合です。『入りて学び、出でて奉仕せよ』がこの会合の標語です。すべてのガバナーエレクトの出席が求められるこの会合は、世界中から集う他のロータリアンとアイディアを交換し、親睦を温め、さらには、これらの奉仕プロジェクトや文化交流の可能性を探る国際的なネットワークを広める会議です。」(地区ガバナー要覧)

世界に532地区があるそうですので、532名のガバナーエレクト、そしてその配偶者が召集されましたので、実に約1,060名が一堂に会したことになります。

会は本会議とグループ討論とで構成されています。その組み合わせはいろいろでした。



結局、本会議が10、グループ討論が14、クラブ地区支援セッションというのが2つありました。本会議で行われた講演には次のものがありました。

- ・ 2009～10年度のテーマについて(ジョン・ケニー R I 会長エレクト)
- ・ 水・飢餓追放、保健
- ・ 識字率向上
- ・ 今日における私たちのロータリー財団



- ・ 未来の夢計画
- ・ ロータリーセンターの持つ影響力
- ・ 2009～10年度の財団目標
- ・ 毎年あなたも100ドルを
- ・ ポリオ・プラスの最新情報
- ・ 職業奉仕：忘れ去られた部門
(サブ一元R I 会長)

等がありました。



これらの講演の中で、ジョン・ケ

ニーR I 会長エレクトは、2009年～10年のテーマを「ロータリーの未来はあなたの手の中に (The future of rotary is in your hands)」と発表されました。すなわちロータリー運動の興亡はあなた達ガバナーエレクトのリーダーシップ如何にかかっている」と脅されました。

- ・ サブ一元R I 会長は、はっきりとロータリー活動の基本は「職業奉仕にある」と強調されました。
- ・ アッ！と全員が驚いたのは、本会議3日目にあの、ビル・ゲイツが登壇したことです。そして「また新たに2億5000万ドル出すから、あなた達も2億ドル集めて下さい。」と大きな声でハッパをかけました。(アメリカ人を中心として皆総立ちでした)

個人的なことを追加させていただきますと、

- ・ あれほどの規模の会合でありながら、私は殆ど満足しました。
したがって、ロータリーの組織力や、人材の力、資金力には実感として驚きました。
- ・ (私と私の妻は)一週間よくもてたなとつくづく思いました。
2人共R I が用意した食事をよく食べたからだと思います。
- ・ 全体会議の中で、食事の時に、エレベーターの中で、パーティーで、リー会長・オーデナート副会長をはじめとして、多くの出席者と交流出来たことは楽しかったです。(200個お土産を用意して行ったのですが、殆どなくなりました。逆にいただいたお土産でいっぱいになりました。)

最後になりますが、このような会合に出席させて下さいました2740地区の皆様に厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

このように、この会合は少しきついです、反面楽しい会合ですので、高原武彦ノミニーの後も次々にガバナーになられることをお勧めします。



インターアクト 後期指導者研修会報告

地区インターアクト委員長 田中丸治樹(伊万里RC)



平成21年1月31日(土)武雄市文化会館において「インターアクト後期指導者研修会」を開催しました。

鈴木泰彦ガバナーはじめ、インターアクター62名、顧問教諭20名、ロータリアン28名、合計110名の参加でした。今回もスライドと動画を交えた研修スタイルで参加者も熱心に勉強していました。

本年度の活動の中で例会訪問は、地区内の現状を把握し各インターアクト・クラブの抱えている問題を知る上で重要な活動でした。

クラブ奉仕、社会奉仕、国際理解とインターアクト・クラブの活動がありますが、基本となるクラブ運営について重点をおいて研修会を行いました。活動報告では、スライドを使って代表のインターアクト・クラブに発表していただき、活動の情報交換を行いました。地区活動報告では、国際交流会の写真をしながらプログラムに書かれていない交流会の意図を説明して報告いたしました。後半の模擬例会では、インターアクト地区委員が司会、書記を務め例会の標準的な例会のあり方と役割、意義を



学びました。卓話の中で鈴木ガバナーより若者に対するロータリーのプログラムと紹介とメッセージをいただき、真剣に聞き入っていました。

最後に年次大会について島原中央高校 IAC 会長より日程、大会テーマ等について報告していただきました。

2009-10年度インターアクト年次大会 大会テーマ

「私たちはどうするべきか？」

サブテーマ

「～今と向き合い新しい未来を～」

日時 平成21年8月29日(土)～30日(日)

場所 九十九ホテル 島原市

ホスト校 島原中央高等学校 IAC
(提唱 島原ロータリークラブ)

詳しくは R I 2740 地区インターアクトホームページをご覧ください。

<http://iac.no-blog.jp/>



プログラム

13:00 開 会

司会 福田雅信インターアクト地区委員

1 点 鐘

2 インターアクトの歌斉唱

3 出席者紹介

福田雅信インターアクト地区委員

4 挨拶・地区活動報告

田中丸地区インターアクト委員長

5 活動報告

1. インターアクトクラブ活動報告

①社会奉仕

長崎女子商業高校

ボランティアスピリット賞(コミュニティ賞)受賞

島原中央高校

E M 菌ボランティア

②国際理解

向陽高校 ガーナとの交流会

鎮西学院高校 留学生の卓話

2. インターアクト国際交流会報告

田中丸地区インターアクト委員長

14:20-30 休 憩

6 クラブ運営について

1. 模擬例会

司会

松園 I A 地区委員

記録

福田真也 I A 地区委員

①開会点鐘 インターアクトの歌斉唱

②会長挨拶 ゲストの紹介

③周知連絡事項

④委員会報告

例会訪問報告

田中丸地区インターアクト委員長

⑤卓 話

鈴木泰彦 R I 第2740地区ガバナー

⑥閉会点鐘

2. クラブ運営について

7 後期指導者研修会に対するご意見、ご要望等

8 年次大会について

島原中央高校インターアクト・クラブ

9 所 感

馬郡地区幹事

10 閉 会

15:50 点 鐘



4月はロータリーの雑誌月間、あなたは「ロータリーの友」を読んでいますか？

2740地区「友」地区委員 近藤 正人（佐世保南R C）

さて、『ロータリーの友』と言う雑誌は決して「ロータリーとは何か」ということを体系的に説明する雑誌ではありません。創刊は1953(昭和28)年の1月号。当初の発行部数は3,300部。「ロータリーの友」は、これまでに最高14万部発行された年度もありました。現在は約10万6,500部。値段は1部210円。「友」誌の発行部数は基本的には日本のロータリーの会員数に影響されるわけです。しかし、長期にわたる会員数の減少は、「友」誌の財政にも深刻な影を落として来ました。「友」誌ではそのような中にあっても、編集の大幅な改革、あらゆる経費の合理化でこれ以上の会員減少がなければ、安定的に現在の出版を維持できると言われています。

「読まれざる、ベストセラー」と揶揄される事もしばしばですが、「友」誌はロータリアンの公開討論の場と言われます。ロータリアンとしての意見の開陳や経験談、職業上の知識などを掲載し、ロータリアン同士が堂々と議論し、交流を図ることも大事です。

2008-09年度ロータリーの友委員会から発行されたクラブ雑誌委員長用として出版された手引き書に次のような一文があります。

「ロータリーを語る時、ロータリーを思う時、私達の心の中には各人にとってのロータリーが広がっているはずです。一人ひとりの読み手の生き方によって読み方が異なってよいと思います。なぜ「友」を読むのか、の答えの一つがそんなところにもあるように思います。」

いくらウェブサイトが盛んになり、ホームページが充実しても、やはり手にとって、感触を楽しんで読むという雑誌の良さを『友』誌で味わっていただきたいと思います。





新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



有田 RC
大山 智数 君



HTB佐世保 RC
川副源太郎 君



大村東 RC
一野 伸吾 君



諫早北 RC
川村 正徳 君

訃報

謹んでお別れ
いたします
合掌



故渡邊 進 君
(佐世保東 RC)

ガバナーエレクト／次期米山記念奨学委員長 合同セミナー

全国 34 地区のガバナーエレクトと、09-10 年度地区米山記念奨学委員長を対象とする合同セミナーが昨年 12 月 8 日に都内で開催され、米山記念奨学事業への理解を深めていただくとともに、地区における積極的な推進が呼びかけられました。

ガバナーエレクトと地区米山記念奨学委員長との合同セミナーは今年で 5 回目。午前の部は、板橋理事長の挨拶につづき、元 RI 理事であり、ロータリー財団管理委員を務める田中作次氏の基調講演、第 2750 地区米山記念奨学委員長・関博子氏による「魅力ある地区での奨学事業推進」と題した講演などが行われました。



午後の部は、奨学生と学友の卓話で始まりました。現役奨学生の何京玉さん（中国／広島東南 RC）は、「かつて教師だった父親が、教え子のために自分たちの貧しい食事を分け与える行為が理解できなかったが、ロータリアンの姿を見て父親の真意を理解するとともに、自分もまた、他者のために生きたいと願うようになった」と話し、会場に大きな感動を呼びました。

また、米山学友・陳思乾さん（台湾／大阪淀川 RC）は、35 年前の思い出話を交えながら、台北東海 RC のチャーターメンバーとなった経緯や、台湾の米山学友が結集して設立した「中華民国扶輪米山会」の活動を報告し、「奨学金のおかげでロータリーや米山梅吉翁の奉仕の精神を学ぶことができ、その結果として私自身もロータリアンとなり、意義ある人生の生き方を見つけることができた。この幸せを周囲の人、特に若い米山奨学生たちに、是非伝えていきたい」と熱意を込めて語りました。

全員が一堂に会したフォーラムでは、「もっと身近に感じる奨学事業推進とは」をテーマに、田村亮夫広報委員長がガバナーの指導力の重要性を、近藤雅臣常務理事が現地採用奨学金の現状を、渡辺喜代美地区米山記念奨学委員長が前年度比 20% 増達成の秘訣を披露し、会場との質疑応答も活発に行われました。

（ハイライトよねやま107掲載分より抜粋）



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種	類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	年次寄付(P.H.F.)	川 渕 孝 順	佐世保南R C
		中 嶋 英 博	佐世保南R C
		張 本 洋 二	諫早西R C
		吉 田 節 哉	長崎西R C
	マルチプル	田 中 圭 介	長崎R C
		岩 永 正 人	長崎R C
		鳥 巢 維 文	長崎R C
	年次寄付	佐世保北R C	
		雲仙R C	
		井 筒 亮 平	長崎中央R C
		濱 崎 一 男	長崎中央R C
	ベネファクター	隅 田 達 男	伊万里R C
		松 本 勝	長崎R C
	ポリオ・プラス	米 倉 保 治	鹿島R C
米山記念奨学会	米山功労者	江 頭 泰 幸	佐賀北R C
		高 木 義 和	島原R C
		鳥 巢 維 文	長崎R C
	マルチプル	中 村 正 年	島原R C
		為 永 伸 夫	大村東R C
		高 村 慎 一	長崎中央R C
	特別寄付	小城R C	
		樋 口 美 枝 子	長崎出島R C
		長崎出島R C	

訂正とお詫び

ガバナー月信Vol.8 2月号のP.13寄付者紹介で佐世保 R C 梅村良輔会員の届けが米山記念奨学会の年次寄付となっておりますが、

正しくは、ロータリー財団 年次寄付 マルチプルP・H・F 梅村良輔 佐世保RC です。
また、P.11の識字率向上月間で、C L E (Concerned Language Encounter)は、Concentrated Language Encounterの間違いでした。

訂正してお詫び申し上げます。



2008年12月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新人	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	74.2	65	0	69	0	0	0	0	4
	小城	4	83.0	25	2	29	2	2	0	2	4
	牛津	3	90.3	32	1	31	1	0	0	0	-1
	多久	4	89.0	39	3	41	4	0	0	0	2
	佐賀大和	4	76.0	24	2	24	2	0	0	0	0
	小計		82.5	185	8	194	9	2	0	2	9
第2グループ	佐賀西	4	79.0	49	0	49	0	0	0	0	0
	佐賀北	4	77.1	38	3	35	3	0	1	-1	-3
	佐賀南	3	83.3	42	2	42	2	1	0	1	0
	神埼	3	87.4	30	0	30	0	0	0	0	0
	佐賀空港	4	52.8	18	1	17	1	0	1	-1	-1
	小計		75.9	177	6	173	6	1	2	-1	-4
第3グループ	有田	3	70.5	37	1	37	1	1	0	1	0
	武雄	4	84.6	52	2	51	2	0	0	0	-1
	鹿島	3	92.3	37	2	41	2	0	0	0	4
	嬉野	4	88.8	21	1	22	1	0	0	0	1
	大町	3	65.3	27	0	25	0	0	0	0	-2
	白石	4	60.7	14	0	14	0	0	0	0	0
	太良	3	100.0	9	1	8	0	0	0	0	-1
	小計		80.3	197	7	198	6	1	0	1	1
第4グループ	唐津	3	94.7	52	0	51	0	0	1	-1	-1
	伊万里	4	92.2	31	0	32	0	0	0	0	1
	唐津東	4	95.0	51	0	50	0	0	0	0	-1
	唐津西	4	89.8	35	0	35	0	0	0	0	0
	伊万里西		84.4	45	0	47	0	0	1	-1	2
	唐津中央	4	92.8	36	4	34	4	0	2	-2	-2
	小計		91.5	250	4	249	4	0	4	-4	-1
第5グループ	佐世保	4	82.6	78	0	80	0	0	1	-1	2
	平戸	4	77.9	38	0	34	0	0	2	-2	-4
	佐世保西	4	94.6	27	0	26	0	0	1	-1	-1
	北松浦	3	95.8	21	0	21	0	0	0	0	0
	松浦	4	94.1	29	1	30	1	0	0	0	1
	小計		89.0	193	1	191	1	0	4	-4	-2

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新人	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	4	97.3	76	0	77	0	0	1	-1	1
	佐世保東	4	87.0	24	0	24	0	0	0	0	0
	佐世保北	4	95.7	48	0	45	0	0	0	0	-3
	佐世保中央	4	100.0	39	2	40	2	0	1	-1	1
	佐世保東南	4	77.1	22	1	24	1	0	0	0	2
	HTB佐世保	3	66.7	31	6	32	6	0	0	0	1
	小計		87.3	240	9	242	9	0	2	-2	2
第7グループ	大村	3	81.3	51	3	51	3	0	0	0	0
	島原	3	85.9	34	1	33	1	0	0	0	-1
	雲仙	3	95.8	26	0	26	0	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	34	0	34	0	0	0	0	0
	島原南	4	80.0	20	1	19	1	0	0	0	-1
	大村東	4	79.0	49	1	46	1	0	1	-1	-3
	小計		87.0	214	6	209	6	0	1	-1	-5
第8グループ	諫早	4	87.2	58	0	57	0	0	0	0	-1
	諫早北	3	79.2	64	0	64	0	0	0	0	0
	諫早西	4	89.7	45	0	43	0	0	1	-1	-2
	諫早多良見	3	88.6	38	0	38	0	0	0	0	0
	諫早南	3	80.2	28	5	25	5	0	1	-1	-3
	小計		85.0	233	5	227	5	0	2	-2	-6
第9グループ	長崎	4	84.7	92	0	87	0	1	2	-1	-5
	福江	3	93.7	38	0	36	0	0	0	0	-2
	長崎北東	4	82.7	50	6	48	6	0	3	-3	-2
	福江中央	3	95.6	29	0	30	0	0	0	0	1
	長崎西	3	75.0	63	0	61	0	0	0	0	-2
	長崎琴海	4	60.7	22	2	21	2	0	0	0	-1
	小計		83.5	294	8	283	8	1	5	-4	-11
第10グループ	長崎北	4	82.7	75	0	78	0	3	1	2	3
	長崎南	4	77.6	82	0	84	0	0	1	-1	2
	長崎東	4	98.2	54	0	54	0	0	1	-1	0
	東長崎	3	79.3	26	0	27	0	0	1	-1	1
	長崎中央	5	92.2	54	0	55	0	0	0	0	1
	長崎出島	3	73.2	52	11	51	10	0	0	0	-1
	小計		85.1	343	11	349	10	3	4	-1	6
	合計		84.7	2326	65	2315	64	8	24	-16	-11



文庫通信

257号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から

- ◎「異文化の架け橋」 柴田恭子 2008 2p (D.2610)
- ◎「浪漫なしで生きていけない」 三輪休雪 2008 10p (D.2710)
- ◎「地方発!! 人づくり国づくり」 川勝平太 2008 12p (D.2710)
- ◎「いくつになってもその気になれば一歩踏み出せる」 名取美和 2008 4p (D.2820)
- ◎「愛と勇気と感動と」 加藤タキ 2008 12p (D.2550)
- ◎「日本の底力」 麻生太郎 2008 12p (D.2650)
- ◎「人生って支えあえっこ」 牟田悌三 2008 10p (D.2700)
- ◎「ネット社会と子供の危機～心の発達は大人しだい～」 柳田邦男 2008 19p (D.2700)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

お知らせ

ホームページが新しくなりました。体裁を一新し、利用しやすくなりました。
デジタル化した文献「*」はダウンロードできます。ご利用下さい。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2008-09年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

2008-09年度ガバナー

鈴木泰彦

“ロータリーで心を耕そう”

vol.10
2009.4.1



3月18日 私達は小学校を卒業します。(仲よしの友達とわかれるのはとてもつらいです。)中学校に入っても皆と仲よく勉強にスポーツにがんばります。(写真は諫早市立喜々津小学校6年の皆さん)

CONTENTS

「ロータリアンとして」鈴木泰彦ガバナー…	1	2008-2009年度 2740地区 I M 報告…………	7
ガバナー補佐・リレー随想……………	2	地区チームリーダー研修セミナー報告…………	10
2009年度米山記念奨学生選考会報告…………	3	寄付者紹介……………	11
2009学年度米山カウンセラー・米山奨学生		新入会員紹介……………	13
オリエンテーションのご案内……………	4	会員数・出席報告……………	14
第21回全国ローターアクト研修会報告…	5	文庫通信……………	裏表紙



「ロータリアンとして」

2008-09年度

ガバナー 鈴木 泰彦



「武士は食わねど高楊枝」

武士は対面を重んじるから腹が減っても、今食事が済んだように爪楊枝を使う。やせ我慢の例えにも使うと記してあります。

先日、ある地区の大会に出席させて頂き、お茶の水女子大学理学部数学科教授でいらっしゃる藤原正彦さんの「日本のこれから 日本人のこれから」の演題での講演の中で、このお話がありました。

要は、武士は知識と教養があるが貧乏人が多い。しかし、品位・品格があったから貧乏人であっても卑下しないとのお話です。

戦後米国指導のもと復興は遂げたものの、日本人の日本人たる部分が抜け落ちてしまったのではないかと憂いを持っておられます。

自由競争と言ってしまうとそれまでです。自由競争とは食うか、食われるかの世界であり、動物の世界そのものである。格差社会もそういったところから生まれるものだとおっしゃっています。

「誠実」「正直」「責任感」「時間厳守」「忍耐」……etc

日本人としてもっていたもの

怒り、恐れ、喜び、悲しみなどの「情緒性」

四季折々に感じてきた「感受性」

古里を思う「郷土愛」

国を憂う「愛国心」

家族を思う「家族愛」



そして何よりも戦後復興の中で資源もない国が教育と美的感受性で育ててきた「物づくり大国日本」

こういったものも、今一度見直すべきではないか。その為には「教育」を再考する必要ありと感じています。

「三つ子の魂百まで」ではないけれども、子供が教育の中心になるのではなく、大人が教育の中心にいるべきだともおっしゃっています。

「大人の品格」「親の品格」私達も、もう一度考え直してみたいものです。

いよいよ次年度も動き出しました。不連続の連続ではありますが、「精神」は変わるものではありません。皆でロータリアンとして品格を身に付けてまいりたいものです。



ガバナー補佐・リレー随想

第8グループガバナー補佐 岡崎 威
(諫早多良見RC)



「ひとの足と靴」

人類史上、最も偉大な天才と言われたレオナルド・ダ・ヴィンチは、人間の足を「人間工学上、最大の傑作であり、そして最高の芸術品である」と記しています。彼はなぜこのように人間の足がかくも美しくあり、また尊いのであるかということをも明言したのでしょうか。これには次のような原因が考えられます。

この地球の引力に対して物体が地上で安定するには、最低三つの脚が必要となります。にもかかわらず、人間のみが二つの脚で起立し、歩行しているのです。不思議なこととは思いませんか？

ところで人の足にはどれ位の体重がかかると思いますか？ 一歩踏み出すごとに、体重の25%増しの力がかかり、走り運動する時は3～5倍の力がかかると言われています。これ程苛酷な条件を甘受している足を保護する為の靴を皆様はおろそかにしていませんか？

既製品の靴で標準になるのは足長と足囲です。足囲は第1と第5中足骨骨頭の周囲を測定したもので、一般に足長と大体同じであり、足幅の指標となります。足長と足囲が同じだということと不思議に思われるかもしれませんが、足囲は体重がかかると1～2cm増加します。

足長の表示は各国で様々な単位が用いられており、よく知られているものだけで世界に13種類あると言われています。日本ではcm表示で、一般に5mm間隔であります。戦前は年配の方はご存知の様に、文(もん)が単位でした。これは一文銭の直径が24mmであったことから、10文、10文3分、10文半、10文7分というような表示をし、ほぼ5mm間隔でした。元来は足袋のサイズの表示として用いられたものです。

ちなみにジャイアント馬場の16文キックは、38.4cmとなります。

足囲に関してはアメリカ方式でA、B、C、D、E、EE、EEE、EEEE、F、G、と細かく規定されており、日本でもこの方式が採用されています。ただし、一般的には、E～EEEEしか靴屋の店頭にはみられません。靴を選ぶ時には、午前と午後では足底アーチの低下により足長、足囲も変化するので、必ず午後に履いて、立ったり歩いたりして十分試してみることが必要であり、また同じサイズの表示でもメーカーによって多少大きさが異なることがあるので、靴の通信販売などは少々問題があるのではないのでしょうか。

また最近、外反母趾という病気がポピュラーになってきました。この疾患は足の親趾が小趾に彎曲する病気で、昔は下駄や足袋を履いていたので足先に余裕があり、あまり見られませんでした。足先の細い、いわゆる格好の良い靴を履くようになった事で、足が靴の型になってしまう女性が増えてきています。本に手術をすると簡単に治ると書いてあったので手術をしてくれと若い女性がやって来ますが、私はこのような女性の手術はしない事にしています。なぜなら手術は骨を切って人工的に骨折を作り、見かけが良い様に骨をずらして釘で固定するのですが、骨切り部の接触面積が小さくなって骨が付きにくくなり、手術の後にギプス固定が必要となります。しかし若い女性は不便なのですぐにギプスをのけてくれとうるさくいます。のけてやらないと自分で除去してしまい、結果的には骨が付きません。まったくこれが本当の骨折り損のくたびれもうけということです。

これから長生きしようという方々は、足に良い靴を選び、足を大切に、いつまでも自分の足で歩いてほしいと願っております。



「2009年度米山記念奨学生選考会報告」

米山記念奨学委員会委員長
北郷 雅子（長崎出島RC）

1月18日（日）長崎駅前交通会館3階にある「松藤プラザ『えきまえ』いきいきひろば」で10:15から13:00まで次年度地区米山奨学生選考試験を開催いたしました。鈴木G、高城GE、高原GN、末次AG、中野AG、中島AG、岡崎AG、森AG、内海AG、福谷AG、（今年は、ガバナー補佐の方々も多数参加して頂きました。）馬郡地区幹事、中島地区副幹事、高木次期地区幹事、花田次期地区副幹事、米山地区委員7名と地区委員長の合計22名で審査を行ないました。

鈴木ガバナーのご挨拶の後、2つのテーマから選んで小作文を日本語で書いてもらいました。今年は試みとして、集合時間を2グループに分けてゆっくり面接の時間を取りました。そして選考委員の待つ4部屋でそれぞれ面接を行ない、感想は甲乙つけがたく、いずれも優秀な留学生であるということを感じました。

13時から15時まで、メンバー全員で採点した点数と面接の時の印象などを合わせて14名の合格者を決定いたしました。選考委員の皆様には長時間の選考会でお疲れになられたと思いますが、合格者については、白熱したご意見をいただきましたことに感謝いたします。

次年度は新規14名、継続1名、第2740地区として15名お世話することになりました。佐賀地区4名：（ベトナム2、中国2）お世話クラブは⇒佐賀RC、佐賀南RC、佐賀西RC、牛津RC。佐世保地区2名：（中国2）⇒佐世保南RC、HTB佐世保RC。大村地区1名：（中国1）⇒大村RC。諫早地区1名：（中国1）⇒諫早北RC。長崎地区6名：（ベトナム2、韓国2、中国2）⇒長崎北東RC、長崎琴海RC、長崎中央RC、長崎南RC、東長崎RC、長崎出島RC。新しく奨学生（ベトナム）の大学として活水女子大学が仲間入りしました。長崎南RCには継続奨学生（台湾）と計2名お引き受け願いました。それぞれのお世話クラブには、1年～2年間奨学生の事をよろしく願いいたします。

お世話クラブになって頂けなかったクラブには、次年度も出前卓話などをいたしますし、又、クラブでのいろいろな交流会などでもご協力できたらと思っております。皆様にはガバナーからのメールマガジンや、月信での、ご報告がたくさんできるようにと思っております。

最後に、ロータリアン皆様の更なる暖かいご支援と寄付へのご協力をお願い申し上げます。



2009 学年度米山カウンセラー・米山奨学生 オリエンテーションのご案内

拝啓 早春の候、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

米山奨学事業・活動に関しまして、日頃よりご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、皆様のご支援により、当地区では新規奨学生を14名、継続奨学生1名、合計15名のロータリー米山記念奨学生を迎え新年度を開始する事となりました。

つきましては、下記の通り新規採用奨学生とカウンセラーに対する説明会とオリエンテーションを実施致します。ご出席を賜ります様お願い致します。

3月下旬までに、米山記念奨学会事務局から世話クラブ経由にてカウンセラー宛に「カウンセラーハンドブック」を送付致しますので、熟読いただき、オリエンテーション当日にご持参下さるようお願い致します。

尚、当日は、お世話クラブと奨学生の顔合わせになりますので、カウンセラーが欠席の場合、お世話クラブからどなたか代理出席をお願いいたします。

敬具

記

開催日時： 2009年4月18日(土曜日)
13:30 登録開始
14:00 カウンセラー説明会（カウンセラーのみ出席）
15:05～16:45 奨学生・カウンセラーオリエンテーション(合同)

開催会場： 松藤プラザ「えきまえ」いきいきひろば12号室
長崎市大黒町3-1 交通会館3階
TEL：095-822-4101



第21回全国ローターアクト研修会報告

実行委員長 折敷瀬亜紗美



去る、2月21日(土)・22日(日)長崎市公会堂をメイン会場に「第21回全国ローターアクト研修会」を無事に執り行うことができました。ご出席、ご登録、ご協賛下さいました皆様方には、心より厚く御礼申し上げます。

今研修会はテーマを「E」と掲げ、Evolution「進化」とEcology「環境問題」に力を入れ、準備を進めて参りました。今までの研修会を見直し、予算も必要最低限で試行錯誤し、昨今問題となっている環境問題も考え、無駄のない運営に努めて参りました。内

容も地区RA代表部門では、全国のローターアクターで環境に関して考え、取り組んで行こう。と「環境宣言」をし、今後の活動について様々な協議を行いました。地区RA代表ノミニ部門では、今後の研修会にて活動の表彰制度を取り入れるかのディベートを行い協議しました。ロータリー部門では鈴木ガバナーによる基調講演の後、ガバナーもそのままパネラーとして「ローターアクト活動に対するロータリアンの責任と役割」をテーマにパネルディスカッションを行いました。一般



参加者プログラムでは様々な企業・団体の環境への取り組みをブースにて紹介し、環境についてクイズ形式で学んで頂きました。2日目には、長崎大学の早瀬教授による環境講演を基調し、それぞれの環境に対する思いを1枚の水に溶ける紙に記入して頂き、それを「エコの葉」として集め、1つの「エコの木」を作成致しました。

この2日間それぞれが今後のローターアクト活動と、環境問題に関して考え、取り組み、とても実のある有意義な研修会とすることができました。

これも今まで支えて下さったロータリアンの皆様のお陰である事を胸に、改めてローターアクトプログラムの素晴らしさを実感した研修会でありました。

この研修会でのEmotion「感動」をEternal「永遠」に忘れないよう、今回皆様からご協賛頂いた資金で3月15日(世界ローターアクト週間)に記念植樹を執り行いました。

その際に研修会2日目で作成した、全国の皆様との環境に対する思いが詰まった「エコの木」も一緒に植え、私たちが共に成長し続けたいという思いを込め、地区のシンボルとして受け継いで行く所存です。

今研修会を開催するにあたり、ご尽力賜りました全ての皆様へ心より感謝の意と御礼を申し上げ、今後ともローターアクトを家族としてご理解頂き、ご指導ご鞭撻を賜りたく存知ますので何卒宜しくお願い申し上げます。





2008-2009年度 2740地区 第1・2グループ

IM報告

佐賀北ロータリークラブ
会 長 松尾日出輝



2月28日（土）に、佐賀市のマリトピアにおきまして、2008-2009年度第2740地区第1・2グループ合同IMを佐賀北RCがホスト、佐賀RCがコ・ホストとなり開催いたしました。当日は、鈴木ガバナー・安部パストガバナー・野口パストガバナーの御臨席のもと、220名を越す会員の皆様にご出席いただき大変盛会に行なわれました。

「ロータリーの絆」をテーマに開催され、安部パストガバナーより「ロータリーの過去・現在・未来」と題し、また西日本新聞佐賀総局長 上別府保慶氏（佐賀RC）より「反日と親日ーアジアから見た日本」と題した二題の講演を頂き、出席者一同最後まで熱心に聞き入っておられました。質疑応答の時間を取っておりませんでしたので、時間を取って欲しかったという意見も多数いただきました。

IMに引き続き、懇親会が行なわれましたが、閉会まで200名ほどの方にお残り頂きました。第1・2グループの友情と結束が遺憾なく発揮された1日だったと思います。

来賓の方々を始め、会員の皆様に心より御礼申し上げます。



2008-2009年度 2740地区 第4・5・6グループ

IM報告

唐津西ロータリークラブ
会長 山辺 忠厚



今年度のIM開催に当たり、鈴木泰彦ガバナー、馬郡謙一地区幹事、本城好春 隅田達男 市瀬久米嘉各パストガバナー、第4・5・6グループ各ガバナー補佐、282名の会員の皆様方にご参加を頂きました。

第一部の元麒麟児、北陣和春さんの記念講演では、入門部屋選びの話や部屋での生活風景を面白く話され、また、入門する北陣さんに寄せるお母さんのお気持ちの話には、心を打たれた事と思います。今話題のNHK大河ドラマ“天地人”の“与六と母御”の別れのシーンを思い浮かべられた方もある事でしょう。第二部の米山奨学生卓話で、ベトナムのチャン ティ フェさんは、生活費、学資を稼ぐために、少しの睡眠時間しか取れず、大学で十分な勉強が出来なかったが、米山記念奨学金を頂くようになり、学業に励む事が出来るようになった話を。また、日本とベトナムとの文化の違いにより戸惑う事、腑に落ちない事なども話されました。お二人のお話は、私達のロータリー活動に、大きな糧となる情報を提供して頂いたものと思っております。親睦会では、楊琴の調べを聴き、酒を酌み交わしながら、親交を深め、ロータリーについての意見交換を行って頂いたものと思っております。終わりに、ご登録、ご出席頂いた皆様のお陰で、盛会裡にIMを終えました事を厚くお礼を申し上げます。



2008-2009年度 2740地区 第7・8グループ

IM報告

島原南ロータリークラブ
実行委員長 日向 啓



第7グループ 福谷健吉ガバナー補佐の下、IMを2月21日、島原で開催しました。

テーマは、「四つのテストをどう活かしていますか」で、174名の参加がありました。

振り返ってみますと、テーマがなかなかきまりませんでした。あるメンバーが、原点に戻ってみましょう。と言い出して、四つのテストはどうだろうとアイディアを出した。そこにいたメンバーから、それは良いと一致。四つのテストはロータリアンならだれでも知っているし、そんなに肩をはらなくて良いのではということになりました。

この言葉をどう理解しているか、個人として、会社において、社会において事例などを話し合う中から何かが見えてくれば有り難いなと思っておりました。

今、不況の入り口か、ど真ん中か厳しい時代になっている。四つのテストが出来たのも不況の直中であつたという、ちょうどタイミングがあっている。

テーマが良かったと好評のようでした。

実行委員長としての勤めを終えると、ホッとして会議の内容は余り覚えていない。翌日体重計に乗ったら、一キロ戻っていた。すごいですねー。

関係各位にお礼申し上げます。



2009-2010 年度

地区チームリーダー研修セミナー報告

実行委員長 相原 孝一



冬には珍しく、久々に穏やかな天気恵まれた2009年2月14日(土)、国際ロータリー第2740地区2009-2010年度「地区チームリーダー研修セミナー」が島原市ホテル南風楼で開催されました。

当日のセミナーには、研修リーダーを務めていただきました野口パストガバナー、ご来賓の鈴木ガバナー、佐古、隅田、本城パストガバナー、高原ガバナーノミニのリーダーチームと、次期ガバナー補佐、次期地区委員長、次期ガバナー事務局スタッフ等勢44名参加のもと開催されました。

午後2時、高城ガバナーエレクトの点鐘で2009-2010年度ガバナー事務所の最初の公式会合がスタートしました。

セレモニーの後鈴木ガバナーの挨拶をいただき、高城ガバナーエレクトから次期ガバナー補佐10名、地区委員長12名の紹介が行われ、それぞれ委託状の交付が行われました。

高城ガバナーエレクトより、アメリカサンディエゴ市で行われた2009年国際協議会の報告と共に、新年度地区方針の発表があり、まずはR Iテーマが『ロータリーの未来はあなたの手のうちに』に決めたことが報告されました。

高城ガバナーエレクトの本年度方針も、このジョン・ケニーR I会長エレクトのテーマに沿って、ロータリーの興亡は当日出席のチームリーダー諸氏のリーダーシップ如何による。ロータリーの未来を造って行くのは、R I本部ではなく地域のク

ラブロータリアン一人一人であり、世界平和、飢餓追放、識字率向上に向けて努力しようと強調されました。

続いて、野口地区研修リーダーから『ガバナー補佐、地区委員長の役割と心得』のテーマで講話がありました。

ガバナー補佐の役割としては、各グループのクラブの情報を適時事務局に入れること、及び事前にクラブ協議会に

参加し活動状況をガバナーに報告すること、地区委員長に対し事業の継続性の維持を説得されました。

更に、国際ロータリーと各クラブの関連に就いてきちんと区別することの認識が必要であるとの指摘がありました。

即ち、国際ロータリーの役割は奉仕の哲学の追及、ロータリーの拡大、情報の伝達の3項目だけであり、各クラブの活動は自主性を持って独自の事業実践するのが望ましいと。

亦、他地区にあって当地区にない『各クラブに研修リーダーの設置』を提案されました。

引続き、新年度地区運営に就いて高木次期地区幹事、中島次期地区会計長から会員増強、ロータリー財団への寄付、運営予算等に就き説明がありました。

予算、行事日程についての出席者からの質疑応答の後、佐古パストガバナーから誠に充実したセミナーであったこと、今日の収穫を新たな年のロータリー活動のエネルギーとして、各自のクラブ活性化に務めるよう講評を戴きました。

3時間にわたるセミナー終了後隅田パストガバナー音頭で懇親会に入り、和気あいあいの内に親睦を深め、6時50分に充実した一日を終了しました。

遠路にもかかわらず、出席戴きましたご来賓の諸氏及びロータリアンの皆様に改めて厚く御礼申し上げます。



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種	類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	年 次 寄 付	牛 津 R C	
		川 里 眞 介	大村東 R C
		荒 木 静 男	大村 R C
		荒 木 文 明	大村 R C
		石 坂 和 彦	大村 R C
		井 手 誠 一	大村 R C
		大 塚 幸 人	大村 R C
		岡 部 好 宏	大村 R C
		帯 屋 徹	大村 R C
		甲 斐 田 功	大村 R C
		笠 井 和 幸	大村 R C
		紀 伊 康 信	大村 R C
		木 下 一 功	大村 R C
		工 藤 洋 子	大村 R C
		黒 木 隆 亨	大村 R C
		酒 井 美 克	大村 R C
		貞 松 俊 弘	大村 R C
		辻 義 明	大村 R C
		渡 海 昇	大村 R C
		豊 竹 一 博	大村 R C
		中 瀬 和 隆	大村 R C
		西 川 義 文	大村 R C
		原 哲 弥	大村 R C
		久 松 清 彦	大村 R C
		星 野 孝 通	大村 R C
		本 田 嘉 彦	大村 R C
		前 田 昭 雄	大村 R C
		益 田 智 行	大村 R C
		俣 野 正 仁	大村 R C
		溝 上 善 造	大村 R C
		村 里 愛 子	大村 R C
		村 山 正 男	大村 R C
		森 本 英 敏	大村 R C
		湯 浅 幸 一	大村 R C



種 類		氏 名	クラブ名
ロータリー財団	年 次 寄 付	吉 川 豊	大村 R C
		中 島 悟	大村 R C
		江 口 照 年	大村 R C
		古 川 和 子	大村 R C
		川 添 一 巳	長崎中央 R C
		尾 上 信 哉	長崎中央 R C
		高 村 慎 一	長崎中央 R C
	年次寄付(P.H.F.)	立 花 巖	牛津 R C
		松 尾 栄 次	多久 R C
		林 田 克 己	多久 R C
		吉 田 政 亮	佐賀大和 R C
		宮 崎 邦 夫	唐津 R C
		犬 養 義 一	松浦 R C
		小 松 由 美 子	松浦 R C
		大 森 元 紀	松浦 R C
		中 川 英 俊	H T B 佐世保 R C
		田 中 義 信	大村東 R C
		宮 崎 民 雄	諫早北 R C
	マルチプル(P.H.F.)	中 尾 健 治	牛津 R C
		西 岡 健 次	牛津 R C
		佐 古 亮 景	大村北 R C
		山 田 和 弘	諫早 R C
		前 田 俊 彦	諫早 R C
		前 田 博 明	諫早 R C
		森 信 興	長崎西 R C
	ベネファクター	御 厨 成 宏	北松浦 R C
		鈴 木 泰 彦	佐世保南 R C
	メモリアル・コントリビューター	山 口 隆 敏	有田 R C
	ポリオ・プラス	黒 田 隆 雄	諫早北 R C
	新ポリオ・プラス	長崎南 R C	
	特 別 寄 付	柿 本 貴 子	R財団国際親善奨学生(長崎出島 R C)
	普 通 寄 付	牛津 R C	
米山記念奨学会	米 山 功 労 者	西 沢 雅 幸	佐世保南 R C
	マ ル チ プ ル	江 原 明 彦	牛津 R C
		瓜 生 俊 之	佐世保南 R C
	特 別 寄 付	小城 R C	
		長崎出島 R C	



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



鹿島RC
小野原勝春 君



嬉野RC
吉田 満 君



平戸RC
村 節雄 君



北松浦RC
辻田 智一 君



佐世保南RC
藤本 健輔 君



佐世保北RC
蒲池 芳明 君



佐世保北RC
牧野 博一 君



HTB佐世保RC
原 一史 君



長崎北RC
大場 剛 君



長崎東RC
中村 安志 君



長崎東RC
小川 満樹 君



長崎東RC
平野喜久臣 君



訃報



謹んでお別れいたします

合掌

故 岩切 正幸 君

(島原RC)



2009年1月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新人	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	76.5	65	0	69	0	0	0	0	4
	小城	4	75.8	25	2	29	2	2	0	2	4
	牛津	4	76.6	32	1	31	1	0	0	0	-1
	多久	4	92.1	39	3	41	4	0	0	0	2
	佐賀大和	4	66.7	24	2	24	2	0	0	0	0
	小計		77.5	185	8	194	9	2	0	2	9
第2グループ	佐賀西	3	78.0	49	0	49	0	0	0	0	0
	佐賀北	4	88.1	38	3	35	3	0	0	0	-3
	佐賀南	4	84.5	42	2	42	2	0	0	0	0
	神埼	4	85.3	30	0	30	0	0	0	0	0
	佐賀空港	3	66.7	18	1	17	1	0	0	0	-1
	小計		80.5	177	6	173	6	0	0	0	-4
第3グループ	有田	4	65.5	37	1	37	1	0	0	0	0
	武雄	2	85.3	52	2	51	1	0	0	0	-1
	鹿島	4	88.1	37	2	41	2	0	0	0	4
	嬉野	4	95.5	21	1	22	1	1	0	1	1
	大町	4	66.0	27	0	24	0	0	1	-1	-3
	白石	4	62.5	14	0	14	0	0	0	0	0
	太良	4	96.9	9	1	8	0	0	0	0	-1
	小計		80.0	197	7	197	5	1	1	0	0
第4グループ	唐津	4	90.9	52	0	51	0	0	0	0	-1
	伊万里	4	95.3	31	0	32	0	0	0	0	1
	唐津東	4	91.9	51	0	50	0	0	0	0	-1
	唐津西	4	88.9	35	0	35	0	0	0	0	0
	伊万里西	4	81.2	45	0	47	0	0	0	0	2
	唐津中央	4	91.9	36	4	34	4	0	0	0	-2
	小計		90.0	250	4	249	4	0	0	0	-1
第5グループ	佐世保	4	100.0	78	0	80	0	0	0	0	2
	平戸	4	76.9	38	0	34	0	1	0	1	-4
	佐世保西	4	91.6	27	0	26	0	0	0	0	-1
	北松浦	3	93.8	21	0	21	0	0	0	0	0
	松浦	4	90.8	29	1	30	1	0	0	0	1
	小計		90.6	193	1	191	1	1	0	1	-2

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新人	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	4	96.9	76	0	76	0	0	1	-1	0
	佐世保東	3	84.3	24	0	22	0	0	2	-2	-2
	佐世保北	3	99.2	48	0	45	0	0	0	0	-3
	佐世保中央	4	100.0	39	2	40	2	0	0	0	1
	佐世保東南	3	81.9	22	1	24	1	0	0	0	2
	HTB佐世保	4	70.9	31	6	33	6	1	0	1	2
	小計		88.9	240	9	240	9	1	3	-2	0
第7グループ	大村	4	87.5	51	3	51	3	0	0	0	0
	島原	4	84.9	34	1	33	1	0	0	0	-1
	雲仙	4	92.8	26	0	26	0	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	34	0	33	0	0	1	-1	-1
	島原南	3	65.0	20	1	19	1	0	0	0	-1
	大村東	3	78.0	49	1	48	1	2	0	2	-1
	小計		84.7	214	6	210	6	2	1	1	-4
第8グループ	諫早	4	86.1	58	0	57	0	0	0	0	-1
	諫早北	4	82.3	64	0	65	0	1	0	1	1
	諫早西	4	92.5	45	0	43	0	0	0	0	-2
	諫早多良見	3	84.2	38	0	38	0	0	0	0	0
	諫早南	2	72.0	28	5	25	5	0	0	0	-3
	小計		83.4	233	5	228	5	1	0	1	-5
第9グループ	長崎	4	85.5	92	0	85	0	0	2	-2	-7
	福江	4	84.4	38	0	36	0	0	0	0	-2
	長崎北東	4	88.5	50	6	48	6	0	0	0	-2
	福江中央	4	95.0	29	0	30	0	0	0	0	1
	長崎西	4	72.3	63	0	61	0	0	0	0	-2
	長崎琴海	4	63.9	22	2	21	2	0	0	0	-1
	小計		83.5	294	8	281	8	0	2	-2	-13
第10グループ	長崎北	3	80.9	75	0	80	0	2	0	2	5
	長崎南	4	75.8	82	0	82	0	0	2	-2	0
	長崎東	4	98.2	54	0	55	0	1	0	1	1
	東長崎	4	78.5	26	0	27	0	0	0	0	1
	長崎中央	2	95.4	54	0	55	0	0	0	0	1
	長崎出島	4	74.5	52	11	51	11	1	1	0	-1
	小計		85.1	343	11	350	11	4	3	1	7
合計			84.4	2326	65	2313	64	12	10	2	-13



文庫通信

258号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報として

- ◎「他人の金で奉仕をするという虚構」 佐藤千壽PG遺稿 2009 8p
(D.2790月信)
- ◎「ロータリーを見直そう」 千 玄室 2008 8p (D.2650地区大会)
- ◎「識字力あれど識知力のない日本」 佐藤千壽・深川純一 [2008] 18p
(D.2680地区大会)
- ◎「決議23—34その存続の危機」 田中 毅 2008 12p (D.2710 IM報告書)
- ◎「ロータリー理解推進月間にあたって」 戸田 孝 2009 1p (D.2660月信)
- ◎「ロータリー理解推進月間(ロータリーの広報を考える)」 塚原房樹 2009 2p
(D.2510月信)
- ◎「ロータリー理解推進月間」 足立功一 2009 12p (D.2500月信)
- ◎「ロータリー理解推進月間によせて」 三軒久義 2009 1p (D.2640月信)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2008-09年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

2008-09年度ガバナー

鈴木泰彦

“ロータリーで心を耕そう”

vol. **11**
2009.5.1



長崎南RC「長崎県中学・ジュニアラグビー大会」突進

CONTENTS

「ありがとう」は魔法の言葉・鈴木泰彦ガバナー…	1	投稿トピックス・地区大会記念事業に感謝状…	7
ガバナー補佐・リレー随想……………	2	新入会員紹介……………	8
米山奨学生、終了式・歓送会……………	3	寄付者紹介……………	9
2008-2009年度 2740地区IM報告……………	4	会員数・出席報告……………	10
ガバナー補佐・地区委員長合同ミーティング…	6	文庫通信……………	裏表紙



「ありがとう」は魔法の言葉

2008-09年度

ガバナー 鈴木 泰彦



「ありがとう」と口にすると、何故か心が潤ってくる、緊張がほぐれる、ストレスが消える、笑顔が生まれる、元気が出る。

ありのままの自分を素直に受け入れ、まわりの人の事も受け入れて、人生のすべてが愛おしくなる。

そしてまた「ありがとう」は運を開き、ツキを呼び、夢や望みを叶えてくれる。
だから「ありがとう」は魔法の言葉。

医学博士・理学博士 ルーマニア名誉領事

佐藤 富雄 氏

私は60を過ぎた今、人生を振り返ってみて、時代毎に色々な方々にお世話になってきた事を思い出しています。そして、その先輩たちが一人一人お亡くなりになり、ふとまわりを見回すと、息子達とその友人達との出会いが始まっている事を思うと、同じ時代を生きている仲間のありがたさをつくづく感じずにはられません。

御葬儀に出席する度に、手を合わせて口ずさむのはいつも「ありがとうございました」の一言です。時には厳しい事も言われたり喧嘩もしてきても、私を育ててくれた大恩人だと思うからの一言です。人生における一期一会は素晴らしいものです。

時代を担う若者達も国境を越えて「ありがとう」と言える人間になって欲しいものです。

世界平和も環境問題も食糧問題も資源問題も一人占めするのではなく、分かちあって「ありがとう」と言える世界が拡がれば最高です。



ガバナー補佐・リレー随想

第9グループガバナー補佐 森 義則
(長崎RC)



ロータリー力

◎老人力の言葉から始まって、人間力・日本力・ゆっくり力とか〇〇力の表現が増えている。これらは私共人間の生きる力に聊かのインセンティブを与えてくれている。

◎私共のロータリーも、年度毎のRI会長や地区ガバナーが語る語彙のエッセンスから刺激を受け、新たな心構えで新年度行事のパワーアップ!! それをロータリー力と呼んでみよう。

◎現実のロータリーや如何、世界のロータリーで最も減少率が高いのが日本(10年間で25%減少)、第2位の座をインドに譲った。アメリカも減少と聞く。そんな中でドイツはプラス、特に東欧諸国は10年で48%増加、成長期にあるのだろうが民主主義が着実に定着しつつあるのだろうと思う。

◎日本はRI地区組織で1-4ゾーンを有していたが、会員減少により1ゾーン3万5千人との前提により今後1-3ゾーンに変更されるとの事。当然RI理事数も減少であろう。

◎百年に1度の不況だから、昨今の日本人の内向き志向だから減少やむなしの諦感ムードを恐れる。日本も過去何度も不況を経験してきたが会員は着実に増加した実績もある。

◎RIやガバナーの激励を受け乍らも会員減少はクラブ主体のロータリー力が衰えているのが原因だと言うが、国際奉仕や米山の素

晴らしい奉仕実績は、まさにロータリー力が十分に発揮されている証左ではないか。

◎ロータリーの魅力は何か、ロータリーには数多くの名言がある。最も好きな言葉は「入りて学び出でて奉仕」である。ロータリーには素晴らしい職業倫理や奉仕の理念がある。それを進化させるのが学びであり、親睦を通じての理念と実録の場が奉仕活動であろう。

◎ロータリー研修会の記事の中で、アメリカの会員減少クラブは奉仕プロジェクトに対する会員の参加が少ないところが多いと報告された。ロータリーは事業目的を持つ団体でなく、理念の下に多彩な奉仕活動を行う団体である。「ロータリーの友」誌には数多くの奉仕活動が掲載されクラブ活動の参考となっているが、他のクラブとの奉仕活動の交流がクラブの活力になるとの意見もあった。

◎第9・10グループのIMでは、地区内12クラブの奉仕活動の実態を会場にて映像と説明形式での報告会を試みてみた。その結果、クラブ会員より極めて身近な活動を見聞きして、いい刺激を受けたとの言葉をいただいた。担当補佐として、これ等がロータリー力の一助になればと心より念じた次第である。





2008-09年度地区

米山奨学生、終了式・歓送会

地区副幹事 中島 閏二



2008-09年度、米山記念奨学生終了式は2月15日(日)、長崎市の料亭「花月」において行われました。

今回は、15名の米山奨学生が巣立っていくこととなり、隅田達男米山奨学会理事より終了にあたって最後のはなむけの言葉が贈られ、また、来賓としてお招きした米山記念奨学会事務局長 坂下博康氏とロータリーの友編集長 二神典子氏のお2人から奨学生へ激励の言葉を熱く語っていただきました。

そして、鈴木泰彦ガバナーよりそれぞれ一人ずつ奨学生に終了証書が授与されました。

また、各クラブのカウンセラーの皆様にも坂下博康米山記念奨学会事務局長より感謝状が贈呈されました。

終了式後の歓送会では、「花月」という料亭にふさわしい催しとして、(社)日本詩吟学院学風会岳鐘会女の都支部の子供達による素晴らしい詩吟が披露され、奨学生たちにあらためて日本文化の素晴らしさの一端を感じて貰いました。

また、奨学生達からも日本での留学生活の思い出や米山奨学会への感謝の気持ちと将来への大きな夢などが語られました。

今後は、それぞれの国に帰る人もあれば更に勉学に励む人、そして日本で就職される人とさまざまですが、彼らの前途洋々たる旅立ちを大いに祝福したいと思います。

最後に奨学生を留学期間中、温かく見守り接していただきました各クラブのカウンセラーの皆様には心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



2008-2009年度 2740地区 第3グループ

IM報告

嬉野ロータリークラブ

会長 森 四朗



鈴木泰彦ガバナーよりご挨拶を頂く

2008-2009年度2740地区第3グループのインターシティー・ミーティングを去る3月14日(土)に嬉野観光ホテル大正屋において開催しました。

この日は、鈴木泰彦ガバナー、馬郡謙一地区幹事をお迎えし、中島陽一郎ガバナー補佐の下、嬉野ロータリークラブがホスト、武雄ロータリークラブ、白石ロータリークラブがコ・ホストとして117名の参加者を得て、盛大な中にも和やかに開催されました。

まず、来賓挨拶として鈴木泰彦ガバナーのお話しを拝聴し、続いて中島陽一郎ガバナー補佐の『第3グループの現状』について発表していただきました。基調講演として、第2740地区奨学生学友の戸上真由子さんに『国際親善奨学プログラムが与えてくれたもの』という演題で体験発表をしていただきました。

アトラクションとして、嬉野オカリナクラブの見事な演奏に耳を傾け、懇親会では、歌あり、踊りありで第3グループの親睦が十分にでき、ロータリー仲間としての親交の和が大きく膨らんだIMであったと思います。

御協力有り難うございました。



戸上真由子さんの基調講演



嬉野オカリナクラブの演奏風景です



2008-2009年度 2740地区 第9・10グループ

IM報告

長崎ロータリークラブ
会 長 松本 勝



今年度 R I 2740 地区第9・10グループのIMは、去る3月1日(日)にホテルニュー長崎で長崎RCがホストクラブで、長崎北RCにコ・ホストクラブとして協力をいただき12クラブの会員600余名の登録をいただき、360名の参加のもと盛大に開催されました。

地区ガバナーテーマ「ロータリーで心を耕そう」その趣旨に沿って「教育再生」を

テーマとして行いました。最近の人心の荒廃、そしてそれに起因すると思われる眉をひそめる様な出来事が多発するように思われます。よってIMのテーマをこの様にきめ、IM実行委員長は会長幹事会で、またガバナー補佐はクラブ訪問の折に教育再生に相応しい活動をお願いし実践報告としていただくをお願いをしてきました。

当日は、先ず基調講演を安部直樹PGに「教育に生きるロータリーの心」と題してお話いただきました。教育に携わるロータリアンとしてのお考えを披露していただき、昔の教育、今の教育の対比、生き方の変遷などに言及されわれわれはロータリーの善意を提供して若い人々の為に支援していかねばと説かれました。格調高く平易な語り口で、皆熱心に傾聴いたしました。

次に各クラブが行った「教育再生」の実践報告にパワーポイントを使い夫々の活動を発表していただきました。他クラブの熱心な活動の様子がよく判り、良い意味で刺激され、また来期の活動の目標ともなり、良い企画であったと思いました。はじめての発表形式をとりましたが各クラブ皆良く協力いただき、上首尾に行えたことを感謝します。

懇親会はハミングバーズの素晴らしい男性合唱に始まり、多数の参加をいただき、各クラブ間の会員相互の友情親睦を深め、そして、楽しく賑やかな雰囲気でありました。

最後になりましたが、森義則、中野廣両ガバナー補佐の指導の下のIM、鈴木泰彦ガバナー、野崎元治、安部直樹、田口厚バスターガバナー、馬郡謙一地区幹事のご臨席を頂きましたことを感謝すると共に盛会裏に終了したことをご報告いたします。



2008-2009 年度

ガバナー補佐・地区委員長合同ミーティング

国際ロータリー第 2740 地区 ガバナー事務所

事務局長 角 康 隆



2009 年 4 月 4 日土曜日、J Aながさきさせばホールにて「2008-2009 年度 ガバナー補佐・地区委員長合同ミーティング」を開催いたしました。

鈴木ガバナー・高原ガバナーノミニーをはじめガバナー補佐、地区委員長、地区幹事、副幹事の総勢 45 名の出席をいただきました。

この初めての合同ミーティングは今後の地区運営について積極的に活動いただいています地区役員の方々にディスカッションを通して地区の方向性等のご意見を伺う事を目的としてガバナーの強い意志のもと開いたものであります。

鈴木ガバナーより近況報告としてガバナー会の現状とガバナー協議会設立に向けた動きのほか、地区内の課題についてお話がありました。続いて馬郡地区幹事より、地区内の会員数の動向、財団寄付の状況、米山記念奨学生選考結果等とバーミンガム世界大会への参加要請の報告がありました。又、今回中島会計長より地区資金運用に関する規定案のご説明があり、今後 2 ～ 3 年かけて整備していく旨了解を求めました。

その後グループディスカッションに移り、4 テーブルに分かれ、地区内グループ数、グループ分けについて、又、地区運営全般について予定時間いっぱい活発な意見交換が行われました。

参加者からは今後も役員だけでなく多くの会員の皆様にディスカッションの機会を設けたらどうかとの意見も多く次期にも引き継いでいく所存です。

御参加いただきました役員の皆様には感謝申し上げます。





投稿トピックス

男の生け花

松浦ロータリークラブ
池水英比古

2月20日、例会において会員(生花業)の指導により、生け花教室が行われました。殆どの会員が初めての体験で、皆、真顔で真剣に取り組んでいました。完成後は、それぞれの作品を評価しながらも、自己満足の世界に浸っていました。



地区大会記念事業に感謝状



2009年4月1日
佐世保市制施行
107周年記念式典
に於いて、国際ロー
タリー第2740地区
へ「公益の為その
功績が顕著なもの」
として表彰をいた
だきました。

これは昨年11月に開催致しました地区会員大会の記念事業として佐世保市児童管弦楽団へ楽器一式を寄贈した事に対して授与されました。当日は鈴木泰彦ガバナーが出席され直接佐世保市長より授受されました。

地区内会員の皆様へご報告と共にご支援に感謝申し上げます。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀南RC
吉岡 義治 君



武雄RC
梶川ゆり子 君



武雄RC
谷口 優 君



武雄RC
山口 修代 君



嬉野RC
中島 要造 君



唐津RC
中村 晃二 君



長崎RC
相馬 和夫 君



2008-09年度国際ロータリーのテーマ
夢をかたちに

訃報

謹んでお別れいたします

合掌



故
田中 清堂 君
(武雄 RC)



故
中部長次郎 君
(長崎北 RC)

訂正とお詫び

ガバナー月信V o 1.8 2月号のP.13 寄付者紹介で長崎RC 高木聡一郎会員の届が米山記念奨学会の大口寄付となっておりましたが、

正しくはロータリー財団 大口寄付 高木聡一郎 長崎RC です。

訂正してお詫び申し上げます。



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種 類		氏 名	クラブ名
ロータリー財団	年次寄付(P.H.F.)	福田 敏 幸	北松浦R C
		助村 房 子	諫早南R C
	年 次 寄 付	安達 健 蔵	長崎R C
		神之浦 潔	福江中央R C
		山下 恒 善	福江中央R C
		福島 建 一	長崎北R C
		古賀 豊 太郎	東長崎R C
		田中 良 光	東長崎R C
		多良 正 治	東長崎R C
		東長崎R C	
		前田 稔	長崎中央R C
		高木 聰 一郎	長崎R C
	大口寄付	橋川 龍	諫早南R C
	ベネファクター	森 四 朗	嬉野RC
		藤谷 成 微	伊万里西R C
		田川 孝 弘	諫早多良見R C
		崎 永 剛	長崎北R C
		藤本 勝 己	東長崎R C
米山記念奨学会	米 山 功 労 者	中島 陽 一郎	嬉野RC
		時里 重 利	伊万里西R C
		鬼木 和 夫	佐世保R C
		山本 浩 平	松浦R C
		藤本 俊 春	諫早R C
		前田 稔	長崎中央R C
	マ ル チ プ ル	堀川 博 邦	伊万里西R C
		福田 茂 弘	伊万里西R C
		小松 重 昭	唐津中央R C
		菅原 眞 博	諫早R C
		林田 千 年	諫早R C
	普 通 寄 付	東長崎R C	
	特 別 寄 付	小城R C	
		和田 光 史	HTB佐世保R C



2009年2月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新人	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	81.3	65	0	69	0	0	0	0	4
	小城	3	73.3	25	2	29	3	2	0	2	4
	牛津	4	83.7	32	1	31	1	0	0	0	-1
	多久	4	86.6	39	3	41	4	0	0	0	2
	佐賀大和	4	63.5	24	2	23	2	0	1	-1	-1
	小計		77.7	185	8	193	9	2	1	1	8
第2グループ	佐賀西	4	79.5	49	0	48	0	0	1	-1	-1
	佐賀北	3	91.3	38	3	35	3	0	0	0	-3
	佐賀南	4	85.5	42	2	43	2	1	0	1	1
	神埼	4	90.6	30	0	30	0	0	0	0	0
	佐賀空港	4	73.4	18	1	16	1	0	1	-1	-2
	小計		84.1	177	6	172	6	1	2	-1	-5
第3グループ	有田	4	66.4	37	1	37	1	1	0	1	0
	武雄	4	81.4	52	2	51	1	0	0	0	-1
	鹿島	4	90.2	37	2	42	2	1	0	1	5
	嬉野	4	95.5	21	1	22	1	1	0	1	1
	大町	4	64.8	27	0	24	0	0	0	0	-3
	白石	3	61.9	14	0	14	0	0	0	0	0
	太良	4	100.0	9	1	8	0	0	0	0	-1
	小計		80.0	197	7	198	5	3	0	3	1
第4グループ	唐津	4	91.3	52	0	51	0	0	0	0	-1
	伊万里	3	96.9	31	0	32	0	0	0	0	1
	唐津東	4	94.4	51	0	50	0	0	0	0	-1
	唐津西	2	85.2	35	0	35	0	0	0	0	0
	伊万里西	4	80.7	45	0	46	0	0	1	-1	1
	唐津中央	4	90.4	36	4	34	4	0	0	0	-2
	小計		89.8	250	4	248	4	0	1	-1	-2
第5グループ	佐世保	3	100.0	78	0	80	0	0	0	0	2
	平戸	4	77.0	38	0	34	0	1	0	1	-4
	佐世保西	3	95.8	27	0	26	0	0	2	-2	-1
	北松浦	4	89.7	21	0	22	0	1	0	1	1
	松浦	4	87.5	29	1	30	1	0	0	0	1
	小計		90.0	193	1	192	1	2	2	0	-1

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新人	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	4	96.9	76	0	77	0	1	0	1	1
	佐世保東	4	83.3	24	0	22	0	0	0	0	-2
	佐世保北	4	100.0	48	0	47	0	2	0	2	-1
	佐世保中央	4	98.8	39	2	40	2	0	0	0	1
	佐世保東南	3	84.0	22	1	25	1	1	0	1	3
	HTB佐世保	4	68.7	31	6	33	6	1	1	0	2
	小計		88.6	240	9	244	9	5	1	4	4
第7グループ	大村	4	82.3	51	3	51	3	0	0	0	0
	島原	4	85.4	34	1	32	1	0	1	-1	-2
	雲仙	4	89.2	26	0	26	0	0	0	0	0
	大村北	3	100.0	34	0	33	0	0	0	0	-1
	島原南	3	80.0	20	1	19	1	0	0	0	-1
	大村東	4	72.5	49	1	47	1	0	1	-1	-2
	小計		84.9	214	6	208	6	0	2	-2	-6
第8グループ	諫早	4	88.8	58	0	57	0	0	0	0	-1
	諫早北	4	83.1	64	0	65	0	0	0	0	1
	諫早西	3	90.2	45	0	43	0	0	0	0	-2
	諫早多良見	4	86.8	38	0	38	0	0	0	0	0
	諫早南	4	81.3	28	5	27	5	2	0	2	-1
	小計		86.1	233	5	230	5	2	0	2	-3
第9グループ	長崎	4	85.4	92	0	84	0	0	1	-1	-8
	福江	4	84.0	38	0	36	0	0	0	0	-2
	長崎北東	3	89.6	50	6	47	5	0	1	-1	-3
	福江中央	4	93.0	29	0	30	0	0	0	0	1
	長崎西	4	78.7	63	0	61	0	0	0	0	-2
	長崎琴海	4	78.8	22	2	21	2	0	0	0	-1
	小計		83.5	294	8	279	7	0	2	-2	-15
第10グループ	長崎北	4	81.7	75	0	81	0	1	0	1	6
	長崎南	3	74.9	82	0	81	0	0	1	-1	-1
	長崎東	4	98.3	54	0	57	0	2	0	2	3
	東長崎	4	84.1	26	0	27	0	0	0	0	1
	長崎中央	3	93.8	54	0	55	0	0	0	0	1
	長崎出島	4	79.4	52	11	51	11	0	0	0	-1
	小計		85.1	343	11	352	11	3	1	2	9
合計			85.0	2326	65	2316	64	18	12	6	-10



文庫通信

259号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

各地区ガバナー月信より

- ◎「ようこそロータリーへ」 濱田五左衛門 2009 3p (D.2800)
- ◎「例会とロータリーの原理原則」 安孫子貞夫 2009 1p (D.2800)
- ◎「ロータリーの根本を考える」 井上暎夫 2009 3p (D.2660)
- ◎「Stigma 恥辱の烙印」 塚原房樹 2009 2p (D.2510)
- ◎「職業と奉仕」 近藤雅臣 2009 2p (D.2660)
- ◎「ロータリーの職業倫理訓逐条解説(7)～(9)」 青木伸翁 2009 3p (D.2770)
- ◎「識字率向上は世界平和への道」 諏訪昭登 2009 2p (D.2710)
- ◎「『ロータリーの森』とその後」 好川嘉則 2009 1p (D.2650)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2008-09年度国際ロータリーのテーマ

夢をかたちに

アクティングガバナー

野口 清

“ロータリーで心を耕そう”

vol.12
2009.6.1



足並みをそろえ、元氣よく行進する園児たち（写真はフレンド幼稚園運動会で）

CONTENTS

アクティングガバナー挨拶 野口 清…	1	新入会員紹介……………	7
ガバナー補佐・リレー随想……………	2	寄付者紹介……………	8
第3回財団奨学・学友委員会及び奨学生候補者研修会報告…	3	会員数・出席報告……………	9
第30回 RYLA 報告……………	4	ロータリーカード入会のご案内……………	10
米山オリエンテーション……………	5	文庫通信……………	裏表紙



アクティングガバナー挨拶

アクティングガバナー
野口 清



会員の皆様お久しぶりです。

突然のことで驚かれておられる事と思います。人間は不完全です。完全な人間なんかいません。だから人間はその人生の中で一度や二度は失敗をします。(かく言う私は何度も?)また、資本主義の世の中ですから勝者と敗者が必ずつきまといます。事件が起これば被害者と加害者が生じます。これらの現象は人間社会の宿命ですから、いかんともしがたいところがあります。しかし、ロータリアンはこの人間社会の宿命を何とか乗り越えようと絶えず自己研鑽に努めております。(言葉では綺麗ごとを言ってもそう簡単なことではありませんが。)[寛容]という言葉がロータリーにはあります。そしてこの「寛容」という心を磨くのがロータリー生活だと言っても過言ではないと思います。私たちロータリアンはこの「寛容」という心を目指して自己研鑽に励むことがより重要だと考えます。自己研鑽には「親睦」が最も重要だと思います。親睦にはエンターテインメントとフェローシップがあります。前者は親睦活動であり、後者は「親睦」であります。楽しくお酒を飲んだり、ゴルフをしたり、お花見をしたり、そういうことをすべて親睦だと思っておられる方が多いのではないのでしょうか。これらのことは親睦活動と言います。ロータリーが出来た初期の頃は皆が仲良くなるために色々なことをしております。まず、会員同士は親類付き合いをするのだから、お互い取引をする時には利益を貪ってはならない、というので会員に「原価の取引」を義務づけました。さらに、彼らは、物質的な助け合いのほかに、精神的にも助け合うようになりました。ロータリアンは皆職業人でありますから、自分の経営上の悩みをクラブに持ち寄って知恵を出し合ったのであります。ある会員が「うちの会社では今こういうことで悩んでいるんだ」と言うと、当時は一業一会員制でありますから会員は皆業界が違います。従って、発想もアイデアも違います。「そのことなら私の業界ではもう解決済みだ。こうしてごらん」と言って教えてくれます。また、ある問題については、未解決であった場合は、三人寄れば文殊の知恵と言われるように、皆で知恵を集めて解決していったのであります。これが真のフェローシップだと思います。この当時の心を取り戻そうではありませんか。

最後になりましたが「寛容」と言う心に免じて鈴木元ガバナーの退任をお許しいただければ幸いに思います。また鈴木元ガバナーの一日でも早い社会復帰を心から希望しております。あと残された期間を微力ではありますが務めさせていただきますので皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。



ガバナー補佐・リレー随想

第10グループガバナー補佐 **中野 廣**
(長崎中央RC)



ふるさと愛

「ふるさと自慢」に歴史とロマンは付きものです。日本の中でも独特の歴史と多彩な文化を持つ長崎県内には、今なお貴重な歴史遺産や史跡が数多く点在し、多くのロマンをかきたててきました。自慢話の一つや二つ、たちどころに飛び出そうというものです。

そんな風土に加え「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」や「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産暫定リスト入りが、一気にふるさとの歴史ブームに火をつけました。

さらに来年からはNHK大河ドラマ「龍馬伝」の放映が決定。安政の開港から150年目というタイミングの良さも手伝って、歴史ファンならずとも、長崎の地に思いを馳せる人々の胸は高鳴っていることでしょう。

しかし、こうした現象を単なるブームに終わらせ、一過性のものにしてはなりません。人は誰でも自分の生まれ育った“わが町”の歴史に強い関心を寄せ、親しみを持つと同時に何とかなしの誇りさえ感じているものです。

こうした思いに応えるかのように今春早々、長崎市と南島原市から歴史年表や小冊子が相次いで刊行されました。

長崎市の歴史年表は「ふるさと愛」をテーマに活発な活動を続けている長崎経済同友会(代表幹事・扇 道德氏ら3人)が作製。去る2月、長崎市に同年表9,200部を寄贈しました。全市内の小学5、6年生に配布され、社会科

などの教材に役立てられています。

内容は鎌倉時代から昨年、長崎市で開催された列福式までの長い歴史の流れを「開港と南蛮文化」「世界に唯一開かれた港、長崎・出島」など7つに区分し、長崎ランタンフェスティバルなど身近な出来事も盛り込んでいます。六つ折り、B5変型判スタイルも小学生に好評で、寄贈を受けた田上長崎市長も「長崎の歴史を子どもたちに知ってもらいたいし、それが誇りにつながるでしょう」とお礼を述べていました。

長崎の歴史年表とほぼ同じころ、南島原市でもキリスト教関連遺産にちなんだ地域の歴史を紹介したガイドブック「南島原歴史遺産」(A5判、35ページ)27,000部を作製、管内の総合支所などで配布しています。南島原の世界遺産候補3史跡―原城跡、日野江城跡、吉利支丹墓碑は、まさに「長崎県キリシタン史の光と影の証人であり、人類の記憶として子どもたちの世代まで語り継がれる価値を持っている」と同ガイドブックの前文にうたっていますが、「ふるさと愛」ここに極まれり、というべきでしょう。ロータリアンが目指す「心を耕す」精神もまたここに息づいています。





08-09年度財団奨学・学友委員会報告

財団奨学・学友委員会委員長 笠 慶宣
(佐賀南RC)

佐賀では桜マラソンが開催されるなど、桜が満開の時期を迎えた4月5日(日)に、四季彩ホテル千代田館にて、08-09年度財団奨学・学友委員会第3回委員会を開催いたしました。ご多忙のなか、また遠路のところを鈴木泰彦ガバナーはじめ、田代博之副幹事、高木義和次期地区幹事、常多勝己国際奉仕統括委員会委員長、森永太ロータリー財団委員会委員長、03-04年度イギリスに留学した学友戸上真由子君、そして有田信一副委員長、澤山俊雄委員、永田武義委員にご出席いただきました。

幸い10-11年度奨学生について、ガバナー事務所に申請についての質疑が多数寄せられ、期待をしていたところ2名から申請書提出がありました。各クラブそして学友の方々のご協力、ご支援に心から感謝申し上げます。

第3回委員会は、今年度奨学生候補者の出願がなかったことを踏まえ、以下のような総括をいたしましたのでご報告いたします。

1. 次年度に向けて

1) 募集要項・ポスターについて

- ・11月初旬には、大学等へ配布できるように作業をすすめる。但し、奨学金額については、前年度実績額であることをことわって掲載する。
- ・募集要項について、ロータリー向けと申請者向けとに区分した解りやすい要項を作成する。
- ・選考方法の簡単な説明を、要項に掲載する。
- ・他地区の募集要項を参照する。(詳細な要項等があり参考になる)
- ・募集活動は、学友からの働きかけは効果が大い。

2) 広報について

- ・帰国報告会や研修会等の取材を依頼することも広報になる。
- ・大学(院)等へは、(准)教授を活用したほうが効果は大い。
- ・地区のHPには、必ず掲載すること。

3) 申請書について

- ・記入は、PDF形式になっており、HP上で直接書き込むことができるようになっているが、保存はできない。
- ・Q&Aを纏めていけば、以後の引継ぎが効率的にできる。

2. 学友について

- ・研修会への出席や後輩へのアドバイス等積極的に発言するなど奨学生候補者にとって力強い存在である。
- ・研修会等への旅費を補助すれば、参加しやすくなる。
- ・各クラブに、過去派遣した学友について追跡調査を依頼する。
- ・財団奨学・学友委員会が事務局として学友会を取りまとめる。

第3回財団奨学・学友委員会 2009/04/05



第30回 R Y L A 報告

実行委員長 音成 征彦
(大村北RC)

去る4月11・12日、国際ロータリー第2740地区2008-2009年度R Y L Aを大村市で開催しました。

今回のテーマは『心・ことば』。指導力開発に会話(コミュニケーション)は欠かせないものですが、携帯電話やパソコンの普及で会話不足になりがちな昨今、あらためて会話の大切さを考える機会を提供できたらと考えました。

初日の11日は簡単な開講式のあと、5～8人のグループに分かれて県立野岳湖公園周辺でウォークラリーを行いました。まずは自然の中で心を解放し、会話を弾ませ、初対面同士がうちとけることが先決と考え、この催しを冒頭に行いました。当日は快晴に恵まれ、ロータリアンともどもいい汗を流していただけたものと思います。

その後は会場を大村商工会議所大会議室に移し、元N B Cのアナウンサーで現在鎌倉市在住のロータリアン、浜田淑子さんの講演を聞いていただきました。浜田さんは、ことばによるコミュニケーションの大切さ、話すときの心がまえ、ことばの使い方などの理論と実践についてさわやかな声と笑顔で話されました。

夜は、10～12名のグループに分かれて所定のテーマについてディスカッションをしていただきました。このプログラムには、鈴木ガバナー、馬郡地区幹事をはじめ多数のロータリアンも参加され、昼間の疲れも忘れて22時近くまで話が弾むグループもありました。

翌12日は7時に起床、体操、朝食のあと、9時より前夜のディスカッションのまとめを発表していただきました。10グループ、10人の若者が演壇に立ちましたが、前日の講演会の成果を遺憾なく発揮され、それぞれに個性あふれる立派なスピーチでした。最後に鈴木ガバナーに講評をいただき、修了証を授与して全日程を終了しました。

今回は、「若者が主役」を合言葉に服装をラフにしたり、式典を思い切り簡略化したり、いくつか新しい発想を取り入れてみました。評価はいろいろあろうかと思いますが、「一石を投じる」という私たちのもくろみは一応成功したと思っています。

厳しい経済状況の中、登録数が少ないのではと危惧していましたが、200名を超える登録をいただきました。第2740地区各クラブのご協力に感謝いたしますとともに、私たちの新しい試みに最後までご理解とご協力をいただきました岡部新世代統括委員長、鶴田R Y L A委員長をはじめ地区委員の皆様には厚くお礼申し上げます。



2009-2010年度

米山カウンセラー研修会・米山奨学生 オリエンテーションのご報告

米山記念奨学会地区委員 中島 恒幸（諫早多良見RC）



4月18日(土)に2009-2010年度のカウンセラー研修会と奨学生オリエンテーションを「長崎えきまえいきいきひろば」にて開催しました。当日は鈴木ガバナー、田口パストガバナー、高城ガバナーエレクト、高原ガバナーノミニーを始めとして、次期ガバナー補佐、地区幹事ならびに副幹事、次期地区幹事、カウンセラー、米山奨学生そして米山地区委員が出席して行われました。

まず、第一部では、カウンセラーに対す

る説明会を行いました。委員長による開会挨拶に引き続き、鈴木ガバナーが挨拶をされ“ロータリーと米山奨学事業”について『米山奨学会の目的は、世界に貢献できる人を育てることです。現在、アジアの国々を中心に多くの優秀な人材が育ち、活躍しています。中国でも学友会が発足し、北京で開催された会合に90名近い学友が出席し、全て日本語で会は進められました。このように着実に成果を挙げている米山奨学会を大事にして行きましょう。』



と述べられました。次に、委員長より、“カウンセラーの心得”をハンドブックのQ&Aを使って「奨学生の指導内容や規則を必ず守らせる事、さらにレポート提出の時期の厳守、セクシャルハラスメントに注意する」という内容で、話が行われました。第一部の最後に中島地区委員による“カウンセラー経験から学んだこと”という内容で卓話がおこなわれ、『カウンセラーを引き受けた当初は不安でしたが、奨学生と接する内にすばらしい人間性や向学心の高さを知り、自分の方が色々と教えられる事が多かったようです。ロータリーや家族との素晴らしい交流は大切な思い出となりました。』と話があり、前半が終了しました。

第二部はまず、カウンセラーと奨学生の初顔合わせから始まりました。皆さん初めは緊張していましたが、お互いに言葉を交わすうちに打ち解けて行きました。まず、田口パストガバナーが“米山奨学事業の意義”という内容で御挨拶をされました。「御自身が、以前、御世話された時の経験やその時感じた事、景気・不景気に関わらず、ロータリー全員が力を合わせて米山奨学会を実りある事業としていく事の重要性など」について、ユーモアを交えて御話しされました。次に、奨学生を代表して長崎南RCの王馨欽ワンシンシンが『ロータリーの方々との交流はとても楽しく、貴重な経験ができました。皆さんも必ず例会に出席し、積極的にロータリアンと話

しをし、ロータリーの行事に参加して下さい。』と挨拶をしてくれました。その後、みんなで“すばらしい贈り物”というDVDを見ました。内容はロータリアンと奨学生の交流の記録でした。DVD鑑賞の後、北郷委員長より、“米山奨学事業・奨学生の留意点”についてハンドブックに沿って説明が行われました。奨学生達は委員長よりの話を真剣に聞いていました。奨学生からの確約書の提出に引き続いて高城ガバナーエレクトより奨学生一人一人に激励の御言葉と共に奨学金の授与をしていただきました。最後に高原ガバナーノミニーの閉会の御挨拶の後、全員で記念撮影を行いました。そして、新しい奨学生にとっては初めての「手にてつないで」の大合唱をもって無事会は終了しました。





新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀RC
杉町 綱之 君



佐賀大和RC
森田 博利 君



唐津RC
佐々木智之 君



伊万里西RC
黒木祐一郎 君



平戸RC
吉田 春美 君



大村RC
河野 裕利 君



大村RC
中牟田浩治 君



島原RC
村中 順子 君



大村北RC
庭木 秀男 君



諫早RC
宗 博美 君



諫早北RC
松尾 彰 君



長崎RC
上田 宰二 君



長崎北東RC
下山 晶子 君



長崎北RC
坪口 高明 君



長崎北RC
藤井 公彦 君



長崎南RC
新居 功章 君

訃報



謹んでお別れいたします
合掌

故 貞松 繁明君
(大村RC)



国際ロータリー第2740地区クラブ会長各位

アクティングガバナー 野口 清

2012-2013年度ガバナー・ノミニー推薦の件

国際ロータリー細則第13.020.4項により、2012-2013年度ガバナーに就任するガバナー・ノミニー候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2009年10月31日までに地区ガバナー指名委員会宛（国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所気付）に文書を以ってご推薦下さい。

推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事はその決議を証明する形で推薦書を提出して下さい。

尚、ガバナー指名委員会がその選択をするにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。（国際ロータリー細則第13.020.5項）

ガバナー・ノミニーの資格条件は、国際ロータリー細則第15.070項を参照。

ご推薦のない場合は、指名委員会で決定された方がガバナー・ノミニーになります。

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種 類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	マルチプル	佐賀北R C
	年次寄付(P.H.F.)	諫早西R C
		長崎中央R C
	年次寄付	佐賀R C
		佐賀R C
	ベネファクター	長崎中央R C
	ポリオ・プラス	太良R C
		長崎西R C
米山記念奨学会	米山功労者	迎 雅 璫 嗣
		鹿島R C
		赤木 行 秀
	マルチプル	北松浦R C
		松浦R C
	メジャードナー	山口 信 義
	特別寄付	唐津中央R C
		田中 紀 男
		長崎北東R C
		小城R C



2009年3月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新人	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	79.9	65	0	66	0	0	3	-3	1
	小城	4	58.0	25	2	27	2	0	2	-2	2
	牛津	3	75.3	32	1	30	1	0	1	-1	-2
	多久	4	93.3	39	3	41	4	0	0	0	2
	佐賀大和	4	76.9	24	2	22	2	0	1	-1	-2
	小計		76.7	185	8	186	9	0	7	-7	1
第2グループ	佐賀西	4	79.5	49	0	45	0	0	3	-3	-4
	佐賀北	4	87.3	38	3	33	3	0	2	-2	-5
	佐賀南	4	79.7	42	2	43	2	0	0	0	1
	神埼	5	85.0	30	0	30	0	0	0	0	0
	佐賀空港	4	60.9	18	1	16	1	0	0	0	-2
	小計		78.5	177	6	167	6	0	5	-5	-10
第3グループ	有田	5	75.4	37	1	37	1	0	0	0	0
	武雄	5	87.9	52	2	53	3	3	1	2	1
	鹿島	4	93.3	37	2	42	2	0	0	0	5
	嬉野	3	94.4	21	1	24	1	2	0	2	3
	大町	4	67.0	27	0	24	0	0	0	0	-3
	白石	4	62.5	14	0	14	0	0	0	0	0
	太良	4	100.0	9	1	8	0	0	0	0	-1
	小計		82.9	197	7	202	7	5	1	4	5
第4グループ	唐津	4	90.3	52	0	52	0	1	0	1	0
	伊万里	4	91.4	31	0	31	0	0	1	-1	0
	唐津東	3	94.4	51	0	50	0	0	0	0	-1
	唐津西	4	85.8	35	0	34	0	0	1	-1	-1
	伊万里西	4	86.5	45	0	46	0	0	0	0	1
	唐津中央	3	91.2	36	4	34	4	0	0	0	-2
	小計		89.9	250	4	247	4	1	2	-1	-3
	小計		89.9	250	4	247	4	1	2	-1	-3
第5グループ	佐世保	4	100.0	78	0	79	0	0	1	-1	1
	平戸	4	90.0	38	0	35	1	1	0	1	-3
	佐世保西	5	96.5	27	0	25	0	0	1	-1	-2
	北松浦	5	88.2	21	0	22	0	0	0	0	1
	松浦	3	88.8	29	1	30	1	0	0	0	1
	小計		92.7	193	1	191	2	1	2	-1	-2

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新人	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	3	96.9	76	0	74	0	1	3	-2	-2
	佐世保東	4	90.5	24	0	22	0	0	0	0	-2
	佐世保北	5	99.1	48	0	47	0	0	0	0	-1
	佐世保中央	3	100.0	39	2	40	2	0	0	0	1
	佐世保東南	4	80.8	22	1	26	2	1	0	1	4
	HTB佐世保	3	76.3	31	6	31	5	0	2	-2	0
	小計		90.6	240	9	240	9	2	5	-3	0
第7グループ	大村	5	82.6	51	3	48	2	0	3	-3	-3
	島原	5	79.4	34	1	31	1	0	1	-1	-3
	雲仙	4	94.9	26	0	26	0	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	34	0	32	0	0	1	-1	-2
	島原南	4	80.0	20	1	19	1	0	0	0	-1
	大村東	5	77.6	49	1	46	1	0	1	-1	-3
	小計		85.7	214	6	202	5	0	6	-6	-12
第8グループ	諫早	3	88.8	58	0	54	0	0	3	-3	-4
	諫早北	3	80.0	64	0	65	0	0	0	0	1
	諫早西	3	92.6	45	0	42	0	0	1	-1	-3
	諫早多良見	4	82.2	38	0	38	0	0	0	0	0
	諫早南	4	83.3	28	5	27	5	0	0	0	-1
	小計		85.4	233	5	226	5	0	4	-4	-7
	小計		85.4	233	5	226	5	0	4	-4	-7
第9グループ	長崎	4	84.0	92	0	84	0	1	1	0	-8
	福江	3	87.1	38	0	36	0	1	1	0	-2
	長崎北東	3	97.0	50	6	46	5	0	1	-1	-4
	福江中央	4	98.3	29	0	30	0	0	0	0	1
	長崎西	5	72.1	63	0	61	0	0	0	0	-2
	長崎琴海	3	73.3	22	2	21	2	0	0	0	-1
	小計		83.5	294	8	278	7	2	3	-1	-16
	小計		83.5	294	8	278	7	2	3	-1	-16
第10グループ	長崎北	5	79.3	75	0	77	0	0	4	-4	2
	長崎南	4	70.8	82	0	79	0	0	2	-2	-3
	長崎東	3	98.3	54	0	56	0	0	1	-1	2
	東長崎	5	84.2	26	0	27	0	0	0	0	1
	長崎中央	4	96.3	54	0	55	0	0	0	0	1
	長崎出島	3	72.5	52	11	51	11	0	0	0	-1
	小計		85.1	343	11	345	11	0	7	-7	2
合計			85.1	2326	65	2284	65	11	42	-31	-42

※上記の表の新入・退会は当月中の数字



ロータリーカード入会のご案内

このたび、財団活動に貢献する唯一のオフィシャルクレジットカードでありますロータリーカードをご案内させていただくとともに、入会をお願いいたします。

ロータリーカードは2種類、年会費永年無料のロータリースタンダードカードと特典やサービスが充実したロータリーゴールドカードがあります。ロータリーカードの最大の特典は、カード会員のみなさまがロータリーカードをお買い物などで利用することにより、ご利用金額の0.3%が自動的にロータリー財団にロイヤリティとして寄付金が還元されます。また、ロータリーゴールドカードは年会費10,500円がかかりますが、そのうち3,000円は毎年財団に寄付されます。これらの寄付金は今期からポリオ2億ドルチャレンジに加算されています。

こうして集められた寄付金額は平成20年12月末で累計1,200万円を超えており、ロータリーカードの入会およびご利用することで確実に財団プログラムに貢献します。

また、ロータリーカードをご利用することで貯まったポイントは、個人の年次寄付としてご利用いただくことも可能です。貯まったポイントは1,000ポイントで5,000円分の年次寄付に交換できます。前年に比べ年次寄付が約6.8%低下している中で、この制度は有効的な年次寄付の手段として利用されています。

ロータリーカードは、付帯サービスも充実しております。ロータリースタンダードカードは、年会費無料でありながら海外旅行の障害保障が最高2,000万円まで付与されております。また、カードのご利用で貯まるポイントは通常1,000円で1ポイントですが、ご利用実績に応じて翌年のポイントが最大2.5倍付与されます。ロータリーゴールドカードは、さらに豊富なサービスを取り揃えておりまして、海外旅行障害保障が最高5,000万円、ショッピングガードが年間最高補償額300万円まで付与されており、ポイントも初年度から2.5倍の付与率で貯まっていきますので安心でお得なカードとなっております。その他、空港のラウンジサービスやロードサービス、専用会員デスクをご用意しており、みなさまがお持ちのクレジットカードと比べてサービス内容に全く劣ることはございません。

ロータリーカードは毎日のお買い物はもちろん、公共料金やETCのお支払いにご利用いただけるだけでなく、クラブ例会時のお食事代でご利用いただくことも効果的なご利用方法です。

みなさまにはぜひともこの機会にロータリーカードにご入会いただき、毎日の生活の中でロータリーカードをご利用いただくことで財団活動の支援をお願いいたします。

- ロータリーカードの特典の内容、サイトから直接入会申し込み
ロータリーカード専用サイト<http://orico.jp/rotary>（地区ホームページからリンク可能）
- ロータリーカードのお問い合わせや入会申込書のご請求
オリコカードセンター 受付時間 9:30~17:30/年中無休 電話092-722-5477



特典やサービスが豊富な
ロータリーゴールドカード



多彩なサービスをご用意
ロータリースタンダードカード



文庫通信

260号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎「ロータリーの創立者ポール・ハリスをめぐって」 神崎正陳 2008 5p
(D.2570地区大会)
- ◎「決議23-24の杞憂」 田中 毅 2009 9p (D.2500月信)
- ◎「ロータリーとは？～ロータリアンであることの意義～」 成川守彦 2008 9p
(D.2760地区指導者育成セミナー)
- ◎「あなたは何故ロータリアンなのですか？」 中山義之 2008 19p
(D.2770指導者育成セミナー講演録)
- ◎「パネルディスカッション『会員増強』」 大友恒則(コーディネーター)
2009 13p (D.2800地区大会の記録特集号)
- ◎「ロータリー知識クイズ」 2009 3p (D.2830西第一分区IM報告書)
- ◎「ロータリーの職業奉仕」 安平和彦 2009 37p (D.2680職業奉仕セミナー)
- ◎「ロータリー財団『未来の夢計画』のパイロット地区申請にあたって」 小船井修一
2009 2p (D.2500月信)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日



国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740
2008-09年度 アクティングガバナー 野口 清

●ガバナー事務所

〒857-0052 佐世保市松浦町5-13 グリーンビル205号室
TEL.0956-56-3122 FAX.0956-56-3086
E-mail: ri2740@coda.ocn.ne.jp <http://www.d2740.org>